



2024年度

2024/4/30版

健康科学部 整復医療・ トレーナー学科 シラバス



SBC東京医療大学

SBC Tokyo Medical University

講義コード	0002702
講義名	スポーツ理論と実習I〔整〕
(副題)	
代表ナンバリングコード	50P01-1005FR-01
講義開講時期	前期
講義区分	実習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

山田 利彦

金丸 雄介

長谷川 龍成

川田 敦子

総合学習目標

運動の実践を通じて、心と体を一体として捉えた運動についての知識・理論を学ぶ。また生涯にわたって計画的、継続的に運動を親しむ資質や能力を育成し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を育てる。その一環として、ウォーキング、ジョギング、エアロビックダンスの基礎的知識の習得及び実践を行う。さらに、柔道整復師を目指す上で、その素養を身に付けることが必須とされる「柔道」の技術と精神を学ぶことも目的とする。柔道は日本発祥のオリンピック種目で、日本が世界に誇れる文化財であり、その実践を通して心身両面からの成熟を目指す。

柔道実技においては3つのグループに分けて、3名の教員が1グループずつ交互に担当し、安全且つ効率よく学生により良い指導を行えるよう進める(受講人数によってグループ数は調整する)。

ディプロマポリシー：整復DP1-②・DP3-①②・DP4-①

個別学習目標

- ①基礎体力の向上を即し、健康な学生生活を送ることができる
- ②「受身」の習得により、日常のアクシデント等からの予防ができる
- ③技の習得を通して、自分の力及び相手の力を合理的に利用する方法を学び、力の活用を理解・実践できる
- ④練習を通してバランスの重要性を理解し、その実践ができる
- ⑤柔道に内在する「精力善用」、「自他共栄」の精神を理解し、心身の力の最有効活用、及び自己の尊厳、他者(相手)への感謝の気持ちの重要性を学び、日常生活で実践できる
- ⑥世界での柔道の普及度、また日本文化としての柔道を理解し、その知識を国際交流等に活用できる
- ⑦運動を行うことの楽しさを知り、生涯にわたって日常生活の一部として運動を取り入れることができる(ウォーキング、ジョギング、エアロビックダンス)

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 空欄：該当しない
【健康科学部DP1 知識・理解】① 豊かな感性を持ち、相手の立場に立った思いやりを備え、他の人たちと相互に支え合うことができる。	○
【健康科学部DP1 知識・理解】② 他者を尊重することができ、異なる文化、価値観の多様性を受け入れることができる。	◎
【健康科学部DP2 思考・判断】① 健康を回復する手助けとして、健康レベルに応じて必要な知識・技術を用い、的確な医療の実践ができ、医療専門職として社会で貢献できる。	
【健康科学部DP3 技能・表現】① 医療職としての知識や技術の向上を目指し、研鑽を続けることができる。	
【健康科学部DP3 技能・表現】② 質の高い医療の実践のため、他の専門職との連携に配慮し、チーム医療の一員として力を発揮できる。	
【健康科学部DP4 関心・意欲・態度】① 地域の医療の諸課題とその背景を理解し、地域医療に貢献することができる。	

授業計画

第1回	担当教員	山田 利彦 金丸 雄介 長谷川 龍成 授業ガイダンスと柔道指導のDVD鑑賞【山田：Aグループ(以下A)、金丸：Bグループ(以下B)、長谷川：Cグループ(以下C)】
	内容	授業の進行方法、試験方法、評価基準、授業における注意点について説明する。DVD「Judo in School Education ~The Spread of Judo in Japan~」をクラスルームに掲載し、オンデマンドにて鑑賞し、柔道実技を実施するにあたっての基礎的知識を学習する。
第2回	担当教員	山田 利彦 金丸 雄介 長谷川 龍成 柔道の基本的な姿勢、礼法、移動方法、体さばき、受身(後受身)等の指導【山田：B 金丸：C 長谷川：A】AL:D
	内容	柔道の基本技術である姿勢、礼法、移動方法、体さばき、受身(後受身)等をデモンストレーション後、理論などを解説し、担当教員を交えた中で、学生同士で実技練習を行う。
第3回	担当教員	山田 利彦 金丸 雄介 長谷川 龍成 柔道衣の着方、組み方、崩し方、受身の習得(後受身、横受身)、固技の指導(袈裟固)及び稽古【山田：C 金丸：A 長谷川：B】AL:D
	内容	柔道衣の着方、組み方、崩し方、受身(後受身、横受身)、固技(袈裟固)等をデモンストレーション後、理論などを解説し、担当教員を交えた中で、学生同士で実技練習を行う。
	担当教員	山田 利彦 金丸 雄介 長谷川 龍成

第4回	員	受身の習得(後受身、横受身、前回受身、前受身)、固技の指導(肩固)及び稽古、投技の指導(出足払)【山田：A 金丸：B 長谷川：C】AL:D
	内容	受身(後受身、横受身、前回受身、前受身)、固技(袈裟固)、投技(出足払)等をデモンストレーション後、理論などを解説し、担当教員を交えた中で、学生同士で実技練習を行う。
第5回	担当教員	山田 利彦 金丸 雄介 長谷川 龍成 受身の習得(投げ合いを通して)、固技の指導(横四方固)及び稽古、投技の指導及び打込指導(大腰)【山田：B 金丸：C 長谷川：A】AL:D
	内容	受身(後受身、横受身、前回受身、前受身)、固技(肩固)、投技(大腰)等をデモンストレーション後、理論などを解説し、担当教員を交えた中で、学生同士で実技練習を行う。
第6回	担当教員	山田 利彦 金丸 雄介 長谷川 龍成 受身の習得(投げ合いを通して)、固技(横四方固)、投技の指導及び打込指導(倒れ込まない大外落)【山田：C 金丸：A 長谷川：B】AL:D
	内容	受身(後受身、横受身、前回受身、前受身)、固技(横四方固)、投技の指導及び打込指導(倒れ込まない大外落)等をデモンストレーション後、理論などを解説し、担当教員を交えた中で、学生同士で実技練習を行う。
第7回	担当教員	山田 利彦 金丸 雄介 長谷川 龍成 受身の習得(投げ合いを通して)、固技(上四方固)、投技の指導及び打込指導(背負投)【山田：A 金丸：B 長谷川：C】AL:D
	内容	受身(後受身、横受身、前回受身、前受身)、固技(上四方固)、投技(背負投)等をデモンストレーション後、理論などを解説し、担当教員を交えた中で、学生同士で実技練習を行う。
第8回	担当教員	長谷川 龍成 山田 利彦 金丸 雄介 レジスタンス運動①【長谷川】AL:D
	内容	体力の向上や疾病予防のためのレジスタンス運動について、それぞれの特徴を理解しプログラム作成、指導できる能力を習得する
第9回	担当教員	長谷川 龍成 山田 利彦 金丸 雄介 レジスタンス運動②【長谷川】AL:D
	内容	①に引き続き、体力の向上や疾病予防のためのレジスタンス運動について、それぞれの特徴をさらに理解しプログラム作成、指導できる能力を習得する。
第10回	担当教員	山田 利彦 金丸 雄介 長谷川 龍成 既習の固技・投技の復習【山田：B 金丸：C 長谷川：A】AL:D
	内容	固技(縦四方固)、投技(出足払、大腰、背負投、倒れ込まない大外落)等をデモンストレーション後、理論などを再確認し、担当教員を交えた中で学生同士で実技練習を行う。
第11回	担当教員	山田 利彦 金丸 雄介 長谷川 龍成 固技自由練習、投技の指導及び打込指導(支釣込足)【山田：C 金丸：A 長谷川：B】AL:D

	内容	固技の自由練習を行い自由な動きの中で技を習得する。投技(支釣込足)等をデモンストレーション後、理論などを解説し、担当教員を交えた中で、学生同士で実技練習を行う。
第12回	担当教員	山田 利彦 金丸 雄介 長谷川 龍成 固技自由練習、投技の指導及び打込・約束練習指導(既習の技)【山田：A 金丸：B 長谷川：C】AL:D
	内容	固技の自由練習を行い自由な動きの中で技を習得する。既習の投技の復習を行い、理論などを再確認し、担当教員を交えた中で、学生同士で実技練習(打込・約束練習)を行う。
第13回	担当教員	川田 敦子 金丸 雄介 長谷川 龍成 山田 利彦 エアロビックダンス①基本【川田】AL:D
	内容	エアロビックダンスの基礎的技術、理論を学び、実際にその効果を体感する。
第14回	担当教員	川田 敦子 金丸 雄介 長谷川 龍成 山田 利彦 エアロビックダンス②応用【川田】AL:D
	内容	エアロビックダンスの基礎的技術、理論を復習し、実際にその効果を体感する。受講者の習熟度に合わせて難易度を上げていく。
第15回	担当教員	山田 利彦 金丸 雄介 長谷川 龍成 試合ルール説明、固技、投技自由練習及び復習【山田：B 金丸：C 長谷川：A】AL:D
	内容	固技の自由練習を行い自由な動きの中で技を習得する。柔道の試合審判規定を学び、投技の自由練習(軽度)等をデモンストレーション後、理論などを解説し、担当教員を交えた中で、学生同士で実技練習を行う。

評価方法とフィードバック方法

授業毎の習熟度と理解度(70%)及び実技試験(30%)の結果をもとに総合的に評価する。

実技試験の内容及び正答については事前に授業中に伝達済みのため、特にフィードバックは行わない。

ただし、希望者に対しては、個別に説明を行う。

教科書

なし

参考書

『これで完ぺき！柔道』 著者・編集者：金丸雄介 出版社：バーズ・マガジン社 定価：1,620円

『柔道上達BOOK』 著者・編集者：小俣幸嗣 出版社：成美堂出版 定価：1,188円

『図解』柔道 蹴り・ツクリス』 著者・編集者：柏崎克彦 出版社：成美堂出版 定価：648円

オフィスアワー

月曜日・3限・山田研修室or体育師範室(金丸)

水曜日・1限・体育師範室(金丸)

木曜日・2限・山田研修室

金曜日・1限・体育師範室(金丸)

その他随時

実務経験の有無

この科目は講道館柔道有段者(七段、六段、四段)、並びに日本柔道ナショナルチーム、実業団・大学柔道部での指導を含めた実務経験を有する教員がその実務経験を活かし、実践的教育を行っている科目です。

その他

柔道実技授業の際にゼッケン付きの柔道衣が必要となります。今まで使用していたものがあれば、それを使用してもらってかまいません。持っていない者についてはガイダンスの際に購入について説明します。

柔道のクラスはABCの3グループに分けて、3名の教員が各グループを持ち回り、少人数、個別対応を増やすことで安全管理の徹底、また理解度の向上を目指す。

学生は2人組みとなり、各グループは授業内で振り分けることとする。

ウォーキング・ジョギング、エアロビックダンス授業の日程は、天候等の関係で変更する場合があります。変更の際はGoogleクラスルーム等で事前に連絡します。

柔道実技授業時の新型コロナウイルス感染拡大予防対策に関しては、全日本柔道連盟の指針、千葉県柔道連盟の通達、大学の方針に従い徹底していきます。

講義コード	0002802
講義名	スポーツ理論と実習II〔整〕
(副題)	
代表ナンバリングコード	50P01-1006SR-01
講義開講時期	後期
講義区分	実習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

山田 利彦

金丸 雄介

長谷川 龍成

総合学習目標

運動の実践を通じて、心と体を一体として捉えた運動についての知識・理論を学ぶ。また生涯にわたって計画的、継続的に運動を親しむ資質や能力を育成し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を育てる。その一環として、レジスタンス運動の基礎的知識の習得及び実践を行う。さらに、柔道整復師を目指す上で、その素養を身に付けることが必須とされる「柔道」の技術と精神を学ぶことも目的とする。柔道は日本発祥のオリンピック種目で、日本が世界に誇れる文化財であり、その実践を通して心身両面からの成熟を目指す。

柔道実技においては3つのグループに分けて、3名の教員が1グループずつ交互に担当し、安全且つ効率よく学生により良い指導を行えるよう進める(受講人数によってグループ数は調整する)。

ディプロマポリシー：整復DP1-②・DP3-①②・DP4-①

個別学習目標

- ①基礎体力の向上を即し、健康な学生生活を送ることができる
- ②「受身」の習得により、日常のアクシデント等からの予防ができる
- ③技の習得を通して、自分の力及び相手の力を合理的に利用する方法を学び、力の活用を理解・実践できる
- ④練習を通してバランスの重要性を理解し、その実践ができる
- ⑤柔道に内在する「精力善用」「自他共栄」の精神を理解し、心身の力の最有効活用、及び自己の尊厳、他者(相手)への感謝の気持ちの重要性を学び、日常生活で実践できる
- ⑥世界での柔道の普及度、また日本文化としての柔道を理解し、その知識を国際交流等に活用できる
- ⑦運動を行うことの楽しさを知り、生涯にわたって日常生活の一部として運動を取り入れることができる(レジスタンス運動)

ディプロマポリシー

◎：強

	く該当する ○：該当する 空欄：該当しない
【健康科学部DP1 知識・理解】① 豊かな感性を持ち、相手の立場に立った思いやりを備え、他の人たちと相互に支え合うことができる。	○
【健康科学部DP1 知識・理解】② 他者を尊重することができ、異なる文化、価値観の多様性を受け入れることができる。	◎
【健康科学部DP2 思考・判断】① 健康を回復する手助けとして、健康レベルに応じて必要な知識・技術を用い、的確な医療の実践ができ、医療専門職として社会で貢献できる。	
【健康科学部DP3 技能・表現】① 医療職としての知識や技術の向上を目指し、研鑽を続けることができる。	
【健康科学部DP3 技能・表現】② 質の高い医療の実践のため、他の専門職との連携に配慮し、チーム医療の一員として力を発揮できる。	
【健康科学部DP4 関心・意欲・態度】① 地域の医療の諸課題とその背景を理解し、地域医療に貢献することができる。	

授業計画

第1回	担当教員	山田 利彦 金丸 雄介 長谷川 龍成 受身、基本動作復習（スポーツ理論と実習Iの復習）【山田：Aグループ(以下A)、金丸：Bグループ(以下B)、長谷川：Cグループ(以下C)】AL:D
	内容	前期授業「スポーツ理論と実習I」で習得した礼法と受身、基本動作（姿勢、体さばき、移動方法等）を復習する。授業の安全に実施するための注意点も再確認する。
第2回	担当教員	山田 利彦 金丸 雄介 長谷川 龍成 投技、固技復習（スポーツ理論と実習Iの復習）【山田：B 金丸：C 長谷川：A】AL:D
	内容	前期授業「スポーツ理論と実習I」で習得した投技(出足払、大腰など)、固技（袈裟固、肩固など）を復習する。
第3回	担当教員	山田 利彦 金丸 雄介 長谷川 龍成 投技の指導(一本背負投)、固技の指導(後袈裟固)及び打込指導、立技約束練習、固技自由練習【山田：C 金丸：A 長谷川：B】AL:D
	内容	投技(一本背負投)、固技(後袈裟固)等をデモンストレーション後、理論などを解説し、担当教員を交えた中で、学生同士で実技練習を行う。既習の投技を動きの中でスムーズに掛けられるようにし、安全に投げる練習を行う。固技は相手の様々な返し方を習得し、既習の抑込技につなげる。
第4回	担当教員	山田 利彦 金丸 雄介 長谷川 龍成 投技の指導(払腰)及び打込指導、立技約束練習、固技自由練習【山田：A 金丸：B 長谷川：C】AL:D
		投技(払腰)等をデモンストレーション後、理論などを解説し、担当教員を交えた中

	内容	で、学生同士で実技練習を行う。既習の投技を動きの中でスムーズに掛けられるようにし、安全に投げる練習を行う。固技は相手の様々な返し方を習得し、既習の抑込技につなげる。
第5回	担当教員	山田 利彦 金丸 雄介 長谷川 龍成 投技の指導(大内刈)及び打込指導、立技約束練習、固技自由練習、固技の理解(絞技の紹介)【山田：B 金丸：C 長谷川：A】AL:D
	内容	投技(大内刈)等をデモンストレーション後、理論などを解説し、担当教員を交えた中で、学生同士で実技練習を行う。既習の投技を動きの中でスムーズに掛けられるようにし、安全に投げる練習を行う。固技は相手の様々な返し方を習得し、既習の抑込技につなげる。また絞技の種類を知り理論を学ぶ。
第6回	担当教員	山田 利彦 金丸 雄介 長谷川 龍成 投技の指導(体落)及び打込指導、立技約束練習、固技自由練習、固技の理解(関節技の紹介)【山田：C 金丸：A 長谷川：B】AL:D
	内容	投技(体落)等をデモンストレーション後、理論などを解説し、担当教員を交えた中で、学生同士で実技練習を行う。既習の投技を動きの中でスムーズに掛けられるようにし、安全に投げる練習を行う。固技は相手の様々な返し方を習得し、既習の抑込技につなげる。また関節技の種類を知り理論を学ぶ。
第7回	担当教員	山田 利彦 金丸 雄介 長谷川 龍成 投技の指導(大外刈)及び打込指導、立技約束練習投技・固技の約束練習と自由練習、柔道技術を使った護身術(手首を掴まれた場合の護身術)【山田：A 金丸：B 長谷川：C】AL:D
	内容	投技の指導(大内刈)及び打込指導、及び立技約束練習既習の投技を使い、動きの中で技をつなげる(連絡技)を掛けられるようにし、安全に投げる練習を行う。固技は相手の様々な返し方を習得し、既習の抑込技につなげる。手首を掴まれた場合の護身術の指導を行う。
第8回	担当教員	山田 利彦 金丸 雄介 長谷川 龍成 投技・固技の約束練習と自由練習、柔道技術を使った護身術(襟を掴まれた場合の護身術)【山田：B 金丸：C 長谷川：A】AL:D
	内容	既習の投技を使い、動きの中で相手の技から自分の技につなげる(変化技)を掛けられるようにし、安全に投げる練習を行う。固技は相手の様々な返し方を習得し、既習の抑込技につなげる。襟を掴まれた場合の護身術の指導を行う。
第9回	担当教員	山田 利彦 金丸 雄介 長谷川 龍成 投技・固技の約束練習と自由練習、柔道技術を使った護身術(髪を掴まれた場合の護身術)【山田：C 金丸：A 長谷川：B】AL:D
	内容	既習の投技を使い、動きの中で自由に投技の攻防ができるようにし、安全に投げる練習を行う(学生の習熟度を鑑みて自由練習実施を判断する)。固技は相手の様々な返し方を習得し、既習の抑込技につなげる。相手に髪を掴まれた場合の護身術の指導を行う。
第10回	担当教員	山田 利彦 金丸 雄介 長谷川 龍成 投技・固技の約束練習と自由練習、柔道技術を使った護身術(抱きつかれた場合の護身術)【山田：A 金丸：B 長谷川：C】AL:D
		既習の投技を使い、動きの中で自由に投技の攻防ができるようにし、安全に投げ

	内容	る練習を行う(学生の習熟度を鑑みて自由練習実施を判断する)。固技は相手の様々な返し方を習得し、既習の抑込技につなげる。抱きつかれた場合の護身術の指導を行う。
第11回	担当教員	長谷川 龍成 山田 利彦 金丸 雄介 ウォーキング【長谷川】AL:D
	内容	ウォーキングの基礎的知識を学び実践し、指導も行えるようにしていく。
第12回	担当教員	山田 利彦 金丸 雄介 長谷川 龍成 固技自由練習、投技の指導及び打込指導、柔道技術を使った護身術(タックルをされた場合の護身術)【山田：B 金丸：C 長谷川：A】AL:D
	内容	固技の自由練習を行い自由な動きの中で技を習得する。既習の投技を使い、動きの中で自由に投技の攻防ができるようにし、安全に投げる練習を行う(学生の習熟度を鑑みて自由練習実施を判断する)。タックルされた場合の護身術の指導を行う。
第13回	担当教員	山田 利彦 金丸 雄介 長谷川 龍成 固技自由練習、投技約束練習、投技の指導及び打込指導(全体の復習)、自由練習、護身術復習【山田：C 金丸：A 長谷川：B】AL:D
	内容	固技の自由練習を行い自由な動きの中で技を習得する。既習の投技を使い、動きの中で自由に投技の攻防ができるようにし、安全に自由練習を実施する。既習の護身術の復習を行う。
第14回	担当教員	長谷川 龍成 山田 利彦 金丸 雄介 ジョギング【長谷川】AL:D
	内容	ジョギングの基礎的知識を学び実践し、指導も行えるようにしていく。
第15回	担当教員	山田 利彦 金丸 雄介 長谷川 龍成 投技・固技の約束練習と自由練習、護身術復習、総まとめ【山田：A 金丸：B 長谷川：C】AL:D
	内容	既習の投技を復習したのち、動きの中で自由に投技の攻防ができるようにし、安全に投げる練習、及び自由練習を実施する。既習の護身術の復習を行う。総まとめも合わせて行う。

評価方法とフィードバック方法

授業毎の習熟度、理解度(70%)及び実技試験(30%)の結果をもとに総合的に評価する。

実技試験の内容及び正答については事前に授業中に伝達済みのため、特にフィードバックは行わない。

ただし、希望者に対しては、個別に説明を行う。

教科書

なし

参考書

『これで完ぺき！柔道』 著者・編集者：金丸雄介 出版社：ベースボールマガジン社 定価：1,620円

『柔道上達BOOK』 著者・編集者：小俣幸嗣 出版社：成美堂出版 定価：1,188円

『図解』柔道 スポーツ』 著者・編集者：柏崎克彦 出版社：成美堂出版 定価：648円

オフィスアワー

月曜日・3限・山田研究室or体育師範室(金丸)

水曜日・1限・体育師範室(金丸)

木曜日・2限・山田研究室

金曜日・1限・体育師範室(金丸)

その他随時

実務経験の有無

この科目は講道館柔道有段者(七段、六段、四段)、並びに日本柔道ナショナルチーム、実業団・大学柔道部での指導を含めた実務経験を有する教員がその実務経験を活かし、実践的教育を行っている科目です。

その他

注意：スポーツ理論と実習Iの履修者を対象とする。

授業方法は「スポーツ理論と実習I」と同様である。

柔道のクラスはABCの3グループに分けて、3名の教員が各グループを持ち回り、少人数、個別対応を増やすことで安全管理の徹底、また理解度の向上を目指す。

学生は2人組みとなり、各グループは授業内で振り分けることとする。

柔道実技授業時の新型コロナウイルス感染拡大予防対策に関しては、全日本柔道連盟の指針、千葉県柔道連盟の通達、大学の方針に従い徹底していきます。

講義コード	0004603
講義名	情報処理演習I (ICTを含む) [整A]
(副題)	
代表ナンバリングコード	50S01-1017FR-02
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

岡部 拓哉

総合学習目標

今日では、コンピュータを操作し基本的な情報処理を行えることは、社会人の必須条件であると言っても言い過ぎではありません。医療・介護・健康分野においても、ネットワーク化や先進的なICT活用の推進に伴い、医療従事者はICTを活用するための基礎的な能力を有していることが求められています。

パソコンは大学での学習を効率的に行う上でも必要不可欠です。講義で学習した内容やインターネットなどを通じて収集した情報、様々なデータを表計算ソフトを使って解析した結果などをレポートや論文にまとめたり、その内容をプレゼンテーションスライドのかたちに簡潔にまとめて発表したりする機会が頻繁にあるからです。この授業では、そういった作業に必要な技術（ワープロソフトの利用方法、電子メール・ウェブの活用法、表計算ソフトの利用法、プレゼンテーションスライドの作成法、ファイル管理、ホームページ作成の基礎）を身につけることが目的です。

(該当するディプロマポリシー：健康科学部DP3-①)

個別学習目標

- 1) オペレーティングシステムの基本操作ができる。
- 2) ワープロソフト (Microsoft Word 2016) を使用して文書を作成し編集できる。
- 3) 電子メールの送受信、インターネットによる情報検索ができる。
- 4) 表計算ソフト (Microsoft Excel 2016) を用いて、簡単な表計算とデータのグラフ化ができる。
- 5) プレゼンテーションスライド作成ソフト (Microsoft PowerPoint 2016) が使用できる。
- 6) 基本的なHTML言語を理解して、ホームページの成り立ちが理解できる。
- 7) 様々なソフトで作成したファイルを管理できる。

ディプロマポリシー

◎：強く該当する
○：該当する

	当する 空欄： 該当し ない
【健康科学部DP1 知識・理解】①豊かな感性を持ち、相手の立場に立った思いやりを備え、他の人たちと相互に支え合うことができる。	
【健康科学部DP1 知識・理解】②他者を尊重することができ、異なる文化、価値観の多様性を受け入れることができる。	
【健康科学部DP2 思考・判断】①健康を回復する手助けとして、健康レベルに応じて必要な知識・技術を用い、的確な医療の実践ができ、医療専門職として社会で貢献できる。	
【健康科学部DP3 技能・表現】①医療職としての知識や技術の向上を目指し、研鑽を続けることができる。	○
【健康科学部DP3 技能・表現】②質の高い医療の実践のため、他の専門職との連携に配慮し、チーム医療の一員として力を発揮できる。	
【健康科学部DP4 関心・意欲・態度】①地域の医療の諸課題とその背景を理解し、地域医療に貢献することができる。	

授業計画

第1回	担当教員	岡部 拓哉 ガイダンス、オペレーティングシステムの基本操作
第2回	担当教員	岡部 拓哉 ワープロソフトの基本（1）文字入力
第3回	担当教員	岡部 拓哉 電子メールの送受信
第4回	担当教員	岡部 拓哉 ワープロソフトの基本（2）文書の作成、タイピング練習
第5回	担当教員	岡部 拓哉 ワープロソフトの基本（3）文書の編集
第6回	担当教員	岡部 拓哉 ワープロソフトの基本（4）表の作成・編集
第7回	担当教員	岡部 拓哉 ワープロソフトの基本（5）図の挿入・編集
第8回	担当教員	岡部 拓哉 ワープロソフトの基本（6）図形描画
第9回	担当教員	岡部 拓哉 表計算ソフトの基本（1）簡単な表計算、データのグラフ化
第10回	担当教員	岡部 拓哉 表計算ソフトの基本（2）簡単な統計処理
第11回	担当教員	岡部 拓哉 インターネットの活用法
第12回	担当教員	岡部 拓哉 プレゼンテーションスライド作成の基本
第13回	担当教員	岡部 拓哉 自由にテーマを設定してのプレゼンテーションスライド作成
第14回	担当教員	岡部 拓哉 ファイル管理
第15回	担当教員	岡部 拓哉 HTML言語の基礎と簡単なホームページ作成

評価方法とフィードバック方法

授業中に与えた課題と、必要に応じて課される宿題の完成度をもとに成績を評価する。課題（授業内課題と宿題の両方）の未提出が1/3を超えた場合は不合格となる。

実務経験の有無

この科目は情報処理の実務経験を有する教員がその実務経験を活かし、実践的教育を行っている科目です。

その他

- 内容は初心者にもやさしいレベルに設定します。
- 必要に応じて課される宿題を消化すると、その日の復習になります。
- パソコンは楽しくやれるはずだし、その方がよく身につきます。なるべく楽しみながら取り組めるテーマを用意したいと思っています。

担当教員実務経験の有無, 有

講義コード	0004604
講義名	情報処理演習I (ICTを含む) [整B]
(副題)	
代表ナンバリングコード	50S01-1017FR-03
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修
担当教員	
氏名	
	西川 哲夫

総合学習目標

今日では、コンピュータを操作し基本的な情報処理を行えることは、社会人の必須条件であると言っても言い過ぎではありません。医療・介護・健康分野においても、ネットワーク化や先進的なICT活用の推進に伴い、医療従事者はICTを活用するための基礎的な能力を有していることが求められています。

パソコンは大学での学習を効率的に行う上でも必要不可欠です。講義で学習した内容やインターネットなどを通じて収集した情報、様々なデータを表計算ソフトを使って解析した結果などをレポートや論文にまとめたり、その内容をプレゼンテーションスライドのかたちに簡潔にまとめて発表したりする機会が頻繁にあるからです。この授業では、そういった作業に必要な技術（ワープロソフトの利用方法、電子メール・ウェブの活用法、表計算ソフトの利用法、プレゼンテーションスライドの作成法、ファイル管理、ホームページ作成の基礎）を身につけることが目的です。

個別学習目標

- 1) オペレーティングシステムの基本操作ができる。
- 2) ワードプロソフト（Microsoft Word 2016）を使用して文書を作成し編集できる。
- 3) 電子メールの送受信、インターネットによる情報検索ができる。
- 4) 表計算ソフト（Microsoft Excel 2016）を用いて、簡単な表計算とデータのグラフ化ができる。
- 5) プレゼンテーションスライド作成ソフト（Microsoft PowerPoint 2016）が使用できる。
- 6) 基本的なHTML言語を理解して、ホームページの成り立ちが理解できる。
- 7) 様々なソフトで作成したファイルを管理できる。

ディプロマポリシー

◎：強く該当する
○：該当する
空欄：

	該当しない
【健康科学部DP1 知識・理解】①豊かな感性を持ち、相手の立場に立った思いやりを備え、他の人たちと相互に支え合うことができる。	
【健康科学部DP1 知識・理解】②他者を尊重することができ、異なる文化、価値観の多様性を受け入れることができる。	
【健康科学部DP2 思考・判断】①健康を回復する手助けとして、健康レベルに応じて必要な知識・技術を用い、的確な医療の実践ができ、医療専門職として社会で貢献できる。	
【健康科学部DP3 技能・表現】①医療職としての知識や技術の向上を目指し、研鑽を続けることができる。	○
【健康科学部DP3 技能・表現】②質の高い医療の実践のため、他の専門職との連携に配慮し、チーム医療の一員として力を発揮できる。	
【健康科学部DP4 関心・意欲・態度】①地域の医療の諸課題とその背景を理解し、地域医療に貢献することができる。	

授業計画

第1回	担当教員	西川 哲夫 ガイダンス、オペレーティングシステムの基本操作
第2回	担当教員	西川 哲夫 ワープロソフトの基本（1）文字入力
第3回	担当教員	西川 哲夫 電子メールの送受信
第4回	担当教員	西川 哲夫 ワープロソフトの基本（2）文書の作成、タイピング練習
第5回	担当教員	西川 哲夫 ワープロソフトの基本（3）文書の編集
第6回	担当教員	西川 哲夫 ワープロソフトの基本（4）表の作成・編集
第7回	担当教員	西川 哲夫 ワープロソフトの基本（5）図の挿入・編集
第8回	担当教員	西川 哲夫 ワープロソフトの基本（6）図形描画
第9回	担当教員	西川 哲夫 表計算ソフトの基本（1）簡単な表計算、データのグラフ化
第10回	担当教員	西川 哲夫 表計算ソフトの基本（2）簡単な統計処理
第11回	担当教員	西川 哲夫 インターネットの活用法
第12回	担当教員	西川 哲夫 プレゼンテーションスライド作成の基本
第13回	担当教員	西川 哲夫 自由にテーマを設定してのプレゼンテーションスライド作成
第14回	担当教員	西川 哲夫 ファイル管理
第15回	担当教員	西川 哲夫 HTML言語の基礎と簡単なホームページ作成

評価方法とフィードバック方法

授業中に与えた課題と、必要に応じて課される宿題の完成度をもとに成績を評価する。課題（授業内課題と宿題の両方）の未提出が1/3を超えた場合は不合格となる。

その他

- 内容は初心者にもやさしいレベルに設定します。
- 必要に応じて課される宿題を消化すると、その日の復習になります。
- パソコンは楽しくやれるはずだし、その方がよく身につきます。なるべく楽しみながら取り組めるテーマを用意したいと思っています。

講義コード	0004813
講義名	総合英語I[木2]
(副題)	
代表ナンバリングコード	50L01-1019FR-11
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

鄧 瑩

総合学習目標

実際の医療の現場で用いられる英語表現・語彙を学び、リスニングや会話の練習をし、医療に関する英文を理解することで、医療の現場で意志の疎通ができる英語力を身につけます。特に医療従事者として英語で対応し、症状を聞き、説明できるようになることを目標とします。ただ、それだけでなく英語の文法や基本的な英作文など「読む、聞く、書く、話す」という英語の4技能の基本的な力を総合的に伸ばし、英語で表現する力を身につけます。

個別学習目標

- ・医療現場で使用される基本的な語彙や表現を身に付ける。
- ・簡単な会話練習を通して、医療従事者として基本的なコミュニケーションができるように練習する。
- ・比較的わかりやすい医療に関わる英文を読んだり聞き取ったりできるようになる。
- ・英語の基本的な仕組みや文法を理解し、短い英文で基本的な表現ができるようになる。

※ Unit終了時に小テストを行い、理解度の確認をはかる。

準備学修

- ・予習（30分程度）：教科書に目を通し、分からない単語の意味を調べる
- ・復習（30分程度）：和訳の確認と音声の復唱練習

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 空欄：該当しない
【健康科学部DP1 知識・理解】① 豊かな感性を持ち、相手の立場に立った思いやりを備え、他の人たちと相互に支え合うことができる。	
【健康科学部DP1 知識・理解】② 他者を尊重することができ、異なる文化、価値観の多様性を受け入れることができる。	◎
【健康科学部DP2 思考・判断】① 健康を回復する手助けとして、健康レベルに応じ	

て必要な知識・技術を用い、的確な医療の実践ができ、医療専門職として社会で貢献できる。

【健康科学部DP3 技能・表現】① 医療職としての知識や技術の向上を目指し、研鑽を続けることができる。

【健康科学部DP3 技能・表現】② 質の高い医療の実践のため、他の専門職との連携に配慮し、チーム医療の一員として力を発揮できる。

【健康科学部DP4 関心・意欲・態度】① 地域の医療の諸課題とその背景を理解し、地域医療に貢献することができる。

授業計画

第1回	担当教員	鄧 瑩 授業の導入 Unit 1 (May I Help You?)
	内容	教材紹介
第2回	担当教員	鄧 瑩 Unit 1 (May I Help You?)
	内容	初診受付の流れを学ぶ①
第3回	担当教員	鄧 瑩 Unit 1 (May I Help You?)
	内容	症状を伝える基本の表現を学ぶ
第4回	担当教員	鄧 瑩 Unit 2 (Where Do You Live?)
	内容	初診受付の流れを学ぶ②
第5回	担当教員	鄧 瑩 Unit 2 (Where Do You Live?)
	内容	初診登録に必要な表現を学ぶ
第6回	担当教員	鄧 瑩 Unit 2 (Where Do You Live?)
	内容	文法
第7回	担当教員	鄧 瑩 Unit3 (Do You Have an Insurance Card?)
	内容	初診受付の流れを学ぶ③
第8回	担当教員	鄧 瑩 Unit3 (Do You Have an Insurance Card?)
	内容	保険に関する表現を学ぶ
第9回	担当教員	鄧 瑩 Unit3 (Do You Have an Insurance Card?)
	内容	文法
第10回	担当教員	鄧 瑩 Unit 4 (What Department Do You Want to Visit?)
	内容	患者を案内する
第11回	担当教員	鄧 瑩 Unit 4 (What Department Do You Want to Visit?)
	内容	各診療科の名称を学ぶ
第12回	担当教員	鄧 瑩 Unit 4 (What Department Do You Want to Visit?)
	内容	文法
13	担当教員	鄧 瑩 Unit 5 (What Are Your Symptoms?)

第 回	内容	患者の症状を聞く
	担当教員	鄧 瑩 Unit 5 (What Are Your Symptoms?)
第14回	内容	風邪症状の表現を学ぶ
第15回	担当教員	鄧 瑩 総合復習
	内容	まとめと期末試験の説明

評価方法とフィードバック方法

評価方法

プレイスメントテスト (20%)、定期試験 (40%)、小テスト (20%)、授業参加と課題 (20%) の合計 (100%) で評価します。

フィードバック方法

小テスト：講義内で解説します。

定期試験：問い合わせがある場合、可能な限り対応します。

教科書

Check-Up! Basic English for Nursing (基礎から学ぶ やさしい看護英語)
樋口晶彦 / John Tremarco 著

金星堂 ¥1,900円+税

参考書

適宜プリントを配布します。

オフィスアワー

質問などは授業の前後、もしくはメール (en-tou(at)ryotokuji-u.ac.jp) で随時受け付けます。
※ (at) は @ に置き換えて下さい。

その他

辞書を必ず持参すること (電子辞書可)。毎回予習・復習が必要です。

講義コード	0004814
講義名	総合英語I[木2]
(副題)	
代表ナンバリングコード	50L01-1019FR-12
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

Kristine A.Recabar

総合学習目標

This course is an introductory to Medical English in which vocabulary, reading and listening activities will be incorporated. Visual materials to further explain the situation would also be utilized with appropriate explanation. Application of the lessons learned is the main approach while linking them to actual situation experience. After this class, students are expected to be more accustomed to medical terms and can use them in a proper situation.

この授業は単語、リーディング、リスニングを通して初級医療英語を学ぶことを目的とする。また、授業内容がどのようなシーンで活用できるのか理解するため、視覚教材を使用する。履修の後には、実際の医療シーンにおいて、英語表現を使用できるようにする。

ディプロマポリシー健康科学部DP1-②,DP2-①

個別学習目標

1. To familiarize jargons related to the medical field.
2. To learn how to incorporate words in actual usage through situations.
3. To be able to have a full grasp of the language and application when the situation demands.

- 1.医療分野に関連する専門用語を理解する。
- 2.状況を通して実際の使用法に単語を組み込む方法を学ぶ。
- 3.状況に応じて、言語とアプリケーションを完全に把握できるようにする。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 空欄：該当しない
【健康科学部DP1 知識・理解】① 豊かな感性を持ち、相手の立場に立った思いやりを備え、他の人たちと相互に支え合うことができる。	◎
【健康科学部DP1 知識・理解】② 他者を尊重することができ、異なる文化、価値観の多様性を受け入れることができる。	◎
【健康科学部DP2 思考・判断】① 健康を回復する手助けとして、健康レベルに応じて必要な知識・技術を用い、的確な医療の実践ができ、医療専門職として社会で貢献	◎

できる。	
【健康科学部DP3 技能・表現】① 医療職としての知識や技術の向上を目指し、研鑽を続けることができる。	◎
【健康科学部DP3 技能・表現】② 質の高い医療の実践のため、他の専門職との連携に配慮し、チーム医療の一員として力を発揮できる。	◎
【健康科学部DP4 関心・意欲・態度】① 地域の医療の諸課題とその背景を理解し、地域医療に貢献することができる。	◎

授業計画

第1回	担当教員	Introduction Unit 1 May I Help You?
	内容	Lesson Introduction Vocabulary and Listening AL: A
第2回	担当教員	Unit 1 May I Help You?
	内容	Reading and Further Study AL: A
第3回	担当教員	Unit 2 Where Do You Live?
	内容	Vocabulary and Listening AL: A
第4回	担当教員	Unit 2 Where Do You Live?
	内容	Reading and Further Study AL: A
第5回	担当教員	Unit 3 Do You Have an Insurance Card?
	内容	Vocabulary and Listening AL: A
第6回	担当教員	Unit 3 Do You Have an Insurance Card?
	内容	Reading and Further Study AL: A
第7回	担当教員	Quiz Unit 1-3 Unit 4 What Department Do You Want to Visit?
	内容	Vocabulary Discussion AL: A
第8回	担当教員	Quiz Review Unit 4 What Department Do You Want to Visit?
	内容	Reading Further Study AL: B
第9回	担当教員	Unit 5 What Are Your Symptoms?
	内容	Vocabulary and Listening AL: B
第10回	担当教員	Kristine A.Recabar Unit 5 What Are Your Symptoms?
	内容	Reading and Further Study AL: B
第11回	担当教員	Unit 6 Take One Tablet Three Times a Day
	内容	Vocabulary and Listening AL: B
	担当教員	Unit 6 Take One Tablet Three Times a Day

第12回	内容	Reading and Further Study AL: B
第13回	担当教員	Short Quiz Unit 4-6 Unit 7 You're Suffering from Hay Fever
	内容	AL: C
第14回	担当教員	Review of Quiz Unit 7 You're Suffering from Hay Fever
	内容	AL:C
第15回	担当教員	Comprehensive Review Unit 1-7
	内容	AL: BC

評価方法とフィードバック方法

Final Exam(40%) Short Quiz (30%) Vocabulary Test (10%) Placement Test (20%) a total of 100%.

期末試験 (40%)、小テスト(30%) 語彙テスト(10%) プレイメントテスト (20%) の合計 (100%) で評価する。

教科書

テキスト :

Check-Up

Basic English for Nursing

Author: Akihiko Higuchi/ John Tremarco

定価: ¥ 1,900 (税込 ¥ 2,090)

Kinseido Publishing Co., Ltd

参考書

Additional material and sources will be provided. The Text is NOT the only source of this class. Other in-class activities will be held for application of lessons discussed.

教科書に加えて授業内で配布する追加資料があります。

オフィスアワー

I'm in the university on Wednesday and Thursday only.

実務経験の有無

No.

その他

Others:

Attendance is important; however, participation is highly encouraged.

Please bring your dictionary to class. Smartphones are not allowed in class.

I'm in the university on Wednesday and Thursday only.

Should you have any questions, please email me at kristine-a-recabar@ryotokuji-u.ac.jp.

授業に出席するだけでなく、積極的な参加を推奨しています。辞書を持参してください。携帯電話の辞書は使用不可とする。質問などは kristine-a-recabar@ryotokuji-u.ac.jp にいつでもメールしてください

講義コード	0004815
講義名	総合英語I[木2]
(副題)	
代表ナンバリングコード	50L01-1019FR-13
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

出縄 貴良

総合学習目標

医療現場でよく使われる語彙やフレーズを覚える。また、英語音声のルールを覚え、そのような語彙やフレーズが英語で発話されても聞き取れるようにする。同時にそれらを自ら発話できるようにする。その際、片仮名ではなくしっかりと英語の音声ルールに則って発話するようにする。必要に応じてペアワークやグループワークを行うので、その際にはできる限り英語を用いること。また、リーディングを通して基本的な文法の復習も行う。

個別学習目標

医療現場で使える英語を身に付けるということが目標です。その為、必要な語彙は覚えなければいけません。また、実際にコミュニケーションを取る為には相手の言っていることが理解できなければなりません。従って、リスニングにはそれなりの時間を割きます。その時に英語音声のルールも学びます。同時によく使われるフレーズなどを実際に発話してもらいます。

準備学修

事後学習について

- ・授業内で行ったListening Activityの箇所をもう一度音声を聞きテキストを見ながら正確に発音する練習を行う。最終的にテキストを見ずに音声を聞いただけで再生できるようになるまで繰り返す（60分）
- ・テキストに出てきた単語をまとめ意味を覚える（45分）

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 空欄：該当しない
【健康科学部DP1 知識・理解】① 豊かな感性を持ち、相手の立場に立った思いやりを備え、他の人たちと相互に支え合うことができる。	
【健康科学部DP1 知識・理解】② 他者を尊重することができ、異なる文化、価値観の多様性を受け入れることができる。	◎
【健康科学部DP2 思考・判断】① 健康を回復する手助けとして、健康レベルに応じて必要な知識・技術を用い、的確な医療の実践ができ、医療専門職として社会で貢献できる。	
【健康科学部DP3 技能・表現】① 医療職としての知識や技術の向上を目指し、研鑽	

を続けることができる。	○
【健康科学部DP3 技能・表現】②質の高い医療の実践のため、他の専門職との連携に配慮し、チーム医療の一員として力を発揮できる。	
【健康科学部DP4 関心・意欲・態度】①地域の医療の諸課題とその背景を理解し、地域医療に貢献することができる。	

授業計画

第1回	担当教員	出縄 貴良 ガイダンス
	内容	ガイダンス, 英語の音声の基礎の確認 AL: B
第2回	担当教員	出縄 貴良 Unit 1 First Visit, アルファベットのルール1
	内容	Vocabulary Study, Listening Activity アルファベットV, R, Lの発音について
第3回	担当教員	出縄 貴良 Unit 1 First Visit, アルファベットのルール2
	内容	Listening Activity 会話練習 アルファベットS, Sh, Thの発音について AL: B
第4回	担当教員	出縄 貴良 Unit 1 First Visit, 英語音声のルール1
	内容	Reading Activity 英語の文における音声のルールについて
第5回	担当教員	出縄 貴良 Unit 1 First Visit, 英語音声のルール2
	内容	Comprehension Questions 英語音声におけるリンキングについて
第6回	担当教員	出縄 貴良 Unit 2 At the Examination Room
	内容	Vocabulary Study Listening Activity 診察室で用いられる表現の確認
第7回	担当教員	出縄 貴良 Unit 2 At the Examination Room
	内容	Listening Activity, 会話練習 英語での体温・血圧の表し方 AL: B
第8回	担当教員	出縄 貴良 Unit 2 At the Examination Room
	内容	Reading Activity, Comprehension Questions, Writing Activity ノロウイルスについて
第9回	担当教員	出縄 貴良 Unit 3 Flu Symptoms
	内容	Vocabulary Study, Listening Activity 病状を表す語句
第10回	担当教員	出縄 貴良 Unit 3 Flu Symptoms
	内容	Listening Activity, 会話練習 英語で病状を伝える

		AL: B
第11回	担当教員	出縄 貴良 Unit 3 Flu Symptoms
	内容	Reading Activity, Comprehension Questions, Writing Activity タミフルについて
第12回	担当教員	出縄 貴良 Unit 4 Pain Problems
	内容	Vocabulary Study, Listening Activity 痛みの種類を表す語句
第13回	担当教員	出縄 貴良 Unit 4 Pain Problems
	内容	Listening Activity, 会話練習 英語で痛みを伝える AL: B
第14回	担当教員	出縄 貴良 Unit 4 Pain Problems
	内容	Reading Activity, Writing Activity 狂牛病について
第15回	担当教員	出縄 貴良 Unit 4 Pain Problems
	内容	Comprehension Questions, 学期末試験に向けての復習

評価方法とフィードバック方法

- ・ 学期末試験 60%
- ・ 単語テスト 20%
- ・ プレイスメントテスト20%

居眠り, 私語, その他授業に参加するうえで不適切だと考えられる行為は減点対象です。

【フィードバック方法】

- ・ 単語テスト：翌週の授業内で返却
- ・ 試験：個人研究室にて個別に対応

教科書

テキスト：Medical English Clinic (やさしい医療英語) Toshiaki Nishihara, Mayumi Nishihara, Tony Brown 著 センゲージラーニング 2,090円

参考書

なし

オフィスアワー

月曜日・金曜日のお昼休み 535研究室
その他随時在室時は対応します。

実務経験の有無

この科目は高等教育の実務経験を持つ教員が、その実務経験を活かして実践的教育を行っている科目です。

その他

第一回目の授業で、授業について詳しく説明します。必ず出席してください。

講義コード	0004816
講義名	総合英語I[木2]
(副題)	
代表ナンバリングコード	50L01-1019FR-14
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

林 響子

総合学習目標

高校段階までの学習内容を基礎として、「読む、聞く、書く、話す」という英語の4技能を伸ばし、英語で基礎的なコミュニケーションをとる力を養うことに重点を置く。主に医療分野に関する英文の読解を通じて、基礎となる文法、語彙、語法の増強を行うとともに、リスニングや発音練習を通じて英語の音にも習熟する。さらに、会話練習や基本的な英作文を行って英語で表現する力を身につける。

個別学習目標

- ・ 医療英語に特有の単語を理解し、使えるようにすること
- ・ リスニング力を向上させること
- ・ 高校までで学んだ基礎的な英文法を理解すること
- ・ 医療英語に関する文章の内容を正しく理解できるようになること

また、Unit終了時に小テストを行い、理解度の確認をはかる。

準備学修

毎回指定された部分の予習（単語調べと和訳：30分程度）と復習（和訳の確認と音声を聞き返す：30分程度）をしっかりと行うことが必要となる

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 空欄：該当しない
【健康科学部DP1 知識・理解】① 豊かな感性を持ち、相手の立場に立った思いやりを備え、他の人たちと相互に支え合うことができる。	○
【健康科学部DP1 知識・理解】② 他者を尊重することができ、異なる文化、価値観の多様性を受け入れることができる。	◎
【健康科学部DP2 思考・判断】① 健康を回復する手助けとして、健康レベルに応じて必要な知識・技術を用い、的確な医療の実践ができ、医療専門職として社会で貢献できる。	
【健康科学部DP3 技能・表現】① 医療職としての知識や技術の向上を目指し、研鑽を続けることができる。	

【健康科学部DP3 技能・表現】②質の高い医療の実践のため、他の専門職との連携に配慮し、チーム医療の一員として力を発揮できる。	◎
【健康科学部DP4 関心・意欲・態度】①地域の医療の諸課題とその背景を理解し、地域医療に貢献することができる。	

授業計画

第1回	担当教員	林 響子 授業の導入
	内容	英語で自己紹介、授業の説明
第2回	担当教員	林 響子 Unit 1 May I Help you? 初心受付の流れを学ぶ① 症状を伝える基本の表現を学ぶ
	内容	Listening & Writing
第3回	担当教員	林 響子 Unit 1 May I Help you? 初心受付の流れを学ぶ① 症状を伝える基本の表現を学ぶ
	内容	Reading
第4回	担当教員	林 響子 Unit 1 May I Help you? 初心受付の流れを学ぶ① 症状を伝える基本の表現を学ぶ
	内容	Further Study
第5回	担当教員	林 響子 Unit 2 Where do you Live? 初心受付の流れを学ぶ② 初診登録に必要な表現を学ぶ
	内容	Listening & Writing
第6回	担当教員	林 響子 Unit 2 Where do you Live? 初心受付の流れを学ぶ② 初診登録に必要な表現を学ぶ
	内容	Reading
第7回	担当教員	林 響子 Unit 2 Where do you Live? 初心受付の流れを学ぶ② 初診登録に必要な表現を学ぶ
	内容	Further Study
第8回	担当教員	林 響子 Unit 3 Do you Have an Insurance Card? 初心受付の流れを学ぶ③ 保険に関する表現を学ぶ
	内容	Listening & Writing
第9回	担当教員	林 響子 Unit 3 Do you Have an Insurance Card? 初心受付の流れを学ぶ③ 保険に関する表現を学ぶ
	内容	Reading
第10回	担当教員	林 響子 Unit 3 Do you Have an Insurance Card? 初心受付の流れを学ぶ③ 保険に関する表現を学ぶ
	内容	Further Study
第11回	担当教員	林 響子 Unit 4 What Department do you Want to Visit? 患者を案内する 各診療科の名称を学ぶ
	内容	Listening & Writing
		林 響子

第12回	担当教員	Unit 4 What Department do you Want to Visit? 患者を案内する 各診療科の名称を学ぶ
	内容	Reading
第13回	担当教員	林 響子 Unit 4 What Department do you Want to Visit? 患者を案内する 各診療科の名称を学ぶ
	内容	Further Study
第14回	担当教員	林 響子 Unit 5 What are your Symptoms? 患者の症状を聞く 風邪症状の表現を学ぶ
	内容	Listening & Writing
第15回	担当教員	林 響子 学期のまとめ
	内容	総合復習

評価方法とフィードバック方法

総合復習試験(50%)、小テスト(20%)、授業内での発表(10%)、プレイメントテスト (20%) の合計 (100%) で評価する。

すべての試験終了後にGoogle Classroomに解答を掲載する。

教科書

Check-Up! Basic English for Nursing (基礎から学ぶやさしい看護英語)

出版社:金星堂

著者:樋口晶彦ほか

定価:2200円

参考書

中学・高校6年間の英語をこの1冊でざっと復習する

出版社:KADOKAWA/中経出版

著者:稲田一

定価:1210円

オフィスアワー

木曜4限・502研究室

実務経験の有無

この科目は中等教育機関・高等教育機関で教員としての実務経験を有する者がその経験を活かして実践的教育を行っているものである。

その他

英和辞典を毎回の授業に必ず持参すること。電子辞書を使用する者は、使い方を理解した上で使用すること。携帯電話等の辞書は一切認めない。授業態度の悪い者、教科書や辞書を持参しない者は授業内での発表点を加算しない。

講義コード	0004908
講義名	総合英語II[木2]
(副題)	
代表ナンバリングコード	50L01-1020SR-06
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

Kristine A.Recabar

総合学習目標

This course is a continuation of Medical English that we discussed in Semester 1 in which vocabulary, reading and listening activities will be incorporated. Visual materials to further explain the situation would also be utilized with appropriate explanation. Application of the lessons learned is the main approach while linking them to actual situation experience. After this class, students are expected to be more accustomed to medical terms and can use them in a proper situation.

この授業は単語、リーディング、リスニングを通して初級医療英語を学ぶことを目的とする。また、授業内容がどのようなシーンで活用できるのか理解するため、視覚教材を使用する。履修の後には、実際の医療シーンにおいて、英語表現を使用できるようにする。

ディプロマポリシー健康科学部DP1-②,DP2-①

個別学習目標

1. To familiarize jargons related to the medical field.
2. To learn how to incorporate words in actual usage through situations.
3. To be able to have a full grasp of the language and application when the situation demands.

- 1.医療分野に関連する専門用語を理解する。
- 2.状況を通して実際の使用方法に単語を組み込む方法を学ぶ。
- 3.状況に応じて、言語とアプリケーションを完全に把握できるようにする。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 空欄：該当しない
【健康科学部DP1 知識・理解】① 豊かな感性を持ち、相手の立場に立った思いやりを備え、他の人たちと相互に支え合うことができる。	◎
【健康科学部DP1 知識・理解】② 他者を尊重することができ、異なる文化、価値観の多様性を受け入れることができる。	◎
【健康科学部DP2 思考・判断】① 健康を回復する手助けとして、健康レベルに応じて必要な知識・技術を用い、的確な医療の実践ができ、医療専門職として社会で貢献	◎

できる。	
【健康科学部DP3 技能・表現】① 医療職としての知識や技術の向上を目指し、研鑽を続けることができる。	◎
【健康科学部DP3 技能・表現】② 質の高い医療の実践のため、他の専門職との連携に配慮し、チーム医療の一員として力を発揮できる。	◎
【健康科学部DP4 関心・意欲・態度】① 地域の医療の諸課題とその背景を理解し、地域医療に貢献することができる。	◎

授業計画

第1回	担当教員	Kristine A.Recabar Introduction Unit 8 What Kind of Pain Is It?
	内容	Vocabulary and Listening AL: A
第2回	担当教員	Unit 8 What Kind of Pain Is It?
	内容	Reading and Further Study AL: A
第3回	担当教員	Unit 9 Let's Check Your Daily Activities
	内容	Vocabulary and Listening AL: A
第4回	担当教員	Unit 9 Let's Check Your Daily Activities
	内容	Reading and Further Study AL: A
第5回	担当教員	Unit 10 Let's Check Your Pulse and Blood Pressure
	内容	Vocabulary and Listening AL: A
第6回	担当教員	Unit 10 Let's Check Your Pulse and Blood Pressure
	内容	Reading and Further Study AL: A
第7回	担当教員	Short Quiz Unit 8-10 Unit 11 It's Going to Be a Long Day!
	内容	Vocabulary Discussion AL: B
第8回	担当教員	Quiz Review Unit 11 It's Going to Be a Long Day!
	内容	Listening, Reading and Further Study AL: B
第9回	担当教員	Unit 12 You Have High Blood Sugar Levels
	内容	Vocabulary and Listening AL: B
第10回	担当教員	Unit 12 You Have High Blood Sugar Levels
	内容	Reading and Further Study AL: A
第11回	担当教員	Unit 13 You need to Control Your Diet
	内容	Vocabulary and Listening AL: A
第12回	担当教員	Unit 13 You need to Control Your Diet
	内容	Reading and Further Study AL: B

第13回	担当教員	Short Quiz Unit 11-13 Unit 14 You Need to Be Hospitalized
	内容	AL: C
第14回	担当教員	Quiz Review Unit 14 You Need to Be Hospitalized
	内容	AL: C
第15回	担当教員	Comprehensive Review Unit 8-14
	内容	AL:C

評価方法とフィードバック方法

Final Exam(40%) Short Quiz (30%) Vocabulary Test (10%) Placement Test (20%) a total of 100%.

期末試験 (40%)、小テスト(30%) 語彙テスト(10%) プレイスメントテスト (20%) の合計 (100%) で評価する。

教科書

テキスト :

Check-Up

Basic English for Nursing

Author: Akihiko Higuchi/ John Tremarco

定価: ¥ 1,900 (税込 ¥ 2,090)

Kinseido Publishing Co., Ltd

参考書

Additional material and sources will be provided. The Text is NOT the only source of this class. Other in-class activities will be held for application of lessons discussed.

教科書に加えて授業内で配布する追加資料があります。

オフィスアワー

I'm in the university on Wednesday and Thursday only.

実務経験の有無

No.

その他

Others:

Attendance is important; however, participation is highly encouraged.

Please bring your dictionary to class. Smartphones are not allowed in class.

I'm in the university on Wednesday and Thursday only.

Should you have any questions, please email me at kristine-a-recabar@ryotokuji-u.ac.jp.

授業に出席するだけでなく、積極的な参加を推奨しています。辞書を持参してください。携帯電話の辞書は使用不可とする。質問などは kristine-a-recabar@ryotokuji-u.ac.jp にいつでもメールしてください。

講義コード	0004909
講義名	総合英語II[木2]
(副題)	
代表ナンバリングコード	50L01-1020SR-07
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

鄧 瑩

総合学習目標

実際の医療の現場で用いられる英語表現・語彙を学び、リスニングや会話の練習をし、医療に関する英文を理解することで、医療の現場で意志の疎通ができる英語力を身につけます。特に医療従事者として英語で対応し、症状を聞き、説明できるようになることを目標とします。ただ、それだけでなく英語の文法や基本的な英作文など「読む、聞く、書く、話す」という英語の4技能の基本的な力を総合的に伸ばし、英語で表現する力を身につけます。

個別学習目標

- ・医療現場で使用される基本的な語彙や表現を身に付ける。
- ・簡単な会話練習を通して、医療従事者として基本的なコミュニケーションができるように練習する。
- ・比較的わかりやすい医療に関わる英文を読んだり聞き取ったりできるようになる。
- ・英語の基本的な仕組みや文法を理解し、短い英文で基本的な表現ができるようになる。

※ Unit終了時に小テストを行い、理解度の確認をはかる。

準備学修

- ・予習（30分程度）：教科書に目を通し、分からない単語の意味を調べる
- ・復習（30分程度）：和訳の確認と音声の復唱練習

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 空欄：該当しない
【健康科学部DP1 知識・理解】① 豊かな感性を持ち、相手の立場に立った思いやりを備え、他の人たちと相互に支え合うことができる。	
【健康科学部DP1 知識・理解】② 他者を尊重することができ、異なる文化、価値観の多様性を受け入れることができる。	◎
【健康科学部DP2 思考・判断】① 健康を回復する手助けとして、健康レベルに応じ	

て必要な知識・技術を用い、的確な医療の実践ができ、医療専門職として社会で貢献できる。

【健康科学部DP3 技能・表現】① 医療職としての知識や技術の向上を目指し、研鑽を続けることができる。

【健康科学部DP3 技能・表現】② 質の高い医療の実践のため、他の専門職との連携に配慮し、チーム医療の一員として力を発揮できる。

【健康科学部DP4 関心・意欲・態度】① 地域の医療の諸課題とその背景を理解し、地域医療に貢献することができる。

授業計画

第1回	担当教員	鄧 瑩 Unit 6 (Take One Tablet Three Times a Day)
	内容	薬の処方について学ぶ
第2回	担当教員	鄧 瑩 Unit 6 (Take One Tablet Three Times a Day)
	内容	服薬指示の表現を学ぶ
第3回	担当教員	鄧 瑩 Unit 6 (Take One Tablet Three Times a Day)
	内容	文法
第4回	担当教員	鄧 瑩 Unit 7 (You're Suffering from Hay Fever)
	内容	診察の流れを学ぶ
第5回	担当教員	鄧 瑩 Unit 7 (You're Suffering from Hay Fever)
	内容	アレルギー症状の表現を学ぶ
第6回	担当教員	鄧 瑩 Unit 7 (You're Suffering from Hay Fever)
	内容	文法
第7回	担当教員	鄧 瑩 Unit 8 (What Kind of Pain Is It?)
	内容	外科診療の流れを学ぶ
第8回	担当教員	鄧 瑩 Unit 8 (What Kind of Pain Is It?)
	内容	痛みを表す表現を学ぶ
第9回	担当教員	鄧 瑩 Unit 8 (What Kind of Pain Is It?)
	内容	文法
第10回	担当教員	鄧 瑩 Unit 9 (Let's Check Your Daily Activities)
	内容	問診の流れを学ぶ
第11回	担当教員	鄧 瑩 Unit 9 (Let's Check Your Daily Activities)
	内容	生活習慣を伝える表現を学ぶ
第12回	担当教員	鄧 瑩 Unit 9 (Let's Check Your Daily Activities)
	内容	文法
第13回	担当教員	鄧 瑩 Unit 10 (Let's Check Your Pulse and Blood Pressure)

	内容	診察前の計測をおこなう
第14回	担当教員	鄧 瑩 Unit 10 (Let's Check Your Pulse and Blood Pressure)
	内容	計測に関する表現を学ぶ
第15回	担当教員	鄧 瑩 総合復習
	内容	まとめと期末試験の説明

評価方法とフィードバック方法

評価方法

プレイスメントテスト（20%）、定期試験（40%）、小テスト（20%）、授業参加と課題（20%）の合計（100%）で評価します。

フィードバック方法

小テスト：講義内で解説します。

定期試験：問い合わせがある場合、可能な限り対応します。

教科書

Check-Up! Basic English for Nursing（基礎から学ぶ やさしい看護英語）

樋口晶彦 / John Tremarco 著

金星堂 ¥1,900円+税

参考書

適宜プリントを配布します。

オフィスアワー

質問などは授業の前後、もしくはメール（en-tou(at)ryotokuji-u.ac.jp）で随時受け付けます。

※ (at) は @ に置き換えて下さい。

その他

辞書を必ず持参すること（電子辞書可）。毎回予習・復習が必要です。

講義コード	0004910
講義名	総合英語II[木2]
(副題)	
代表ナンバリングコード	50L01-1020SR-08
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

出縄 貴良

総合学習目標

医療現場でよく使われる語彙やフレーズを覚える。また、英語音声のルールを覚え、そのような語彙やフレーズが英語で発話されても聞き取れるようにする。同時にそれらを自ら発話できるようにする。その際、片仮名ではなくしっかりと英語の音声ルールに則って発話するようにする。必要に応じてペアワークやグループワークを行うので、その際にはできる限り英語を用いること。また、リーディングを通して基本的な文法の復習も行う。

個別学習目標

医療現場で使える英語を身に付けるということが目標です。その為、必要な語彙は覚えなければいけません。また、実際にコミュニケーションを取る為には相手の言っていることが理解できなければなりません。従って、リスニングにはそれなりの時間を割きます。その時に英語音声のルールも学びます。同時によく使われるフレーズなどを実際に発話してもらいます。

準備学修

事後学習について

- ・授業内で行ったListening Activityの箇所をもう一度音声を聞きテキストを見ながら正確に発音する練習を行う。最終的にテキストを見ずに音声を聞いただけで再生できるようになるまで繰り返す（60分）
- ・テキストに出てきた単語をまとめ意味を覚える（45分）

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 空欄：該当しない
【健康科学部DP1 知識・理解】① 豊かな感性を持ち、相手の立場に立った思いやりを備え、他の人たちと相互に支え合うことができる。	
【健康科学部DP1 知識・理解】② 他者を尊重することができ、異なる文化、価値観の多様性を受け入れることができる。	◎
【健康科学部DP2 思考・判断】① 健康を回復する手助けとして、健康レベルに応じて必要な知識・技術を用い、的確な医療の実践ができ、医療専門職として社会で貢献できる。	
【健康科学部DP3 技能・表現】① 医療職としての知識や技術の向上を目指し、研鑽	

を続けることができる。	○
【健康科学部DP3 技能・表現】②質の高い医療の実践のため、他の専門職との連携に配慮し、チーム医療の一員として力を発揮できる。	
【健康科学部DP4 関心・意欲・態度】①地域の医療の諸課題とその背景を理解し、地域医療に貢献することができる。	

授業計画

第1回	担当教員	出縄 貴良 ガイダンス
	内容	後期授業についてのガイダンス 前期で学習した英語音声のルールの確認
第2回	担当教員	出縄 貴良 Unit 5 Stomachache
	内容	Vocabulary Study, Listening Activity 尿検査・胃腸科に関する語彙や表現の確認
第3回	担当教員	出縄 貴良 Unit 5 Stomachache
	内容	Listening Activity、会話練習、Writing Activity 胃腸の不調を英語で伝える AL: B
第4回	担当教員	出縄 貴良 Unit 5 Stomachache
	内容	Reading Activity, Comprehension Questions 摂食障害について
第5回	担当教員	出縄 貴良 Unit 6 Abdominal Pain
	内容	Vocabulary Study, Listening Activity 腹痛に関する語句の確認
第6回	担当教員	出縄 貴良 Unit 6 Abdominal Pain
	内容	Listening Activity、会話練習、Writing Activity 腹痛を英語で伝える AL: B
第7回	担当教員	出縄 貴良 Unit 6 Abdominal Pain
	内容	Reading Activity, Comprehension Questions 内分泌系攪乱物質について
第8回	担当教員	出縄 貴良 Unit 7 Urinalysis
	内容	Vocabulary Study, Listening Activity 腎機能や肝機能を調べる際に必要な語句の確認
第9回	担当教員	出縄 貴良 Unit 7 Urinalysis
	内容	Listening Activity、会話練習、Writing Activity 患者に尿を取ってきてもらう AL: B
第10回	担当教員	出縄 貴良 Unit 7 Urinalysis
	内容	Reading Activity, Comprehension Questions 市販の薬について

第11回	担当教員	出縄 貴良 Unit 10 Injury
	内容	Vocabulary Study, Listening Activity 日常生活における怪我に関する語句の確認
第12回	担当教員	出縄 貴良 Unit 10 Injury
	内容	Listening Activity、会話練習、Writing Activity 肘を出血している患者の対応 AL: B
第13回	担当教員	出縄 貴良 Unit 10 Injury
	内容	Reading Activity, Comprehension Questions ウォーキングについて
第14回	担当教員	出縄 貴良 Unit 8 Cholesterol
	内容	Vocabulary Study, Listening Activity メタボリックシンドロームに関する語句
第15回	担当教員	出縄 貴良 Unit 8 Cholesterol
	内容	Listening Activity 健康診断の結果を取りに行く

評価方法とフィードバック方法

- ・学期末試験 60%
- ・単語テスト 20%
- ・プレイスメントテスト20%

居眠り, 私語, その他授業に参加するうえで不適切だと考えられる行為は減点対象です。

【フィードバック方法】

- ・単語テスト：翌週の授業内で返却
- ・試験：個人研究室にて個別に対応

教科書

テキスト：Medical English Clinic (やさしい医療英語) Toshiaki Nishihara, Mayumi Nishihara, Tony Brown 著 センゲージラーニング 2,090円

参考書

なし

オフィスアワー

水曜日・金曜日のお昼休み 535研究室
その他随時在室時は対応します。

実務経験の有無

この科目は高等教育の実務経験を持つ教員が、その実務経験を活かして実践的教育を行っている科目です。

その他

第一回目の授業で、授業について詳しく説明します。必ず出席してください。

講義コード	0004911
講義名	総合英語II[木2]
(副題)	
代表ナンバリングコード	50L01-1020SR-09
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

林 響子

総合学習目標

「総合英語I」での学習内容を踏まえて、医療分野で用いられる英語表現を理解し、英語でコミュニケーションをとることができるよう総合的な英語力を身につける。そのために、医療現場で使用されると想定される英文を中心に読解練習とリスニング練習を行い、医療に関わる基礎的な語彙、表現方法を学ぶ。さらに、これらの英語表現を使った基礎的な英作文や会話練習を行い、医療に携わる中で基本的な内容を英語で理解し伝達できる総合的な英語力を身につける。

個別学習目標

- ・医療英語に特有の単語を理解し、使えるようにすること
- ・リスニング力を向上させること
- ・高校までで学んだ基礎的な英文法を理解すること
- ・医療英語に関する文章の内容を正しく理解できるようになること
- ・クラスメイトと協力して課題を解決する力をつけること

また、Unit終了時に小テストを行い、理解度の確認をはかる。

準備学修

毎回指定された部分の予習（単語調べと和訳：30分程度）と復習（和訳の確認と音声を聞き返す：30分程度）をしっかりと行うことが必要となる。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 空欄：該当しない
【健康科学部DP1 知識・理解】① 豊かな感性を持ち、相手の立場に立った思いやりを備え、他の人たちと相互に支え合うことができる。	◎
【健康科学部DP1 知識・理解】② 他者を尊重することができ、異なる文化、価値観の多様性を受け入れることができる。	◎
【健康科学部DP2 思考・判断】① 健康を回復する手助けとして、健康レベルに応じた必要な知識・技術を用い、的確な医療の実践ができ、医療専門職として社会で貢献できる。	

【健康科学部DP3 技能・表現】① 医療職としての知識や技術の向上を目指し、研鑽を続けることができる。	
【健康科学部DP3 技能・表現】② 質の高い医療の実践のため、他の専門職との連携に配慮し、チーム医療の一員として力を発揮できる。	◎
【健康科学部DP4 関心・意欲・態度】① 地域の医療の諸課題とその背景を理解し、地域医療に貢献することができる。	

授業計画

第1回	担当教員	林 響子 Unit 5 What are your Symptoms? 患者の症状を聞く 風邪症状の表現を学ぶ
	内容	Reading AL:B
第2回	担当教員	林 響子 Unit 5 What are your Symptoms? 患者の症状を聞く 風邪症状の表現を学ぶ
	内容	Further Study AL:B
第3回	担当教員	林 響子 Unit 6 Take One Tablet Three Times a Day 薬の処方について学ぶ 服薬指導の表現を学ぶ
	内容	Listening & Writing AL:B
第4回	担当教員	林 響子 Unit 6 Take One Tablet Three Times a Day 薬の処方について学ぶ 服薬指導の表現を学ぶ
	内容	Reading AL:B
第5回	担当教員	林 響子 Unit 6 Take One Tablet Three Times a Day 薬の処方について学ぶ 服薬指導の表現を学ぶ
	内容	Further Study AL:B
第6回	担当教員	林 響子 Unit 7 You're Suffering from Hay Fever 診察の流れを学ぶ アレルギー症状の表現を学ぶ
	内容	Listening & Writing AL:B
第7回	担当教員	林 響子 Unit 7 You're Suffering from Hay Fever 診察の流れを学ぶ アレルギー症状の表現を学ぶ
	内容	Reading AL:B
第8回	担当教員	林 響子 Unit 7 You're Suffering from Hay Fever 診察の流れを学ぶ アレルギー症状の表現を学ぶ
	内容	Further Study AL:B
第9回	担当教員	林 響子 Unit 8 What Kind of Pain is it? 外科診療の流れを学ぶ 痛みを表す表現を学ぶ
	内容	Listening & Writing AL:B
第10回	担当教員	林 響子 Unit 8 What Kind of Pain is it? 外科診療の流れを学ぶ 痛みを表す表現を学ぶ
	内容	Reading AL:B
第11回	担当教員	林 響子 Unit 8 What Kind of Pain is it? 外科診療の流れを学ぶ 痛みを表す表現を学ぶ
	内容	Further Study AL:B
第12回	担当教員	林 響子 Unit 9 Let's Check your Daily Activities 問診の流れを学ぶ 生活習慣を伝える表

		現を学ぶ
	内容	Listening & Writing AL:B
第13回	担当教員	林 響子 Unit 9 Let's Check your Daily Activities 問診の流れを学ぶ 生活習慣を伝える表現を学ぶ
	内容	Reading AL:B
第14回	担当教員	林 響子 Unit 9 Let's Check your Daily Activities 問診の流れを学ぶ 生活習慣を伝える表現を学ぶ
	内容	Further Study AL:B
第15回	担当教員	林 響子 学期のまとめ
	内容	総合復習

評価方法とフィードバック方法

総合復習試験(50%)、小テスト(20%)、授業内での発表(10%)、プレイスメントテスト (20%) の合計(100%)で評価する。

すべての試験終了後にGoogle Classroomに解答を掲載する。

教科書

Check-Up! Basic English for Nursing (基礎から学ぶやさしい看護英語)

出版社:金星堂

著者:樋口晶彦ほか

定価:2200円

参考書

中学・高校6年間の英語をこの1冊でざっと復習する

出版社:KADOKAWA/中経出版

著者:稲田一

定価:1210円

オフィスアワー

木曜4限・502研究室

実務経験の有無

この科目は中等教育機関・高等教育機関で教員としての実務経験を有する者がその経験を活かして実践的教育を行っているものである。

その他

英和辞典を毎回の授業に必ず持参すること。電子辞書を使用する者は、使い方を理解した上で使用すること。携帯電話等の辞書は一切認めない。授業態度の悪い者、教科書や辞書を持参しない者は授業内での発表点を加算しない。

講義コード	0005203
講義名	芸術表現I（造形の感性と創造）〔整〕
(副題)	金森クラス
代表ナンバリングコード	50S01-1021SE-02
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	選択
担当教員	

氏名

金森 昭憲

総合学習目標

この講座は基本的な造形表現や、アートを通じたコミュニケーションについて学んでいく。学生各々が心地よさや満たされた感情に気づき、生きる活力を取り戻していくことを目指していく。実際に手を動かし、グループワークを通じて、参加者全員が身近なものとして創作を体感し、芸術への理解を深めることを目標とする。

個別学習目標

1. 水彩画の特性を理解し、基本的な描写ができる。
2. デッサンを学び、基本的な描写ができる。
3. 自らの価値観で美を発見し、それを視覚化できる。
4. 完成した作品を皆で発表し、個性の違いを知ることができる。
5. 様々な課題を通して、感性と創造力を養うことができる。

準備学修

事前に説明された課題については次の授業までに準備してくること。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 空欄：該当しない
【健康科学部DP1 知識・理解】① 豊かな感性を持ち、相手の立場に立った思いやりを備え、他の人たちと相互に支え合うことができる。	◎
【健康科学部DP1 知識・理解】② 他者を尊重することができ、異なる文化、価値観の多様性を受け入れることができる。	◎
【健康科学部DP2 思考・判断】① 健康を回復する手助けとして、健康レベルに応じて必要な知識・技術を用い、的確な医療の実践ができ、医療専門職として社会で貢献できる。	
【健康科学部DP3 技能・表現】① 医療職としての知識や技術の向上を目指し、研鑽を続けることができる。	
【健康科学部DP3 技能・表現】② 質の高い医療の実践のため、他の専門職との連携に配慮し、チーム医療の一員として力を発揮できる。	

【健康科学部DP4 関心・意欲・態度】①地域の医療の諸課題とその背景を理解し、地域医療に貢献することができる。

授業計画

第1回	担当教員	金森 昭憲 ガイダンス
	内容	授業概要の説明
第2回	担当教員	金森 昭憲 名画から学ぶ水彩画1
	内容	「模写」トレース・着彩
第3回	担当教員	金森 昭憲 名画から学ぶ水彩画2
	内容	「模写」着彩・仕上げ（細部の表現）
第4回	担当教員	金森 昭憲 初歩の鉛筆デッサン1
	内容	「静物デッサン」構図・描画
第5回	担当教員	金森 昭憲 初歩の鉛筆デッサン2
	内容	「静物デッサン」描画（明暗表現）・仕上げ
第6回	担当教員	金森 昭憲 フラッグアート1
	内容	「旗の制作」デザインの選定・下書き・着彩
第7回	担当教員	金森 昭憲 フラッグアート2
	内容	「旗の制作」着彩・仕上げ
第8回	担当教員	金森 昭憲 アクリル絵具で描く静物画1
	内容	「静物着彩」構図・下書き・着彩
第9回	担当教員	金森 昭憲 アクリル絵具で描く静物画2
	内容	「静物着彩」着彩・仕上げ
第10回	担当教員	金森 昭憲 小さな版画制作1
	内容	「消しゴムはんこ」図案の選定・彫り
第11回	担当教員	金森 昭憲 小さな版画制作2
	内容	「消しゴムはんこ」彫り・試し刷り・完成
第12回	担当教員	金森 昭憲 アーティストに学ぶ1
	内容	画像を使った絵画解説
第13回	担当教員	金森 昭憲 アーティストに学ぶ2
	内容	アートを理解するための映画鑑賞（感想文の提出）
第14回	担当教員	金森 昭憲 アクリル絵具で描く静物画3
	内容	「絵画構成」（自分でモチーフを選ぶ）構図・下書き・着彩
第15回	担当教員	金森 昭憲 アクリル絵具で描く静物画4
	内容	

	内容	「絵画構成」着彩・描き込み・完成
評価方法とフィードバック方法		
提出課題：その都度解説、講評する。 提出課題100% [金森]		
教科書		
指定なし。配布資料を用いる。		
参考書		
指定なし。配布資料を用いる。		
オフィスアワー		
質問等は授業の前後で受け付ける。		
実務経験の有無		
この科目は実務経験を有する教員がその経歴を活かし、美術教育を行っている。		
その他		
適宜プリント資料を配布する。 履修希望者多数の場合は抽選になります。		

講義コード	0005207
講義名	芸術表現I (造形の感性と創造) [整]
(副題)	芝田クラス
代表ナンバリングコード	50S01-1021SE-05
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	選択
担当教員	

氏名

芝田 雅子

総合学習目標

チョークアート作品の製作、鑑賞を通じて人間性を深め、コミュニケーション能力を高める。アートが与える感情への影響なども考慮しながら、良好な人間関係を構築する上で、場面に適したアートの活用ができるようになることを目指していく。人の肌に絵を描くボディペイントについても触れながら、多様な芸術への興味、理解を深める。

-DP3①

個別学習目標

1. チョークアートの概要を理解する。
2. 色彩が持つ特徴や感情に与える影響を理解し、カラーチャートについて理解し作製できる。
3. チョークアートの技法を理解し、説明できる。
4. チョークアートの技法を用いてテーマに沿った作品を製作できる。
5. ボディペイントの概要を理解することにより、医療の現場におけるコミュニケーションに生かすことができる。
6. 自分の思いを表現し作品を通して伝え、他の作品の作者の思いを理解し共感できる。

準備学修

事前に説明された課題については次の授業までに準備してくること。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を	◎

持つ。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	

授業計画

第1回	担当教員	芝田 雅子 ①ガイダンス ②チョークアート概要 ③カラーチャートのついて
	内容	①ガイダンス ・授業概要の説明 ・講師紹介 ②チョークアート概要 ・チョークアートの発祥など ③カラーチャートのついて ・色彩について
第2回	担当教員	芝田 雅子 ・カラーチャート製作 ・文字について
	内容	・グラデーションを意識した塗り方 ・様々なフォント
第3回	担当教員	芝田 雅子 ・文字について ・4種図形について
	内容	・グラデーションを意識した文字の塗り方 ・図形の塗り方
第4回	担当教員	芝田 雅子 ・4種図形の塗り方（応用）
	内容	・光と影を意識した立体感ある塗り方
第5回	担当教員	芝田 雅子 ・グラデーションを意識した塗り方I
	内容	・果物を描く①
第6回	担当教員	芝田 雅子 ・グラデーションを意識した塗り方II
	内容	・果物などを描く②（第5回の続き）
第7回	担当教員	芝田 雅子 テーマに沿ったインテリアボード製作I
	内容	・作品テーマ「秋」製作①
第8回	担当教員	芝田 雅子 テーマに沿ったインテリアボード製作II
	内容	・作品テーマ「秋」製作②（第7回の続き）★提出①
第9回	担当教員	芝田 雅子 ・作品鑑賞会
	内容	・全員の作品「秋」を鑑賞工夫点、感想を発表
		芝田 雅子

第10回	担当教員	・ボディペイントについて ・妊婦様向けペイントについて
	内容	・心理的効果、実施にあたっての注意点など
第11回	担当教員	芝田 雅子 ・カフェ風看板について
	内容	・カフェ風看板の特性など
第12回	担当教員	芝田 雅子 ・テーマに沿ったインテリアボード製作I
	内容	・作品テーマ「冬」製作①
第13回	担当教員	芝田 雅子 ・テーマに沿ったインテリアボードの製作II（第12回の続き）
	内容	・作品テーマ「冬」製作②
第14回	担当教員	芝田 雅子 テーマに沿ったインテリアボードの製作III（第12回、第13回のの続き）
	内容	・作品テーマ「冬」製作③ ★提出②
第15回	担当教員	芝田 雅子 ・作品鑑賞会
	内容	・講義内ワーク課題...★提出③（レポート100字程度）

評価方法とフィードバック方法

第8回 インテリアボード作品「秋」 ★提出 [40%]

第14回 インテリアボード作品「冬」 ★提出 [50%]

第15回 インテリアボード作品の鑑賞 講義内ワーク課題...★レポート提出（100字程度）
[10%]

教科書

指定なし。配布資料を用いる。

参考書

指定なし。配布資料を用いる。

オフィスアワー

質問等は授業の前後で受け付ける。

その他

適宜プリント資料を配布する。

履修希望者多数の場合は抽選になります。

講義コード	0005303
講義名	芸術表現II（書の感性と創造）〔整〕
(副題)	
代表ナンバリングコード	50S01-1022SE-02
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	選択
担当教員	

氏名

園山 絢上

笹山 紅樹

総合学習目標

書は心のありよう心象を墨によって表現するものである。心理的作用として書は表現される。作品制作を通し、書道の基本となる五体（楷書・行書・草書・隸書・篆書）を学び、各書体の特徴を的確にとらえ基本点画・執筆法など書の技法を習得する。書の基本を繰り返し練習しながら、あわせて伝統美・文化についての関心を深める。また、自由な書表現や技法を習得し、書を通して、医療人として豊かな心を育むことを目標とする。

整復DP3-①

個別学習目標

- ①書体の特徴を理解することができる。
- ②楷書の基本点画をしっかりと書くことができる。
- ③行書の筆使いができる。
- ④草書の字形を理解して書くことができる。
- ⑤隸書の字形・波法を理解して書くことができる。
- ⑥篆書の字形・線質を理解して書くことができる。
- ⑦体裁よく硬筆で書くことができる。
- ⑧実用的な文字を正しく書くことができる。
- ⑨小筆の使い方を理解することができる。
- ⑩伝統的な書を学び豊かな心を育むことができる。

ディプロマポリシー

◎：強く該当する
○：該当する
空欄：

	該当しない
【健康科学部DP1 知識・理解】① 豊かな感性を持ち、相手の立場に立った思いやりを備え、他の人たちと相互に支え合うことができる。	○
【健康科学部DP1 知識・理解】② 他者を尊重することができ、異なる文化、価値観の多様性を受け入れることができる。	○
【健康科学部DP2 思考・判断】① 健康を回復する手助けとして、健康レベルに応じて必要な知識・技術を用い、的確な医療の実践ができ、医療専門職として社会で貢献できる。	
【健康科学部DP3 技能・表現】① 医療職としての知識や技術の向上を目指し、研鑽を続けることができる。	
【健康科学部DP3 技能・表現】② 質の高い医療の実践のため、他の専門職との連携に配慮し、チーム医療の一員として力を発揮できる。	
【健康科学部DP4 関心・意欲・態度】① 地域の医療の諸課題とその背景を理解し、地域医療に貢献することができる。	

授業計画

第1回	担当教員	園山 絢上 笹山 紅樹 ガイダンス・ペンで書く楷書の作品制作
第2回	担当教員	園山 絢上 仮名文字のルーツを探るI / 楷書の作品制作
第3回	担当教員	園山 絢上 仮名文字のルーツを探るII / 行書の作品制作
第4回	担当教員	園山 絢上 仮名文字のルーツを探るIII / 草書の作品制作
第5回	担当教員	園山 絢上 篆刻（篆書の文字で雅印を彫る）デザイン制作
第6回	担当教員	園山 絢上 篆刻（篆書の文字で雅印を彫る）刻す
第7回	担当教員	園山 絢上 露峰と蔵鋒の書き分け
第8回	担当教員	園山 絢上 古代の文字 作品制作
第9回	担当教員	笹山 紅樹 書に親しむI 楷書の技法を学ぶ
第10回	担当教員	笹山 紅樹 書に親しむI 楷書の表現
第11回	担当教員	笹山 紅樹 書に親しむII 行書の技法を学ぶ
第12回	担当教員	笹山 紅樹 書に親しむII 行書の表現を知る
第13回	担当教員	笹山 紅樹 書に親しむIII 草書と万葉仮名
第14回	担当教員	笹山 紅樹 書に親しむIV 隷書の技法
第15回	担当教員	笹山 紅樹 書に親しむV 最終作品制作と鑑賞

評価方法とフィードバック方法

評価方法
毎時の清書作品100%で評価する。(園山・笹山)

フィードバック方法
提出作品の総評を随時行う。(園山・笹山)

教科書

毎時プリントを配布

参考書

参考文献
五體字類／西東書房

実務経験の有無

有
この科目は書道教室等において教諭の実務経験を有する教員がその実務経験を活かし、実践的教育を行っている科目です。

その他

筆・墨汁の購入必須(大筆・小筆・墨汁 計2,500円程度)
※学内販売日は別途お知らせいたします。
履修希望者多数の場合は抽選になります。

授業は園山クラスと笹山クラスに分かれ、15回行う。

講義コード	0006102
講義名	人間関係実践演習I[整]
(副題)	(初年次教育)
代表ナンバリングコード	50S01-1030FR-01
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

中島 琢磨

町田 志樹

末吉 祐介

岡村 知明

角田 佳貴

総合学習目標

高校生と大学生の違いを認識し、前向きな意識形成を図り、意欲的に大学生活に臨む姿勢を作る

学修は暗記でないことを理解し、自ら考え、周囲に働きかけて修正したりまとめたりする行動力を身につける

註記；
初年次教育は、『高等学校や他大学からの円滑な移行を図り、学習及び人格的な成長に向け、大学での学問的・社会的な諸経験を成功させるべく、主に新入生を対象に総合的に作られた教育プログラム』あるいは『初年次学生が大学生になることを支援するプログラム』として説明される、新たな学校段階への移行を支援する取組である。(中央教育審議会『学士課程教育の構築に向けて(答申)』平成20年(2008年)35頁より引用。)

個別学習目標

1. 目的意識を持って大学生活に臨む基本意識を形成する
2. 以下の基本的な対人関係スキルを身につける
 - ① 人の話を傾聴し、理解するスキル(傾聴力・理解力)
 - ② 自分の考えを整理し、適切な言葉でわかりやすく話すスキル(話力・発表力)
 - ③ わからない事を適切な資料を選び、調べ、まとめるスキル(調査力)
 - ④ 起こったこと、学んだこと、感じた事などを客観的にわかりやすい文書で伝えるスキル(報告力)

準備学修

授業後は授業の内容を振り返り、自分の考えを再度整理しておくこと(30分)

ディプロマポリシー

◎：強く該当する
○：該当する
空欄：

	該当しない
【健康科学部DP1 知識・理解】① 豊かな感性を持ち、相手の立場に立った思いやりを備え、他の人たちと相互に支え合うことができる。	◎
【健康科学部DP1 知識・理解】② 他者を尊重することができ、異なる文化、価値観の多様性を受け入れることができる。	◎
【健康科学部DP2 思考・判断】① 健康を回復する手助けとして、健康レベルに応じて必要な知識・技術を用い、的確な医療の実践ができ、医療専門職として社会で貢献できる。	○
【健康科学部DP3 技能・表現】① 医療職としての知識や技術の向上を目指し、研鑽を続けることができる。	○
【健康科学部DP3 技能・表現】② 質の高い医療の実践のため、他の専門職との連携に配慮し、チーム医療の一員として力を発揮できる。	○
【健康科学部DP4 関心・意欲・態度】① 地域の医療の諸課題とその背景を理解し、地域医療に貢献することができる。	◎

授業計画

第1回	担当教員	岡村 知明 角田 佳貴 末吉 祐介 中島 琢磨 オリエンテーション
	内容	前半：大学生の学習姿勢・生活姿勢についての講義（「大学での学びとは」学長） 後半：履修登録・テキスト購入についての補足説明
第2回	担当教員	町田 志樹 岡村 知明 角田 佳貴 末吉 祐介 大学生の勉強の仕方を学ぶ①
	内容	大学生に求められる能動的な学習方法を理解する（担当：町田先生）
第3回	担当教員	町田 志樹 岡村 知明 角田 佳貴 末吉 祐介 大学生の勉強の仕方を学ぶ②
	内容	能動的学習方法の実践；生理学・生化学・生物学の用語（ターミノロジー）を調べ修得する（担当；町田先生・岡村先生・角田先生・末吉先生）
第4回	担当教員	岡村 知明 角田 佳貴 末吉 祐介 ネットリテラシー教育
	内容	インターネットを利用する上でのモラルの遵守、セキュリティ保護対策、生成AIの利用について、本学のガイドラインに基づき学び、レポートを作成する
第5回	担当教員	岡村 知明 角田 佳貴 末吉 祐介 レポートの書き方講座
	内容	わかりやすいレポートを書くための、「レポート力」を身につけるための講座である。「わかりやすいレポート」と「わかりにくいレポート」には、決定的な違いがある。伝わるレポートを書くにはどうすればよいか、ワークを通して学ぶ

		(担当：外部講師：マイナビ)
第6回	担当 教員	岡村 知明 角田 佳貴 末吉 祐介 マナー接遇講座
	内容	大学生としての基本的なマナー（挨拶、電話、メール、交通のマナーなど）を理解し修得する（担当：渡辺先生）
第7回	担当 教員	岡村 知明 角田 佳貴 末吉 祐介 専門基礎教育の準備①
	内容	今後、柔道整復師に関する専門科目を受講する上で特に理解しておくべき基礎知識（解剖学、生理学、運動学、医学用語など）を学ぶ
第8回	担当 教員	岡村 知明 角田 佳貴 末吉 祐介 アカデミックリテラシー①
	内容	「導入教育」プログラム①： 高校生と大学生の違いを認識させ「早期に前向きな意識形成を図り、意欲的に大学生活に臨む姿勢を作る」ためのプログラム
第9回	担当 教員	岡村 知明 角田 佳貴 末吉 祐介 アカデミックリテラシー②
	内容	「導入教育」プログラム②： 高校生と大学生の違いを認識させ「早期に前向きな意識形成を図り、意欲的に大学生活に臨む姿勢を作る」ためのプログラム
第10回	担当 教員	岡村 知明 角田 佳貴 末吉 祐介 アカデミックリテラシー③
	内容	「ストレス・マネジメント力形成」プログラム： 大学～社会人生活を通して活かすことのできる「ストレス・マネジメントの力」を育み、学生一人ひとりに、「ストレスを自己マネジメントできる力」を身につけさせる
第11回	担当 教員	岡村 知明 角田 佳貴 末吉 祐介 専門基礎教育の準備②
	内容	今後、柔道整復師に関する専門科目を受講する上で特に理解しておくべき基礎知識（解剖学、生理学、運動学、医学用語など）を学ぶ
第12回	担当 教員	岡村 知明 角田 佳貴 末吉 祐介 アカデミックリテラシー④
	内容	「アクティブラーニング&スタディスキル形成」プログラム①： 大学4年間で継続学修していけるための「基礎的学修技術」を指導し、大学生力を醸成するプログラム。「学び取るために必要な、理解力、論理力、質問力、構成力、記述力」といった、根幹から技術を指導
第13回	担当 教員	岡村 知明 角田 佳貴 末吉 祐介 アカデミックリテラシー⑤

	内容	「アクティブラーニング&スタディスキル形成」プログラム②： 大学4年間で継続学修していけるための「基礎的学修技術」を指導し、大学生力を醸成するプログラム。「学び取るために必要な、理解力、論理力、質問力、構成力、記述力」といった、根幹から技術を指導
第14回	担当教員	岡村 知明 角田 佳貴 末吉 祐介 情報・文献検索、論文の書き方
	内容	図書館利用ツアー：学科別に分かれ、図書館、パソコンルーム、自習室の使い方、書籍の閲覧方法、論文の検索方法など、図書館を有効に使う方法を学ぶ。
第15回	担当教員	町田 志樹 岡村 知明 角田 佳貴 末吉 祐介 LGBT等についての本学のガイドラインの周知と理解
	内容	(前半) SBC東京医療大学におけるLGBT等に関する基本理念を通じ、その理解を目的とする講義 (後半) グループワークとレポート作成 (担当：町田先生)

評価方法とフィードバック方法

授業内容について毎回評価カード（リフレクションペーパー）を提出する。60点（60%）課題がある、第7回、11回、14回、15回授業は各10点（各10%）以下の様に配分する。
評価カードおよび課題合計100点（100%）
評価カード、課題は適宜返却して講評する。

教科書

配布資料

参考書

指定なし

オフィスアワー

担当教員研究室。授業内容についての質問は授業中、授業後およびオフィスアワーに受け付ける。またメールでの質問も受け付けるが、メールはGoogle Classroomから送信すること。
岡村：木曜日4限、548教員研究室（岡村 知明；）
角田：木曜日4限、整復医療・トレーナー学科助教・助手室（角田 佳貴；）
末吉：木曜日4限、514教員研究室（末吉 祐介；）
中島：火曜日昼、木曜日昼

実務経験の有無

有。
この科目では、社会経験を有する教員が、各々の実務経験を活かし、初年次学生が大学生になることを支援することで、学生が基本的事項を学ぶ科目です。

その他

授業形態は演習であり、講義を聴くだけでなく毎回授業時間内に各自が作業を行い、そのプロダクトを提出する。授業後は授業の内容を振り返り、自分の考えを再度整理しておくこと

講義コード	0006205
講義名	人間関係実践演習II[整]
(副題)	(医療教養)
代表ナンバリングコード	50S01-1031FR-01
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

檀 和夫

須藤 武司

佐伯 晴子

都築 則彦

総合学習目標

医療のプロフェッショナルになる上で個々の医学知識やさまざまな技能の修得の前にまず理解し、また身につけておかなければならない「医療人としての資質」、「人間としての優しさ」、「医療の重さ」、「生命の重さ」、「他者のために働くことの意味」、「人と人との対話」の重要性について学び考える。

個別学習目標

- 1)医療の本質と医療を学ぶ者に求められていることを説明できる。
- 2)生命の驚異と神秘の仕組みを学び、生命への畏敬の念と尊厳の気持ちを理解できる。
- 3)生命を扱う医療人として生命倫理、医療倫理を理解できる。
- 4)他者のために働くことの意味を理解でき、また医療人としての活動範囲の広がりが理解できる。
- 5)医療の対象となる患者の気持ち、家族の気持ちが理解できる。
- 6)対話をする上で自己の理解が不可欠であることを理解できる。
- 7)医療に不可欠な対話の大切さおよび面接技法について理解できる。

準備学修

授業形態は演習であり、講義を聴くだけでなく毎回授業時間内に各自が作業を行い、そのプロダクトを提出する。授業後は授業の内容を振り返り、自分の考えを再度整理しておくこと(60分)。

ディプロマポリシー

◎：強く該当する
○：該当する

	空欄： 該当し ない
【健康科学部DP1 知識・理解】① 豊かな感性を持ち、相手の立場に立った思いやりを備え、他の人たちと相互に支え合うことができる。	○
【健康科学部DP1 知識・理解】② 他者を尊重することができ、異なる文化、価値観の多様性を受け入れることができる。	○
【健康科学部DP2 思考・判断】① 健康を回復する手助けとして、健康レベルに応じて必要な知識・技術を用い、的確な医療の実践ができ、医療専門職として社会で貢献できる。	○
【健康科学部DP3 技能・表現】① 医療職としての知識や技術の向上を目指し、研鑽を続けることができる。	○
【健康科学部DP3 技能・表現】② 質の高い医療の実践のため、他の専門職との連携に配慮し、チーム医療の一員として力を発揮できる。	○
【健康科学部DP4 関心・意欲・態度】① 地域の医療の諸課題とその背景を理解し、地域医療に貢献することができる。	○

授業計画

第1回	担当教員	檀 和夫 医療の本質と医療学生の資質
	内容	医療とは何か・医療系学生に求められるもの
第2回	担当教員	檀 和夫 生命の驚異と神秘
	内容	生命の驚異の仕組み。生命への畏敬の念。健康の大切さ。
第3回	担当教員	檀 和夫 生命倫理と医療倫理・研究倫理
	内容	知っておくべき生命倫理と医療倫理および研究倫理
第4回	担当教員	檀 和夫 佐伯 晴子 患者の気持ち・家族の気持ちI
	内容	患者および家族への思いやりI
第5回	担当教員	檀 和夫 佐伯 晴子 患者の気持ち・家族の気持ちII
	内容	患者および家族への思いやりII
第6回	担当教員	檀 和夫 都築 則彦 ボランティアについてI
	内容	キャリアへの繋がり
第7回	担当教員	檀 和夫 都築 則彦 ボランティアについてII
	内容	様々なテーマの活動
第8回	担当教員	須藤 武司 対話の基礎・自己理解I
	内容	性格の理解
第9回	担当教員	須藤 武司 対話の基礎・自己理解II
	内容	自分史の理解

第10回	担当教員	須藤 武司 対話の基礎・自己理解III
	内容	自己概念の理解
第11回	担当教員	須藤 武司 面接技法 I
	内容	面接を行う前の準備
第12回	担当教員	須藤 武司 面接技法 II
	内容	ペース合わせ
第13回	担当教員	須藤 武司 面接技法 III
	内容	非言語的メッセージの取り扱い
第14回	担当教員	須藤 武司 面接技法 IV
	内容	明確化
第15回	担当教員	須藤 武司 面接技法 V
	内容	リフレーミング

評価方法とフィードバック方法

授業内課題(50%)と全15回の授業終了後に課すレポート(50%)により評価する。
授業内の作業により提出するプロダクトの内容については次回の授業冒頭に解説・講評する。

教科書

テキスト
相談・指導のための面接技法 第2版 橋本 和幸 ムイスリ出版 880円+税

参考書

参考文献

人間学入門—医療のプロをめざすあなたに 日本医学教育学会 南山堂 2, 400円

看護学生のための医療倫理 盛永審一郎、長島 隆 丸善出版 2, 600円

オフィスアワー

オフィスアワー（檀）：月曜日および金曜日昼休み（12:10-13:00）、担当教員研究室。授業内容についての質問は授業中、授業後およびオフィスアワーに受け付ける。またメールでの質問も受け付ける（メールアドレス：dan@ryotokuji-u.ac.jp）。

オフィスアワー（橋本）：木曜日5限（16:20-17:50）、担当教員研究室。授業内容についての質問は授業後、オフィスアワーおよびその他随時に受け付ける。またメールでの質問も受け付ける（メールアドレス：k-hashimoto@yrotokuji-u.ac.jp）。

実務経験の有無

この科目は病院での医師としての実務経験を有する教員と、スクールカウンセラーや教育相談所相談員の実務経験を有する教員がその実務経験を活かし、医療の基本について演習を行っている科目です。

その他

<キャリア教育科目>

講義コード	0006305
講義名	人間関係実践演習III [整] (多職種連携活動論)
(副題)	[2022年度入学生対象]
代表ナンバリングコード	50S01-3032FR-01
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	3
必修/選択	必修

担当教員

氏名
野田 哲由
山之口 美喜生
盆子原 秀三
山田 洋一
荒井 沙織
澤 広太
田村 哲也
関 駿斗
松浦 真理子
正藤 倫音
渡部 幸子
諏訪免 典子
齋藤 了
塩田 みどり
藤井 利津子
星 玲衣

総合学習目標

保健・医療・福祉の領域では多種多様な専門職が連携しながら関わっている。これを関連職種連携 (Interprofessional Collaboration : IPC)、関連職種協働 (Interprofessional Work : IPW) という (以下 : IPC/IPW)。

医療関連職種は保健・医療・福祉のどの領域においても連携が必要であり、そのためには、関連職種についてその専門性を理解する、尊厳を持って接する、またコミュニケーションを取ることが必要である。

人間関係実践演習IIIでは、関連職種連携教育 (Interprofessional Education : IPE) を通して、異なる専門職が協働するうえで必要な能力を身につけることを目的に授業を行う。

個別学習目標

- ① 多職種連携が求められる背景について説明できる。
- ② 保健・医療・福祉各領域における各職種の役割を理解し、尊重するとともに、自身が取得する職種の役割を説明することができる。
- ③ チームの一員として目的 (課題) 達成のために協調することができる。
- ④ リーダーシップを持ち、積極的に授業の課題に取り組むことができる。
- ⑤ 自身が取得する職種をイメージして、自身の意見を述べるすることができる。

- ⑥ 他職種と意見交換を行い療養者にとってベストな解決策を提案できる。
- ⑦ 地域医療（支援）について関心を深めることができる。

準備学修

本科目は、実習の先修条件であり、必須科目である。

事前学習

- ① 人間関係実践演習I・IIで学習した内容を復習しておくこと。
- ② 介護保険制度について、復習しておくこと。
- ③ 事前に掲示した資料に目を通しておくこと。
- ④ 自職種の法制度と役割について、他学科の学生に説明できるように準備しておくこと。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 空欄：該当しない
【健康科学部DP1 知識・理解】① 豊かな感性を持ち、相手の立場に立った思いやりを備え、他の人たちと相互に支え合うことができる。	◎
【健康科学部DP1 知識・理解】② 他者を尊重することができ、異なる文化、価値観の多様性を受け入れることができる。	◎
【健康科学部DP2 思考・判断】① 健康を回復する手助けとして、健康レベルに応じて必要な知識・技術を用い、的確な医療の実践ができ、医療専門職として社会で貢献できる。	○
【健康科学部DP3 技能・表現】① 医療職としての知識や技術の向上を目指し、研鑽を続けることができる。	○
【健康科学部DP3 技能・表現】② 質の高い医療の実践のため、他の専門職との連携に配慮し、チーム医療の一員として力を発揮できる。	○
【健康科学部DP4 関心・意欲・態度】① 地域の医療の諸課題とその背景を理解し、地域医療に貢献することができる。	◎

授業計画

第1回	担当教員	山田 洋一 1. オリエンテーション 2. IPC/IPW概論
	内容	1. 授業の目的と内容、進め方を解説する。 2. IPC/IPWがなぜ必要なのかを歴史的背景を交えて解説する。 3. グループワーク ①メンバー自己紹介・他己紹介 ②メンバー内の資格と関係について
第2回	担当教員	野田 哲由 地域・在宅で連携する他職種理解
	内容	1. 主な保健・医療・福祉系の国家資格と根拠法・法制定について解説する 2. 自分の職種および他職種の役割と限界について解説する 3. グループワーク...事例：どの専門職に相談するか？
	担当	松浦 真理子 1. 国際生活機能分類（ICF）について 2. 介護保険制度の概要

第3回	教員	3. 介護保険におけるICFの活用法 4. 地域・在宅におけるIPC/IPW
	内容	1. ICIDHからICFへの流れとICFの特徴について解説する 2. 介護保険制度の概要について解説する 3. 介護現場におけるICFの活用法について解説する 4. 地域・在宅におけるIPC/IPWについて、歴史的背景を踏まえて解説する
第4回	担当教員	山田 洋一 1. コミュニケーションの基本的な考え方...復習 2. 多職種連携を行うための能力...事前学習 3. 多職種連携に必要なコミュニケーションスキル
	内容	1. コミュニケーションの基本的な考え方について理解する 2. 多職種連携を行うための能力について理解する 3. 多職種連携に必要なコミュニケーションスキルについて理解する ①ファシリテーション ②アサーション ③コンフリクトマネジメント ④多職種連携コンピテンシー
第5回	担当教員	野田 哲由 地域における多職種連携① 柔道整復師・鍼灸師・あん摩指圧師-整形外科-スポーツトレーナーによるシンポジウム サッカー日本代表AT及びサッカー日本代表ドクター（整形外科医）
	内容	柔道整復師（鍼灸師等）と整形外科医、柔道整復師とスポーツトレーナーとの連携について理解する。
第6回	担当教員	野田 哲由 テーマディスカッション 「スポーツトレーナーとスポーツ整形医師、PT、看護師等のスポーツチーム内連携と病院連携について考える」
	内容	グループでディスカッションを通して課題の解決策を考えまとめる
第7回	担当教員	野田 哲由 テーマディスカッションの発表会 7グループ
	内容	課題解決方法についてグループワークした内容を発表する
第8回	担当教員	松浦 真理子 地域における多職種連携② 介護保険下における関連職種によるシンポジウム （介護支援専門員・訪問看護師・訪問介護師、地域包括支援センター職員等）
	内容	「要介護者の在宅生活を支える多職種連携」について、シンポジウムを行い、その後、討論会を行う
第9回	担当教員	松浦 真理子 テーマディスカッション 「要介護者の在宅生活を支える多職種連携」
	内容	グループでディスカッションを通して課題の解決策を考えまとめる
第10回	担当教員	松浦 真理子 テーマディスカッションの発表会 7グループ
	内容	課題解決方法についてグループワークした内容を発表する

第11回	担当教員	山田 洋一 地域における多職種連携③ 介護保険下におけるリハ3職種によるシンポジウム (訪問看護ステーションで働く理学療法士・作業療法士・言語聴覚士等)
	内容	介護保険下におけるリハ3職種の役割を現場で活躍する外来講師が講和し、その後、討論会を行う
第12回	担当教員	山田 洋一 テーマディスカッション 「在宅高齢障害者の生活期における介護予防を考える」 住み慣れた地域で生活をするために、専門職はどのような支援ができるか
	内容	グループでディスカッションを通して課題の解決策を考えまとめる
第13回	担当教員	山田 洋一 テーマディスカッションの発表会 7グループ
	内容	課題解決方法についてグループワークした内容を発表する
第14回	担当教員	山之口 美喜生 災害対応と多職種連携 グループワーク
	内容	1. 災害対応と多職種連携にの実際について解説する。 2. グループワーク
第15回	担当教員	定期試験 まとめ
	内容	

評価方法とフィードバック方法

グループワークによる課題 30%、ピア評価 10%、定期試験 60%とし、総合評価60点以上を合格とする。

参考書

- ① 保健・医療・福祉のための専門職連携教育プログラム ミネルヴァ書房 2019 2,500円+税
- ② リハビリシックコミュニケーション論・多職種連携論 医歯薬出版株式会社 2020 2,700円+税
- ③ 実践 多職種連携教育 中外医学社 2020 3,600円+税
- ④ 15レクチャーシリーズ 予防理学療法 中山書店 2022 2,600円+税
- ⑤ 医療福祉をつなぐ関連職種連携 南江堂 2023 3,200円+税
- ⑥ 理学療法士・作業療法士のためのヘルスプロモーション改訂第2版 南江堂 2023 3,500円+税
- ⑦ 保健医療福祉のための臨床推論 朝倉書店 2016 3,200円+税

オフィスアワー

別途提示する。

実務経験の有無

専門職として、施設や地域での実践経験を持つ教員等が担当している。
課題を持つ地域・在宅療養者のアセスメントや多職種連携による支援の実際について、学生がイメージし、主体的に取り組めるよう授業設計を行う。

その他

- ・座席指定のため、決められた場所に着席のこと。
- ・グループワークでは、協力して取り組むこと。

講義コード	0006902
講義名	体育実技（ワークアウト）
(副題)	[整（前期）]
代表ナンバリングコード	50P01-1037FE-01
講義開講時期	前期
講義区分	実技
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	選択
担当教員	

氏名

山形 貴枝

金子 実穂

杉木 颯人

総合学習目標

音楽を用いて楽しく身体を動かす中で得られる「脂肪燃焼」「心配持久力向上」「柔軟性向上」「筋持久力向上」「体幹強化」「気分の変化」など様々効果について、自ら身体を動かしワークアウトを体験し「安全」で「効果的」な運動の実践方法を身に着ける。

個別学習目標

運動時の正確な動作（安全で効果的）について理解を深めることができる。

音楽と運動の相乗効果を実践をとおして理解することができる。

動きの中から正しいアライメントについて理解できる。

身体を動かすことの楽しさと、運動の効果を得ることができる。
（筋力、柔軟性の向上、持久力の向上、減量、ストレス発散など）

準備学修

- 運動生理学及び解剖学の基礎について理解する。
- ・大筋群の起始部、停止部を理解し、主動筋がわかるようにしておく。
 - ・正しいアライメントについて理解しておく。
 - ・関節可動域を理解しておく。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 空欄：該当しない
【健康科学部DP1 知識・理解】① 豊かな感性を持ち、相手の立場に立った思いやりを備え、他の人たちと相互に支え合うことができる。	○
【健康科学部DP1 知識・理解】② 他者を尊重することができ、異なる文化、価値観	

の多様性を受け入れることができる。	○
【健康科学部DP2 思考・判断】①健康を回復する手助けとして、健康レベルに応じて必要な知識・技術を用い、的確な医療の実践ができ、医療専門職として社会で貢献できる。	○
【健康科学部DP3 技能・表現】① 医療職としての知識や技術の向上を目指し、研鑽を続けることができる。	
【健康科学部DP3 技能・表現】② 質の高い医療の実践のため、他の専門職との連携に配慮し、チーム医療の一員として力を発揮できる。	
【健康科学部DP4 関心・意欲・態度】① 地域の医療の諸課題とその背景を理解し、地域医療に貢献することができる。	

授業計画

第1回	担当教員	山形 貴枝 オリエンテーション ①ヨガとピラティスを使ったエクササイズ②ダンス系エクササイズ③格闘系エクササイズについて。 ヨガとピラティスを使ったワークアウト①
	内容	○ワークアウトを通して得られる様々な効果を知るとともに安全に行う為に必要な事を理解する。 ①②③のエクササイズ特徴について ヨガとピラティスを使ったエクササイズ実践①
第2回	担当教員	山形 貴枝 グループワークアウト GROUP CENTERGY ②～ヨガとピラティスを使ったエクササイズで柔軟性～
	内容	ヨガとピラティスの要素を取り入れたワークアウト実践2回目 身体の使い方や呼吸を通して心地よい動きを学ぶ。 音楽と動きの融合を楽しむ。
第3回	担当教員	山形 貴枝 グループワークアウト GROUP CENTERGY③ ヨガとピラティスを使ったエクササイズ全10曲を使用 1～3について
	内容	動き方の解説 主に1～3トラックについての解説を中心に 動きに慣れることを目的とする ①主にウォーミングアップとしての動き ②太陽礼拝を中心とした動き ③下半身を強化するポーズを中心に動く
第4回	担当教員	山形 貴枝 グループワークアウト GROUP CENTERGY④ ～ヨガとピラティスを使ったエクササイズ～ トラック4～6
	内容	④ヨガとピラティスを使った「体幹強化」を学ぶ ⑤呼吸や動きでインナーマッスルを刺激し強化する方法を知る。 ⑥ヨガのバランスを使い集中力を向上させる。
第5回	担当教員	グループワークアウト GROUP CENTERGY⑤ ヨガとピラティスを使ったエクササイズ トラック7～10
	内容	⑦主に股関節周辺の可動域を広げ ⑧脊柱の安定と可動性を高める。 ⑨ハムストリングスや腰背部の柔軟性を向上させる。 回復のポーズ

第6回	担当教員	金子 実穂 グループワークアウト GROUP GROOVE① ダンスエクササイズで脂肪燃焼
	内容	様々なダンスを使い、型にはまりすぎず「音」を楽しみながら効果的に動くワークアウト 基本的な動作を理解する。
第7回	担当教員	金子 実穂 グループワークアウト GROUP GROOVE② ダンスエクササイズで脂肪燃焼 トラック1~4
	内容	ダンスエクササイズのウォーミングアップから、カーディオエクササイズで心拍数を上げます。 目的をもって動くことで運動効果を得ることを知る。 ①WARM-UP 身体を温め調子上げる ②FIRST DANCE 控えめなインパクト(衝撃)のダンスで強度を徐々に上げる ③PARTY DANCE 1 楽しいダンススタイルで更に強度を上げる ④LOW DANCE 1 重心を低くして踊り、脚への強度を上げる
第8回	担当教員	金子 実穂 グループワークアウトGROUP GROOVE③ ダンスエクササイズで脂肪燃焼 トラック5~8
	内容	音楽を楽しみ、型にはまりすぎず自由に体を動かすワークアウト。 ⑤CARDIO DANCE 2 シンプルで様々なインパクト(衝撃)を組み合わせたエネルギーの高いダンスで最初のピークに達する ⑥LOW DANCE 2 低い重心で脚への強度をさらに上げる ⑦CARDIO DANCE 2 速いペースの曲でシンプル且つ様々なインパクトの動きで2回目のピークに達する
第9回	担当教員	金子 実穂 グループワークアウト GROUP GROOVE④ ダンスエクササイズで脂肪燃焼 トラック9~11
	内容	ダンススキルではなく、ワークアウトの目的を達成させることを学ぶ。 ⑧BREAK DANCE ローインパクトのダンススタイルを使いfinaleに備え一度強度を下げる ⑨PARTY DANCE 2 楽しいスタイルのダンスの動きでfinaleに向け強度を上げていく ⑩finale シンプルで様々なインパクトの動きを組み合わせエネルギーの高い動きで気分も上げて最後のピークに達する ⑪cooldown 姿勢をリセットし、ダンス風のムーブメントで毎日の積み重ねによる姿勢の影響をリカバリーする
第10回	担当教員	杉木 颯人 グループワークアウト GROUP GROOVE⑤ ダンスエクササイズで脂肪燃焼 まとめ
	内容	ダンス要素を取り入れたワークアウトのまとめ。 型にはまらずに音楽を楽しみながら効果的にエクササイズを行う。
	担当教員	杉木 颯人 グループワークアウト GROUP FIGHT① 格闘系エクササイズでストレス発散とシェイプアップ
		格闘系の動きを用いて、主に肩や背中ウエスト周りのシェイプを狙うワークアウト全体の構成を理解する。 ①WARM-UP 上半身を主に使い心拍を上げ準備する

第11回	内容	②BOX ボクシングにスピードとパワーを取り入れ強度を上げる ③MUAYTHAI ムエタイのコンビネーションにより最初の心拍ピークに達する ④KICKS 下半身の動きを練習しながら上半身を回復させる 各トラックの動きの基礎を学ぶ ⑤MMA1 (MIXED MARTIAL ARTS) 総合格闘技 (MMA) のファイトスタイルとトレーニング動作でコーディネーション改善&強度を上げる ⑥SUPER BOX ボクシングにスピードとパワーを取り入れ強度を上げる ⑦MMA2 総合格闘技のファイトスタイルとトレーニング動作でコーディネーションを改善し、最後のピークに備える 動きの目的を理解し「安全」なアライメントを学ぶ
第12回	担当教員	杉木 颯人 グループワークアウト GROUP FIGHT② 格闘系エクササイズでストレス発散とシェイプアップ トラック8~10
	内容	⑧MUAY THAI2 ムエタイ2 このトラックで、心拍数最高に上げ、最後のピークに達する ⑨CONDITIONING 胸部、上腕三頭金、脚部、コアのトレーニングパート ⑩cool down 専門的なファイトトレーニングと毎日の積み重ねによる姿勢の影響を特有の戦略を通してリカバリーさせる 目的を達成するためにはここに合わせた「強度変換」について学ぶ
第13回	担当教員	杉木 颯人 グループワークアウト GROUP FIGHT③ 格闘系エクササイズでストレス発散とシェイプアップ
	内容	自分自身の動きの正確性を高める 他者のアライメント修正にチャレンジする (グループワーク) 課題曲について理解を深める
第14回	担当教員	杉木 颯人 グループワークアウト GROUP FIGHT④ 格闘系エクササイズでストレス発散とシェイプアップ 動きの復習
	内容	強度変換を知り、適切に指示する事を学ぶ 課題曲の理解を深める② グループワークで他者の動きを修正する
第15回	担当教員	山形 貴枝 杉木 颯人 グループワークアウト 実技テスト【総括】
	内容	Ikサイズ® を安全に実施する方法を理解しているか Ikサイズ® の目的を理解して動いているか Ikサイズ® を楽しんでいるか Ikサイズ® を効果的に実践しているか 実技を通して確認する。

評価方法とフィードバック方法

評価方法は

定期試験の実施(実技) 30%

授業出席、受講態度70%

合計100点にて評価する。

授業のワークアウト実践を通して、
ワークアウトを楽しみながら前向きに参加しているかを評価する。

ワークアウト実践の中で「正しいアライメント」や「安全面に配慮した動き」「運動強度の選

扱」が自分なりにできているか評価する。

実技テストでは

授業の中で伝えていく内容（動きかたの詳細）を表現できているかを評価する。

- ・安全に配慮した動き
- ・目的に沿った動き
- ・楽しんでいる
- ・効果的な動き（大きく動く）

教科書

教科書は使用しないが、必要に応じ資料を配布する。

参考書

参考書指定なし。

オフィスアワー

質問等は授業の前後で受け付ける。

実務経験の有無

この科目はスポーツクラブでの実務経験を活かし、身体運動の構造や性質を諸原理から選択して系統的に応用する科学研究の手法を身につけてもらう実践的教育を行っている科目です。。

講義コード	0006904
講義名	体育実技（ワークアウト）
(副題)	[整（後期）]
代表ナンバリングコード	50P01-1037SE-03
講義開講時期	後期
講義区分	実技
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	選択
担当教員	

氏名

山形 貴枝

金子 実穂

杉木 颯人

総合学習目標

音楽を用いて楽しく身体を動かす中で得られる「脂肪燃焼」「心配持久力向上」「柔軟性向上」「筋持久力向上」「体幹強化」「気分の変化」など様々効果について、自ら身体を動かしワークアウトを体験し「安全」で「効果的」な運動の実践方法を身に着ける。

個別学習目標

運動時の正確な動作（安全で効果的）について理解を深めることができる。

音楽と運動の相乗効果を実践をとおして理解することができる。

動きの中から正しいアライメントについて理解できる。

身体を動かすことの楽しさと、運動の効果を得ることができる。
（筋力、柔軟性の向上、持久力の向上、減量、ストレス発散など）

準備学修

- 運動生理学及び解剖学の基礎について理解する。
- ・大筋群の起始部、停止部を理解し、主動筋がわかるようにしておくこと。
 - ・正しいアライメントについて理解しておくこと。
 - ・関節可動域を理解しておくこと。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 空欄：該当しない
【健康科学部DP1 知識・理解】① 豊かな感性を持ち、相手の立場に立った思いやりを備え、他の人たちと相互に支え合うことができる。	○
【健康科学部DP1 知識・理解】② 他者を尊重することができ、異なる文化、価値観の多様性を受け入れることができる。	○
DP2	

【健康科学部 思考・判断】①健康を回復する手助けとして、健康レベルに応じて必要な知識・技術を用い、的確な医療の実践ができ、医療専門職として社会で貢献できる。	○
【健康科学部DP3 技能・表現】① 医療職としての知識や技術の向上を目指し、研鑽を続けることができる。	
【健康科学部DP3 技能・表現】② 質の高い医療の実践のため、他の専門職との連携に配慮し、チーム医療の一員として力を発揮できる。	
【健康科学部DP4 関心・意欲・態度】① 地域の医療の諸課題とその背景を理解し、地域医療に貢献することができる。	

授業計画

第1回	担当教員	山形 貴枝 オリエンテーション。 ①ヨガとピラティス②ダンス系③格闘系 について。 GROUP CENTERGY ①
	内容	○ワークアウトを通して得られる様々な効果を知るとともに安全に行う為に必要な事を理解する。 ①③のエクササイズ特徴について ヨガとピラティスを使ったエクササイズ 実践 ¹ 回目
第2回	担当教員	山形 貴枝 グループワークアウト GROUP CENTERGY②～ヨガとピラティスを使ったエクササイズで柔軟性～
	内容	ヨガとピラティスの要素を取り入れたワークアウト。 身体の使い方や呼吸を通して心地よい動きを学ぶ。 音楽と動きの融合を楽しむ。
第3回	担当教員	山形 貴枝 グループワークアウト GROUP CENTERGY③ ヨガとピラティスを使ったエクササイズ全10曲を使用 1～3について
	内容	動き方の解説 主に1～3トラックについての解説を中心に 動きに慣れることを目的とする ①主にウォーミングアップとしての動き ②太陽礼拝を中心とした動き ③下半身を強化するポーズを中心に動く
第4回	担当教員	山形 貴枝 グループワークアウト GROUP CENTERGY④ ～ヨガとピラティスを使ったエクササイズ～ トラック4～6
	内容	④ヨガとピラティスを使った「体幹強化」を学ぶ ⑤呼吸や動きでインナーマッスルを刺激し強化する方法を知る。 ⑥ヨガのバランスを使い集中力を向上させる。
第5回	担当教員	グループワークアウト GROUP CENTERGY⑤ ヨガとピラティスを使ったエクササイズ トラック7～10
	内容	⑦主に股関節周辺の可動域を広げ ⑧脊柱の安定と可動性を高める。 ⑨ハムストリングスや腰背部の柔軟性を向上させる。 回復のポーズ
	担当	金子 実穂 GROUP GROOVE

第6回	教員	グループワークアウト ① ダンスエクササイズで脂肪燃焼
	内容	様々なダンスを使い、型にはまりすぎず「音」を楽しみながら効果的に動くワークアウト 基本的な動作を理解する。
第7回	担当教員	金子 実穂 グループワークアウト GROUP GROOVE② ダンスエクササイズで脂肪燃焼 トラック1~4
	内容	ダンスエクササイズのウォーミングアップから、カーディオエクササイズで心拍数を上げます。 目的をもって動くことで運動効果を得ることを知る。 ①WARM-UP 身体を温め調子上げる ②FIRST DANCE 控えめなインパクト(衝撃)のダンスで強度を徐々に上げる ③PARTY DANCE 1 楽しいダンススタイルで更に強度を上げる ④LOW DANCE 1 重心を低くして踊り脚への強度を上げる
第8回	担当教員	金子 実穂 グループワークアウトGROUP GROOVE② ダンスエクササイズで脂肪燃焼 トラック5~8
	内容	音楽を楽しみ、型にはまりすぎず自由に体を動かすワークアウト。 ⑤CARDIO DANCE 2 シンプルで様々なインパクト(衝撃)を組み合わせたエネルギーの高いダンスで最初のピークに達する ⑥LOW DANCE 2 低い重心で脚への強度をさらに上げる ⑦CARDIO DANCE 2 速いペースの曲でシンプル且つ様々なインパクトの動きで2回目のピークに達する
第9回	担当教員	金子 実穂 グループワークアウト GROUP GROOVE④ ダンスエクササイズで脂肪燃焼 トラック9~11
	内容	ダンススキルではなく、ワークアウトの目的を達成させることを学ぶ。 ⑧BREAK DANCE ローインパクトのダンススタイルを使いfinaleに備え一度強度を下げる ⑨PARTY DANCE 2 楽しいスタイルのダンスの動きでfinaleに向け強度を上げていく ⑩finale シンプルで様々なインパクトの動きを組み合わせエネルギーの高い動きで気分も上げて最後のピークに達する ⑪cooldown 姿勢をリセットし、ダンス風のムーブメントで毎日の積み重ねによる姿勢の影響をリカバリーする
第10回	担当教員	金子 実穂 グループワークアウト GROUP GROOVE ⑤まとめ
	内容	ダンス系ワークアウトのまとめ。 型にはまりすぎずに、音楽を楽しみながら、効果的にエクササイズを行う。
第11回	担当教員	杉木 颯人 グループワークアウト GROUP FIGHT① 格闘系エクササイズでストレス発散とシェイプアップ
		格闘系の動きを用いて、主に肩や背中ウエスト周りのシェイプを狙うワークアウト全体の構成を理解する。 ①WARM-UP 上半身を主に使い心拍を上げ準備する ②BOX ボクシングにスピードとパワーを取り入れ強度を上げる ③MUAYTHAI ムエタイのコンビネーションにより最初の心拍ピークに達する

	内容	④KICKS 下半身の動きを練習しながら上半身を回復させる 各トラックの動きの基礎を学ぶ ⑤MMA1 (MIXED MARTIAL ARTS) 総合格闘技 (MMA) のファイトスタイルとトレーニング動作でコーディネーション改善&強度を上げる ⑥SUPER BOX ボクシングにスピードとパワーを取り入れ強度を上げる ⑦MMA 2 総合格闘技のファイトスタイルとトレーニング動作でコーディネーションを改善し、最後のピークに備える 動きの目的を理解し「安全」なアライメントを学ぶ
第12回	担当教員	杉木 颯人 グループワークアウト GROUP FIGHT③ 格闘系エクササイズでストレス発散とシェイプアップ トラック8~10
	内容	⑧MUAY THAI 2 ムエタイ 2 このトラックで、心拍数最高に上げ、最後のピークに達する ⑨CONDITIONING 胸部、上腕三頭金、脚部、コアのトレーニングパート ⑩cool down 専門的なファイトトレーニングと毎日の積み重ねによる姿勢の影響を特有の戦略を通してリカバリーさせる 目的を達成するためにはここに合わせた「強度変換」について学ぶ
第13回	担当教員	杉木 颯人 グループワークアウト GROUP FIGHT④ 格闘系エクササイズでストレス発散とシェイプアップ
	内容	自分自身の動きの正確性を高める 他者のアライメント修正にチャレンジする (グループワーク) 課題曲について理解を深める
第14回	担当教員	杉木 颯人 グループワークアウト GROUP FIGHT③ 格闘系エクササイズでストレス発散とシェイプアップ 動きの復習
	内容	強度変換を知り、適切に指示する事を学ぶ 課題曲の理解を深める② グループワークで他者の動きを修正する
第15回	担当教員	山形 貴枝 杉木 颯人 グループワークアウト 実技テスト 【総括】
	内容	「エクササイズ」を安全に実施する方法を理解しているか 「エクササイズ」の目的を理解して動いているか 「エクササイズ」を楽しんでいるか 「エクササイズ」を効果的に実践しているか 実技を通して確認する

評価方法とフィードバック方法

評価方法は

定期試験の実施(実技) 30%

授業出席、受講態度70%

合計100点にて評価する。

授業のワークアウト実践を通して、

ワークアウトを楽しみながら前向きに参加しているかを評価する。

ワークアウト実践の中で「正しいアライメント」や「安全面に配慮した動き」「運動強度の選択」が自分なりにできているか評価する。

実技テストでは

授業の中で伝えていく内容（動きかたの詳細）を表現できているかを評価する。

- ・安全に配慮した動き
- ・目的に沿った動き
- ・楽しんでいる
- ・効果的な動き（大きく動く）

教科書

教科書は使用しない。

参考書

参考書指定なし。

オフィスアワー

質問等は授業の前後で受け付ける。

実務経験の有無

この科目はスポーツクラブでの実務経験を活かし、身体運動の構造や性質を諸原理から選択して系統的に応用する科学研究の手法を身につけてもらう実践的教育を行っている科目です。。

講義コード	2000101
講義名	教職概論 [整]
(副題)	
代表ナンバリングコード	52L07-1091FO-00
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	自由
担当教員	

氏名

茂木 輝順

今村 ゆずか

総合学習目標

この授業では、第1に、教職の多面的な仕事を考えるなかで、教師としてのやりがい、教師であることの楽しさと苦しさなどを知り、教職の意義を考えていきます。

第2に、教職をめざす皆さんに教職の魅力を伝え、教育現場の実態や教師の実践を通して「教育とは何か」をみなさんと一緒に考えます。

第3に、教職に求められる人間的資質や能力について考えるなかで、教職への思いを振り返り、自らの教育観・教師像の土台を培います。

個別学習目標

- ・子どもと学校が今どうなっているのかを知り、教育への問題意識を育むことができる。
- ・多忙化する教育・学校現場の現状を理解し、幅広い視野から物事を見る目と確かな教育観・教師観の基礎を育むことができる。
- ・教職への目的意識を高めるとともに、教師に求められる資質・能力を探究し、それを養う態度を育むことができる。

準備学修

グループ学習・発表のための準備（60分）、授業後の振り返りとまとめ（30分）

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学	

力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	○

授業計画

第1回	担当教員	茂木 輝順 今村 ゆずか 第1回：ガイダンス AL:A
第2回	担当教員	茂木 輝順 今村 ゆずか 第2回：いい先生とはどんな先生か
第3回	担当教員	茂木 輝順 今村 ゆずか 第3回：授業をするということ AL:C
第4回	担当教員	茂木 輝順 今村 ゆずか 第4回：授業の条件とは AL:B、C
第5回	担当教員	茂木 輝順 今村 ゆずか 第5回：教師と教員はどう違うのか
第6回	担当教員	茂木 輝順 今村 ゆずか 第6回：教師の仕事とはどのようなものか（その1）【教師の日常】
第7回	担当教員	茂木 輝順 今村 ゆずか 第7回：教師の仕事とはどのようなものか（その2）【さまざまな学校の職務と校務分掌】
第8回	担当教員	茂木 輝順 今村 ゆずか 第8回：教師と生徒のいい関係とは AL:B、C
第9回	担当教員	茂木 輝順 今村 ゆずか 第9回：目指すべき理想の教師像 AL:B、C
第10回	担当教員	茂木 輝順 今村 ゆずか 第10回：教師の多忙化 AL:B、C
第11回	担当教員	茂木 輝順 今村 ゆずか 第11回：子どもたちの多様性と向き合う AL : B、C
第12回	担当教員	茂木 輝順 今村 ゆずか 第12回：チーム学校運営 AL:B、C
第13回	担当教員	茂木 輝順 今村 ゆずか

	員	第13回：保護者とつながるには AL:B、C
第14回	担当教員	茂木 輝順 今村 ゆずか 第14回：これからの教師の役割とは？ AL:B、C
第15回	担当教員	茂木 輝順 今村 ゆずか 第15回：授業のまとめ AL:A

評価方法とフィードバック方法

毎回の授業におけるミニレポート：20点（20%）、課題の発表：40点（40%）、期末課題：40点（40%）、合計100点（100%）で評価する。

教科書

テキスト

井藤元編『ワークで学ぶ教職概論』ナカニシヤ出版 2017年 2500円（税抜）

参考書

参考文献 授業時にそのつど提示する

オフィスアワー

水曜日4限・今村研究室

木曜日3限・茂木研究室（これ以外の時間帯でも気軽に）

実務経験の有無

この科目は初等教育機関において教諭の実務経験を有する教員がその実務経験を活かし、実践的教育を行っている科目です（今村）。

その他

グループ学習を中心に行い、グループ討議とそれにもとづいたプレゼンテーションを行います。

②準備学修：講義に関連する教科書の箇所を事前および事後に読んでおくこと（各30分）

③担当教員実務経験の有無，有

クラスルーム

<https://classroom.google.com/c/NjYwMzUxNzIxMTM1?cjc=x337sp6>

講義コード	2000403
講義名	教育制度論〔整〕
(副題)	
代表ナンバリングコード	52L07-1001FO-00
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	自由
担当教員	

氏名

河村 幸子

総合学習目標

現代の学校教育に関する社会的、制度的又は経営的事項のいずれかについて、基礎的な知識を身に付けるとともに、それらに関連する課題を理解する。なお、学校と地域との連携に関する理解及び学校安全への対応に関する基礎的知識も身に付ける。地域教育資源調査を通して学校の「社会に開かれた教育課程」編成に寄与できることを目指す。整復医療・トレーナー学科DP1-①に該当する。

個別学習目標

現代公教育制度の意義・原理・構造について、その法的・制度的仕組みに関する基礎的知識を身に付けるとともに、そこに内在する課題を理解する。

学校と地域との連携の意義や地域との協働の仕方について、取り組み事例を踏まえて理解する。

学校の管理下で起こる事件、事故及び災害の実情を踏まえて、学校保健安全法に基づく、危機管理を含む学校安全の目的と具体的な取組を理解する。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	◎

【**整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度**】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。

◎

授業計画

第1回	担当 教員	河村 幸子 シラバス説明及びテキスト紹介、発表分担当決め等
	内容	講義の概要、教育及び教育制度の意義。B
第2回	担当 教員	河村 幸子 公教育の原理及び理念
	内容	「教育」の成立をどうみるか 世界の「教育の発展」をどうみるか
第3回	担当 教員	河村 幸子 公教育制度を構成している教育関係法規（1）
	内容	【日本国憲法、教育基本法】
第4回	担当 教員	河村 幸子 公教育制度を構成している教育関係法規（2）
	内容	【ESDのための法制度】
第5回	担当 教員	河村 幸子 教育制度を支える教育行政の理念と仕組み（1）
	内容	【教師からみた教育制度改革の課題】
第6回	担当 教員	河村 幸子 教育制度を支える教育行政の理念と仕組み（2）
	内容	【ESD・SDG s 実践に向けた教育制度改革】
第7回	担当 教員	河村 幸子 教育制度をめぐる諸課題（1）
	内容	【学校経営をめぐる教育制度】
第8回	担当 教員	河村 幸子 教育制度をめぐる諸課題（2）
	内容	【子育て・教育支援制度】【消費者市民育成のための教育制度】
第9回	担当 教員	河村 幸子 地域との連携・協働による学校教育活動の意義及び方法
	内容	【学習権保障のための制度】【学校統廃合による地域教育空間の再編と創造】
第10回	担当 教員	河村 幸子 ESD・SDG s を実現するための開かれた学校づくり
	内容	【ESD・SDG s を実現するための開かれた学校づくり】【教科指導時の危機管理、不審者対応、災害への対応】
第11回	担当 教員	河村 幸子 危機管理や事故対応を含む学校安全の必要性生活安全・交通安全・災害安全の各領域や我が国の学校をとりまく新たな安全上の課題について
	内容	生活安全・交通安全・災害安全の各領域や我が国の学校をとりまく新たな安全上の課題について、安全管理及び安全教育の両面から具体的な取組
第12回	担当 教員	河村 幸子 地域教育資源調査（1）
	内容	地域教育資源調査を通して学校の「社会に開かれた教育課程」編成に寄与する。D
第13回	担当 教員	河村 幸子 地域教育資源調査（2）

	内容	公民館との連携をしながら地域の課題を学ぶ。D
第14回	担当 教員	河村 幸子 地域教育資源調査 (3)
	内容	市民住民とともに学校教育の在り方を制度面から考える。D
第15回	担当 教員	河村 幸子 総合討議
	内容	【講義全体を通じた総括と質疑応答】 A

評価方法とフィードバック方法

毎時間のレポート (60%)、グループ発表の成績 (40%)

毎時間のレポートは、毎回10点満点×15回=150点満点とし、評価全体の60%として換算する。

グループ発表は、教科書レポート、教育法解説レポートを各10点満点の20点満点で評価する。

毎時間のレポート点、グループ発表の合計で9割以上が秀、8割以上が優、7割以上が良、6割以上を可とする。

教科書

『持続可能な未来のための教育制度論』〈「ESDでひらく未来」シリーズ〉小玉敏也、鈴木敏正、降旗信一編著、学文社

参考文献

教育思想史 小澤周三 有斐閣 本体2,200円+税

教育学キーワード 小澤周三 有斐閣 本体2,000円+税

現代教育学入門 小澤周三 勁草書房 本体2,600円+税

参考書

参考文献

教育思想史 小澤周三 有斐閣 本体2,200円+税

教育学キーワード 小澤周三 有斐閣 本体2,000円+税

現代教育学入門 小澤周三 勁草書房 本体2,600円+税

その他、配付資料を用いる。

オフィスアワー

土曜日・2限・非常勤講師室

実務経験の有無

有 公立小学校において40年間の担任経験と、学芸大学において非常勤講師として「環境教育」を担当した経験を持つ。

その他

職業資格にかかわる科目なので真面目さと積極的参加が求められる。毎回テキストの相当部分

の予習を40分、復習を20分することが求められる。本講義は対面授業で行う。

担当教員実務経験の有無, 有

講義コード	2000701
講義名	特別活動論
(副題)	
代表ナンバリングコード	
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	2
必修/選択	自由
担当教員	

氏名

藤原 則之

総合学習目標

学校教育では教科授業だけでなく、学級活動、生徒会活動、学校行事など教科外の集団的な活動を通して、よりよい学校生活や人間関係を築き、自分自身の生き方や社会参画について主体的に考えられるようになることも重要な教育内容である。本講義では、特別活動の教育課程における意義、目標、内容、方法に関する基礎的な理解を深め、授業を計画し、実践できる能力を養うことを目標とする。整備DP2-①、DP3-①に該当する。

個別学習目標

- 1 特別活動の教育的意義や特質等について理解する。
- 2 学習指導要領や実践事例を基に、特別活動のねらいや内容、指導方法について、必要な知識・技能を習得する。
- 3 各活動・学校行事の特性を理解し、指導計画を作成する。

準備学修

事前にテキストの該当部分を熟読し内容を理解するとともに、疑問点を整理しておく（30分）
 授業後に資料や記録を整理し、内容理解を深める（60分）
 授業実践及び口頭発表などを行うので、事前に課題、表現方法を設定し、資料を収集、まとめ、表現活動の練習に積極的に取り組むこと（5時間）

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整備医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整備医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	
【整備医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整備師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	
【整備医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	◎
【整備医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	◎

【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。

【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。

授業計画

第1回	担当 教員	藤原 則之 『オリエンテーション』 後期の講義・演習の概要
	内容	学校体験を振り返り特別活動の重要性について理解する。 本授業の全体概要と進め方、目標・評価について理解する。AL:E
第2回	担当 教員	藤原 則之 『特別活動の現代的意義』
	内容	学習指導要領の特別活動編について理解する。AL:A
第3回	担当 教員	藤原 則之 『特別活動の目標』特別活動の目標（中・高等）・特別活動の基本的な性格と教育的意義
	内容	学習指導要領に示された特別活動の目標と内容について理解する。AL:A
第4回	担当 教員	藤原 則之 『特別活動と各教科等との関連』特別活動と各教科、道徳、総合的な学習の時間との関連
	内容	特別活動の現状理解と課題の発見から、教師としての果たすべき役割を理解する。AL:A, B
第5回	担当 教員	藤原 則之 『特別活動と各教科等との関連』特別活動と各教科、道徳、総合的な学習の時間との関連
	内容	生徒の自主性・社会性を育てる視点と教科領域との連携について理解する。AL:A, B
第6回	担当 教員	藤原 則之 『人間関係づくりと特別活動』
	内容	特別活動における望ましい人間関係づくりの重要性について理解し、具体的な手立てについて実践例を通して学ぶ。AL:A, B
第7回	担当 教員	藤原 則之 『学級活動の意義と実践』
	内容	学級活動やホームルーム活動の展開事例から、その意義と教育の情報化を生かした指導法と留意点を理解する。AL:A, B
第8回	担当 教員	藤原 則之 『生徒会活動の意義と実践』
	内容	自治活動の視点による全校的な立場から取り組む生徒会活動の意義と可能性を理解する。AL:A, B
第9回	担当 教員	藤原 則之 『学校行事の意義と実践』
	内容	学校現場における儀式的行事の事例をもとに学校行事の内容、その意義と可能性を理解する。AL:A, B
第10回	担当 教員	藤原 則之 『部活動の意義と実践』
	内容	部活動の位置づけと、部活動の意義および実践から見た指導上の課題を理解し、民主的な部活動運営について討議する。AL:A, B

第11回	担当 教員	藤原 則之 『特別活動における評価』
	内容	特別活動における評価の意義と自己評価・相互評価など具体的な評価方法について理解する。AL:A, B
第12回	担当 教員	藤原 則之 『学級活動の模擬授業の進め方について』
	内容	指導案作成方法の理解と、ICTを活用した模擬授業の立案を行う。AL:A, B
第13回	担当 教員	藤原 則之 『模擬授業の実践 実践案の検討』
	内容	模擬授業案をグループで考察・評価を互いに発表する。AL:A, B, C, D
第14回	担当 教員	藤原 則之 『模擬授業の実践 実践発表』
	内容	模擬授業を発表し、グループで相互評価を行い発表する。AL:A, B, C, D
第15回	担当 教員	藤原 則之 『まとめ、総括』
	内容	特別活動の今日的課題と教師の果たす役割について理解する。AL:A, B

評価方法とフィードバック方法

テスト 50 点(50%)、小テスト・レポート50 点(50%)により評価を行い、60 点以上を合格とする。

教科書

テキスト 中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 特別活動編 文部科学省 256円＋税

参考書

参考文献 小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 特別活動編 文部科学省141円＋税
高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 特別活動編 文部科学省 900円＋税

オフィスアワー

質問等は授業後に随時受け付けます。

実務経験の有無

この科目は中等教育機関において教諭の実務経験を有する教員が実務経験を活かし、実務的教育を行っている科目です。

その他

本授業では学習指導要領解説を通して特別活動の知識技能を高め、知っていること、できることをどう使うか、どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るかについて重点を置いている。授業内における積極的な意見表出や実践課題への参加を望む。

講義コード	2001202
講義名	道徳教育の理論と実践〔整〕
(副題)	
代表ナンバリングコード	52L07-2002FO-00
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	2
必修/選択	自由
担当教員	

氏名

茂木 輝順

総合学習目標

- ・道徳の意味および道徳の発達について理解することができる。
- ・今日の子ども・青年が抱えている道徳的課題を敏感にとらえることができる。
- ・「特別な教科 道徳」の目的、カリキュラム上の位置づけについて、具体的に理解することができる
- ・模擬授業を行うことを通して道徳の授業で大切なことを学び、実際の指導に役立てることができる。

個別学習目標

- ・道徳とは何かを理解し、道徳教育の本質や理念について正しく理解することができる。
- ・道徳性の発達段階を理解し、それに応じた道徳教育を考案することができる。
- ・「特別な教科 道徳」の授業の進め方を理解し、学習指導案を作成することができる。

準備学修

事前に授業の該当部分を読んでおくこと（30分）。各グループでに課されたテーマ発表のための準備（60分）、グループでの指導案・模擬授業の発表の準備（60分）

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	◎

【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。

【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。

授業計画

第1回	担当 教員	茂木 輝順 イントロダクション
	内容	ガイダンスを受け、授業の進め方を理解する これまで自分が受けてきた小学校・中学校での道徳の時間の授業の特徴を検討する
第2回	担当 教員	茂木 輝順 道徳とは何だろうか
	内容	そもそも道徳とは何か（道徳の本質）を検討する
第3回	担当 教員	茂木 輝順 道徳を教えるとはどういうことか？
	内容	子どもの心の成長と道徳性の発達について検討しながら、道徳を教えるとはどういうことかを考える
第4回	担当 教員	茂木 輝順 道徳教育の内容 うそをつくということ
	内容	「うそをつくこと」を題材にして、道徳科の教材の特徴を踏まえながら、授業設計に活用する方法を検討する
第5回	担当 教員	茂木 輝順 道徳教育の歴史 戦前
	内容	大日本帝国憲法、「教育勅語」と「修身」 AL: A, B, C
第6回	担当 教員	茂木 輝順 道徳教育の歴史 戦後
	内容	日本国憲法と教育基本法、戦後の道徳教育の変遷 AL: A, B, C
第7回	担当 教員	茂木 輝順 日常の中でこどもをつかむ
	内容	道徳の時間の授業を進めるうえで、こどもの日常をどうつかみ、道徳教育の指導計画の作成、教育活動全体を通じた指導との相互関連、多様な指導法に活かしていったらよいかを検討する AL: A, B, C

第8回	担当 教員	茂木 輝順 新たに設けられた「特別な教科 道徳」
	内容	「特別な教科 道徳」が設けられた経緯、その目的と特徴を、学習指導要領に示された道徳教育及び道徳科の目標や内容とともに検討する AL : A,B,C
第9回	担当 教員	茂木 輝順 道徳科の学習指導案はどう作るのか
	内容	授業のねらいや指導過程が明確な道徳科の学習指導案の作成について、検討する
第10回	担当 教員	茂木 輝順 道徳科の授業を構想する
	内容	「特別な教科 道徳」の教科書を活かす工夫や学習評価の在り方について、検討する AL : A,B,C
第11回	担当 教員	茂木 輝順 「特別な教科 道徳」の学習指導案づくり（その1）
	内容	各班で指導案づくりについて討論し、指導案の骨子を考える AL : A,B,C
第12回	担当 教員	茂木 輝順 「特別な教科 道徳」の学習指導案づくり（その2）
	内容	指導案づくりと発表への準備作業 AL : A,B,C
第13回	担当 教員	茂木 輝順 学習指導案の発表、模擬授業、討議（その1）
	内容	グループ順に、学習指導案の発表、模擬授業、討議を実施する AL : A,B,C
第14回	担当 教員	茂木 輝順 学習指導案の発表、模擬授業、討議（その2）
	内容	グループ順に、学習指導案の発表、模擬授業、討議を実施する AL : A,B,C
第15回	担当 教員	茂木 輝順 授業全体のまとめ
	内容	授業全体を振り返り、あたらめて、道徳教育の意義を考える

評価方法とフィードバック方法

課題（学習指導案の作成を含む）の発表：80%、毎回の授業で提出するミニレポート：20%、合計100点（100%）で評価します。

教科書

道徳教育のキソ・キホン 相澤伸幸・神代健彦編著 ナカニシヤ出版 2000円（税別）

参考書

小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編（最新版）

中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編（最新版）

ワークで学ぶ道徳教育[増補改訂版] 井藤元編 ナカニシヤ出版 2600円（税別）

オフィスアワー

前期木曜日 3限 茂木研究室（これ以外の時間でもお気軽にどうぞ）

その他

①とくに道徳では、日常的な道徳を批判的に考察するとともに、これまでの自分の生き方や考え方を真摯に批判的に検討することが求められます。以上のことを念頭に置いて授業に臨んでください。

②グループ分けをしグループ作業を行います。

クラスルーム

<https://classroom.google.com/c/NjYwMzUwODMyODM4?cjc=mv5p2g6>

講義コード	2001301
講義名	生徒指導の理論及び方法[整]
(副題)	
代表ナンバリングコード	52L07-3003FO-00
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	3
必修/選択	自由
担当教員	

氏名

三浦 芳恵

総合学習目標

様々な現代的な課題を抱える学校教育において、これからの生徒指導は、問題行動への対応という消極的な生徒指導だけでなく、成長と発達から捉える生徒理解を基本とする生徒指導が強く求められている。本講義では時事的な話題を例に、教師として生徒指導を行う上で必要な理論や実践のための方法を理解し、実践能力の基礎を養う。

個別学習目標

- 1 生徒指導の意義と原理について理解を深める。
- 2 教育課程と生徒指導、学校における生徒指導体制について理解を深める。
- 3 児童生徒の発達特性を踏まえた問題行動への対応のあり方について理解を深める。
- 4 課題解決に向けた実践力を身につける。

準備学修

事前にテキストの該当部分を熟読し内容を理解するとともに、疑問点を整理しておく（30分）

授業後に資料や記録を整理し、内容理解を深める（60分）

授業実践及び口頭発表などを行うので、事前に課題、表現方法を設定し、資料を収集、まとめ、表現活動の練習に積極的に取り組むこと（15時間）

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあつても国家資格を有用に活用できる。	○
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者とな	

ると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	

授業計画

第1回	担当 教員	三浦 芳恵 オリエンテーションと学修全体の概観
	内容	学校体験を振り返り生徒指導の重要性について理解する。 本授業の全体概要と進め方、目標・評価について理解する。AL:E
第2回	担当 教員	三浦 芳恵 生徒の健全な成長を促すための生徒指導の役割
	内容	生徒指導提要の概要と、生徒指導の意義と原理について理解する。AL:A, B:
第3回	担当 教員	三浦 芳恵 生徒理解のための視点
	内容	発達段階・対人関係・生育歴から児童生徒の理解を深め、共感的な理解に基づく児童生徒との関係作りについて具体的事例をもとに検討する。AL:A
第4回	担当 教員	三浦 芳恵 生徒指導に関する実践研究（1）いじめ
	内容	現代の学校におけるいじめ問題を理解し、いじめ問題に学校・学年・担任としてどう取り組むか討議する。AL:A, B, C, D
第5回	担当 教員	三浦 芳恵 教育課程と生徒指導
	内容	教科や教科外での生徒指導のあり方を具体的事例から検討し理解する。AL:A
第6回	担当 教員	三浦 芳恵 学校の指導体制
	内容	学校における生徒指導体制の重要性とチーム学校の一員としての自覚について理解する。AL:C, D
第7回	担当 教員	三浦 芳恵 模擬生徒指導実践
	内容	ペップトークによる学級活動や学校行事における全体指導を実践し、自己評価、相互評価を行う。AL:A, B, D
第8回	担当 教員	三浦 芳恵 生徒指導と教育相談
	内容	学校における教育相談の意義と体制の確立、専門機関との連携の重要性について理解する。AL:A, B, D
第9回	担当 教員	三浦 芳恵 児童生徒全体への指導
	内容	基本的な生活習慣と校内規律の現状の理解と、学校・学年・担任として組織的にどう取り組むかを理解する。AL:B, D
第10回	担当 教員	三浦 芳恵 生徒指導に関する実践研究（2）不登校
	内容	不登校についての現状と課題・対策について理解するとともに学校・学年・担任として組織的にどう取り組むかを討議する。AL:A, B, C, D
第11回	担当 教員	三浦 芳恵 個別の課題を抱える児童生徒への指導（1）発達障がい
	内容	発達障がいについて理解し、学校・学年・担任として組織的にどう取り組むかを理解する。AL:A, B, D
	担当	三浦 芳恵

第12回	教員	個別の課題を抱える児童生徒への指導（2）SNS、性、生命、非行
	内容	SNS、性、生命に関する現状理解と非行などの問題行動に学校・学年・担任としてどう取り組むかを討議する。AL:A, B
第13回	担当教員	三浦 芳恵 生徒指導に関する法制度
	内容	体罰、懲戒、出席停止等の法的根拠と学校・教育者としてのコンプライアンスについて理解を深める。AL:A
第14回	担当教員	三浦 芳恵 学校と家庭・地域・関係機関との連携
	内容	社会の形成者としての資質の形成に向けて保護者・地域との信頼関係づくりの重要性を理解する。AL:A
第15回	担当教員	三浦 芳恵 補足と総括
	内容	生徒指導の動向と課題と、子どもの成長・発達に重い責任を負う教師の仕事について理解する。AL:A, B 総括

評価方法とフィードバック方法

最終レポート及びテスト 45 点(45%)、実践課題への取り組み35点（35%）、提出物等 20 点(20%)により評価を行い、60 点以上を合格とする。

- ・ 合格点に満たなかった場合は再試験を行う。
- ・ 課題は授業内で全体に向けてフィードバックを行う。

教科書

資料は毎回配付する

参考書

参考文献

『生徒指導提要』の改訂版は文部科学省のHPで公開されています。

https://www.mext.go.jp/content/20221206-mxt_jidou02-000024699-001.pdf

『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総則編』 307円（税込）

オフィスアワー

質問は授業の前後に受け付ける

その他

本授業では実践を通して理解を深めることに重点を置いているので、授業内における積極的な意見表出、実践課題への参加を望む。

講義コード	2001501
講義名	進路指導論
(副題)	
代表ナンバリングコード	
講義開講時期	後期前半
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	15.00
対象学年	3
必修/選択	自由
担当教員	

氏名

藤原 則之

総合学習目標

進路指導論では、

- 1) 現在の進路指導にどのような課題が課せられているかを理解し考えていきます。

整復DP2-①、DP3-①に該当。

個別学習目標

① 中学生や高校生が自分の将来と仕事にどのような意識（不安と希望）を持っているかを、共感を持って理解できる。

② 進路指導とは、生徒が将来の生き方を考え行動する態度や能力を育成するものであることが、理解できる。

③ 具体的な進路指導のあり方と方法を考えることができる。

準備学修

テキストの該当箇所を事前に読んで、理解するとともに、疑問点を整理しておくこと（30分）、授業後に資料や記録を整理し、内容の理解を深めること（60分）

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャ	◎

リストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	

授業計画

第1回	担当 教員	藤原 則之 はじめに——進路指導とは！？
	内容	自らが将来の進路の選択、計画をし、就職または進学して、さらにその後の生活によりよく適応し、進歩する能力を伸長するように、教師が教育の一環として、組織的、継続的に援助する過程である。AL: E
第2回	担当 教員	藤原 則之 進路指導の歴史と発展 ガイダンス・カウンセリングの基礎的理論
	内容	米国の進路指導の歴史と発展を明らかにするとともに、我が国への影響と、わが国の今日までの発展をたどり、これからのガイダンス・カウンセリングのあるべき姿について論ずる。AL: A
第3回	担当 教員	藤原 則之 進路指導の理念と性格 生徒理解の方法・技術
	内容	進路指導の理念や意義を取り上げ、役割と基本的性格、教育課程での位置づけについて明らかにする。 進路指導の実践を支える生徒理解について、その観点、理解すべき内容・側面、理解のための方法等を取り上げる。AL: A
第4回	担当 教員	藤原 則之 進路指導の組織と運営
	内容	進路指導の校内組織、その管理運営、年間指導計画等について取り上げ、それにかかわる管理職の役割、生徒指導主事・進路指導主事の役割、および学級（ホームルーム）担任の教師の役割等、および、進路指導における家庭・地域・関係機関との連携・協力の意義について取り上げる。AL: A
第5回	担当 教員	藤原 則之 進路相談の方法・技術
	内容	進路相談も集団指導と個別指導があるが、個別指導の相談の意義と必要性について述べる。教育相談を踏まえたうえで、進路に特化した相談である進路相談について、その定義、位置づけ、目的を確認し、計画についてふれながら、実際の活動における注意点を指摘する。AL: A
	担当 教員	藤原 則之 学校における進路相談の計画と実践

第6回	員	
	内容	児童生徒が夢と希望をもち、目標に向かって落ち着いて学習に取り組むことのできる、小学校、中学校、高等学校を実現するためには、学校段階によって、それぞれの教育課題は違うが、この課題をそれぞれの互いに理解し合えたとき、小学校、中学校、高等学校の校種の壁を越えた連続した一貫性のある教育が可能になると考える。AL: A
第7回	担当 教員	藤原 則之 生徒の問題行動の特徴と支援
	内容	問題行動の発見と支援のあり方について明らかにしていく。さらに、これらの問題に対する法的制度についても取り上げる。 AL: A
第8回	担当 教員	藤原 則之 進路指導のアセスメント
	内容	進路指導の組織・運営・運営についてのアセスメントを、①アセスメントの意義と目的、②アセスメントの対象と領域、③アセスメントの方法と技術、さらに具体的な取り組みの事例を取り上げて論じる。AL: A

評価方法とフィードバック方法

テスト50点(50%)、小テスト・レポート50点(50%)により評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書

テキスト 生徒指導・進路指導・キャリア教育論 主体的な生き方を育むための理論と実践
横山明子 編著 図書文化 定価(本体2000円+税)

オフィスアワー

質問等は授業後に随時受け付けます。

実務経験の有無

この課題は中等教育機関において教諭の実務経験を有する教員が実務経験を活かし、実務的教育を行っている科目です。

その他

8回の講義の翌週に試験を行う。

講義コード	2001701
講義名	教育実習指導（保健体育）
(副題)	
代表ナンバリングコード	52P07-4004FO-00
講義開講時期	前期
講義区分	実習
基準単位数	1
時間	15.00
対象学年	4
必修/選択	自由
担当教員	

氏名

菅沼 徳夫

山田 利彦

池谷 壽夫

金丸 雄介

総合学習目標

教育実習の意義と目的について十分に理解を深め、教育実習生としての自覚と心得を養うとともに、実習を通して実務や教科指導、学級指導、ホームルーム経営（道徳指導）などについての実践的な指導力を高める。そして、教育実習の成果を自ら評価し、教育実習生としての資質向上を図ることを目標とする。

個別学習目標

- ①学校での実務や教科指導、学級指導などについて理解できる。
- ②学習指導要領に沿って保健・体育の指導案が作成できる。
- ③教育実習の成果を自ら評価し、自分の課題を見つけることができる。

準備学修

事前に了徳寺大学『実習の手引き』、学習指導要領解説等を読んでおくこと（60分）、また事後にそれらテキストの該当箇所を読むこと（30分）、指導案の書き方について復習をし、発表準備をしておくこと（60分）

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
--	----------------------------------

【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。

【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあつても国家資格を有用に活用できる。	○
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	○
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	

授業計画

第1回	担当教員	菅沼 徳夫 教育実習の意義 【菅沼】
	内容	本授業の全体的構成、教職課程における教育実習の意義と獲得目標
第2回	担当教員	山田 利彦 教育実習生の心構えについて
	内容	柔道における師弟関係について 教わる者としての心構え① 熱意と学習意欲
第3回	担当教員	金丸 雄介 第3回
	内容	教わる者としての心構え② 教育実習の勤務態度について 教育実習中の生活について
第4回	担当教員	学校における表現（言葉遣い、文章中の言葉の使い方等）
	内容	実習日誌の書き方 教育実習中の事務処理について
第5回	担当教員	菅沼 徳夫 教材研究、保健体育授業の実際
	内容	教育実習までに準備すること
第6回	担当教員	菅沼 徳夫 山田 利彦 金丸 雄介 教育実習の総括と反省
	内容	全員が教育実習終了後に行う。 教育実習の報告（学校の様子、生徒の様子、自身の課題発見と今後の対策） 最後に全体で総括する。
第7回	担当教員	菅沼 徳夫 山田 利彦 金丸 雄介 教育実習のまとめと反省
	内容	全員が教育実習終了後に行う。 教育実習の報告（学校の様子、生徒の様子、自身の課題発見と今後の対策）

		最後に全体で総括する。
第8回	担当教員	菅沼 徳夫 山田 利彦 金丸 雄介 教育実習のまとめと反省
	内容	全員が教育実習終了後に行う。 教育実習の報告（学校の様子、生徒の様子、自身の課題発見と今後の対策） 最後に全体で総括する。

評価方法とフィードバック方法

指導案レポート（30%）、事後指導の発表レポート(70%)で総合的に評価する。
次回の授業、教育実習終了後に評価し、フィードバックする。

教科書

中学校学習指導要領解説 保健体育、高等学校学習指導要領解説 保健体育編 体育編

参考書

オフィスアワー

菅沼研究室、山田研究室、金丸先生

実務経験の有無

（菅沼）中学校保健体育、特別支援学校での実務経験を有する教員がその実務経験を活かし、実践的教育を行っている科目です。

その他

相談がある場合は、気軽に各先生の研究室を訪ねること。

③

講義コード	2001801
講義名	教育実習I（保健体育）
(副題)	
代表ナンバリングコード	52P07-4005IO-00
講義開講時期	通年
講義区分	実習
基準単位数	2
時間	180.00
対象学年	4
必修/選択	自由
担当教員	

氏名

菅沼 徳夫

山田 利彦

金丸 雄介

総合学習目標

高校教員になろうとする学生が、教育実習（中学校または高校）において、指導教員の指導の下に、①学校教育の現状や教育実践上の諸問題などを理解するとともに、②実際に学習指導案を作成し授業を行ったり、生徒と接したり指導することをつうじて、③実践的指導力を育み、教職に対する自己の能力や適性について自覚する。

※実習期間・総時間数

4年次5月～9月

中学校：2週間（90時間）、高等学校：2週間（90時間）

個別学習目標

- ・学校教育の現状を学び、学校組織の一員としての教員の職務と責任を学び自覚すること。
- ・指導案の作成と授業実践をつうじて、実践的指導力を育むこと。
- ・教職に対する能力や適性における自己の不十分な点を認識し、さらなる学習課題を発見すること。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあつても国家資格を有用に活用できる。	
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	◎

【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	○
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	○

授業計画

第1回	担当教員	菅沼 徳夫 山田 利彦 金丸 雄介
	内容	第1回 実習校での実習 アドバイザー教員が事中指導で各学校訪問
第2回	担当教員	菅沼 徳夫 山田 利彦 金丸 雄介
	内容	第2回 実習校での実習 アドバイザー教員が事中指導で各学校訪問
第3回	担当教員	菅沼 徳夫 山田 利彦 金丸 雄介
	内容	第3回 実習校での実習 アドバイザー教員が事中指導で各学校訪問
第4回	担当教員	菅沼 徳夫 山田 利彦 金丸 雄介
	内容	第4回 実習校での実習 アドバイザー教員が事中指導で各学校訪問
第5回	担当教員	菅沼 徳夫 山田 利彦 金丸 雄介
	内容	第5回 実習校での実習 アドバイザー教員が事中指導で各学校訪問
第6回	担当教員	菅沼 徳夫 山田 利彦 金丸 雄介
	内容	第6回 実習校での実習 アドバイザー教員が事中指導で各学校訪問
第7回	担当教員	菅沼 徳夫 山田 利彦 金丸 雄介
	内容	第7回 実習校での実習 アドバイザー教員が事中指導で各学校訪問
第8回	担当教員	菅沼 徳夫 山田 利彦 金丸 雄介
	内容	第8回 実習校での実習 アドバイザー教員が事中指導で各学校訪問
第9回	担当教員	菅沼 徳夫 山田 利彦 金丸 雄介
	内容	第9回 実習校での実習 アドバイザー教員が事中指導で各学校訪問
第10回	担当教員	菅沼 徳夫 山田 利彦 金丸 雄介
	内容	第10回 実習校での実習 アドバイザー教員が事中指導で各学校訪問

第11回	担当教員	菅沼 徳夫 山田 利彦 金丸 雄介
	内容	第11回 実習校での実習 アドバイザー教員が事中指導で各学校訪問
第12回	担当教員	菅沼 徳夫 山田 利彦 金丸 雄介
	内容	第12回 実習校での実習 アドバイザー教員が事中指導で各学校訪問
第13回	担当教員	菅沼 徳夫 山田 利彦 金丸 雄介
	内容	第13回 実習校での実習 アドバイザー教員が事中指導で各学校訪問
第14回	担当教員	菅沼 徳夫 山田 利彦 金丸 雄介
	内容	第14回 実習校での実習 アドバイザー教員が事中指導で各学校訪問
第15回	担当教員	菅沼 徳夫 山田 利彦 金丸 雄介
	内容	第15回 実習校での実習 アドバイザー教員が事中指導で各学校訪問

評価方法とフィードバック方法

教育実習校が行う評価、事中指導および教育実習日誌の内容等を総合して、成績を評価する。事中指導中に指導教官から聞き取った評価やアドバイザーが見て感じた評価をを伝えたり、教育実習の評価表から得られたことを伝える。

教科書

なし

参考書

高等学校学習指導要領解説 保健体育・体育編 文部科学省 東山書房502円（税抜）

中学校学習指導要領解説 保健体育 東山書房 416円（税抜）

その他

・実習期間中に実習校を訪問し、実習生の研究授業を参観するとともに、校長、教頭、指導教員との面談、実習生との面談・指導を実施するので、実習生は研究授業の日時を知らせるなど適切な対応を取ること。

・教育実習期間中は、健康に十分留意し、教育実習生としての自覚をもって実習に参加すること。

・受講資格については学生便覧を参照すること。

講義コード	2001901
講義名	教育実習II（保健体育）
(副題)	
代表ナンバリングコード	52P07-4006IO-00
講義開講時期	通年
講義区分	実習
基準単位数	2
時間	180.00
対象学年	4
必修/選択	自由
担当教員	

氏名

菅沼 徳夫

山田 利彦

金丸 雄介

総合学習目標

中学校・高校両方の教員免許を取得する学生が、教育実習（中学校または高校）において、指導教員の指導の下に、①学校教育の現状や教育実践上の諸問題などを理解するとともに、②実際に学習指導案を作成し授業を行ったり、生徒と接したり指導することをつうじて、④実践的指導力を育み、教職に対する自己の能力や適性について自覚する。

個別学習目標

- ・ 学校教育の現状を学び、学校という組織の一員としての教員の職務と責任を学ぶこと。
- ・ 指導案の作成と授業実践をつうじて、実践的指導力を育むこと。
- ・ 教職に対する能力や適性における自己の不十分な点を認識し、さらなる学習課題を発見すること。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有効に活用できる。	
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	○

【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。

【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。

○

授業計画

第1回	担当教員	菅沼 徳夫 山田 利彦 金丸 雄介
	内容	第1回 実習校での実習 アドバイザー教員が事中指導で各学校訪問 ※実習期間・総時間数 4年次5月～9月 中学校：2週間（90時間）、高等学校：2週間（90時間）
第2回	担当教員	菅沼 徳夫 山田 利彦 金丸 雄介
	内容	第2回 実習校での実習 アドバイザー教員が事中指導で各学校訪問
第3回	担当教員	菅沼 徳夫 山田 利彦 金丸 雄介
	内容	第3回 実習校での実習 アドバイザー教員が事中指導で各学校訪問
第4回	担当教員	菅沼 徳夫 山田 利彦 金丸 雄介
	内容	第4回 実習校での実習 アドバイザー教員が事中指導で各学校訪問
第5回	担当教員	菅沼 徳夫 山田 利彦 金丸 雄介
	内容	第5回 実習校での実習 アドバイザー教員が事中指導で各学校訪問
第6回	担当教員	菅沼 徳夫 山田 利彦 金丸 雄介
	内容	第6回 実習校での実習 アドバイザー教員が事中指導で各学校訪問
第7回	担当教員	菅沼 徳夫 山田 利彦 金丸 雄介
	内容	第7回 実習校での実習 アドバイザー教員が事中指導で各学校訪問
第8回	担当教員	菅沼 徳夫 山田 利彦 金丸 雄介
	内容	第8回 実習校での実習 アドバイザー教員が事中指導で各学校訪問
第9回	担当教員	菅沼 徳夫 山田 利彦 金丸 雄介
	内容	第9回 実習校での実習 アドバイザー教員が事中指導で各学校訪問
第10回	担当教員	菅沼 徳夫 山田 利彦 金丸 雄介
	内容	第10回 実習校での実習 アドバイザー教員が事中指導で各学校訪問
		菅沼 徳夫

第11回	担当教員	山田 利彦 金丸 雄介
	内容	第11回 実習校での実習 アドバイザー教員が事中指導で各学校訪問
第12回	担当教員	菅沼 徳夫 山田 利彦 金丸 雄介
	内容	第12回 実習校での実習 アドバイザー教員が事中指導で各学校訪問
第13回	担当教員	菅沼 徳夫 山田 利彦 金丸 雄介
	内容	第13回 実習校での実習 アドバイザー教員が事中指導で各学校訪問
第14回	担当教員	菅沼 徳夫 山田 利彦 金丸 雄介
	内容	第14回 実習校での実習 アドバイザー教員が事中指導で各学校訪問
第15回	担当教員	菅沼 徳夫 山田 利彦 金丸 雄介
	内容	第15回 実習校での実習 アドバイザー教員が事中指導で各学校訪問

評価方法とフィードバック方法

教育実習校が行う評価、事中指導および教育実習日誌の内容等を総合して、成績を評価する。事中指導の際、実習終了後、評価表が戻った後、指導教官とアドバイザー教員、担当教員の評価を伝える。

教科書

なし

参考書

中学校学習指導要領解説 保健体育編 文部科学省 東山書房 416円（税抜）

高等学校学習指導要領解説 保健体育・体育編 文部科学省 東山書房502円（税抜）

その他

・実習期間中に実習校を訪問し、実習生の研究授業を参観するとともに、校長、教頭、指導教員との面談、実習生との面談・指導を実施するので、実習生は研究授業の日時を知らせるなど適切な対応を取ること。

・教育実習期間は、健康に十分留意し、教育実習生としての自覚をもって実習に参加すると。

・受講資格については学生便覧を参照すること。

講義コード	2003601
講義名	体育科教育法I
(副題)	
代表ナンバリングコード	52L07-3007FO-00
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	3
必修/選択	自由
担当教員	

氏名

菅沼 徳夫

総合学習目標

体育の授業は100mのタイムを計るだけ、バスケットの試合をするだけ、跳び箱を跳ぶだけ…。このようなイメージを持っている学生も多いと思います。何のために体育の授業があるのか考えましょう。そうすることで皆さんがこれまで受けてきた体育の授業と違ったものが見えてくるとと思います。体育科教育の目標、内容、方法、評価など基本的なことについて理解しましょう。

個別学習目標

「体育科教育で何を指すのか」について理解する。
「体育科教育で何を学習させるのか」について理解する。
「体育科教育でどのように学習させるのか」について理解する。
「体育科教育ではどのように評価するのか」について理解する。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	○
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	○
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	◎

授業計画

第1回	担当教員	菅沼 徳夫 ガイダンス
	内容	小・中・高校の体育授業を評価する
第2回	担当教員	菅沼 徳夫 体育科教育の動向
	内容	国の教育政策と体育科教育
第3回	担当教員	菅沼 徳夫 学校における体育科の位置づけと役割
	内容	近代教育に体育が導入された理由
第4回	担当教員	菅沼 徳夫 体育科教育法のねらい
	内容	よい体育授業とはどういうものか
第5回	担当教員	菅沼 徳夫 日本の体育科教育の歴史
	内容	学習指導要領の変遷
第6回	担当教員	菅沼 徳夫 諸外国の体育科教育
	内容	日本の体育科教育の長所と短所
第7回	担当教員	菅沼 徳夫 体育科教育の内容①
	内容	種目の特性
第8回	担当教員	菅沼 徳夫 体育科教育の内容②
	内容	学習の系統性
第9回	担当教員	菅沼 徳夫 体育の内容理解①
	内容	高等学校 領域 A「体づくり運動」 B「器械運動」
第10回	担当教員	菅沼 徳夫 体育の内容理解②
	内容	高等学校 領域 C「陸上競技」 D「水泳」 E「球技」
第11回	担当教員	菅沼 徳夫 体育の内容理解③
	内容	高等学校 領域 F「武道」 G「ダンス」 H「体育理論」
第12回	担当教員	菅沼 徳夫 授業の内容と方法
	内容	内容、素材、教材、教材化、下位教材
第13回	担当教員	菅沼 徳夫 授業評価
	内容	診断的評価、形成的評価、総括的評価
第14回	担当教員	菅沼 徳夫 授業観
	内容	良い体育授業とは

第15回	担当教員	菅沼 徳夫 まとめ
	内容	体育教師教育論

評価方法とフィードバック方法

試験（80%）と授業中に提出してもらったレポート（20%）で評価する。
授業の復習や課題に対するフィードバックは、次回講義またはclass roomなどを利用して好評屋や解説を行う。

教科書

こちらで用意した資料を用いるが以下の書籍は、教育実習、採用試験などで必要となるので購入しておくこと。

文部科学省『中学校学習指導要領解説保健体育編』東山書房 416円

文部科学省『高等学校学習指導要領解説保健体育・体育編』東山書房 502円

参考文献

杉山重利・高橋健夫・園山和夫編『教師を目指す学生必携 保健体育科教育法』大修館書店 2,600円

高橋健夫ほか『体育科教育学入門』大修館書店 2400円

参考書

杉山重利・高橋健夫・園山和夫編『教師を目指す学生必携 保健体育科教育法』大修館書店 2600円

高橋健夫ほか『体育科教育学入門』大修館書店 2400円

高橋健夫編『体育の授業を創る』大修館書店 2200円

その他

教育実習に行き、ひとりで授業を行うことを念頭におき、しっかり学習して欲しい。

学習指導要領、教科書等を十分に読んでおくこと

意欲を持ち主体的に学習して欲しい

資料等は適宜配布する

担当教員実務経験の有無, 有

講義コード	2003701
講義名	体育科教育法II
(副題)	
代表ナンバリングコード	52L07-3008SO-00
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	3
必修/選択	自由
担当教員	

氏名

菅沼 徳夫

総合学習目標

「主体的・対話的で深い学び」ができる体育の授業設計、学習指導案作成、模擬授業実施・省察を行い、授業を実践する能力を身につける。様々な授業方法や教材・情報機器の使用による効果的な活用法を意識して模擬授業を実施し、それらを省察することで授業改善の視点を身につける。

個別学習目標

1. 子供の認識・思考、学力等の実態を視野に入れた授業設計や情報機器及び教材の効果的な活用法を実践する。
2. 単元計画、学習指導案作成、模擬授業の実施とその評価の振り返りを通して授業改善の視点を身につけるとともに、体育授業の実践研究の動向を知り、授業計画の向上に取り組むことができる。
3. 授業の分析方法を学び模擬授業にて授業評価を行う。
(体育科教育法Iで学習した内容を実践的、発展的に学習していく。)

準備学修

分担された単元について全員が体育の指導案を提出すること。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者とな	

ると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	◎

授業計画

第1回	担当教員	菅沼 徳夫 「体育科教育法II」概要
	内容	「体育科教育法II」の目的と概要、成績評価等について
第2回	担当教員	菅沼 徳夫 授業づくり①
	内容	体育授業における発展的な指導方法の理解（タブレット等のICTの活用）
第3回	担当教員	菅沼 徳夫 授業づくり②
	内容	体育授業における発展的な教材づくりの理解
第4回	担当教員	菅沼 徳夫 授業づくり③
	内容	アクティブラーニングの視点からの授業実践例の紹介と考案、授業分析方法の理解
第5回	担当教員	菅沼 徳夫 授業づくり④
	内容	体育授業における発展的な教授行為の技術の理解
第6回	担当教員	菅沼 徳夫 授業実践① ACD
	内容	模擬授業の実施とその評価・検討（体づくり運動）
第7回	担当教員	菅沼 徳夫 授業実践② ACD
	内容	模擬授業の実施とその評価・検討（器械運動）
第8回	担当教員	菅沼 徳夫 授業実践③ ACD
	内容	模擬授業の実施とその評価・検討（陸上競技）
第9回	担当教員	菅沼 徳夫 授業実践④ ACD
	内容	模擬授業の実施とその評価・検討（球技：ゴール型）
第10回	担当教員	菅沼 徳夫 授業実践⑤ ACD
	内容	模擬授業の実施とその評価・検討（球技：ネット型）
第11回	担当教員	菅沼 徳夫 授業実践⑥ ACD
	内容	模擬授業の実施とその評価・検討（球技：ベースボール型）
第12回	担当教員	菅沼 徳夫 授業実践⑦ ACD
	内容	模擬授業の実施とその評価・検討（剣道）
第13回	担当教員	菅沼 徳夫 授業実践⑧ ACD
	内容	模擬授業の実施とその評価・検討（ダンス）
第14回	担当教員	菅沼 徳夫 授業実践⑨ ACD

	内容	模擬授業の実施とその評価・検討（体育理論）
第15回	担当教員	菅沼 徳夫 授業実践⑩ ACD
	内容	模擬授業の実施とその評価・検討（ニュースポーツ）

評価方法とフィードバック方法

学習指導案作成・模擬授業の実施及び評価（60%）、授業態度や取り組む姿勢等（40%）
授業の復習や課題に対するフィードバックは、次回講義またはclass roomなどを利用して好評屋や解説を行う。

教科書

資料を用いるが以下の書籍は、教育実習、採用試験などで必要となるので購入しておくこと。
文部科学省『中学校学習指導要領解説保健体育編』東山書房 416円
文部科学省『高等学校学習指導要領解説保健体育・体育編』東山書房 502円

参考書

高橋健夫『体育授業を観察評価する』明和出版 2, 200円

その他

教育実習に行き、授業をすることを念頭におき、しっかり学習して欲しい

学習指導要領、教科書等を十分に読んでおくこと

意欲を持ち主体的に学習して欲しい

担当教員実務経験の有無， 有

講義コード	2003801
講義名	保健科教育法I
(副題)	
代表ナンバリングコード	52L07-3009FO-00
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	3
必修/選択	自由
担当教員	

氏名

菅沼 徳夫

総合学習目標

保健の内容は、感染症の予防、生活習慣病の予防、心の健康、喫煙や飲酒品と健康、性教育、環境問題など現在の生徒たちの生活、あるいは将来の生徒たちの生活と密着しています。ここに保健が生活教科と呼ばれる理由があります。受験教科ではありませんがよりよく生きていくうえで大変興味関心がある内容です。必要性が高く、面白くないはずがありません。中学生、高校生にとって、「保健」が担う課題、指導法などについて学び、「保健体育教員」の土台を培うことを目標とします。

個別学習目標

「保健」とは、何のために、何を学ぶ教科なのか、どうやって教えるとよいのかなどをしっかりと押さえ、説明できるようになる。

準備学修

小学校、中学校、高等学校での保健の授業の内容や教材を思い出して紹介してもらったり、授業の中で使えそうな新聞記事などを探して持ってきてもらったりします。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広	

い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。

◎

授業計画

第1回	担当教員	菅沼 徳夫 ガイダンス
	内容	保健体育教師を目指そう！ 保健体育教師になるには、教員採用試験の実際
第2回	担当教員	菅沼 徳夫 教科としての「保健」の位置づけ
	内容	学校保健の中の「保健」、保健体育科の中の保健（授業時数）、保健を教えることができる免許状
第3回	担当教員	菅沼 徳夫 保健授業の実際
	内容	小、中、高等学校において、これまで受けてきた「保健」授業を評価する
第4回	担当教員	菅沼 徳夫 保健の授業観
	内容	よい保健授業とは 保健と理科の違い？ 受験教科とその他の教科の違い？
第5回	担当教員	菅沼 徳夫 これまでの保健教育
	内容	戦前、戦後の保健教育の変遷
第6回	担当教員	菅沼 徳夫 各時代の健康の歴史と諸外国の現状
	内容	「保健」教科の成立史、カリキュラム問題
第7回	担当教員	菅沼 徳夫 「保健」の授業の内容と方法
	内容	内容、指導方法 教材研究について
第8回	担当教員	菅沼 徳夫 授業づくり①
	内容	授業づくりの手順
第9回	担当教員	菅沼 徳夫 授業づくり②
	内容	教材の種類 教授行為の大切さ
第10回	担当教員	菅沼 徳夫 授業の内容①
	内容	高等学校 第一単元『現代社会と健康』
第11回	担当教員	菅沼 徳夫 授業の内容②
	内容	高等学校 第二単元『安全な社会生活』
第12回	担当教員	菅沼 徳夫 授業の内容③
	内容	高等学校 第三単元『生涯を通じる健康』
第13回	担当教員	菅沼 徳夫 授業の内容④
	内容	高等学校 第四単元『健康を支える環境づくり』
	担当教員	菅沼 徳夫 授業の内容⑤

第14回	内容	中学校の保健の内容 小学校、中学校、高等学校の保健の内容のつながり
第15回	担当教員	菅沼 徳夫 まとめ
	内容	授業づくりのイメージ化、可視化 保健科教育法IIにつなげる

評価方法とフィードバック方法

試験（80%）と授業中に提出してもらったレポート（20%）で評価する。
授業の復習や課題に対するフィードバックは、次回講義またはclass roomなどを利用して好評屋や解説を行う。

教科書

こちらで用意する資料を用いる。
以下の書籍は教育実習、採用試験でも必要になるので、購入しておくこと。
文部科学省『中学校学習指導要領解説保健体育編』東山書房 416円
文部科学省『高等学校学習指導要領解説保健体育・体育編』東山書房 502円

参考書

保健科教育学会『保健科教育法入門』大修館書店
森昭三・和唐正勝編著『保健の授業づくり入門』大修館書店

その他

教育実習に行くことを念頭におき、しっかり学習して欲しい

学習指導要領、教科書等を十分に読んでおくこと

意欲を持ち主体的に学習して欲しい

資料等は適宜配布する

担当教員実務経験の有無，有

講義コード	2003901
講義名	保健科教育法II
(副題)	
代表ナンバリングコード	52L07-3010SO-00
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	3
必修/選択	自由
担当教員	

氏名

菅沼 徳夫

総合学習目標

「主体的・対話的で深い学び」ができる保健の授業設計、学習指導案作成、模擬授業実施・省察を行い、授業を実践する能力を身につける。様々な授業方法や教材・情報機器の使用による効果的な活用法を意識して模擬授業を実施し、それらを省察することで授業改善の視点を身につける。

個別学習目標

1. 子供の認識・思考、学力等の実態を視野に入れた授業設計や情報機器及び教材の効果的な活用法を実践する。
2. 単元計画、学習指導案作成、模擬授業の実施とその評価の振り返りを通して授業改善の視点を身につけるとともに、保健授業の実践研究の動向を知り、授業計画の向上に取り組むことができる。
3. 授業の分析方法を学び模擬授業にて授業評価を行う。
(保健科教育法Iで学習した内容を発展的に学習していく。)

準備学修

事前に配布する資料、中学校、高等学校で使用した保健の教科書の内容に目を通しておくこと。20分
常日頃から、新聞やネット記事で、保健授業で使える素材を探しておくこと。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を	

持つ。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	◎

授業計画

第1回	担当 教員	菅沼 徳夫 「保健科教育法II」概要
	内容	「保健科教育法II」の目的と概要、成績評価等について
第2回	担当 教員	菅沼 徳夫 授業づくり①
	内容	保健授業における発展的な指導方法の理解（ICTの活用）
第3回	担当 教員	菅沼 徳夫 授業づくり②
	内容	保健授業における発展的な教材づくりの理解
第4回	担当 教員	菅沼 徳夫 授業づくり③
	内容	アクティブラーニングの視点からの授業実践例の紹介と考案
第5回	担当 教員	菅沼 徳夫 授業づくり④
	内容	保健授業における発展的な教授行為の技術の理解
第6回	担当 教員	菅沼 徳夫 授業づくり⑤
	内容	保健授業における授業分析方法の理解
第7回	担当 教員	菅沼 徳夫 授業実践① AC
	内容	模擬授業の実施とその評価・検討（中学校「健康な生活と疾病の予防」ア健康の成り立ちと疾病の発生要因、イ生活習慣と健康、ウ生活習慣病などの予防）
	担当	菅沼 徳夫

第8回	教員	授業実践② AC
	内容	模擬授業の実施とその評価・検討（中学校「健康な生活と疾病の予防」工感染症の予防、才健康を守る社会の取り組み）
第9回	担当教員	菅沼 徳夫 授業実践③ AC
	内容	模擬授業の実施とその評価・検討（中学校「心身の機能の発達と心の健康」ア身体機能の発達、イ生殖に関わる機能の成熟、ウ精神の機能の発達と自己形成、工欲求やストレスの対処と心の健康）
第10回	担当教員	菅沼 徳夫 授業実践④ AC
	内容	模擬授業の実施とその評価・検討（中学校「傷害の防止」ア交通事故や自然災害などによる傷害の発生要因、イ交通事故などによる傷害の防止、ウ自然災害による傷害の防止、工応急処置の意義と実際）
第11回	担当教員	菅沼 徳夫 授業実践⑤ AC
	内容	模擬授業の実施とその評価・検討（中学校「健康と環境」ア身体对环境に対する適応能力・指摘範囲、イ飲料水や空気の衛生的管理、ウ生活に伴う廃棄物の衛生的管理）
第12回	担当教員	菅沼 徳夫 授業実践⑥ AC
	内容	模擬授業の実施とその評価・検討（高等学校「現代社会と健康」ア健康の考え方、イ現代の感染症とその予防、ウ生活習慣病などの予防と回復、工喫煙、飲酒、薬物乱用と健康、才氏心疾患の予防と回復）
第13回	担当教員	菅沼 徳夫 授業実践⑦ AC
	内容	模擬授業の実施とその評価・検討（高等学校「安全な社会生活」ア安全な社会づくり、イ応急手当）
第14回	担当教員	菅沼 徳夫 授業実践⑧ AC
	内容	模擬授業の実施とその評価・検討（高等学校「生涯を通じる健康」ア生涯の各段階における健康、イ労働と環境）
第15回	担当教員	菅沼 徳夫 授業実践⑨ AC
	内容	模擬授業の実施とその評価・検討（高等学校「健康を支える環境づくり」ア環境と健康、イ食品と健康、ウ保健・医療制度及び地域の健康・医療機関、工様々な保健活動や社会的対策、才健康に関する環境づくりと社会参加）

学習指導案作成・模擬授業の実施及び評価（80%）、授業態度や取り組む姿勢等（20%）
授業の復習や課題に対するフィードバックは、次回講義またはclass roomなどを利用して好評屋
や解説を行う。

教科書

テキスト指定しない。模擬授業の担当者の指導案など配布資料を用いる。

参考書

日本保健科教育学会『保健科教育法入門』大修館書店

その他

教育実習において保健授業を行うことを念頭におき、しっかり学習して欲しい。
教師という立場に立って保健授業を考え、主体的に学習して欲しい。
全員が指導案を提出し、模擬授業を行うこと。

講義コード	2004801
講義名	教職実践研究 [整]
(副題)	
代表ナンバリングコード	52S07-3011IO-00
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
時間	15.00
対象学年	3年
必修/選択	選択
担当教員	

氏名

山田 利彦

菅沼 徳夫

佐久間 浩美

須藤 武司

茂木 輝順

今村 ゆずか

総合学習目標

保健体育科教員採用試験を受験する4年生を対象とした教職実践に関する研究、演習として、これまでの4年間で修得してきた知識と技能を実践的に体系化し、将来、教育現場で実践力のある教員になるために必要な知識と技能を修得することを目標とする。

個別学習目標

- ・ 学校教育の基本と教員としての必要な知識を理解することができる。
- ・ 保健体育科教諭として、教科指導、学級経営、生徒指導等で求められる役割を理解できる。

準備学修

事前に学習指導要領総則および解説を読んで、重要事項をまとめておくこと (60分)
授業で配布されたプリントを読みなおし、基本的用語等を確認すること (30分)

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	◎

【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。

【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。

◎

授業計画

第1回	担当教員	茂木 輝順 今村 ゆずか 教職課程及び学習指導要領について
	内容	AL:A, C
第2回	担当教員	茂木 輝順 西洋と日本における教育の歴史について
	内容	AL:A, C
第3回	担当教員	須藤 武司 発達理論、学習理論、学級集団、教育評価
	内容	AL:A, C
第4回	担当教員	茂木 輝順 今村 ゆずか 憲法、教育基本法、その他必要な法律について
	内容	AL:A, C
第5回	担当教員	菅沼 徳夫 保健体育教員として必要な知識と技能について 1
	内容	
第6回	担当教員	菅沼 徳夫 保健体育教員として必要な知識と技能について 2
	内容	
第7回	担当教員	菅沼 徳夫 保健体育教員として必要な知識と技能について 3
	内容	
第8回	担当教員	山田 利彦 菅沼 徳夫 佐久間 浩美 須藤 武司 茂木 輝順 今村 ゆずか 集団面接
	内容	

評価方法とフィードバック方法

各回の授業中のレポートを中心に総合的に評価する。レポート提出後に、解説、講評を行う。

教科書

特になし

参考書

中学校学習指導要領総則、中学校学習指導要領解説 保健体育編、高等学校学習指導要領解説 保健体育編・体育編、子どもの健康相談及び保健指導の手引（文部科学省）

オフィスアワー

各担当教員のオフィスアワーに合わせて何うようにする。

実務経験の有無

この科目は学校現場における教員経験がある者が、その実務経験を活かして指導を行なっている科目である。

その他

第1回～第4回は整復・看護合同で授業を行い、第5回～第8回は整復・看護別に授業を行う。

講義コード	2005101
講義名	教職実践演習[中・高]
(副題)	
代表ナンバリングコード	
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	4
必修/選択	自由
担当教員	

氏名

菅沼 徳夫

山田 利彦

総合学習目標

1) 教職課程の他の授業科目の履修や教職課程外での様々な活動を通じて、学生が身に付けた資質能力が、教員として最小限必要な資質能力として有機的に統合され、形成されたかについて、最終的に確認する。

2) この科目の履修を通じて、将来、教員になる上で、自己にとって何が課題であるのかを自覚し、必要に応じて不足している知識や技能等を補い、その定着を図ることにより、教職生活をより円滑にスタートできるようになる。

【整復医療・トレーナー学科DP1、DP2に該当する。】

個別学習目標

1) 自らが志望する教員になる上で、自己にとって何が課題であるかを具体的に自覚する。

2) 必要に応じて不足している知識や技能を補い、教職生活をより円滑にスタートできる「実践的指導力」を身につける。

3) 以下の事項についての実践的指導力と態度を養う。

- ・使命感や責任感、教育的愛情に関する事項
- ・社会性や対人関係能力に関する事項
- ・児童生徒理解や学級経営に関する事項
- ・教科内容の指導力に関する事項

準備学修

授業の前には、1年次のテキスト、「学校における養護活動の展開」を熟読しておく(30分)、講義後には、健康課題を解決するための健康教育に役立つ専門書(医学、心理、教育)を読み学びを深める(60分)

ディプロマポリシー

◎：強く
該当する
○：該当
する
選択な
し：該当
しない

【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。

【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあつても国家資格を有用に活用できる。

【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	

授業計画

第1回	担当 教員	菅沼 徳夫 教職実践演習で学ぶこと
	内容	教員免許を取得するという事への自覚
第2回	担当 教員	菅沼 徳夫 教育実習全体の振り返り
	内容	教育実習を振り返る 授業VTR等を視聴する
第3回	担当 教員	菅沼 徳夫 教育実習を含めたこれまでの授業実践の振り返り
	内容	どんなところが難しかったか、どんな工夫が必要か等について考える。
第4回	担当 教員	菅沼 徳夫 小・中・高の現職教員の講話
	内容	現職の先生もしくは教員経験が豊富な先生の話聞く。
第5回	担当 教員	菅沼 徳夫 授業実践 高等学校もしくは中学校での授業実践（保健）
	内容	出前授業の指導案を作成し、授業を行う。 授業を受けた生徒の感想や授業の反省から、授業の改善を検討し、指導案を作り直す。
第6回	担当 教員	菅沼 徳夫 授業実践 高等学校もしくは中学校での授業実践（保健）
	内容	出前授業の指導案を作成し、授業を行う。 授業を受けた生徒の感想や授業の反省から、授業の改善を検討し、指導案を作り直す。
第7回	担当 教員	菅沼 徳夫 授業（体育）実践
	内容	近隣の高校生と保健体育授業を通して接する。
第8回	担当 教員	菅沼 徳夫 授業（体育）実践
	内容	近隣の高校生と保健体育授業を通して接する。
第9回	担当 教員	菅沼 徳夫 浦安市小・中学校での授業観察
	内容	授業公開を参観する。
第10回	担当 教員	菅沼 徳夫 浦安市小・中学校での授業観察
	内容	授業公開を参観する。
第11回	担当 教員	菅沼 徳夫 浦安市の教育と教員の資質（浦安市教育委員会の方の話聞く）

	内容	
第12回	担当 教員	菅沼 徳夫 生徒指導のはなし 先輩（卒業生）から聴く
	内容	
第13回	担当 教員	菅沼 徳夫 学級経営のはなし 先輩（卒業生）から聴く
	内容	
第14回	担当 教員	菅沼 徳夫 自己評価と相互評価及び自己の課題の確認
	内容	教職実践演習、これまでの教職関連の科目を通しての自己評価と相互評価及び自己の課題の確認し、まとめる。
第15回	担当 教員	菅沼 徳夫 まとめ・履修カルテの仕上げ
	内容	履修カルテを仕上げ、提出する。

評価方法とフィードバック方法

授業観察レポート、履修カルテ、その他レポート、授業実践等で総合評価する
授業の復習や課題に対するフィードバックは、次回講義またはclass roomなどを利用して好評や解説を行う。

教科書

テキスト
『教職実践ノート』

参考書

参考文献
原田恵理子・森山賢一編著『自己成長を目指す教職実践演習テキスト』北樹出版、1600円（税別）

オフィスアワー

菅沼研究室

実務経験の有無

菅沼（中学校保健体育科、特別支援学校）

その他

見学予定の学校などの事情により、必要に応じて授業計画を変更することがある。

講義コード	2700101
講義名	スポーツコーチング論
(副題)	
代表ナンバリングコード	52L06-3012SO-00
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	3
必修/選択	選択

担当教員

氏名

金丸 雄介

総合学習目標

コーチングとは何か、コーチに求められる役割とは何かを理解する。また、トップコーチの実体験をもとに、ハイパフォーマンススポーツにおける今日的なコーチングの課題に触れる。予測困難なこれからの時代に、自らの課題を総合的能力で解決できるようになる(セルフコーチング)。さらにコーチングを実際に体験し、仲間との協働を通して、他者に伝える力を身につける。

個別学習目標

- 1) コーチングとは何か、コーチに求められる役割とは何かを理解する
- 2) コーチに求められる知識, スキルを理解する
- 3) ハイパフォーマンススポーツにおける今日的なコーチングの課題について理解する
- 4) グループ活動を通じて、コミュニケーションスキルを身につける
- 5) プレゼンテーションを通じて、プレゼンテーションスキルやファシリテーションスキルを身につける

準備学修

リファレンスブックフルバージョン/日本スポーツ協会
*可能な限り、以下のパートを読んで概要を把握しておくこと(2時間)

第1章

1. コーチングとは
2. コーチに求められる役割
3. コーチに求められる役割とスキル
14. 時代をリードするコーチング

第3章

2. ハイパフォーマンスにおける今日的なコーチング

ディプロマポリシー

◎：強く
該当する
○：該当
する
選択な
し：該当
しない

【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。

【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学

◎

力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	○

授業計画

第1回	担当 教員	金丸 雄介 ガイダンス AL:A
	内容	授業計画、授業内容及び評価方法等の説明、コーチの概念をその語源から学ぶ
第2回	担当 教員	金丸 雄介 コーチングとは何か AL:A
	内容	コーチングの定義、グッドプレイヤーを育てるグッドコーチ像、コーチングの目的とプレイヤーズセンタードを学ぶ
第3回	担当 教員	金丸 雄介 コーチに求められる役割 AL:A
	内容	日本スポーツ協会公認スポーツ指導者が負う責任と求められる役割を理解し、コーチが果たすべき役割や、安全なスポーツ環境の構築と問題発生時の対処法を学ぶ
第4回	担当 教員	金丸 雄介 コーチに求められる知識とスキル AL:A
	内容	コーチングの文脈を理解し、コーチに必要とされる知識やスキルを学ぶ
第5回	担当 教員	金丸 雄介 時代をリードするコーチング AL:A
	内容	女子コーチの活躍とスポーツを通じた女性の社会進出を、ディスカッションやディベート等を通じて考える
第6回	担当 教員	金丸 雄介 ハイパフォーマンススポーツにおける今日的なコーチング AL:A
	内容	ハイパフォーマンススポーツを理解し、トップコーチの実体験をもとに今日的なコーチングの課題について学ぶ

第7回	担当 教員	金丸 雄介 コーチング実践①と資料作成方法を学ぶ AL:B
	内容	グループ決め、コーチングスキルによって対象者の課題を明確にする。プレゼンテーションで多用されるパワーポイント資料の見やすい作り方を学ぶ
第8回	担当 教員	金丸 雄介 コーチング実践②と言語技術 AL:B
	内容	コーチング対象者の具体的な課題解決手段を探る。コーチングやプレゼンテーションの際の言語技術を学ぶ。
第9回	担当 教員	金丸 雄介 コーチング実践③とファシリテーションスキル AL:B
	内容	コーチング対象者の課題解決計画作成と計画実行の際に起こりうる障害への対策。プレゼンテーションの際のファシリテーションを学ぶ。
第10回	担当 教員	金丸 雄介 プレゼンテーション① AL:C
	内容	グループごとにコーチング実践のプレゼンテーションを行い、プレゼンテーションスキルやファシリテーションスキルを身につける。
第11回	担当 教員	金丸 雄介 プレゼンテーション② AL:C
	内容	グループごとにコーチング実践のプレゼンテーションを行い、プレゼンテーションスキルやファシリテーションスキルを身につける。
第12回	担当 教員	金丸 雄介 プレゼンテーション③ AL:C
	内容	グループごとにコーチング実践のプレゼンテーションを行い、プレゼンテーションスキルやファシリテーションスキルを身につける。
第13回	担当 教員	金丸 雄介 プレゼンテーション④ AL:C
	内容	グループごとにコーチング実践のプレゼンテーションを行い、プレゼンテーションスキルやファシリテーションスキルを身につける。
第14回	担当 教員	金丸 雄介 プレゼンテーション⑤ AL:C
	内容	グループごとにコーチング実践のプレゼンテーションを行い、プレゼンテーションスキルやファシリテーションスキルを身につける。
第15回	担当 教員	金丸 雄介 プレゼンテーション⑥と総括 AL:C
	内容	

内容	グループごとにコーチング実践のプレゼンテーションを行い、プレゼンテーションスキルやファシリテーションスキルを身につける。プレゼンテーションの総括を行いスキルをさらに高める。
----	--

評価方法とフィードバック方法

授業毎の授業内容確認課題(40%)、プレゼンテーション(30%)、筆記試験(30%)で評価する。授業ごとの授業内容確認課題に関しては、その翌週の授業内でフィードバックを行う。プレゼンテーションは担当日の授業終盤にフィードバックを行う。

教科書

テキスト

リファレンスブックフルバージョン/RBfull/日本スポーツ協会 ¥4,400

参考書

コーチング学への招待/日本コーチング学会

オフィスアワー

月曜日・3限・体育師範室

水曜日・1限・体育師範室

その他随時

実務経験の有無

この科目は35年以上にわたり柔道を修行しており、柔道競技者として世界大会での入賞経験を有し、さらに小学生から世界トップクラスの選手を対象に10年以上のコーチング(柔道指導)経験を有する教員が、その実務経験を活かし、実践的教育を行っている科目です。

その他

アスレティックトレーナー養成課程の必修授業である為、アスレティックトレーナーもしくはスポーツコーチ(指導者)志望の学生に見合った授業を実施する。

講義コード	2700201
講義名	アスレティックトレーナーの役割
(副題)	
代表ナンバリングコード	52L06-1013SO-00
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	自由
担当教員	

氏名

野田 哲由

上岡 尚代

越田 専太郎

総合学習目標

- 1) アスレティックトレーナー（AT）として求められる多様な業務、専門性、およびその倫理について総合的に理解する。
- 2) 関係職種との連携を強化し、クライアントとのコミュニケーションを効果的に行う方法を習得する。
- 3) 科学的根拠に基づいた業務推進のための情報収集と活用手法について理解する。

【整復医療・トレーナー学科DP1-①②に該当する。】

【理学療法学科DP-①②に該当する。】

個別学習目標

- 1) 本邦におけるAT資格（JSPQ-ATなど）および関連資格の役割、業務、制度を説明できる。
- 2) ATの法的・倫理的側面について説明できる。
- 3) 自身の健康管理の重要性とその予防・対処法について説明できる。
- 4) スポーツ医・科学チームの構成とATの役割について説明できる。
- 5) エビデンスに基づいた運営手法について説明できる。
- 6) クライアントの特性を理解し、連携体制に活用できる。

準備学修

アスレティックトレーナーに関する書籍・文献を予習する（30分）

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【理学療法学科DP1 知識・理解】①理学療法に必要な保健・医療・福祉の基本的な知識を身につけて、国家試験に合格できる水準に達する。	
【理学療法学科DP1 知識・理解】②基本的な知識及び技能を発揮する能力を備え、安全に理学療法を実践することができる。	
【理学療法学科DP2 思考・判断】①科学的探究心・向学心・批判的思考と研究的態	

度を身につけ、生涯学習を継続することができる。	◎
【理学療法学科DP2 思考・判断】②獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、問題を解決することができる。	◎
【理学療法学科DP3 技能・表現】①コミュニケーション能力を身に付け、チームの中で協働することができる。	◎
【理学療法学科DP3 技能・表現】②感性豊かな人間性と倫理観を備え、人間の尊厳を重視することができる。	○
【理学療法学科DP4 関心・意欲・態度】①社会の多様性への理解を深め、国際的な視野を持つことができる。	○
【理学療法学科DP4 関心・意欲・態度】②変化していく社会において理学療法士の役割を認識し、自ら研鑽を積むことで地域社会の発展に貢献することができる。	○
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	○
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	○
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	○

授業計画

第1回	担当 教員	野田 哲由 オリエンテーション/アスレチックトレーナー (AT) の基礎【野田】
	内容	授業全体のガイダンス (30分) /ATとして期待される基本的な役割と業務について学習する (60分)
第2回	担当 教員	野田 哲由 本邦におけるAT資格制度・教育体系およびその歴史【野田】
	内容	日本でのAT資格の養成、登録認定、教育課程、および歴史について学習する
第3回	担当 教員	越田 専太郎 国際的視点でのATと関連資格【越田】
	内容	海外におけるATの資格制度について学習する 海外で活動するATを外部講師として招き、ディスカッションを通して理解を深める
第4回	担当 教員	上岡 尚代 ATの業務と組織運営【上岡】
	内容	ATが関与する多様な業務とその業務を効果的に運営する手法について学習する
第5回	担当 教員	上岡 尚代 倫理的および法的側面からみたATの役割【上岡】
	内容	ATの業務における倫理的責任と法的観点について学習する
第6回	担当 教員	上岡 尚代 AT活動におけるリスクマネジメント【上岡】
	内容	ATの現場での安全確保とリスクの評価・管理方法について学習する
	担当	野田 哲由

第7回	教員	ATの活動環境と職域の多様性【野田】
	内容	スポーツやフィットネス現場などATが活動する様々な観葉と職域について学習する プロフェッショナルスポーツや日本代表で活動するATを外部講師として招き、ディスカッションを通して理解を深める
第8回	担当教員	越田 専太郎 健康管理とセルフマネジメントの重要性【越田】
	内容	AT自身の健康管理やストレスマネジメントについて学習する
第9回	担当教員	上岡 尚代 スポーツ現場における感染症対策【上岡】
	内容	スポーツ施設やイベントでの感染症対策とその重要性について学習する
第10回	担当教員	上岡 尚代 スポーツ医科学チームとその他の専門職スタッフ【上岡】
	内容	医師、理学療法士などの専門職との連携やチームでの役割について学習する
第11回	担当教員	越田 専太郎 エビデンスベースドプラクティス（EBP）の実践【越田】
	内容	科学的根拠に基づく意思決定と業務遂行について学習する
第12回	担当教員	越田 専太郎 研究活動の重要性とその実践【越田】
	内容	ATによる研究の重要性と研究手法について学習する
第13回	担当教員	越田 専太郎 生涯教育とプロフェッショナルディベロップメント【越田】
	内容	ATにおける継続的な学習と専門スキル向上の方法について学習する
第14回	担当教員	野田 哲由 効果的なコミュニケーションとステークホルダーとの関係構築【野田】
	内容	指導者、プレーヤー、保護者や関連諸団体との効果的なコミュニケーションスキルについて学習する
第15回	担当教員	野田 哲由 ダイバーシティに対するコミュニケーション戦略【野田】
	内容	子ども、高齢者、異性、障がいを持つ対象とのコミュニケーションについて学習する 障害者スポーツやユース・ジュニアアスリートに関わるATを外部講師として招き、ディスカッションを通して理解を深める

評価方法とフィードバック方法

定期試験90点（90%）と小課題（10%）の計100点満点で評価する

教科書

2022年カリキュラム対応 公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト1 アスレティックトレーナーの役割

プリント 3850円 電子版 3080円

参考書

オフィスアワー

何か質問等ある場合は、野田・上岡・越田研究室に直接、訪ねてきてください。

実務経験の有無

この科目は、修士を有し、ATとしてスポーツ現場での経験（各競技で日本代表トレーナー、スポーツチーム、スポーツクラブ等で5年以上の経験を有する教員がその実務経験を活かし、実践的教育を行っている科目です。

その他

授業は教科書に沿って進めます。その他必要な情報を得る為に参考資料を配布しますので、教科書とあわせて理解を深めてください。期末試験範囲は授業内容や配布した資料から出題します。不明な箇所は積極的に質問してください。外部講師を招いて特別講義を3回実施する予定です。日程の変更などはその都度連絡します。

講義コード	2700301
講義名	スポーツ医学特論
(副題)	
代表ナンバリングコード	52L06-3014IO-00
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	3・4
必修/選択	自由
担当教員	

氏名

稲次 潤子

総合学習目標

スポーツ医学はスポーツ外傷や障害の治療から始まったが、近年そのめざましい進歩により、アスリートのさらなる競技力向上がもたらされた。またアスリートばかりでなく子供から高齢者まで健康維持増進、生活習慣病の予防・治療、介護予防のために、スポーツ参加者は幅広く増加している。しかしスポーツは人体にとって常に両刃の剣であり指導者にはスポーツのメリットを最大限に享受できるよう、幅広い学問分野を統合した知識習得が必要である。DP1-①に該当。

個別学習目標

日本スポーツ協会アスレティックトレーナーおよび健康運動指導士の学習目標に準拠する。本講座では「スポーツ内科」の視点からスポーツ医学Iの復習を行い、近年特に運動実施者が増加している中高年者の運動における内科的障害についてさらに深く学ぶことを目標とする。メディカルフィットネス施設における症例についての検討を行い、指導現場に即した指導者としての基礎的知識を学習する。

準備学修

内科学（特に主要な生活習慣病）、スポーツ医学Iが習得されていることを前提に授業を行うので、授業の前に該当する項目について復習し知識の再確認をしておくこと。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者とな	

ると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	

授業計画

第1回	担当教員	稲次 潤子 循環器系と運動－1
	内容	心電図, 血圧と運動, スポーツ心臓
第2回	担当教員	稲次 潤子 循環器系と運動－2
	内容	心電図, 血圧と運動, スポーツ心臓
第3回	担当教員	稲次 潤子 呼吸器系と運動
	内容	運動誘発喘息, 呼吸器感染症
第4回	担当教員	稲次 潤子 消化器系, 腎・血液と運動
	内容	消化器系疾患と運動, 血尿・蛋白尿, スポーツ貧血・鉄欠乏性貧血
第5回	担当教員	稲次 潤子 肥満・肥満症と運動
	内容	肥満と肥満症, 身体組成, 減量, 脂質代謝異常
第6回	担当教員	稲次 潤子 メタボリックシンドロームと運動
	内容	生活習慣病, メタボリックシンドローム, 特定健診・特定保健指導
第7回	担当教員	稲次 潤子 耐糖能異常・糖尿病と運動
	内容	糖尿病の運動療法
第8回	担当教員	稲次 潤子 高血圧と運動
	内容	高血圧の運動療法
第9回	担当教員	稲次 潤子 メディカルチェックの重要性
	内容	内科的メディカルチェック, 心臓突然死, 運動負荷試験
第10回	担当教員	稲次 潤子 特殊環境と運動
	内容	熱中症, 高山病, 潜水病
第11回	担当教員	稲次 潤子 女性と運動
	内容	月経周期とその異常, 女性アスリートの三主徴, 骨粗鬆症, 妊婦と運動, 更年期と運動
第12回	担当教員	稲次 潤子 高齢者と運動
	内容	ロコモティブシンドローム, サルコペニア, フレイルと運動
第13回	担当教員	稲次 潤子 メディカルフィットネス施設と生活習慣病
	内容	メディカルフィットネス施設におけるメタボリックシンドロームの運動療法
第14回	担当教員	稲次 潤子 メディカルフィットネス施設と虚血性心疾患

	内容	メディカルフィットネス施設における虚血性心疾患とリハビリテーション
第15回	担当教員	稲次 潤子 まとめ
	内容	

評価方法とフィードバック方法

随時実施する小テストやレポート（30%）と定期試験（70%）を合わせて総合評価する

教科書

配布資料（パワーポイント資料）を用いる

参考書

「公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト第4巻 健康管理とスポーツ医学」日本スポーツ協会
「健康運動指導士養成講習会テキスト上・下」健康・体力づくり事業財団

実務経験の有無

有 この科目は循環器内科のスポーツドクターとして、病院内および運動療法施設（メディカルフィットネス施設）における有患者に対するメディカルチェック、運動処方、運動指導、加えて健康運動指導士や理学療法士等の養成・スキルアップに携わってきた実務経験のある教員が担当する。

その他

- 1) 学習進行状況に応じて授業計画は柔軟に変更する
- 2) 授業中の携帯端末使用は原則禁止する

担当教員実務経験の有無，有

講義コード	2700401
講義名	トレーナー実習 ^I （見学実習）
(副題)	
代表ナンバリングコード	52P06-1015IO-00
講義開講時期	通年
講義区分	実習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	自由

担当教員

氏名
野田 哲由
上岡 尚代
越田 専太郎
岡村 知明
角田 佳貴

総合学習目標

本科目ではスポーツ現場での見学実習を通してアスレティックトレーナーの4つのコンピテンシー（1. スポーツ活動中の外傷・障害予防、2. 医療資格者に引き継ぐまでの救急対応、3. コンディショニングやリコンディショニング、4. アスリートの安全と健康管理）について学び、コンピテンシーの習得に必要な知識・技能、思考・態度を身につけることを目標とする。

【**整復医療・トレーナー学科DP2、DP3-①②、DP4に該当する。**】

個別学習目標

- 1) 見学実習を通して、アスレティックトレーナーがどのような役割を担い、どのような能力が必要かを説明できるようになる
- 2) トレーナーが現場で行う「安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害の予防」について必要な能力を説明できるようになる
- 3) トレーナーが現場で行う「コンディショニング」について必要な能力を説明できるようになる
- 4) トレーナーが現場で行う「リコンディショニング」について必要な能力を説明できるようになる
- 5) トレーナーが現場で行う「救急対応」について必要な能力を説明できるようになる
- 6) 各現場の環境に応じて臨機応変に活動するために必要な能力を説明できるようになる

準備学修

アスレティックトレーナーに関わる講義内容についてよく確認しておくこと

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
--	----------------------------------

【**整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解**】 ①整復医療・保健体育・スポーツ医

○

科学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有効に活用できる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	○
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	○
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	◎

授業計画

第1回	担当 教員	越田 専太郎 角田 佳貴 野田 哲由 岡村 知明 上岡 尚代 1回～15回
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ現場等で見学実習を実施する（30時間以上） ・後期期間中に10回以上の実習を行う事とする（基本的に1回3時間の実習） ・後期講義開始時期に実習オリエンテーションを実施し、実習参加時の諸注意の説明と下記実習地の中から参加希望地調査を実施する <p>【実習場所】（予定）</p> <p>学内（通年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本学柔道部 体育館 ・本学女子バスケットボール部 体育館および近隣中学校体育館 ・東海大学附属浦安高校剣道部 本学体育館および東海大学附属浦安高校剣道場 <p>学外（通年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブリオベッカ浦安/浦安FAセレイアス（アンダーカテゴリー） 浦安市総合公園グラウンド他 ・東京大学ラグビー部 東京大学駒場キャンパス内グラウンド他 ・セパタクロー大会時のATブース

評価方法とフィードバック方法

実習生が記録した内容（実習日誌）等に基づき、実習生の知識・技能、思考・態度を評価する（100%）

教科書

公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト [2022年カリキュラム対応]	第1巻 アスレティックトレーナーの役割
公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト [2022年カリキュラム対応]	第2巻 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害の予防
公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト [2022年カリキュラム対応]	第3巻 コンディショニング
公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト [2022年カリキュラム対応]	第4巻 リコンディショニング
公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト [2022年カリキュラム対応]	第5巻 救急対応
公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト [2022年カリキュラム対応]	第6巻 検査・測

定と評価
参考書
参考文献 アスレティックトレーナーガイドブック 山本利春、外園隆 ナップ3,000円
オフィスアワー
公認AT免許を有し、各競技種目のスポーツ現場で5年以上の実務経験を有するATがその現場経験を活かし、スポーツ現場で直接指導を行う実践的教育科目です。
その他
<ul style="list-style-type: none"> ・後期「アスレティックトレーナーの役割」を必ず同時に履修し、単位を取得すること（専修条件） <p>また、この「トレーナー実習Ⅰ(見学実習)」の単位が取得できない場合、2年次以降のトレーナー実習Ⅱ～Ⅴの実習参加を許可しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジャージ等運動できる服装で参加すること ・テーピング等のトレーナー消耗品、実習地への交通費等は自己負担となります <p>・教員名：野田哲由・上岡尚代・越田専太郎・岡村知明・原田李和・佐藤司・野村博幸・高田正也・安部華奈・高橋頭三他</p>

講義コード	2700501
講義名	トレーナー実習II（予防とコンディショニング実習）
(副題)	
代表ナンバリングコード	52P06-1016IO-00
講義開講時期	通年
講義区分	実習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	2
必修/選択	自由
担当教員	

氏名

野田 哲由

上岡 尚代

越田 専太郎

岡村 知明

角田 佳貴

総合学習目標

トレーナー実習I～V（1年～4年）では、学内および学外（浦安SC等の地域スポーツクラブ、大学クラブ等）のスポーツ現場にてアスレティックトレーナーに必要な知識、技術、論理的思考を学習する。さらに現場での実習経験を通じて指導者や他のスタッフとの連携協力、スポーツ現場で必要とされるモラルやマナー、問題が発生したときの臨機応変な対処能力（問題処理能力）などを総合的に学習する。実習生は教員あるいは実習先の指導計画に従い、その指示を受けながら現場での体験を発展・深化させていく。そのためトレーナー実習IIでは、実際のスポーツ現場にて実習を行う。

【整復医療・トレーナー学科DP2、DP3-①②、DP4に該当する。】

個別学習目標

- ①スポーツ現場にて選手、指導者や他のスタッフとコミュニケーションがとれるようになる
- ②スポーツ現場にて適切な応急処置、テーピング、ストレッチングなどを実施できるようになる

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	○
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	○

【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	○
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	◎

授業計画

第1回	担当教員	野田 哲由 越田 専太郎 上岡 尚代 角田 佳貴 岡村 知明
	内容	<p>2年次：スポーツ現場実習（30時間以上;1日3時間）</p> <p>スポーツ現場にてトレーナー実習を行う実習</p> <p>学内（通年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柔道：本学、柔道部(越田) 体育館 ・バスケットボール：本学、女子バスケットボール部(角田) <p>体育館および近隣中学校体育館</p> <p>学外（通年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・剣道：東海大学附属浦安高校剣道部(上岡) 東海大学浦安高校剣道場 ・サッカー：プリオベッカ浦安アンダーカテゴリー(ユース、U-13, U-14/15) (野田) <p>浦安市総合公園グランド他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フェンシング：法政大学フェンシング部(岡村) 法政大学市ヶ谷体育館他 ・ハンドボール：日本大学ハンドボール部（非常勤:原田）日大八幡山体育館 ・野球：沼南ベースボールクラブ（非常勤：高田） ・健康教室、水泳：品川区役所主催健康教室、スイミングクラブ（非常勤：大金） ・バスケットボール：レオビスタ・バスケットボールクラブ（非常勤：安部） ・アメリカンフットボール：IBM、富士通、東京ガス（田口、曾根、村田）

	<p>学外（スポット）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セパタクロー：セパタクロー大会時のATブース（越田、野田） ・高校陸上大会等（東京都/千葉県）（野田） ・サッカー：サンフレッチェ広島（野村）、モンテディオ山形（佐藤） ・女子バスケットボール：デンソーアイリス（加藤） <p>その他（インターンシップ）＊AT実習単位に含まれません</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロッテマリーンズ2軍試合でのインターンシップ（ロッテ浦和球場） <p>2年生前期に実習地の希望調査をして振り分ける。</p>
--	--

評価方法とフィードバック方法

実習内容によって、実習日誌およびレポート（100%）で評価する

教科書

テキスト なし

参考書

参考文献

アスレティックトレーナーガイドブック 山本利春、外園隆 ナップ 3,000円

実務経験の有無

各競技種目のスポーツ現場でATの実務のある教員がその実務経験を活かし、実践的教育を行っている科目です。

その他

- ・1年後期「トレーナー実習I」の単位を取得していること（専修条件）
- ・実習先のルールを必ず守ること
- ・原則、服装は（上：白ポロシャツ等 下：ジャージ、チノパン等）とし、トレーナー活動できる服装で参加すること。また、ネームプレートは必ず着用すること
- ・テーピング等トレーナー実習に必要な用具、消耗品購入費用、交通費が別途必要となる
- ・教員名：野田哲由・上岡尚代・越田専太郎・岡村知明・原田李和・大金ユリカ・田口昌宏・佐藤司・村田博明・野村博幸・曾根伸明・高田正也・加藤亜里沙・安部華奈 他

講義コード	2700601
講義名	トレーナー実習Ⅲ
(副題)	
代表ナンバリングコード	
講義開講時期	通年
講義区分	実習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	3
必修/選択	自由

担当教員

氏名
野田 哲由
上岡 尚代
越田 専太郎
岡村 知明
角田 佳貴

総合学習目標

トレーナー実習Ⅰ～Ⅴ（１年～４年）では、学内および学外（浦安SC等の地域スポーツクラブ、大学クラブ等）のスポーツ現場にてアスレティックトレーナーに必要な知識、技術、論理的思考を学習する。さらに現場での実習経験を通じて指導者や他のスタッフとの連携協力、スポーツ現場で必要とされるモラルやマナー、問題が発生したときの臨機応変な対処能力（問題処理能力）などを総合的に学習する。実習生は教員あるいは実習先の指導計画に従い、その指示を受けながら現場での体験を発展・深化させていく。そのためトレーナー実習Ⅲでは、実際のスポーツ現場にてケガした選手の検査測定と評価、アスレティックリハビリテーションプログラム作成ができるようになる

【整復医療・トレーナー学科DP2、DP3-①②、DP4に該当する。】

個別学習目標

- ①スポーツ現場にて選手、指導者や他のスタッフとコミュニケーションがとれるようになる
- ②スポーツ現場にて適切な応急処置、テーピング、ストレッチングなどを実施できるようになる
- ③スポーツ現場にてケガの正しい検査・測定と評価ならびに選手のケガの具合に即した効率の良いアスレティックリハビリテーションプログラムを作成できるようになる

ディプロマポリシー

	◎：強くなる 該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
--	--

【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。

○

【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	○
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	○
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	◎

授業計画

第1回	担当教員	野田 哲由 越田 専太郎 上岡 尚代 角田 佳貴 岡村 知明
	内容	<p>3年次：検査・測定と評価実習、アスレチックリハビリテーションプログラム作成実習（30時間以上;1日3時間）</p> <p>スポーツ現場(学内、学外)にて検査・測定と評価実習</p> <p>アスレチックリハビリテーションプログラム作成実習を行う</p> <p>学内実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柔道：本学、柔道部(越田) 体育館 ・バスケットボール：本学、女子バスケットボール部(角田) <p>体育館および近隣中学校体育館</p> <p>学外（通年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・剣道：東海大学附属浦安高校剣道部(上岡) 東海大学浦安高校剣道場 ・サッカー：ブリオベッカ浦安アンダーカテゴリー(ユース、U-13, U-14/15) (野田) <p>浦安市総合公園グランド他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フェンシング：法政大学フェンシング部(岡村) 法政大学市ヶ谷体育館他 ・ハンドボール：日本大学ハンドボール部（非常勤:原田）日大八幡山体育館 ・野球：沼南ベースボールクラブ（非常勤：高田） ・健康教室、水泳：品川区役所主催健康教室、スイミングクラブ（非常勤：大金）

- ・バスケットボール：レオビスタ・バスケットボールクラブ（非常勤：安部）
- ・アメリカンフットボール：IBM、富士通、東京ガス（田口、曾根、村田）
学外（スポット）
- ・セパタクロー：セパタクロー大会時のATブース（越田、野田）
- ・高校陸上大会等（東京都/千葉県）（野田）
- ・サッカー：サンフレッチェ広島（野村）、モンテディオ山形（佐藤）
- ・女子バスケットボール：デンソーアイリス（加藤）

その他（インターンシップ）＊AT実習単位に含まれません

- ・ロッテマリーンズ2軍試合でのインターンシップ（ロッテ浦和球場）

1年生後期に実習地の希望調査をして振り分ける。

評価方法とフィードバック方法

実習内容によって、実習日誌およびレポート（100%）で評価する。単位認定については実習を終えた学年の年度末に行う

教科書

テキスト なし

参考書

参考文献

アスレティックトレーナーガイドブック 山本利春、外園隆 ナップ3,000円

実務経験の有無

各競技種目のスポーツ現場でATの実務のある教員がその実務経験を活かし、実践的教育を行っている科目です。

その他

- ・2年「トレーナー実習Ⅱ」を終えていること（先修条件）
- ・実習先のルールを必ず守ること
- ・原則、服装は（上：白ポロシャツ等 下：ジャージ、チノパン等）とし、トレーナー活動できる服装で参加すること。また、ネームプレートは必ず着用すること
- ・テーピング等トレーナー実習に必要な用具、消耗品購入費用、交通費が別途必要となる
- ・教員名：野田哲由・上岡尚代・越田専太郎・岡村知明・原田李和・大金ユリカ・田口昌宏・佐藤司・村田博明・野村博幸・曾根伸明・高田正也・加藤亜里沙・安部華奈 他

講義コード	2700701
講義名	トレーナー実習Ⅳ
(副題)	
代表ナンバリングコード	
講義開講時期	通年
講義区分	実習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	3
必修/選択	自由

担当教員

氏名
野田 哲由
上岡 尚代
越田 専太郎
岡村 知明
角田 佳貴

総合学習目標

トレーナー実習Ⅰ～Ⅴ（1年～4年）では、学内および学外（浦安SC等の地域スポーツクラブ、大学クラブ等）のスポーツ現場にてアスレティックトレーナーに必要な知識、技術、論理的思考を学習する。さらに現場での実習経験を通じて指導者や他のスタッフとの連携協力、スポーツ現場で必要とされるモラルやマナー、問題が発生したときの臨機応変な対処能力（問題処理能力）などを総合的に学習する。実習生は教員あるいは実習先の指導計画に従い、その指示を受けながら現場での体験を発展・深化させていく。そのためトレーナー実習Ⅳでは、実際のスポーツ現場にてアスレティックリハビリテーション指導の実習を行う。

【整復医療・トレーナー学科DP2、DP3-①②、DP4に該当する。】

個別学習目標

- ①スポーツ現場にて選手、指導者や他のスタッフとコミュニケーションがとれるようになる
- ②スポーツ現場にて適切な応急処置、テーピング、ストレッチングなどを実施できるようになる
- ③ケガをした選手のアスレティックリハビリテーションを指導できるようになる

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	○
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	◎

【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	○
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	○
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	◎

授業計画

第1回	担当教員	野田 哲由 越田 専太郎 上岡 尚代 角田 佳貴 岡村 知明
	内容	<p>3年次：アスレティックリハビリテーション実習（30時間以上;1日3時間）</p> <p>スポーツ現場(学内、学外)にてアスレティックリハビリテーション実習を行う</p> <p>学内実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柔道：本学、柔道部(越田) 体育館 ・バスケットボール：本学、女子バスケットボール部(角田) <p>体育館および近隣中学校体育館</p> <p>学外（通年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・剣道：東海大学附属浦安高校剣道部(上岡) 東海大学浦安高校剣道場 ・サッカー：プリオベッカ浦安アンダーカテゴリー(ユース、U-13, U-14/15) (野田) <p>浦安市総合公園グラウンド他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フェンシング：法政大学フェンシング部(岡村) 法政大学市ヶ谷体育館他 ・ハンドボール：日本大学ハンドボール部（非常勤:原田）日大八幡山体育館 ・野球：沼南ベースボールクラブ（非常勤：高田） ・健康教室、水泳：品川区役所主催健康教室、スイミングクラブ（非常勤：大金） ・バスケットボール：レオビスタ・バスケットボールクラブ（非常勤：安部）

- ・アメリカンフットボール：IBM、富士通、東京ガス（田口、曾根、村田）
学外（スポット）
- ・セパタクロール：セパタクロール大会時のATブース（越田、野田）
- ・高校陸上大会等（東京都/千葉県）（野田）
- ・サッカー：サンフレッチェ広島（野村）、モンテディオ山形（佐藤）
- ・女子バスケットボール：デンソーアイリス（加藤）

その他（インターンシップ）*AT実習単位に含まれません

- ・ロッテマリーンズ2軍試合でのインターンシップ（ロッテ浦和球場）

3年生前期に実習地の希望調査をして振り分ける。

評価方法とフィードバック方法

実習内容によって、実習日誌およびレポート（100%）で評価する。単位認定については実習を終えた学年の年度末に行う

教科書

テキスト なし

参考書

7アスレティックリハビリテーション 公益財団法人日本スポーツ協会 文光堂 3, 200円

実務経験の有無

各競技種目のスポーツ現場でATの実務のある教員がその実務経験を活かし、実践的教育を行っている科目です。

その他

- ・2年「トレーナー実習Ⅱ」を終えていること（先修条件）
- ・実習先のルールを必ず守ること
- ・原則、服装は（上：白ポロシャツ等 下：ジャージ、チノパン等）とし、トレーナー活動できる服装で参加すること。また、ネームプレートは必ず着用すること
- ・テーピング等トレーナー実習に必要な用具、消耗品購入費用、交通費が別途必要となる
- ・教員名：野田哲由・上岡尚代・越田専太郎・岡村知明・原田李和・大金ユリカ・田口昌宏・佐藤司・村田博明・野村博幸・曾根伸明・高田正也・加藤亜里沙・安部華奈 他

担当教員実務経験の有無, 有

講義コード	2700801
講義名	トレーナー実習V
(副題)	(統合実習)
代表ナンバリングコード	
講義開講時期	通年
講義区分	実習
基準単位数	2
時間	60.00
対象学年	2・3・4
必修/選択	自由
担当教員	

氏名

野田 哲由

上岡 尚代

越田 専太郎

岡村 知明

角田 佳貴

総合学習目標

トレーナー実習I～V（1年～4年）では、学内および学外（浦安SC等の地域スポーツクラブ、大学クラブ等）のスポーツ現場にてアスレティックトレーナーに必要な知識、技術、論理的思考を学習する。さらに現場での実習経験を通じて指導者や他のスタッフとの連携協力、スポーツ現場で必要とされるモラルやマナー、問題が発生したときの臨機応変な対処能力（問題処理能力）などを総合的に学習する。実習生は教員あるいは実習先の指導計画に従い、その指示を受けながら現場での体験を発展・深化させていく。そのためトレーナー実習Vでは、実際のスポーツ現場にて総合的に実習を行う。

【整復医療・トレーナー学科DP2、DP3-①②、DP4に該当する。】

個別学習目標

- ①スポーツ現場にて選手、指導者や他のスタッフとコミュニケーションがとれるようになる
- ②スポーツ現場にて適切な応急処置、テーピング、ストレッチングなどを実施できるようになる
- ③スポーツ現場で一人前のATとして総合的に活動できるようになる

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	○
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャ	

リストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	○
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	○
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	◎

授業計画

第1回	担当教員	野田 哲由 越田 専太郎 上岡 尚代 角田 佳貴 岡村 知明
	内容	<p>2～4年次：総合実習（60時間以上;1日3時間）</p> <p>スポーツ現場にてトレーナー実習を総合的に行う</p> <p>学内実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柔道：本学、柔道部(越田) 体育館 ・バスケットボール：本学、女子バスケットボール部(角田) <p>体育館および近隣中学校体育館</p> <p>学外（通年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・剣道：東海大学附属浦安高校剣道部(上岡) 東海大学浦安高校剣道場 ・サッカー：プリオベッカ浦安アンダーカテゴリー(ユース、U-13, U-14/15) (野田) <p>浦安市総合公園グラウンド他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フェンシング：法政大学フェンシング部(岡村) 法政大学市ヶ谷体育館他 ・ハンドボール：日本大学ハンドボール部（非常勤:原田）日大八幡山体育館 ・野球：沼南ベースボールクラブ（非常勤：高田） ・健康教室、水泳：品川区役所主催健康教室、スイミングクラブ（非常勤：大金） ・バスケットボール：レオビスタ・バスケットボールクラブ（非常勤：安部） ・アメリカンフットボール：IBM、富士通、東京ガス（田口、曾根、村田）

学外（スポット）

- ・セパタクロー：セパタクロー大会時のATブース（越田、野田）
- ・高校陸上大会等（東京都/千葉県）（野田）
- ・サッカー：サンフレッチェ広島（野村）、モンテディオ山形（佐藤）
- ・女子バスケットボール：デンソーアイリス（加藤）

その他（インターンシップ）*AT実習単位に含まれません

- ・ロッテマリーンズ2軍試合でのインターンシップ（ロッテ浦和球場）

2, 3, 4年生前期に実習地の希望調査をして振り分ける。

評価方法とフィードバック方法

実習内容によって、実習日誌およびレポート（100%）で評価する。単位認定については実習を終えた学年の年度末に行う

教科書

テキスト なし

参考書

参考文献

アスレティックトレーナーガイドブック 山本利春、外園隆 ナップ 3, 000円

実務経験の有無

各競技種目のスポーツ現場でATの実務のある教員がその実務経験を活かし、実践的教育を行っている科目です。

その他

- ・2年「トレーナー実習II」を終えて「トレーナー実習V」に移行する（2～4年）（専修条件）
- ・実習先のルールを必ず守ること
- ・原則、服装は（上：白ポロシャツ等 下：ジャージ、チノパン等）とし、トレーナー活動できる服装で参加すること。また、ネームプレートは必ず着用すること
- ・テーピング等トレーナー実習に必要な用具、消耗品購入費用、交通費が別途必要となる
- ・CSCS取得希望者はこの「トレーナー実習V」を必ず履修すること
- ・履修登録は4年次となる
- ・教員名：野田哲由・上岡尚代・越田専太郎・岡村知明・原田李和・大金ユリカ・田口昌宏・佐藤司・村田博明・野村博幸・曾根伸明・高田正也・加藤亜里沙・安部華奈 他

講義コード	5100201
講義名	人間発達学[整]
(副題)	
代表ナンバリングコード	52L02-3017SE-00
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	3
必修/選択	選択
担当教員	

氏名

中島 琢磨

増田 敦子

総合学習目標

保健医療職の一員として総合的能力を身に付けるために、その対象である人間が生涯を通じて成長・発達し続ける存在であることを理解し、発達段階に応じて適切な医療を提供している能力を養う。

個別学習目標

- 1) 人間の発達に関する理論および一般理論を理解する。
- 2) 胎生期、乳児期、幼児期、学童期、青年期、成人期、老年期までの各段階における身体構造の発達過程を理解する。
- 3) 発達過程を運動・歩行、神経機能、内部機能、言語機能、心理・社会性の発達とともに理解する。

準備学修

事前課題を提出してから、授業を受けること。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	○
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	○
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広	

い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。 ○

授業計画

第1回	担当 教員	増田 敦子 人間発達とは
	内容	総論：1章 人間発達とは（教科書1～22頁）：発達と成長・成熟・老化、発達の特 性・規則、人間発達、発達段階と発達課題
第2回	担当 教員	中島 琢磨 自然・社会科学からとらえた人間の発達
	内容	総論：3章 自然科学からみた人間発達（教科書23～32頁）、4章 社会科学からみた 人間発達（教科書33～40頁）「社会性と発達」に関するグループワークの提示
第3回	担当 教員	増田 敦子 身体運動器機能－身体構造 1：胎児期～青年期 (1)
	内容	各論：1章 身体運動器機能－身体構造 1：胎児期～青年期（教科書41～48頁）：体 格・脊柱・姿勢・性徴
第4回	担当 教員	増田 敦子 身体運動器機能－身体構造 1：胎児期～青年期 (2)
	内容	各論：1章 身体運動器機能－身体構造 1：胎児期～青年期（教科書49～60頁）： 歯・骨、筋肉、異常と障害
第5回	担当 教員	増田 敦子 身体運動器機能－運動・歩行 1：胎児期～青年期
	内容	各論：3章 身体運動器機能－運動・歩行 1：胎児期～青年期（教科書73～83頁）： 身体運動の発達とは、筋肉・筋力・耐久力の発達、発達期における異常と障害
第6回	担当 教員	中島 琢磨 社会性と発達 1
	内容	社会とななにか、社会への適応とコミュニケーションの基盤となる精神発達につ いて、グループごとにワークの報告を行う
第7回	担当 教員	中島 琢磨 社会性と発達 2
	内容	社会とななにか、社会への適応とコミュニケーションの基盤となる精神発達につ いて、グループごとにワークの報告を行う
第8回	担当 教員	増田 敦子 身体運動器機能－脳神経系機能（反射・反応）(1)
	内容	各論：5章 身体運動器機能－脳神経系機能（反射・反応）（教科書93～95頁）： 発達期における中枢神経の変化

第9回	担当 教員	増田 敦子 身体運動器機能－脳神経系機能（反射・反応）(2)
	内容	各論：5章 身体運動器機能－脳神経系機能（反射・反応）（教科書96～104頁）： 反射・反応、粗大運動・微細運動、異常と障害
第10回	担当 教員	増田 敦子 身体運動器機能－内部（生理）機能(1)
	内容	各論：6章 身体運動器機能－内部（生理）機能（教科書105～111頁）：呼吸、循環
第11回	担当 教員	増田 敦子 身体運動器機能－内部（生理）機能(2)
	内容	各論：6章 身体運動器機能－内部（生理）機能（教科書111～115頁）：代謝、異常と障害
第12回	担当 教員	中島 琢磨 身体運動機能－退行発達
	内容	青年期～老年期における身体運動機能の退行発達を網羅する（各論2章（教科書61～83頁）、各論4章（教科書85～92頁）
第13回	担当 教員	中島 琢磨 身体運動機能－感覚・認知機能（精神状態）・言語機能
	内容	各論：7章 身体運動機能－感覚・認知機能（精神状態）（教科書117～127頁）： 感覚・知覚・認知とは、感覚・知覚面の発達、認知面の発達、異常と障害／各 論：8章 言語機能（教科書129～139頁）：ことばが生まれる前、音声によること ばの獲得、文字の獲得、加齢による言語機能の低下
第14回	担当 教員	中島 琢磨 心理・社会性、生と死について
	内容	各論：9章 心理・社会性（教科書141～152頁）、10章 生について（教科書153～162頁）、11章 死について（教科書163～176頁）
第15回	担当 教員	中島 琢磨 増田 敦子 まとめと補足
	内容	講義全体の整理と補足、ならびに期末試験に関する説明を行う

評価方法とフィードバック方法

事前課題 15%、グループワークによるレポート 25%、定期試験 60%（グループワークは、第2回にグループに分かれ、自主的なワークの結果を、第6回と第7回に発表する）

教科書

シンプル理学療法学・作業療法学シリーズ 人間発達学テキスト，細田多穂 監修，南江堂，2014年6月刊 3，800円＋税

参考書

「生理学Ⅲ」、「運動学」、「内科学」、「病理学概論」、「外科学」の授業で使用した教科書

オフィスアワー

中島：火曜日と木曜日の昼休み，月曜日午後（13:00 - 16:00）

増田：月～水は4限目、木・金は1限目

メールでも対応するが、アドレスはクラスルームに掲示する。

その他

・クラス分けはしない

講義コード	5100302
講義名	解剖学I[整]
(副題)	
代表ナンバリングコード	52L02-1018FR-00
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

町田 志樹

桐林 俊彰

総合学習目標

学生が将来、柔道整復師やアスレティックトレーナーになるために必要な人体の解剖学的基礎知識を習得することが主要目標である。前期では、人体の動きにかかわる運動器系（骨格系、筋系）に重きをおきながら、その基本構造を学ぶ。次に心臓を中心に循環器系の構造を学ぶ（整復医療・トレーナー学科DP1-①に該当する）。

個別学習目標

1. 身体の区分や面・方向を示す用語を理解し、用いることができるようになる。
2. 骨格を形成する骨や関節、靭帯について理解する。
3. 骨格筋の起始・停止・神経支配を理解し、作用を説明できるようになる。
4. 循環器系における構造物を理解し、小循環・大循環を説明できるようになる。

準備学修

シラバスに記載された各回ごとの範囲を、予習することが好ましい。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	

【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	

授業計画

第1回	担当 教員	町田 志樹 桐林 俊彰 総論
	内容	講義の進行に関するオリエンテーションを実施し、その後に解剖学の概論を講義する(教科書 P18-40)。
第2回	担当 教員	町田 志樹 桐林 俊彰 上肢の骨
	内容	上肢の骨の部位名を学ぶ(教科書 P48-57)。
第3回	担当 教員	町田 志樹 桐林 俊彰 上肢の関節・靭帯
	内容	上肢の関節・靭帯の構造を学ぶ(教科書 P58-67)。
第4回	担当 教員	町田 志樹 桐林 俊彰 上肢の筋①
	内容	肩甲帯・上腕の筋の起始・停止・神経支配・作用を覚える(教科書 P68-76)。
第5回	担当 教員	町田 志樹 桐林 俊彰 上肢の筋②・筋膜
	内容	前腕・手の筋の起始・停止・神経支配・作用、ならびに上肢の筋膜を覚える(教科書 P77-92)。
第6回	担当 教員	町田 志樹 桐林 俊彰 下肢の骨
	内容	下肢の骨の部位名を学ぶ(教科書 P105-121)。
第7回	担当 教員	町田 志樹 桐林 俊彰 下肢の関節・靭帯(小テストを実施)
	内容	下肢の関節・靭帯の構造を学ぶ(教科書 P122-133)。また講義前半に1~6コマ目の内容の小テストを実施する。
第8回	担当 教員	町田 志樹 桐林 俊彰 下肢の筋①
	内容	骨盤帯・大腿の筋の起始・停止・神経支配・作用を覚える(教科書 P134-144)。
第9回	担当 教員	町田 志樹 桐林 俊彰 下肢の筋②・筋膜
	内容	下腿・足の筋の起始・停止・神経支配・作用、ならびに下肢の筋膜を覚える(教科書 P144-159)。
	担当	町田 志樹 桐林 俊彰

第10回	教員	頭頸部・体幹の骨
	内容	頭頸部・体幹の骨の部位名を学ぶ（教科書 P172-190）。
第11回	担当教員	町田 志樹 桐林 俊彰 頭頸部・体幹の関節・靭帯
	内容	頭頸部・体幹の骨の部位名との関節・靭帯の構造を学ぶ（教科書 P191-207）。
第12回	担当教員	町田 志樹 桐林 俊彰 頭頸部・体幹の筋・筋膜
	内容	頭頸部・体幹の筋と筋膜の構造を覚える（教科書 P208-234）
第13回	担当教員	町田 志樹 桐林 俊彰 循環器系① 心臓の構造・刺激伝導系
	内容	心臓の構造と循環、刺激伝導系を理解する（教科書 P236-246）。
第14回	担当教員	町田 志樹 桐林 俊彰 循環器系② 冠状動脈と心臓の静脈、頭頸部・体幹の動脈と静脈
	内容	心臓ならびに頭頸部・体幹に分布する動脈と静脈を覚える（教科書 P247-256）
第15回	担当教員	町田 志樹 桐林 俊彰 循環器系② 四肢の脈管
	内容	上肢・下肢に分布する動脈と静脈を覚える（教科書 P98-103、P166-170）

評価方法とフィードバック方法

定期試験80%、小テスト20%で評価する。また、講義中盤で小テストを行い、講義内容の理解度および学習方法・習慣の確認を実施する。

教科書

『PTOTビジュアルテキスト専門基礎 解剖学 第2版』

監修：坂井建雄

著者：町田志樹

出版社：羊土社 定価：5,800円

参考書

『町田志樹の聴いて覚える起始停止』

著者：町田志樹

出版社：三輪書店 定価：2,200円

オフィスアワー

【前期】月曜4限、水曜3～5限、木曜1・2限、金曜3～5限

【教室】539研究室

実務経験の有無

この科目は解剖学研究室での実務経験および関連書籍の執筆歴（計10冊）を有する教員がその経験を活かし、柔道整復師を目指す上で根幹となる解剖学について講義を行っている科目です。

その他

1. 適宜、多視点3D解剖教育システムを使用する。

2. 必要に応じ、資料の配布を行う。

講義コード	5100402
講義名	解剖学II[整]
(副題)	
代表ナンバリングコード	52L02-1019SR-00
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

足立 和隆

総合学習目標

学生が将来、柔道整復師やアスレティックトレーナーになるために必要な人体の解剖学的基礎知識を習得することが主要目標である。後期では、神経系、呼吸器系、消化器系、泌尿器系、生殖器系、内分泌系、感覚器系の構造を学ぶ。DP1-①

個別学習目標

1. 脳と脊髄および脳神経と脊髄神経の概略を理解し、説明できるようになる。
2. 気道のルートおよび肺の構造を理解し、説明できるようになる。
3. 消化管および付属器官の構造の概略を理解し、説明できるようになる。
4. 尿の生成および排尿のルートを理解し、説明できるようになる。
5. 男性および女性生殖器の解剖学的特徴を理解し、説明できるようになる。
6. ホルモンの産生部位とその作用を理解し、説明できるようになる。
7. 眼と耳の構造を理解し、説明できるようになる。

準備学修

教科書における授業範囲をあらかじめよく読み、理解し、覚える。理解できない点については、マーカー等で印をつける(30分)。復習：授業で解説した内容について、理解できたかチェックし、知識を整理する(30分)。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者とな	

ると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	

授業計画

第1回	担当教員	足立 和隆 神経系1：神経系の機能的区分・脊髄の基本構造
	内容	1. 神経系の概要を説明する。 2. 脊髄神経が4つの機能を持っていることを説明する。 3. 脊髄の基本構造を説明する。
第2回	担当教員	足立 和隆 神経系2：脳の区分について
	内容	1. 脳が大脳、間脳、中脳、橋、延髄、小脳からなっていることを画像を使って説明する。 2. 脳と脊髄の発生を説明する。 3. 脳脊髄液の循環を説明する。 4. 脳の循環系を説明する。
第3回	担当教員	足立 和隆 神経系3：脊髄神経1
	内容	1. 脊髄神経が4つの機能を持っていることを説明する。 2. 神経叢および上肢の神経を解説する。
第4回	担当教員	足立 和隆 神経系4：脊髄神経2・脳神経1
	内容	1. 下肢の神経を説明する。 2. 脳神経が7つの機能を持っていることを説明する。
第5回	担当教員	足立 和隆 神経系5：自律神経系・脳神経2
	内容	1. 自律神経系の概略を解説する。 2. 主要な脳神経の走行と機能を説明する。
第6回	担当教員	足立 和隆 神経系6：上行性伝導路と下行性伝導路
	内容	1. 体性感覚路、視覚伝導路、聴覚伝導路などの上行性伝導路を解説する。 2. 下行性伝導路である皮質脊髄路を説明する。 3. 体性神経路の概略を説明する。 小テスト1
第7回	担当教員	足立 和隆 呼吸器系：気道および肺の構造
	内容	1. 鼻腔から気管支までの気道を説明する。 2. 肺の構造および縦隔を説明する。
第8回	担当教員	足立 和隆 消化器系1：口腔～胃
	内容	1. 体の中にある管腔構造が3層からなることを説明する。 2. 口腔から胃までの消化器系を解説する。
第9回	担当教員	足立 和隆 消化器系2：小腸～直腸
	内容	1. 小腸から直腸までの消化器系を解説する。 2. 十二指腸の特徴を説明する。 3. 空腸と回腸の違い、小腸と結腸の違いについて説明する。
	担当教員	足立 和隆

第10回	員	消化器系3：肝臓・膵臓
	内容	1. 肝臓と膵臓の構造を説明する。 2. 腹膜および腹膜腔について、発生をはさみながら説明する。 小テスト2
第11回	担当教員	足立 和隆 泌尿器系：腎臓・尿管・膀胱・尿道
	内容	1. 泌尿器系を構成する腎臓、尿管、膀胱、尿道を解説する。 2. 腎臓で尿が作られる仕組みを説明する。
第12回	担当教員	足立 和隆 生殖器系：男性生殖器・女性生殖器
	内容	男性および女性の生殖器の構造的特徴を解説する。 小テスト3
第13回	担当教員	足立 和隆 内分泌系：ホルモンの産生部位とその作用
	内容	各ホルモンが体のどこで作られるのかを説明する。
第14回	担当教員	足立 和隆 感覚器：眼と耳の構造
	内容	眼と耳の構造を取り上げて、視覚および聴覚の働きを説明する。
第15回	担当教員	足立 和隆 総まとめ
	内容	後期14回の講義内容を、特に神経系に重きをおいて総復習する。

評価方法とフィードバック方法

小テスト（10%）ならびに定期試験（90%）による。
 単元ごとに復習のための演習プリントを配布するので、各自、その内容について理解し、しっかり覚えるようにすること。
 採点した小テストは返却する。
 定期試験の正解はClassroomに表示する。

教科書

解剖学（第2版）全国柔道整復学校協会監修 岸清・石塚寛編 医歯薬出版 8,580円

参考書

- ・プロメテウス解剖学アトラス 解剖学総論/運動器系 第3版 医学書院 13,200円(税込)
- ・プロメテウス解剖学アトラス 頭頸部/神経解剖 第3版 医学書院 13,200円(税込)
- ・プロメテウス解剖学アトラス 胸部/腹部・骨盤部 第3版 医学書院 13,200円(税込)
- ・解剖学要点整理ノート 井上・松村著 羊土社 4,180円

オフィスアワー

授業の前後15分間

その他

配布された資料等は、きちんと保管整理しておくこと。
 暗記ペン、6色以上の色鉛筆ないしは蛍光ペンを持参すること。

講義コード	5100502
講義名	解剖学実習[整]
(副題)	
代表ナンバリングコード	52P02-2020SR-00
講義開講時期	後期
講義区分	実習
基準単位数	2
時間	45.00
対象学年	2
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

町田 志樹

末吉 祐介

桐林 俊彰

総合学習目標

学生が将来、柔道整復師やアスレティックトレーナーになるために必要な人体の解剖学的実践知識を習得することが主要目標である。運動器系（骨格系、筋系、関節・靭帯）に重点を置き、骨格標本や骨格筋の触察等を通じてその基本構造を学ぶ（整復医療・トレーナー学科DP1-①②に該当する）。

個別学習目標

1. 骨格標本の触察を通じ、骨と関節の構造を理解して説明できるようになる。
2. 骨格筋の触察を通じ、筋の起始・停止ならびに神経支配・作用を理解して説明できるようになる。
3. 上記を踏まえ、各主要器官の位置関係を理解して説明できるようになる。

準備学修

シラバスに記載された各回ごとの範囲を、予習することが好ましい。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	

【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。

【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。

授業計画

第1回	担当教員	町田 志樹 末吉 祐介 桐林 俊彰 オリエンテーション、頭部・脊柱の骨と関節
	内容	講義の進行に関するオリエンテーションを実施した後に頭部・脊柱の骨と関節についての講義を行い、骨標本ならびに体表からの触察を行う (P162~180)
第2回	担当教員	町田 志樹 末吉 祐介 桐林 俊彰 脊柱・胸郭の骨と関節
	内容	脊柱・胸郭の骨と関節についての講義を行い、骨標本ならびに体表からの触察を行う (P181~197)。
第3回	担当教員	町田 志樹 末吉 祐介 桐林 俊彰 肩甲帯・上腕の骨と関節
	内容	肩甲帯・上腕の骨・関節についての講義を行い、骨標本ならびに体表からの触察を行う (P45~50、P55~57)。
第4回	担当教員	町田 志樹 末吉 祐介 桐林 俊彰 肩甲帯・上腕の骨格筋
	内容	肩甲帯・上腕の骨格筋についての講義を行い、体表からの触察を行う (P65~70)。
第5回	担当教員	町田 志樹 末吉 祐介 桐林 俊彰 前腕・手の骨と関節
	内容	前腕・手の骨と関節についての講義を行い、骨標本ならびに体表からの触察を行う (P52~54、P58~64)。
第6回	担当教員	町田 志樹 末吉 祐介 桐林 俊彰 前腕・手の骨格筋
	内容	前腕・手の骨格筋についての講義を行い、体表からの触察を行う(P73~82)。
第7回	担当教員	町田 志樹 末吉 祐介 桐林 俊彰 骨盤帯・大腿の骨と関節
	内容	骨盤帯・大腿の骨と関節についての講義を行い、骨標本ならびに体表からの触察を行う(P99~107、P116~117)。
	担当教員	町田 志樹 末吉 祐介 桐林 俊彰

第8回	員	骨盤帯・大腿の骨格筋
	内容	骨盤帯・大腿の骨格筋についての講義を行い、体表からの触察を行う(P128~137)。
第9回	担当教員	町田 志樹 末吉 祐介 桐林 俊彰 下腿・足の骨と関節
	内容	下腿・足部の骨と関節についての講義を行い、骨標本ならびに体表からの触察を行う (P108~115、P118~127)。
第10回	担当教員	町田 志樹 末吉 祐介 桐林 俊彰 下腿・足部の骨格筋
	内容	下腿・足部の骨格筋についての講義を行い、体表からの触察を行う (P137~147)。
第11回	担当教員	町田 志樹 桐林 俊彰 運動器系の小テスト
	内容	運動器の範囲の理解度の確認を行う。1問あたり1点、20問の小テストを実施する。
第12回	担当教員	町田 志樹 桐林 俊彰 消化器系の解剖学①
	内容	消化器系の全体像ならびに口腔、食道、胃の構造と機能を学習する (P262~273)。
第13回	担当教員	町田 志樹 桐林 俊彰 消化器系の解剖学②
	内容	小腸、大腸の構造と機能を学習する (P273~278)。
第14回	担当教員	町田 志樹 桐林 俊彰 消化器系の解剖学③
	内容	膵臓、肝臓、胆嚢の構造と機能ならびに腹膜の形態について学習する (P279~288)。
第15回	担当教員	町田 志樹 桐林 俊彰 神経系の解剖学①
	内容	神経細胞と支持細胞の形態および中枢神経と末梢神経の全体像、中枢神経の区分について学習する (P311~320)。
第16回	担当教員	町田 志樹 桐林 俊彰 神経系の解剖学②
	内容	大脳の皮質と髄質、間脳と脳幹の構造ならびにその機能について学習する (P321~327)。
	担	

第17回	当 教 員	町田 志樹 桐林 俊彰 神経系の解剖学③
	内 容	脊髄の構造、脊髄神経の主要な枝の構造を学ぶ（教科書P327～334）。
第18回	担 当 教 員	町田 志樹 桐林 俊彰 神経系の解剖学④
	内 容	上行路・下行路と末梢神経を学ぶ（P334～347）。
第19回	担 当 教 員	町田 志樹 桐林 俊彰 感覚器系の解剖学①
	内 容	外皮と視覚器に関わる構造と機能の学習を行う（P348～358）。
第20回	担 当 教 員	町田 志樹 桐林 俊彰 感覚器系の解剖学②
	内 容	聴覚器と平衡器に関わる構造と機能とその伝導路、その他の感覚器の学習を行う（P358～362）。
第21回	担 当 教 員	町田 志樹 桐林 俊彰 解剖学実習見学①
	内 容	循環器系、呼吸器系、消化器系、泌尿器系、生殖器系の摘出標本を観察する。
第22回	担 当 教 員	町田 志樹 桐林 俊彰 解剖学実習見学②
	内 容	1. 神経系の摘出標本を観察する。 2. 全身筋肉標本ならびに関節標本の観察を行う。
第23回	担 当 教 員	町田 志樹 桐林 俊彰 まとめ
	内 容	多視点3D解剖教育システムを用い、解剖学実習で得た知見についてのまとめ・復習を行う。

評価方法とフィードバック方法

定期試験80%、小テスト20%で評価する。講義中盤で小テストを行い、講義内容の理解度および学習方法・習慣の確認を実施する。また、解剖学見学実習への参加とそのレポートの提出を必須とする。

教科書

『PTOTビジュアルテキスト専門基礎 解剖学』

監修：坂井建雄

著者：町田志樹

出版社：羊土社 定価：5,600円

参考書
『町田志樹の聴いて覚える起始停止』 著者：町田志樹 出版社：三輪書店 定価：2,200円
オフィスアワー
【後期】月曜3～5限、水曜3・4限、金曜3・4限 【教室】539研究室
実務経験の有無
この科目は解剖学研究室での実務経験および関連書籍の執筆歴（計10冊）を有する教員がその経験を活かし、理学療法士を目指す上で根幹となる解剖学について講義を行っている科目です。
その他
1. 適宜、多視点3D解剖教育システムを使用する。 2. 必要に応じ、資料の配布を行う。

講義コード	5100602
講義名	生理学I[整]
(副題)	
代表ナンバリングコード	52L02-1021FR-00
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

増田 敦子

総合学習目標

生理学は生体が正常な機能を営むための仕組みを解明する学問であり、臨床医学の基盤として正常な人体の機能を正しく理解することは、疾病による人体機能の変化を理解する上で極めて大切である。したがって、この科目の学習目標は、柔道整復師として、患者に適切な整復を実施するために必要な人体の構造と機能についての基礎を作ることであり、具体的には国家試験受験に必要な知識を習得することである。

個別学習目標

- 1) 人体を構成している器官系の主要な機能とホメオスタシスの重要性について説明できる。
- 2) 人体の機能を維持する2つの調節系（神経系と内分泌系）について説明できる。
- 3) 感覚器が外界の変化を情報として受け取り、その情報を調節中枢へ伝えるしくみを説明できる。
- 4) 感覚器からの情報を分析・判断し、指令を運動器に伝える神経系のしくみが説明できる。
- 5) 調節中枢からの指令がどのように運動器に伝わり、その指令が遂行されるしくみが説明できる。

準備学修

- ・予習として、①クラスルームに掲示されている授業概要を読む（30分）。②授業計画に記載されている教科書の頁を読んで内容が理解できない箇所に下線を引く（30分）。③配布された「○×問題集」で授業範囲の問題を解く（30分）。
- ・復習として、①教科書の本文中に設けられている「Q」、「確認してみよう」および章末に設けられている「復習問題」を解いて理解を深める（50分）。②クラスルームに提示される「授業ごとの理解度チェック」を次回の授業までに回答・送信する（10分）。③小テストの準備として「○×問題集」で授業範囲の問題を解く（30分）。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学	◎

力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあつても国家資格を有用に活用できる。	
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	

授業計画

第1回	担当 教員	増田 敦子 生理学の基礎①：人体
	内容	授業ガイダンス：生理学の勉強の仕方、書籍紹介、授業の進め方など。第1章 人体：オリエンテーション（教科書1～11頁）①解剖学と生理学の意味を理解する。②人体がどのように作られているかを理解する。③ヒトが生命を維持するのに必要な機能を理解する。④ホメオスタシスの概念を理解する。
第2回	担当 教員	増田 敦子 生理学の基礎②：化学の基礎
	内容	第2章 化学の基礎（教科書25～55頁）①人体の大半を作り上げている4つの元素をあげる。②原子の構造からイオンについて理解する。③合成反応と分解反応を比較する。④無機化合物と有機化合物を分類する。⑤酸と塩基、pH（水素イオン濃度）の概念を理解し、血液のpH値を述べる。⑥糖質、脂質、タンパク質、核酸について構成要素、構造、体内での機能について理解する。⑦人体におけるATPの重要性について理解する。
第3回	担当 教員	増田 敦子 生理学の基礎③：細胞
	内容	第3章 細胞と組織（教科書63～88頁）①細胞、細胞内小器官を定義する。②細胞の主要な3領域（核、細胞質、細胞膜）を示す。③細胞内小器官のそれぞれの主要な機能について述べる。④細胞膜を介した物質の様々な輸送過程を述べる。⑤タンパク質合成の概要を述べる。
第4回	担当 教員	増田 敦子 神経系総論①：神経系概要、小テスト①（範囲：第1～3回）
	内容	第7章 神経系（教科書217～227頁）①神経系のはたらきの全体像を述べる。②神経系を構造および機能の観点から区別し、それぞれについて説明する。③中枢神経系と末梢神経系とは何かを述べ、それぞれ何から構成されているかを述べる。④神経細胞（ニューロン）と神経膠細胞（グリア細胞）の機能を説明する。⑤神経細胞の基本的な構造を説明し、その構成部分の名称を述べる。⑥灰白質と白質が何から構成されているかを説明する。
第5回	担当 教員	増田 敦子 神経系総論②：神経細胞の生理学

	内容	第7章 神経系（教科書227～232頁） ①神経細胞でどのように活動電位が発生して伝導され、どのようにして他の神経細胞へ伝達されるかを説明する。②興奮の特性について説明する。
第6回	担当教員	増田 敦子 神経系各論①：中枢神経系(1)脳
	内容	第7章 神経系（教科書232～243頁） ①脳の模式図上で大脳半球・間脳・脳幹・小脳を区別し、それぞれの機能を説明する。②脳波とは何か。それによって神経系の機能がどのように把握されているかを説明する。③髄膜の3層を区別し、それぞれの機能を述べる。④髄液の産生と機能について、また、血液脳関門について説明する。
第7回	担当教員	増田 敦子 神経系各論②：中枢神経系(2)脊髄
	内容	第7章 神経系（教科書230～232、243～245頁） ①脊髄の重要な機能を、2つ述べる。②脊髄の構造を説明する。③反射弓の5つの要素について説明する。④膝蓋腱反射、屈曲反射、交差性伸展反射、折りたたみナイフ反射の5つの要素について説明する。
第8回	担当教員	増田 敦子 神経系各論③：末梢神経系(1)体性神経系、小テスト②（範囲：第4～7回）
	内容	第7章 神経系（教科書245～252頁） ①脳神経の番号・名称をあげ、それぞれの主要なはたらきを述べる。②脊髄の前根と後根、脊髄神経、前枝と後枝について説明する。③脊髄神経の前枝と後枝の走行と分布を述べる。④大きな神経叢をあげ、それぞれを構成している神経とその分布を説明する。
第9回	担当教員	増田 敦子 神経系各論④：末梢神経系(2)自律神経系
	内容	第7章 神経系（教科書247～256頁） ①交感神経系と副交感神経系について、それぞれの構造と機能を説明する。②心臓・肺・消化器系・血管について、交感神経系と副交感神経系の作用を比較しつつ説明する。
第10回	担当教員	増田 敦子 感覚系①：感覚系総論、体性感覚
	内容	第7章 神経系（教科書112～118、225～226頁）、第4章 皮膚と膜（教科書111～118頁） ①感覚のはたらきについて説明する。②感覚の種類について、3つ述べる。③体性感覚の受容器について説明する。④感覚の伝導路について説明する。
第11回	担当教員	増田 敦子 感覚系②：特殊感覚
	内容	第8章 特殊感覚（教科書267～285頁） ①眼の付属器を同定し、それぞれの役割を説明する。②杆体と錐体の機能の違いを説明する。③角膜から網膜にいたる、光の透過について説明する。④視覚の神経伝導路（視覚路）を、網膜から後頭葉まで順にたどる。⑤外耳・中耳・内耳の構造と機能を説明する。⑥身体のバランスに、平衡器がどのようにはたらいているかを説明する。⑦聴覚におけるコルチ器の機能を説明する。⑧嗅覚受容器と味覚受容器について、その構造と機能を説明する。⑨基本的な5つの味覚をあげ、味覚に影響を及ぼす要因を述べる。

第12回	担当 教員	増田 敦子 運動系①：筋肉の収縮、小テスト③（範囲：第8～11回）
	内容	第6章 筋系（教科書177～190頁） ①3種類の筋組織における、構造および機能の類似点と相違点、また体内での存在を述べる。②骨格筋の微細構造を述べ、アクチンおよびミオシンを含むフィラメントの役割を説明する。③筋細胞の活動電位はどのようにして発生するのかを述べる。④筋細胞の収縮という事象について述べる。⑤骨格筋に関して適用された次の用語を定義する（強縮、等尺性・等張性収縮）。⑥筋の活動においてATPが再生される3つの方式を説明する。
第13回	担当 教員	増田 敦子 運動系②：運動の調節、レポート返却
	内容	第7章 神経系（教科書219～252頁） ①運動の調節に関与する神経系について、その概要を説明する。②錐体路と錐体外路について説明する。③レポート解説
第14回	担当 教員	増田 敦子 まとめ
	内容	①第12、13回の復習、②レポートの解説、③期末試験についてのガイダンス、④期末試験練習問題の解説
第15回	担当 教員	増田 敦子 まとめ・総括とその解説
	内容	まとめ・総括（30分）、回収（10分）、その解説（50分）

評価方法とフィードバック方法

小テスト30%、レポート10%、期末試験60%で評価する。

- 1) 小テストは授業の最初に10分間程度行うので、遅刻しないように留意すること。何らかの理由で受けられなかった学生がいる場合には追って1週間以内に受験日を設定するので、必ず受けること。ただし、評価はその理由による。
- 2) 小テストは次の授業で返却する。また、問題は配布された「○×問題集」より出題し、解答はクラスルームに掲示してあるので、間違えた問題は各自復習すること。
- 3) レポートは提出期限を守って提出すれば素点で評価する。遅れた場合にはその理由に応じて評価する。
- 4) レポートは提出期限の翌週の授業で返却し、間違いの多かった項目などについて解説する。
- 5) 期末試験は第15回の授業で行い、マークシート回収後に解答・解説を行う。

教科書

人体の構造と機能（第4版）、エレインNマリープ著、林正健二訳、医学書院、5,200円＋税

参考書

ステップアップ解剖生理学（第2版）、増田敦子監修、サイオ出版、1,700円＋税

オフィスアワー

- ・月・金は2限目、火～木は3限目に教員室。それ以外でも在室していれば対応可能。
- ・クラスルームに掲示するメールアドレスでの質問などに対応可能。

実務経験の有無

有。この科目は看護師としての実務経験を活かして、整復を施術する際に行う患者の身体的状態を評価するために必要な基礎知識に関する講義を行うものである。

その他

- 1) 授業終了後1週間以内に、クラスルームに掲示される「講義ごとの理解度チェック」を提出期限内に提出し、早めに復習をすること。
- 2) 授業終了1週間以内に、初回講義時に配布するO×問題集で該当する部分を解いて、日頃から小さな復習を積み重ねることを習慣化し、早めに小テストの準備を始めること。
- 3) 教科書各章の本文中に設けられている「Q」、「確認してみよう」および章末に設けられている「復習問題」を解いて理解を深めること。
- 4) 授業中の配布物はすべてクラスルームに掲示するので、休んだときは印刷するか教員室に取りに来ること。授業概要とパワーポイント資料はクラスルームに掲示するので、自習すること。分からないことは、早めに質問して解決すること。

講義コード	5100702
講義名	生理学II[整]
(副題)	
代表ナンバリングコード	52L02-1022SR-00
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

増田 敦子

総合学習目標

生理学は生体が正常な機能を営むための仕組みを解明する学問であり、臨床医学の基礎として正常な人体の機能を正しく理解することは、疾病による人体機能の変化を理解する上で極めて大切である。したがって、この科目の学習目標は、柔道整復師として、患者に適切な整復を実施するために必要な人体の構造と機能についての基礎を作ることであり、具体的には国家試験受験に必要な知識を習得することである。

個別学習目標

- 1) 生体防御のしくみが説明できる。
- 2) 生体の生命維持に必要なガス交換のしくみが説明できる。
- 3) 生体の生命維持に必要な栄養素の摂取とさまざまな代謝産物の排出のしくみが説明できる。
- 4) 調節系の一つとして内分泌のしくみが説明できる。
- 5) 種の保存のしくみが説明できる。

準備学修

・予習として、①クラスルームに掲示されている授業概要を読む(30分)。②授業計画に記載されている教科書の頁を読んで内容が理解できない箇所を下線を引く(30分)。③配布された「〇×問題集」で授業範囲の問題を解く(30分)。
 ・復習として、①教科書の本文中に設けられている「Q」、「確認してみよう」および章末に設けられている「復習問題」を解いて理解を深める(50分)。②クラスルームに提示される「授業ごとの理解度チェック」を次回の授業までに回答・送信する(10分)。③小テストの準備として「〇×問題集」で授業範囲の問題を解く(30分)。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	◎

【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	

授業計画

第1回	担当教員	増田 敦子 血液①：血液の成分と機能、止血機構
	内容	第10章 血液（教科書323～333頁） ①血漿成分とその役割を述べる。②血球成分の名称とそれぞれの役割を述べる。③造血幹細胞の役割を述べる。④血液の凝固過程を述べる。⑤線維素溶解の過程を述べる。
第2回	担当教員	増田 敦子 血液②：生体防御、血液型
	内容	第12章 リンパ系と生体防御機構（教科書381～407頁）、第10章 血液（教科書334～335頁） ①血液中で生体防御機構に関わる成分とその機能を説明する。②先天的（非特異的）防御機構について、説明する。③液性免疫と細胞性免疫の違いを説明する。④リンパ球がどのように成熟し、B細胞とT細胞が産生されるか、比較対照して説明する。⑤免疫におけるマクロファージの重要性について説明する。⑥抗体を5種類あげ、免疫における役割を説明する。⑦ABO式およびRh式血液型について述べる。⑧なぜ同じ血液型の血液を輸血する必要があるか説明する。
第3回	担当教員	増田 敦子 循環器系①：心臓
	内容	第11章 心臓血管系（教科書341～353頁） ①血液が心臓を中心にどのように循環するか述べる。②肺循環系と体循環系を比較し、それぞれの特徴を述べる。③心臓の弁の役割を説明する。④心臓の刺激伝導系の名称をあげ、刺激が伝わる経路を説明する。⑤心電図からどのような情報が得られるかを説明する⑥収縮、拡張、1回拍出量、心周期、心音の各用語の意味を説明する。⑦以下のそれぞれの因子により心拍数がどのようにかわるかを述べる（迷走神経による刺激、運動、アドレナリン）
第4回	担当教員	増田 敦子 循環器系②：血管、血圧、リンパ系
	内容	第11章 心臓血管系（教科書353～370頁） ①動脈、静脈および毛細血管の構造と機能を比較し、それぞれの特徴を述べる。②血圧と脈拍を定義し、身体はどこで脈拍が触られるかを述べる。③血圧に影響する、あるいは血圧を規定する因子をあげる。④毛細血管壁を通して行われる交換について説明する。⑤リンパ系が、心臓血管系とどのように機能的にむすびついているかを説明する。
	担当教員	増田 敦子 呼吸器系①：呼吸のしくみ、肺気量、小テスト①（範囲：第1～4回）

第5回	員	
第6回	内容	第13章 呼吸器系（教科書417～430頁）①肺換気、外呼吸、内呼吸、呼気、吸気の各用語の意味を定義する。②呼吸を司る筋が、どのようにはたらいて肺をふくらませたり縮めたりしているのかを説明する。③肺気量に関する用語（1回換気量、肺活量、予備吸気量、予備呼気量、残気量、機能的残気量、全肺気量）を定義する。
第7回	担当教員	増田 敦子 呼吸器系②：ガスの運搬、呼吸調節
第8回	内容	第13章 呼吸器系（教科書430～434頁）①肺内および組織におけるガス交換を説明する。②酸素と二酸化炭素が、血液でどのように運ばれるかを説明する。③呼吸を司る脳の部位をあげる。④呼吸数に影響する身体の状態をいくつかあげる。⑤酸素や二酸化炭素の濃度が、どのようにして呼吸の回数と深さに影響するかを説明する。
第9回	担当教員	増田 敦子 消化器系①：消化管、消化液
第10回	内容	第14章 消化器系と代謝（教科書447～462頁）①消化と吸収の違いを述べる。②食物の消化・吸収に関する消化器系全般のはたらきと、各器官の役割を述べる。③唾液の成分とはたらきを述べる。④小腸で絨毛が消化の過程をどのように手助けしているかを説明する。⑤消化器系の主要なはたらきを6つ述べる。
第11回	担当教員	増田 敦子 消化器系②：消化機能の調節、小テスト②（範囲：第5～7回）
第12回	内容	第14章 消化器系と代謝（教科書462～469頁）①嚥下の機序を説明する。②消化管の中で食物がまぜ合わされ、管に沿って移送されるしくみを説明する。③消化の過程における局所ホルモンのはたらきを説明する。④消化器官や付属腺で産生される主な酵素または酵素群の一覧を示し、どの食物に作用するかを述べる。⑤タンパク質・脂肪（脂質）・炭水化物（糖質）が消化されて生じる最終産物の名称をあげる。⑥消化の過程における胆汁の役割を説明する。
第13回	担当教員	増田 敦子 栄養と代謝、体温調節
第14回	内容	第14章 消化器系と代謝（教科書469～482頁、）第12章 リンパ系と生体防御機構（教科書392頁）①栄養素、カロリーについて定義する。②酵素、代謝、同化、異化について、それぞれの意味を明らかにする。③代謝における肝臓の役割を述べる。④糖質、脂質、タンパク質が、細胞の代謝においてどのように消費されるかを述べる。⑤身体のエネルギー平衡の重要性を説明する。⑥体温がどのように調節されているかを述べる。
第15回	担当教員	増田 敦子 泌尿器系①：ネフロンと尿の生成
第16回	内容	第15章 泌尿器系（教科書493～501頁）①ネフロンが腎臓の構造と機能の単位であることを理解し、その解剖を述べる。②尿が生成される過程を述べ、ろ過・再吸収・分泌にかかわるネフロンの部位を区別する。
第17回	担当教員	増田 敦子 泌尿器系②：クリアランス、排尿、体液調節

	内容	第15章 泌尿器系（教科書502～511頁）①クリアランスを定義する。②排尿を定義する。③排尿に関して外および内尿道括約筋が果たす役割を述べる。④抗利尿ホルモンとアルドステロンの役割を説明する。
第12回	担当教員	増田 敦子 内分泌系①：ホルモン概要、視床下部と下垂体、甲状腺と副甲状腺、小テスト③（範囲：第8～11回）
	内容	第9章 内分泌系（教科書295～306頁）①ホルモンとは何か、ホルモンが作用する標的細胞とは何かを述べる。②ホルモンの作用のしくみについて理解する。③生体のホメオスタシス（恒常性）がホルモンによってどのように調節されているかを、例をあげて述べる。④視床下部と下垂体とが、ホルモンの分泌に関してどのようにかかわり合っているのかを、例をあげて述べる。⑤甲状腺からはどのようなホルモンが分泌され、どのような作用をもつのか述べる。⑥上皮小体（副甲状腺）からはどのようなホルモンが分泌され、どのような作用をもつのか述べる。⑦血液中のカルシウムイオン濃度がどのようなホルモンの作用でどのように調節されるのか述べる。
第13回	担当教員	増田 敦子 内分泌系②：副腎、膵臓、性腺
	内容	第9章 内分泌系（教科書306～313頁）①副腎からはどのようなホルモンが分泌され、どのような作用をもつのか述べる。②膵臓からはどのようなホルモンが分泌され、どのような作用をもつのか述べる。③血液中のグルコースの濃度がどのようなホルモンの作用でどのように調節されるのか述べる。④性腺からはどのようなホルモンが分泌され、どのような作用をもつのか述べる。
第14回	担当教員	増田 敦子 生殖器系
	内容	第16章 生殖器系（教科書517～543頁）①性の決定を遺伝子から述べる。②精子と卵子形成について述べる。③月経周期の各期と子宮内膜の変化を述べる。④受精と受精卵について述べる。⑤どのようにして分娩がはじまるのかを説明する。
第15回	担当教員	増田 敦子 まとめ
	内容	第12～14回の復習、②レポートの解説、③期末試験についてのガイダンス、④期末試験練習問題の解説

評価方法とフィードバック方法

小テスト30%、レポート10%、期末試験60%で評価する。

1) 小テストは授業の最初に10分間程度行うので、遅刻しないように留意すること。何らかの理由で受けられなかった学生がいる場合には追って1週間以内に受験日を設定するので、必ず受けること。ただし、評価はその理由による。

2) 小テストは次の授業で返却する。また、問題は配布された「○×問題集」より出題し、解答はクラスルームに掲示してあるので、間違えた問題は各自復習すること。

3) レポートは提出期限を守って提出すれば素点で評価する。遅れた場合にはその理由に応じて評価する。

4) レポートは提出期限の翌週の授業で返却し、間違いの多かった項目などについて解説する。

5) 期末試験は30分間で行い、マークシート回収後に解答・解説を行う。

教科書

人体の構造と機能（第4版）、エレインNマリーブ著、林正健二訳、医学書院、5,200円+税

参考書
ステップアップ解剖生理学（第2版）、増田敦子監修、サイオ出版、1,700円＋税
オフィスアワー
・月～水は4限目、木・金は1限目に教員室。それ以外でも在室していれば対応可能。 ・クラスルームに掲示するメールアドレスでの質問などに対応可能。
実務経験の有無
有。この科目は看護師としての実務経験を活かして、整復を施術する患者の身体的状態を評価するために必要な基礎知識に関する講義を行うものである。
その他
1) 授業終了後1週間以内に、クラスルームに掲示される「講義ごとの理解度チェック」を提出期限内に提出し、早めに復習をすること。 2) 授業終了1週間以内に、初回講義時に配布されたO×問題集で該当する部分を解いて、日頃から小さな復習を積み重ねることを習慣化し、早めに小テストの準備を始めること。 3) 教科書各章の本文中に設けられている「Q」、「確認してみよう」および章末に設けられている「復習問題」を解いて理解を深めること。 4) 授業中の配布物はすべてクラスルームに掲示するので、休んだときは印刷するか教員室に取りに来ること。授業概要とパワーポイント資料はクラスルームに掲示するので、自習すること。分からないことは、早めに質問して解決こと。

講義コード	5100802
講義名	生理学実習[整]
(副題)	
代表ナンバリングコード	52P02-2023SE-00
講義開講時期	後期
講義区分	実習
基準単位数	1
時間	45.00
対象学年	2
必修/選択	選択
担当教員	

氏名

増田 敦子

総合学習目標

1年次の講義で学んだ生理学の知識をもとに、基本的な実験や観察をとおして、生体の構造や機能の理解を深める。そのために、学生自身が実験者・被験者となり、生理現象の観察と測定を行い、得られたデータの処理・解析を通して、講義で得られた生体機能に関する知識の総合的・体系的理解を目指す。

個別学習目標

- 1) 感覚から大脳皮質の機能局在を説明することができる。
- 2) 心電計の操作により心電図を測定し、心筋の電気活動を説明することができる。
- 3) スパイロメータの操作により肺気量を測定し、呼吸調節の仕組みを説明することができる。
- 4) 腎臓による体液の量とpHの調節の仕組みを説明することができる。
- 5) ブドウ糖負荷による血糖値の変動から、ホルモンによる血糖調節の仕組みを説明できる。

準備学修

- ・予習として、①実施する実習内容について、実習書熟読しておく（30分）。②事前レポートを実習前週までに仕上げ、提出すること（30分）。
- ・復習として、①実習書に記載されている復習と過去の国家試験問題を解いておく（60分）。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	

【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。

【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。

授業計画

第1回	担当 教員	増田 敦子 ガイダンス
	内容	実習前の準備、実習中の注意事項、使用する機器の使用方法など
第2回	担当 教員	増田 敦子 レポートの書き方
	内容	レポートの形式、図表の書き方、レポートのまとめ方など
第3回	担当 教員	増田 敦子 心電図①
	内容	標準の12誘導心電図を記録し、心臓の電氣的興奮の発生の様子を知る。 安静時および深呼吸時の心電図を記録する。
第4回	担当 教員	増田 敦子 心電図②
	内容	記録した心電図の解析を行う。
第5回	担当 教員	増田 敦子 心電図③
	内容	安静時の心電図から平均電気軸を求める。 深呼吸が心拍数に及ぼす影響についてレポートにまとめる。
第6回	担当 教員	増田 敦子 血圧・心拍数①
	内容	体位変換、運動および冷水刺激による血圧と心拍数の経時的変化を調べる。
第7回	担当 教員	増田 敦子 血圧・心拍数②
	内容	第6回と連続
第8回	担当 教員	増田 敦子 血圧・心拍数③
	内容	体位変換、運動および冷水刺激による血圧と心拍数の変化から神経系による循環調節の仕組みを考察しレポートにまとめる。
第9回	担当 教員	増田 敦子 肺機能①
	内容	スパイロメーターを用いて呼吸機能の測定を行う。
第10回	担当 教員	増田 敦子 肺機能②
	内容	肺気量が全肺気量、機能的残気量および残気量レベルのときに、酸素吸入あるいは過剰換気を行い息こらえ時間の違いを調べる。
第11回	担当 教員	増田 敦子 肺機能③
	内容	肺気量の意味を理解し、それぞれの肺気量と酸素吸入・過剰換気が息こらえ時間に与える影響を調べ、呼吸調節の仕組みをレポートにまとめる。
	担当	増田 敦子

第12回	教員	腎機能①
	内容	純水および生理的食塩水を負荷し、尿の量、pHおよび比重の経時的変化に調べる。
第13回	担当教員	増田 敦子 腎機能②
	内容	第12回と連続
第14回	担当教員	増田 敦子 腎機能③
	内容	尿の量、pHおよび比重の変化から腎臓による体液の調節をホルモンから説明し、レポートにまとめる。
第15回	担当教員	増田 敦子 血糖調節①
	内容	経口的にブドウ糖を負荷し血糖の経時的変化を調べる。
第16回	担当教員	増田 敦子 血糖調節②
	内容	第14回と連続
第17回	担当教員	増田 敦子 血糖調節③
	内容	ブドウ糖負荷による血糖の変化から、ホルモンによる血糖調節についてレポートにまとめる。
第18回	担当教員	増田 敦子 感覚①
	内容	皮膚感覚として、安静時と運動負荷後に身体各部の2点弁別閾を調べる。
第19回	担当教員	増田 敦子 感覚②
	内容	主観的な感覚の強さを重量感覚から調べる。
第20回	担当教員	増田 敦子 感覚③
	内容	感覚について以下の3点についてレポートにまとめる。①部位による2点弁別閾の違い、②身体的疲労が2点弁別閾に与える影響、③ウエーバーの法則
第21回	担当教員	増田 敦子 まとめ①
	内容	第3～11回（心電図、血圧と心拍数、肺機能）のまとめ
第22回	担当教員	増田 敦子 まとめ②
	内容	第12～20回（腎機能、血糖調節、感覚）のまとめ
第23回	担当教員	増田 敦子 まとめ③
	内容	まとめ・総括とその解説

評価方法とフィードバック方法

レポート40%、学期末試験60%、合計100%で評価する。

- 1) レポートは実習前の予習として提出する事前レポートと実習日に提出する実習レポートで評価する。
- 2) 事前レポートは実習前週までに提出されたものを評価対象とする。遅れた場合はその理由により評価する。
- 3) 期末試験は、実習内容に即した問題と実習書に掲載されている過去の国家試験問題の改変を多肢選択問題で出題する。
- 4) 期末試験の正解と講評はクラスルームに掲示する。

教科書

生理学実習書を配布する

参考書

新訂・生理学実習書 日本生理学会教育委員会監修 南江堂 4, 200円+税

オフィスアワー

- ・月～水は4限目、木・金は1限目に教員室。それ以外でも在室していれば対応可能。
- ・クラスルームに掲示するメールアドレスでの質問などに対応可能。

実務経験の有無

有。この科目は看護師としての実務経験を活かして、整復を施術する患者の身体的状態を評価するために必要な基礎知識に関する講義を行うものである。

その他

- 1) 実習前の予習として、実習項目に関する内容を1年次の生理学I・IIの教科書や問題集で復習しておくこと。
- 2) 予習として実習事前レポートを課すので、その提出がないと実習できないことがある。
- 3) 実験により得られたデータは各自で作表・統計処理し、作図してレポートにまとめるので、電卓などの計算機を用意すること。
- 4) 特別の理由がなく遅刻をした場合、30分以内では3回で1回の欠席、30分以上では出席しても欠席扱いとなる。

講義コード	5101502
講義名	病態生理学[整]
(副題)	
代表ナンバリングコード	52L02-3024SE-00
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	3
必修/選択	選択
担当教員	

氏名

増田 敦子

総合学習目標

ヒトが病気にかかると、それらの病気に特異的なサインを出す。そのヒトが自覚する症状として、あるいは他覚的に観察される症状として現われる。しかし、これらの症状として現われるサインは、必ずしも生体内における一つの機能の変調のみによって起こるものではなく、いくつかの機能が同時に変化した場合、あるいは一つの機能が変化したために他の機能に影響を与え、それによるサインが現われてくる場合など、多種多様である。

将来、柔道整復師・アスレティックトレーナーとして、遭遇する頻度が高いと思われる症状についての理解を深め、一般社会や地域医療を担うための基礎的知識を身につける。

個別学習目標

- 1) その症状の定義、起こるメカニズム、その症状をきたす疾患について述べることができる。
- 2) その症状を緩和するためのアプローチを、特に理学療法的な視点で考えることができる。

準備学修

- ・予習として、テーマに関わる器官系の解剖学・生理学を1年次の教科書を読んで復習しておくこと (60分)
- ・復習として、テーマに関連する過去の国家試験問題に取り組む (60分)

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と	

高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術に応用することができる。	

授業計画

第1回	担当 教員	増田 敦子 オリエンテーション
	内容	授業の進め方、評価の方法、グループ分け、資料作成および発表における注意点などのオリエンテーション
第2回	担当 教員	増田 敦子 テーマ1：グループワーク
	内容	テーマ1に関して、グループごとにパワーポイントの資料や発表原稿作成など発表準備をグループで行う。AL:B
第3回	担当 教員	増田 敦子 テーマ1：発表および質疑応答
	内容	グループごとに発表して質疑応答を行う。AL:AC
第4回	担当 教員	増田 敦子 テーマ1：追加講義
	内容	テーマ1に関して、発表内容に関連する過去の国家試験問題に解説などの追加講義。
第5回	担当 教員	増田 敦子 テーマ2：グループワーク
	内容	テーマ2に関して、グループごとにパワーポイントの資料や発表原稿作成など発表準備をグループで行う。AL:B
第6回	担当 教員	増田 敦子 テーマ2：発表および質疑応答
	内容	グループごとに発表し質疑応答を行う。AL:AC
第7回	担当 教員	増田 敦子 テーマ2：追加講義
	内容	テーマ2に関して、発表内容に関連する過去国家試験問題の解説などの追加講義
第8回	担当 教員	増田 敦子 テーマ3：グループワーク
	内容	テーマ3に関して、グループごとにパワーポイントの資料や発表原稿作成など発表準備をグループで行う。AL:B
第9回	担当 教員	増田 敦子 テーマ3：発表および質疑応答
	内容	グループごとに発表し質疑応答を行う。AL:AC
第10回	担当 教員	増田 敦子 テーマ3：追加講義
	内容	テーマ3に関して、発表内容に関連する過去の国家試験問題の解説などの追加講義
第11回	担当 教員	増田 敦子 テーマ4：グループワーク
	内容	テーマ4に関して、グループごとにパワーポイントの資料や発表原稿作成など発表準備をグループで行う。AL:B

第12回	担当 教員	増田 敦子 テーマ4：発表および質疑応答
	内容	グループごとに発表し質疑応答を行う。AL:AC
第13回	担当 教員	増田 敦子 テーマ4：追加講義
	内容	テーマ4に関して、発表内容に関連する過去の国家試験問題の解説などの追加講義
第14回	担当 教員	増田 敦子 期末試験対策
	内容	期末試験対策としてグループワークおよび発表した内容への追加講義
第15回	担当 教員	増田 敦子 まとめ・総括および解答・解説
	内容	まとめ・総括およびマークシート回収後に解答・解説を行う。

評価方法とフィードバック方法

- 1) 授業中の発表25%、発表資料の完成度25%、期末試験50%、合計100%で評価する。
- 2) 発表後の質疑応答に貢献した場合にはこれに加点する。

教科書

人体の構造と機能（第4版）、エレインNマリーブ著、林正健二訳、医学書院、5,200+税（1年次の生理学I・IIで使用した教科書）

参考書

齊藤宣彦、看護につながる病態生理学（プチナースBOOKS）、照林社、2,600円+税
田中越郎、系統看護学 病態生理学、医学書院、2,300円+税

オフィスアワー

- ・月～水は4限目、木・金は1限目に教員室。それ以外でも在室していれば対応可能。
- ・クラスルームに掲示するメールアドレスでの質問などに対応可能。

実務経験の有無

有。この科目は看護師としての実務経験を活かして、整復を施術する患者の身体的状態を評価するために必要な基礎知識に関する講義を行うものである。

その他

- 1) ガイダンス時に発表のグループ分けを学生の希望を踏まえ、決定します。
- 2) 基本的に学生のグループ発表に基づいて授業を進めます。
- 3) パワーポイントを使用した発表ですので、その利用法を習得しておいてください。
- 4) 発表グループ以外有的时候に活発な質疑応答ができるように、教科書を読んで、予習をしておいてください。
- 5) グループワークのテーマは、①循環器系の異常としてショック、浮腫、②呼吸器系の異常として呼吸困難、咳嗽、③消化器系の異常として嚥下困難、便秘と下痢、④血液の異常として止血異常、貧血、⑤体温の異常として高体温、低体温、⑥平衡器官の異常としめまい、を挙げておくが、学生の希望によりテーマは柔軟に変更する。
- 6) 授業は、①グループワーク、②発表・質疑応答、③追加講義の3回を1つのクールとして進めるが、①～③の授業回数は進行状況に応じて柔軟に変更する。

講義コード	5101802
講義名	整形外科学I[整]
(副題)	
代表ナンバリングコード	52L02-2025SR-00
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	2
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

下小野田 一騎

総合学習目標

整形外科学（Orthopaedics）は、四肢体幹を構成する運動器疾患に起因する疼痛、知覚障害、不安定性などを取り除き、その機能を回復・向上させる医学である。運動器疾患は多岐にわたり、すべての年齢層が対象である。整形外科学Iでは総論を中心に整形外科の全体像を把握出来るように学習する。DP1

個別学習目標

- 1) 運動器の解剖・生理の基本事項を理解する。
- 2) 運動器疾患の種類、診断、治療を理解する。
- 3) 整形外科学と整復医療の関係を理解する。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	

授業計画

第1回	担当教員	下小野田 一騎 整形外科とは・運動器の基礎知識 ①骨の基礎知識[下小野田]
第2回	担当教員	下小野田 一騎 運動器の基礎知識 ②関節の基礎知識③筋・靭帯・腱の基礎知識など[下小野田]
第3回	担当教員	下小野田 一騎 整形外科診察法[下小野田]
第4回	担当教員	下小野田 一騎 整形外科検査法[下小野田]
第5回	担当教員	下小野田 一騎 整形外科的治療法 ①保存療法②観血的治療[下小野田]
第6回	担当教員	下小野田 一騎 骨・関節損傷総論 ①骨折総論 ②関節の損傷[下小野田]
第7回	担当教員	下小野田 一騎 スポーツ整形外科総論、リハビリテーション総論[下小野田]
第8回	担当教員	下小野田 一騎 疾患別各論 ①感染性疾患、骨端症[下小野田]
第9回	担当教員	下小野田 一騎 疾患別各論 ②骨腫瘍、軟部腫瘍[下小野田]
第10回	担当教員	下小野田 一騎 疾患別各論 ③非感染性軟部・骨関節疾患（変形性関節症、関節リウマチ）[下小野田]
第11回	担当教員	下小野田 一騎 疾患別各論 ③非感染性軟部・骨関節疾患（その他）[下小野田]
第12回	担当教員	下小野田 一騎 疾患別各論 ④全身性の骨・軟部疾患[下小野田]
第13回	担当教員	下小野田 一騎 疾患別各論 ⑤四肢循環障害、脊髄腫瘍[下小野田]
第14回	担当教員	下小野田 一騎 疾患別各論 ⑥神経麻痺と絞扼性神経障害[下小野田]
第15回	担当教員	下小野田 一騎 総まとめ[下小野田]

評価方法とフィードバック方法

- 1) 定期試験100%（合計100%）で評価する。
- 2) 試験は国家試験に準ずる。
- 3) 講義終了後、小テスト（○×形式・国試過去問）を行う。解答解説はGoogle Classroomに適宜掲示する。

教科書

テキスト

整形外科学（改訂第4版）

松下隆 南江堂 6, 160円

参考文献

標準整形外科学 第15版

井樋 栄二 医学書院 10, 450円

参考書

テキスト

整形外科学（改訂第4版）

松下隆 南江堂 6, 160円

参考文献

標準整形外科学 第15版

井樋 栄二 医学書院 10, 450円

オフィスアワー

月曜日 火曜日・昼休み・517研究室

質問等は授業の前後で受け付ける

実務経験の有無

この科目は臨床医として整形外科診療の実務経験を有する教員がその実務経験を活かし、運動器の外傷・疾患について、臨床に即した知識教授を行っている科目である。

その他

講義は必携テキストとスライドを使用して行う。講義資料を配布する。パワーポイント資料を用いながら講義を行う。

状況に応じて授業計画は柔軟に変更する

講義コード	5101902
講義名	整形外科学II[整]
(副題)	
代表ナンバリングコード	52L02-3026FE-00
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	3
必修/選択	選択
担当教員	

氏名

下小野田 一騎

総合学習目標

整形外科学IIでは整形外科学Iで学んだ知識を基に、運動器疾患の各論を学習する。身体各部位の障害、外傷の診断と治療（保存的、観血的）についてできるだけ具体例を挙げながら学習する。DP1

個別学習目標

- 1) 運動器疾患の各論の概要を理解する。
- 2) 各運動器疾患の病態の理解、診断、治療法を理解する。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	

授業計画

第1回	担当教員	下小野田 一騎 疾患別各論 ⑦腕神経叢麻痺・分娩麻痺、全身性神経・筋疾患[下小野田]
第2回	担当教員	下小野田 一騎 疾患別各論 ⑧脊髄損傷[下小野田]
第3回	担当教員	下小野田 一騎 □□モティブシンドローム[下小野田]
第4回	担当教員	下小野田 一騎 身体部位別各論 ①頸部[下小野田]
第5回	担当教員	下小野田 一騎 ②胸部[下小野田]
第6回	担当教員	下小野田 一騎 ③腰部[下小野田]
第7回	担当教員	下小野田 一騎 ④肩関節・肩甲帯[下小野田]
第8回	担当教員	下小野田 一騎 ⑤上腕・肘関節 1 [下小野田]
第9回	担当教員	下小野田 一騎 ⑤上腕・肘関節2[下小野田]
第10回	担当教員	下小野田 一騎 ⑥前腕・手関節[下小野田]
第11回	担当教員	下小野田 一騎 ⑦手・手指⑧下腿・足関節[下小野田]
第12回	担当教員	下小野田 一騎 ⑨骨盤・股関節[下小野田]
第13回	担当教員	下小野田 一騎 ⑩大腿・膝関節[下小野田]
第14回	担当教員	下小野田 一騎 ⑪足・足趾[下小野田]
第15回	担当教員	下小野田 一騎 総まとめ [下小野田]

評価方法とフィードバック方法

レポート100%（合計100%）で評価する。

教科書

テキスト

整形外科学（改訂第4版）

松下隆 南江堂 6, 160円

参考文献

標準整形外科学 第14版

井樋 栄二 医学書院 10, 340円

参考書

テキスト

整形外科学（改訂第4版）

松下隆 南江堂 6, 160円

参考文献

標準整形外科学 第14版

井樋 栄二 医学書院 10, 340円

オフィスアワー

月曜日 火曜日・昼休み・517研究室

質問等は授業の前後で受け付ける

実務経験の有無

この科目は臨床医として整形外科診療の実務経験を有する教員がその実務経験を活かし、運動器の外傷・疾患について、臨床に即した知識教授を行っている科目である。

その他

講義は必携テキストとスライドを使用して行う。講義資料を配布する。講義終了後、小テスト（○×形式・国試過去問）を行う。

学習状況に応じて授業計画は柔軟に変更する。

担当教員実務経験の有無, 有

講義コード	5102302
講義名	老年医学〔整〕
(副題)	
代表ナンバリングコード	52L02-2027SR-00
講義開講時期	後期後半
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	15.00
対象学年	2
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

阿部 吉伸

総合学習目標

現在日本の高齢化率は、2022年10月の総務省発表で29%と発表されている。つまり、国民の3人に1人が65歳以上の高齢者であり、5人に1人が75歳以上となっている。

今後、医療従事者にはこの超高齢社会に対応するために、いかに老人の特性を理解し、診察するか、老年医学を学び実践することが求められる。ロコモティブシンドローム、フレイル、サルコペニアの概念を学び、歩行障害や転倒骨折をいかに予防し、個々の疾病の診断・治療とともに身体ケア、心のケア、社会環境の整備、介護を考えていく必要がある。

日本は前述のとおり高齢化社会を超え、超高齢化社会となっている。今後この高齢化は日本ではどんどん進行していくことが予測される。その背景、現状を把握し、高齢者の診かた、高齢者特有の以下認知行動、睡眠障害、栄養、口腔機能、嚥下障害、排尿排便、慢性疾患、慢性疼痛、褥瘡、コロナ、急性期疾患、感染症、がん、検査、治療、薬物、リハビリ、在宅ケア、地域包括ケア、エンドケアといった高齢者特有の概念を通して、医療従事者として何をしたいのか、何ができるのか、何が求められていくのかを考え、今後の自己研鑽につなげていく。

整復DP1-②

個別学習目標

高齢者の総合機能評価ができるようになる。

老化のメカニズムと予防、リハビリテーションを学ぶ。

高齢者が病気になった際に、どのような転機をたどるかの把握、どのような社会サービスが利用できるのかの理解。

ディプロマポリシー

◎：強く該当する
○：該当する
選択なし：該当しない

【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。

◎

【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学

力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	◎

授業計画

第1回	担当教員	高齢者診察の基礎知識
	内容	定義、健康寿命、高齢者に多い疾患、診療と予防の基礎知識を学ぶ。
第2回	担当教員	老年症候群と高齢者総合的機能評価
	内容	高齢者にありふれた多岐にわたる心身の諸症状・徴候を示す老年症候群の理解と対処を学ぶ。さらに虚弱高齢者を身体面、精神・心理面、社会・環境面から評価するツールの高齢者総合的機能評価（G C A）の意義を考える。
第3回	担当教員	健康寿命延伸のスクリーニング検査と予防
	内容	健康寿命延伸には疾患に対する治療のみでなく予防医学的観点も重要である。加齢に伴う恒常性・生理的予備能の低下により、ストレスに対する脆弱性が亢進した状態がフレイルであるが、これを適切に評価する方法を学ぶ。
第4回	担当教員	フレイル・サルコペニア
	内容	高齢による衰弱は要介護になる明らかな原因疾患が加齢にしか見いだせないことが多い。フレイルは精神心理的・社会的・身体的要因からなるが、加齢にともなう骨格筋量の低下に歩行速度・握力などの身体機能の低下が合併したサルコペニアを学ぶ。
第5回	担当教員	骨粗鬆症と骨折、ロコモシンドローム
	内容	高齢者のQOLおよび生命予後において、転倒・骨折予防が重要で、骨粗鬆症の早期診断・早期治療が必要となる。運動器の障害により、立つ・歩く機能が低下した状態がロコモシンドロームであり、骨折予防のため転倒リスクを評価することを学ぶ。
	担当教員	認知機能の低下と認知症

第6回	員	
	内容	神経細胞の萎縮・脱落によって認知機能は低下し、老人斑や神経原線維変化が認められる。軽度認知症(MCI)やアルツハイマー病はじめ高齢者認知症を理解する。
第7回	担当教員	高齢者と社会
	内容	健康長寿を達成するためには 栄養（食・口腔機能）、運動、社会参加の3つの柱が重要である。地域・多職種・他科連携によるまちぐるみでの包括的アプローチを学ぶ
第8回	担当教員	高齢者と在宅医療
	内容	高齢者の'終の棲家の確保'が課題である。尊厳ある死を迎えるために、地域格差もあるなか、医療資源と社会資源をどのように配分して高齢者にできる医療を行うかを考える。

評価方法とフィードバック方法

定期試験60点、課題（授業中に行う小テスト）40点で計100点とし、60点以上を合格とする。

授業への出席（3分の2以下は「不可」とする）。

受講環境の不備・トラブルなどといったやむを得ない事情があるものは追加課題を与え評価する。

教科書

テキスト：改訂版 健康長寿 診療ハンドブック 日本老年医学会 1, 100円

参考書

参考文献：もう困らない！高齢者診療でよく出合う問題とその対応 羊土社 4, 500円

講義コード	5102402
講義名	リハビリテーション医学[整]
(副題)	
代表ナンバリングコード	52L02-3028FR-00
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	3
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

荒井 沙織

総合学習目標

リハビリテーション医学について学ぶ。概論ではリハビリテーションの歴史、基本理念、定義、目的を学び、リハビリテーション医学がチーム医療であることを理解する。リハビリテーションの対象となる疾患の病態と障害を理解し、患者に対する適切な評価、治療を行うのに必要な知識を習得する。整復医療、トレーナー学がリハビリテーション医療の一翼を担っていることを理解する。

・整復医療・トレーナー学科DP2・3に該当する。

個別学習目標

- (1) リハビリテーション医学体系の歴史と位置づけ、目的を説明できる。
- (2) チーム医療のなかでリハビリテーションの役割を説明できる。
- (3) 障害学を理解し、その評価法、検査法、治療法を説明できる。
- (4) リハビリテーションで使われる用語を理解し、その定義を説明できる。
- (5) 整形外科疾患の病態と障害、リハビリテーションの関わり方について説明できる。
- (6) 神経系疾患の病態と障害について説明することができる。
- (7) 社会福祉の現状について説明することができる。

準備学修

授業最後に次回の予習について説明する。教科書を使用し事前に予習しておくこと。また、授業終盤に国家試験過去問題を用いて理解を深める。(30分)

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	○

【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	

授業計画

第1回	担当教員	荒井 沙織 リハビリテーションの理念・対象と障害者の実態
	内容	リハビリテーションの歴史、概念、対象など
第2回	担当教員	荒井 沙織 障害者の階層とアプローチ、福祉関係
	内容	ICD・ICIDH・ICF評価について、社会保険、介護保険など
第3回	担当教員	荒井 沙織 リハビリテーション評価学
	内容	身体計測、関節可動域測定法、徒手筋力検査、中枢性運動障害の評価法、痙縮の評価法
第4回	担当教員	荒井 沙織 リハビリテーション障害学・治療学
	内容	ADL評価、心理的・認知症の評価、画像診断、電気生理学的検査
第5回	担当教員	荒井 沙織 リハビリテーション治療学
	内容	運動療法、物理療法
第6回	担当教員	荒井 沙織 脳血管疾患のリハビリテーション
	内容	疾患の概要、種類、評価、治療を含む
第7回	担当教員	荒井 沙織 脳血管疾患のリハビリテーション
	内容	高次脳機能障害の概要・評価・治療、嚥下障害など
第8回	担当教員	荒井 沙織 リハビリテーション治療学
	内容	補装具の選定、対象、特徴、種類など
第9回	担当教員	荒井 沙織 リハビリテーション治療学
	内容	義肢の選定、対象、特徴、種類など
第10回	担当教員	荒井 沙織 高齢者のリハビリテーション
	内容	フレイル・サルコペニア・ロコモティブシンドロームなど、パーキンソン病、地域など
第11回	担当教員	荒井 沙織 小児疾患のリハビリテーション
	内容	発達過程、疾患の概要、評価、治療など

第12回	担当教員	荒井 沙織 運動器疾患のリハビリテーション
	内容	脊髄損傷の概要、評価、治療など
第13回	担当教員	荒井 沙織 運動器疾患のリハビリテーション
	内容	上肢・体幹疾患の概要、評価、治療など
第14回	担当教員	荒井 沙織 運動器疾患のリハビリテーション
	内容	下肢疾患の概要、評価、治療など
第15回	担当教員	荒井 沙織 まとめ
	内容	授業内容の復習とポイント解説

評価方法とフィードバック方法

- ・授業課題点20%、定期試験80%で評価する。課題内容は初回講義で説明する。
- ※授業課題：授業冒頭で解説・講評する。
- ※定期試験：定期試験終了後、希望者に講評する（531研究室）。

教科書

テキスト「柔道整復 リハビリテーション医学」三上真弘（編集）南江堂

参考書

参考文献「標準リハビリテーション医学」津山直一、上田敏 医学書院

オフィスアワー

水曜日・4限・531研究室
授業前後、休み時間等で質問を受け付ける。また、メールでの対応も可。
担当教員 s-arai@ryotokuji-u.ac.jp

実務経験の有無

この科目は理学療法士の実務経験を有する教員がその実務経験を活かし、実践的教育を行っている科目です。

その他

講義は必携テキストを使用して行う。講義資料を配付する。授業計画は学生の理解度に合わせ柔軟に変更する。

講義コード	5102602
講義名	救急法[整]
(副題)	
代表ナンバリングコード	52S02-1029SR-00
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

野田 哲由

憲 秀彦

総合学習目標

国内・外の救急医療制度の仕組みとバイ・スタンダー（そばに居合わせた人）として初期対応、連携の重要性を理解し、将来、医療従事者及びスポーツトレーナーとして基本となる傷病者の評価・観察法、心肺蘇生、自動体外式除細動器(AED)の操作などの一次救命処置(BLS)及びその他のファーストエイドの知識と基本スキルを習得し、有事の際、積極的に対応できる心構えを養う。

【整復医療・トレーナー学科DP1-①、DP2-①に該当する】

個別学習目標

①国内・外の救急医療制度の仕組みと一般市民の役割が理解出来る。また、事故現場での安全確認及び傷病者の評価・観察、医療情報の取り方の基本が理解できるようになる。

②一次救命処置の概要がわかり、最新のガイドラインに基づく心肺蘇生の手順と根拠が理解できる。

③一次救命処置の手順を理解し、感染防御を踏まえた心肺蘇生、AEDによる除細動が行えるようになる。

④実技評価基準に基づき、自分の一次救命処置の手順とスキルが確認が出来、修正出来る。

⑤出血の危険性、ショックの原因と症状の評価及び損傷血管に応じた出血コントロールが出来るようになる。

⑥外傷に伴う感染防御などの安全対策、ドレッシングと三角巾による外傷の応急手当が行えるようになる。

⑦ドレッシングと三角巾による応急手当の続きと巻軸包帯による包帯法が行えるようになる。

⑧目的に応じた三角巾と巻軸包帯法の続き、及び圧迫包帯による包帯法が行えるようになる。

⑨熱傷、暑熱寒冷障害、危険な動物、植物による事故など特殊なけがの予防と応急手当が理解できるようになる。

⑩骨、関節、筋肉損傷の原因が理解出来、その評価と捻挫等の応急手当が行えるようになる。

- ⑪各損傷部位の評価と四肢の副子固定が行えるようになる。
- ⑫高エネルギー事故での防ぎえた外傷死の概念が理解出来、安全確保の方法、外傷患者の救命手当の手順が理解出来る。
- ⑬高エネルギー事故での患者患者の救命手当、体位変換等の基本スキルが行えるようになる。
- ⑭救護者に安全なリフティングと傷病者の状態に則した移動、搬送が行えるようになる。
- ⑮災害時の心得と避難、救護活動の基本が理解できる。重要ポイントの振り返りが確認出来る。

準備学修

解剖学、生理学等の知基礎医学知識の再復習をしてきて下さい

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有効に活用できる。	○
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	○
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	○
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	○

授業計画

第1回	担当教員	憲 秀彦 野田 哲由 救命の連鎖と救急医療制度の仕組みと救急現場での初期対応について
	内容	傷病者遭遇時の初期救急の重要性。効果的な救急医療サービスへの引き継ぎ。その仕組みの理解及び状況評価、初期評価の方法と実習(テキスト・配布資料・動画) 一部, B
第2回	担当教員	憲 秀彦 野田 哲由 一次救命処置(BLS)その1
	内容	救急蘇生の歴史、バイスタンダーの果たす役割、手順の理解と実習(G2020)一次救命処置における心肺蘇生とAED訓練器を用いた実習及び気道異物除去、回復体位などの実習(配布資料・テキスト・動画)(テキスト・配布資料)
	担	

第3回	当 教 員	憲 秀彦 野田 哲由 一次救命処置(BLS)その2
	内 容	初期評価とは。モニタリング機器の使い方。体位管理と保温
第4回	担 当 教 員	憲 秀彦 一次救命処置その3
	内 容	成人の一次救命処置の実技評価表に基づく実技評価試験（後日、集計と解説）
第5回	担 当 教 員	憲 秀彦 野田 哲由 外傷の応急手当 1
	内 容	・感染防御、損傷血管に応じた直接圧迫、間接圧迫、止血帯を用いた大出血のコントロール、ショックの評価と応急手当の実習(テキスト・配布資料・動画)
第6回	担 当 教 員	憲 秀彦 野田 哲由 外傷の応急手当その2
	内 容	・感染防御の標準予防策、ドレッシングバンデージ使用の目的、バンデージと三角巾による包帯法の実習(テキスト・配布資料)
第7回	担 当 教 員	憲 秀彦 野田 哲由 外傷の応急手当 3
	内 容	ドレッシングと三角巾による包帯法の続き、外傷手当の目的に応じた巻軸包帯の巻き方等の実習(テキスト・配布資料)
第8回	担 当 教 員	憲 秀彦 野田 哲由 外傷の応急手当その4
	内 容	ドレッシングと三角巾による包帯法および、巻軸包帯の巻き方の続き、圧迫包帯の作り方の実習(テキスト・配布資料)
第9回	担 当 教 員	憲 秀彦 野田 哲由 外傷の応急手当 その5
	内 容	熱傷、凍傷、野生動物、生物による咬傷・刺傷等特殊なけがの予防と応急手当(テキスト・配布資料・動画)
第10回	担 当 教 員	憲 秀彦 野田 哲由 外傷の応急手当その6
	内 容	・打撲・捻挫・肉離れ DOTS評価、CMSチェックと捻挫・打撲・肉離れの応急手当の実習(テキスト・配布資料)
第11回	担 当 教 員	憲 秀彦 野田 哲由 外傷の応急手当その7
	内 容	

	容	・骨折・脱臼 骨折・脱臼の評価観察と副子固定の実習(テキスト・配布資料)
第12回	担当教員	憲 秀彦 野田 哲由 頭・頸部外傷について 1
	内容	・脳震盪 SCAT 6 を用いての評価と脳震盪からの復帰に関するプログラム及び注意点
第13回	担当教員	憲 秀彦 野田 哲由 頭・頸部外傷について 2
	内容	・頭部・頸部・脊柱における重傷外傷
第14回	担当教員	憲 秀彦 野田 哲由 搬送法
	内容	搬送法 ①搬送における留意点 ②各種搬送方法 ③歩行補助具（車いす、松葉づえ）複数での搬送、救助者1名による搬送搬送
第15回	担当教員	憲 秀彦 野田 哲由 まとめ
	内容	スポーツ時、日常生活時、災害時の心得の基本。日常の準備。災害発生時の避難行動の理解。全体を通じた重要ポイントの振り返り（テキスト・配布資料）

評価方法とフィードバック方法

実技評価（20%）＋定期試験（70%）＋課題レポート又は小テスト（10%）合計100%（点）を基準に総合評価を行う。回毎

事前準備として回毎の授業計画を確認し、次の授業迄にテキスト内容の該当する項目及びGoogleクラスルームにアップロードされた配布資料を参照し、Web上で提示される課題に対し、答えられるように準備をしておく事。

教科書

テキスト

「赤十字救急法基礎教本」編集 日本赤十字社 発行所（株）日赤サービス 315円（税込）

「赤十字救急法講習教本」編集 日本赤十字社 発行所（株）日赤サービス 524円（税込）

・公認アスレチックトレーナー専門科目テキスト5救急対応（公財）日本スポーツ協会

および必要な資料等は随時配布。

実務経験の有無

日本赤十字社救急法指導員のライセンスを持って、医療機関、スポーツクラブ等で実務経験を有する教員がその実務経験を活かし、実践的教育を行っている科目です。

その他

原則として第8回以降、授業の初めに三角巾等を用いた包帯法の復習と不足分の実習を行う。

教材として、三角巾（サイズ：110×110×155cm）400円前後、伸縮包帯（幅5.0cm×伸張4.0m前後の標準サイズ）300円前後を使用。

実技演習が主となるため、本講義は特別に表記がない限り 恵・野田2名による指導及び補助を行う。

担当教員実務経験の有無, 有

講義コード	5102701
講義名	ケアマネジメント論〔整〕
(副題)	
代表ナンバリングコード	52L02-3030SR-00
講義開講時期	後期前半
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	15.00
対象学年	2
必修/選択	選択
担当教員	

氏名

山田 洋一

総合学習目標

ケアマネジメントを理論として正しく学び、地域生活支援に必要な方法及び技術とそれを支えるシステムについて理解する。

わが国では介護保険制度や支援費制度を契機に、「ケアマネジメント」という用語は急速に定着してきた。地域福祉実践を進めるうえで、個別のニーズに対する直接的で包括的なアプローチだけでなく、チームアプローチに必要な保健・医療・福祉の連携のあり方やサービス提供のシステム、福祉サービス運営管理のあり方など、ケアマネジメントの理論と実際について理解し、マネジメント技術の要点を習得する。

DP1-①に該当する。

個別学習目標

- ・ケアマネジメントに必要な社会保障制度を理解する。
- ・ケアマネジメントに必要な、保健、医療、福祉の現状を理解する。
- ・ケアプラン作成までの流れについて理解する。
- ・ケアマネジメントの視点をもって、保健、医療、福祉の現場で提供されている面接技術の要点を習得する。
- ・ケアマネジメントの視点をもって、保健、医療、福祉の現場で提供されている福祉用具活用技術の要点を習得する。

準備学修

介護支援専門員（ケアマネジャー）の受験対策を意図した授業ではない。介護支援等の制度理解については社会福祉制度論関連の知識、介護支援の方法論においては評価学とコミュニケーション論について事前に知識があると理解しやすい。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学	◎

力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあつても国家資格を有用に活用できる。	
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	

授業計画

第1回	担当教員	山田 洋一 ① オリエンテーション ② 地域包括支援 ③ 介護保険とケアマネジメント 1
	内容	① この授業の内容を理解する ② 地域包括支援の意義について理解する ③ 介護保険法とケアマネジメントの概要を理解する
第2回	担当教員	山田 洋一 ①介護保険法とケアマネジメント 2
	内容	① 介護保険法とケアマネジメントの概要を理解する
第3回	担当教員	山田 洋一 ① 介護保険法 3
	内容	① 利用できるサービスを理解する ② 関連職種とその内容を理解する ③ 介護度認定と利用できるサービスについて理解する
第4回	担当教員	山田 洋一 ① ケアプランの概要
	内容	① ケアプランに基づくサービス利用者の紹介 ② ケアプランで利用される書類とサービス担当者会議について理解する
第5回	担当教員	山田 洋一 ① 地域リハビリテーション
	内容	① 生活期対象者を支える地域リハビリテーションについて理解する
第6回	担当教員	山田 洋一 ① 介護保険を利用した症例紹介 1
	内容	① 高齢者（1号保険者）が地域で暮らすためのケアプランに基づくサービス利用例を提示 問題点の抽出とケアプラン
第7回	担当教員	山田 洋一 ① 介護保険を利用した症例 2
	内容	① 特定疾病（2号保険者）が地域で暮らすためのケアプランに基づくサービス利用例を提示 問題点の抽出とケアプラン
第8回	担当教員	山田 洋一 ① 試験 ② 授業のまとめ
	内容	① 試験を実施する ② この授業で重要なポイントを説明する
	担当教	

第9回	員	
	内容	

評価方法とフィードバック方法

定期試験100%

教科書

テキストは特に定めずプリントを配布する

参考書

- ① 図解介護保険のしくみと使い方がわかる本 牛越博文 講談社
- ② 最新介護保険の基本と仕組みがよ〜くわかる本 高室成幸 昭和システム

オフィスアワー

質問等は随時受け付けます。研究室来訪時には公開しているオフィスアワーを参考の事。

実務経験の有無

介護支援専門員（ケアマネジャー）。ケアマネージャー実務者講習講師経験あり。地域リハビリテーションの実務経験あり。

講義コード	5103002
講義名	内科学I[整]
(副題)	
代表ナンバリングコード	52L02-2031FR-00
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	2
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

松尾 洋史

総合学習目標

内科学は医学において最も根幹的な学問であり、知識として解剖学・組織学・生理学・生化学を理解したうえで疾患の原因を理解し、原因に対する治療法として外科的手法に依存しない領域までをカバーしている。その中には患者の病態把握のための医療面接や医療記録の書き方、診察方法、所見の評価も含まれ、さらなる知識の獲得や情報共有のためにプレゼンテーションをすることも求められる。このような一連のプロセスを実践するための基礎的な情報を提供し、臓器および疾患への理解を深め、将来医療現場に出たときに速やかに医療情報を整理・活用する土台を作ること为目标とする。

【整復：DP1-①,②】

個別学習目標

- ・医学の発展と問題点を理解できている。
- ・診療の一連の流れを理解できている。
- ・診察方法の概論を理解できている。
- ・診療録の意義と記録の仕方を理解できている。
- ・アレルギーの基礎知識と主要なアレルギー疾患が理解できている。
- ・膠原病の基礎知識と主要な膠原病疾患が理解できている。
- ・内分泌の基礎知識と主要な内分泌疾患が理解できている。
- ・代謝の基礎知識と主要な代謝性疾患が理解できている。
- ・循環器の基礎知識と主要な循環器疾患が理解できている。

ディプロマポリシー

◎：強く
該当する
○：該当
する
選択な
し：該当
しない

【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあつても国家資格を有効に活用できる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	◎

授業計画

第1回	担当 教員	松尾 洋史 医学総論①
	内容	自己紹介、医学とは何か、医の心とは、医学の成り立ち（歴史）、リハビリテーション医学と内科学のかかわり
第2回	担当 教員	松尾 洋史 医学総論②
	内容	診療の流れ、診断のプロセス、医療面接、診療録の記載方法(SOAP)、身体所見評価法（視診、聴診、打診、触診）、バイタルサインの測定。
第3回	担当 教員	松尾 洋史 医学総論③
	内容	診断に有用な検査、画像的評価方法（X線、CT、MRI、シンチグラフィ、透視など）、生理学的評価方法（心電図、呼吸機能検査、超音波など）、検体検査（血液、喀痰、髄液、胸水、腹水、染色体など）、内科的治療（薬物療法による留意点）
第4回	担当 教員	松尾 洋史 アレルギー①
	内容	アレルギー総論、I型アレルギー、II型/III型アレルギー、IV型/V型アレルギー、アレルギー性疾患に用いられる検査など
第5回	担当 教員	松尾 洋史 アレルギー②
	内容	花粉症・アレルギー性鼻炎、気管支喘息、蕁麻疹・血管性浮腫、薬疹、食物アレルギー、アナフィラキシーなど
第6回	担当 教員	松尾 洋史 膠原病①

	内容	膠原病総論、膠原病に多い関節症状や皮膚症状、膠原病の診断に有用な採血検査、関節リウマチ、多発性筋炎・皮膚筋炎など
第7回	担当教員	松尾 洋史 膠原病②
	内容	関節リウマチ、リウマチ熱、全身性エリテマトーデス(SLE)、多発性筋炎・皮膚筋炎、強皮症・全身性硬化症、混合性結合組織病(MCTD)、Behcet病、血管炎症候群・巨細胞性動脈炎、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症、ベーチェット病など
第8回	担当教員	松尾 洋史 内分泌①
	内容	内分泌総論、フィードバック調節機構、視床下部と下垂体、下垂体疾患、視床下部疾患など
第9回	担当教員	松尾 洋史 内分泌②
	内容	甲状腺の機能、甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症、副甲状腺の機能、副甲状腺機能亢進症、副甲状腺機能低下症、副腎の機能、コルチゾール、アルドステロン、性ホルモンと副腎髄質など
第10回	担当教員	松尾 洋史 代謝①
	内容	代謝総論、消化と吸収、代謝総論－栄養と異化・同化、糖尿病、脂質代謝総論、脂質異常症、高尿酸血症・痛風など
第11回	担当教員	松尾 洋史 代謝②
	内容	血糖調節、1型糖尿病、2型糖尿病、糖尿病治療薬、糖尿病合併症、脂質異常症、高尿酸血症・痛風など
第12回	担当教員	松尾 洋史 循環器①
	内容	心臓の解剖学、動脈・毛細血管・静脈、心臓の生理学、心臓の刺激伝道系、循環調節機構、循環器の診察法、胸部X線検査、冠動脈カテーテル検査、心電図、心臓超音波検査など
第13回	担当教員	松尾 洋史 循環器②
	内容	高血圧症総論、虚血性心疾患総論、狭心症、心筋梗塞、心筋梗塞の合併症、弁膜症、先天性心疾患、心筋症、心筋炎など
第14回	担当教員	松尾 洋史 循環器③
	内容	心不全、不整脈総論、不整脈各論など

第15回	担当 教員	松尾 洋史 循環器④
	内容	肺性心、大動脈解離と大動脈瘤、血管炎症候群、急性動脈閉塞症・閉塞性動脈硬化症、深部静脈血栓症と肺血栓塞栓症など

評価方法とフィードバック方法

授業への出席（3分の2以下は「不可」とする）、及び小テストにて評価

定期試験は行わない

- ① 試験は、各講義後の小テスト（全15回予定）で評価します。
- ② 提出期限を過ぎての提出は80点満点で採点します。
- ③ 最終的に、成績は全小テストの平均点で評価されます。
- ④ 授業を欠席した場合でも（実習等で公欠の場合も含む）、classroomに格納してあるスライドを参照しながら受験してください。
- ⑤ 学期末の成績評価の時点で未提出の小テストがある場合、未提出回の点数は0点となりますので必ず毎回小テストを受験するようにしてください。
- ⑥ 各小テストで60点以下の場合でも、再テストは行いません。

※ 受講環境の不備・トラブルなどといったやむを得ない事情があるものは適宜個別に対応します。

フィードバック方法：授業毎にスライドにて解説

参考書

参考書：

なるほどなっとく！内科学改訂3版 西南女学院大学 教授 浅野嘉延 編 南山堂

内科学 第4版 標準理学療法学・作業療法学

病気が見えるシリーズ(Medic Media)、Year note(Medic Media)、朝倉内科学(朝倉書店)をもとに資料作成は行っている。

図表等は可能な限り出典を明示し紹介する。授業前後に授業で使用したスライドを添付する。

オフィスアワー

木曜日・5限

質問等は授業の前後、およびclassroom内コメントから受け付ける

実務経験の有無

この科目は医師の実務経験を有する教員がその実務経験を活かし、実践的教育を行っている科目です。

その他

質問はClassroomを介して、ないしはメールアドレス (h-matsuo@ryotokuji-u.ac.jp) で受け付ける。

講義コード	5103102
講義名	内科学II[整]
(副題)	
代表ナンバリングコード	52L02-2032SR-00
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	2
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

松尾 洋史

総合学習目標

内科学は医学において最も根幹的な学問であり、知識として解剖学・組織学・生理学・生化学を理解した上で疾患の原因を理解し、原因に対する治療法として外科的手法に依存しない領域までをカバーしている。その中には患者の病態把握のための医療面接や医療記録の書き方、診察方法、所見の評価も含まれ、さらなる知識の獲得や情報共有のためにプレゼンテーションをすることも求められる。このような一連のプロセスを実践するための基礎的な情報を提供し、臓器および疾患への理解を深め、将来医療現場に出たときに速やかに医療情報を整理・活用する土台を作ること为目标とする。

【整備：DP1-①,②】

個別学習目標

- ・医学の発展と問題点を理解できている。
- ・診療の一連の流れを理解できている。
- ・診察方法の概論を理解できている。
- ・診療録の意義と記録の仕方を理解できている。
- ・呼吸器の基礎知識と主要な呼吸器疾患が理解できている。
- ・消化器の基礎知識と主要な消化器疾患が理解できている。
- ・造血器の基礎知識と主要な造血器疾患が理解できている。
- ・腎・泌尿器の基礎知識と主要な腎・泌尿器疾患が理解できている。
- ・感染症・中毒の基礎知識と主要な感染症・中毒疾患が理解できている。

ディプロマポリシー

◎：強く
該当する
○：該当
する
選択な
し：該当
しない

【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあつても国家資格を有用に活用できる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	◎

授業計画

第1回	担当 教員	松尾 洋史 呼吸器疾患① 総論
	内容	呼吸器の解剖学、呼吸の生理学、呼吸器症状、胸部レントゲン・CT、呼吸機能検査、人工呼吸器概論など
第2回	担当 教員	松尾 洋史 呼吸器疾患② 各論 1
	内容	閉塞性肺疾患：気管支喘息、COPD、DPB／気管支拡張症 間質性肺疾患：特発性肺繊維症、じん肺 アレルギー性肺疾患：好酸球性肺炎、過敏性肺炎、アレルギー性気管支肺アスペルギルス症、サルコイドーシス、Good pasture症候群
第3回	担当 教員	松尾 洋史 呼吸器疾患③ 各論 2
	内容	肺腫瘍 LAM 睡眠時無呼吸症候群 過換気症候群 など
第4回	担当 教員	松尾 洋史 呼吸器疾患④ 各論 3
	内容	ARDS 肺高血圧症 肺動静脈瘻 肺胞蛋白症 肺分画症 縦隔腫瘍 急性縦隔炎・縦隔気腫 胸水 胸膜炎 膿胸

		悪性胸膜中皮腫 など
第5回	担当教員	消化器疾患 食道、胃・十二指腸、小腸、大腸①
	内容	消化管の解剖学・組織学、消化器症状、消化器の検査、食道疾患（逆流性食道炎など）、胃・十二指腸の疾患（胃・十二指腸潰瘍など）、ヘリコバクター・ピロリ、アニサキス症など
第6回	担当教員	消化器疾患 食道、胃・十二指腸、小腸、大腸②
	内容	小腸・大腸の解剖学、機能性消化管障害、腸閉塞・イレウス、炎症性腸疾患（クローン病、潰瘍性大腸炎、急性虫垂炎、腹膜炎など）、虚血性腸疾患など
第7回	担当教員	消化器疾患 食道、胃・十二指腸、小腸、大腸③
	内容	腫瘍性消化器疾患（口腔・咽頭の癌、食道癌、胃癌、大腸癌）、その他の大腸疾患など
第8回	担当教員	消化器 肝・胆・膵①
	内容	肝臓の解剖学・組織学、肝臓の働き、肝臓による症候、肝臓の検査、ウイルス性肝炎、肝硬変、肝障害（アルコール性/非アルコール性）、薬剤性肝炎、自己免疫性肝炎、門脈圧亢進症・食道静脈瘤など
第9回	担当教員	消化器 肝・胆・膵②
	内容	胆嚢・胆道の解剖学、膵臓の解剖学、胆嚢・胆汁の働き、胆道・膵臓の検査、胆道の疾患（胆嚢炎、胆石など）、膵臓の疾患（膵炎など）、肝・胆・膵の腫瘍性疾患（肝細胞癌、膵癌など）
第10回	担当教員	造血器①
	内容	血液学総論（血球の分化と各血球の役割）、血液学検査、血液型、輸血療法（輸血の種類、有害事象）、貧血総論、貧血各論（鉄血欠乏性貧血、再生不良性貧血など）、止血機構、止血機構の異常（特発性血小板減少性紫斑病、血栓性血小板減少性紫斑病、血友病など）
第11回	担当教員	造血器②
	内容	白血球総論、白血球の異常、造血器腫瘍（急性白血病、慢性骨髄性白血病など）、リンパ系腫瘍（悪性リンパ腫、多発性骨髄腫など）
12	担当教員	腎・泌尿器①

第 回	内容	腎・泌尿器系の解剖学と役割、腎・泌尿器系の検査(腎機能検査、蛋白尿・血尿など)、腎・泌尿器系の症状、急性腎障害、腎不全と腎代替療法、糸球体疾患(ネフロージ症候群、IgA腎症)、尿細管・間質性疾患、腎血管系疾患、全身疾患に伴う腎疾患など
第13回	担当教員	腎・泌尿器②
	内容	尿路結石、尿路感染症、尿路の腫瘍、下部尿路障害など
第14回	担当教員	感染症・中毒①
	内容	感染症総論、感染経路、医療関連感染症、予防方法(スタンダードプリコーションとは)、感染症の用語(日和見感染、敗血症、性感染症、母子感染症)、感染症法とその取扱い、検査方法、感染症の薬剤、細菌感染、ウイルス感染、真菌症など
第15回	担当教員	感染症・中毒②
	内容	中毒症総論、医薬品中毒(睡眠薬、抗うつ薬、アスピリン、アセトアミノフェンなど)、工業用品による中毒(有機溶剤中毒、金属中毒)、有毒ガス中毒、農薬中毒(有機リン系、パラコート系など)、薬物中毒・依存、食中毒、松本サリン事件・地下鉄サリン事件など

評価方法とフィードバック方法

授業への出席(3分の2以下は「不可」とする)

定期試験は行わない

① 成績は、各講義後の小テスト(前期・後期それぞれ全15回)で評価します。

② 提出期限を過ぎての提出は80点満点で採点します。

③ 最終成績は、全15回小テストの合計の平均点で評価されます。

④ 追試は行いません

※各小テストで60点以下の場合でも、再テストは行いません。

※実習等で欠席の場合も、classroomに格納されているスライドを参照し小テストを受験してください。

受講環境の不備・トラブルなどといったやむを得ない事情があるものは適宜個別に対応する。

参考書

参考書:

なるほどなっとく!内科学改訂3版 西南女学院大学 教授 浅野嘉延 編 南山堂

内科学 第4版 標準理学療法学・作業療法学

病気が見えるシリーズ(Medic Media)、Year note(Medic Media)、朝倉内科学(朝倉書店)をもとに資料作成は行っている。

図表等は可能な限り出典を明示し紹介する。授業前後に授業で使用したスライドを添付する。

オフィスアワー

木曜日・5限

質問等は授業の前後、およびclassroom内コメントから受け付ける

実務経験の有無

この科目は医師の実務経験を有する教員がその実務経験を活かし、実践的教育を行っている科

目です。

その他

質問はClassroomを介して、ないしはメールアドレス (h-matsuo@ryotokuji-u.ac.jp) で受け付ける。

講義コード	5103401
講義名	生理学特論
(副題)	
代表ナンバリングコード	52L02-3033SR-00
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	3
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

増田 敦子

総合学習目標

多くの人が集まり社会が作られるように、人体も約37兆個の細胞が集まった社会と考える。個々の細胞への生命維持に必要な物質の供給は、人間社会の中で消費者に商品を届ける物の流れ、すなわち物流に相当する。各器官系に特化した機能がバランスのとれた相互関係により体内の物流システムが正常に稼働することで、生体のホメオスタシスが維持される。生理学特論では、各器官系の機能とそれらを調節する内分泌系と神経系を中心に体内の物流システムから社会生活を営む個体の生命活動を統合的に理解すること目標とする。

個別学習目標

- 1) 生命維持に不可欠な要件を説明できる。
- 2) 人体を構成する器官系の主要な機能について説明できる。
- 3) ホメオスタシスの概念と重要性を説明できる。
- 4) 体内の物流システムに関わる器官系について説明できる。
- 5) 血圧の調節について説明できる。
- 6) 血糖の調節について説明できる。

準備学修

- ・予習として、①授業計画に記載されている内容を1年次の生理学IIIの教科書や配布プリントで復習しておくこと(30分)。②クラスルームに掲示される授業概要(解答)を読み、分かりにくい部分は、ルーズリーフなど別紙に書き写しておく(30分)。
- ・復習として、①クラスルームに掲示される授業概要(配布)を読み、穴埋め部分を別紙に書き留め、授業中に完成させた授業概要と照合して確認する(30分)。②授業でグループワーク(GW)の解答・解説を完成させておく(30分)。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャ	

リストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	

授業計画

第1回	担当 教員	増田 敦子 生理学の基礎①
	内容	ガイダンス（授業の進め方、評価方法など）。生命維持に不可欠な要件と人体を構成する各器官系の機能と相互関係について解説する。
第2回	担当 教員	増田 敦子 生理学の基礎②
	内容	前半60分で人体が化学物質であるので、その化学組成について解説する。講義後、10班に分かれて問題演習を行う（グループワーク1回目）。AL:ABC
第3回	担当 教員	増田 敦子 生理学の基礎③
	内容	前半60分でホメオスタシスの維持を体温調節と酸塩基平衡を例に解説する。講義後、10班に分かれて問題演習を行う（グループワーク2回目）。AL:ABC
第4回	担当 教員	増田 敦子 生理学の基礎④
	内容	前半60分で細胞の構造と機能、4種の主要な組織について解説する。講義後、10班に分かれて問題演習を行う（グループワーク3回目）。AL:ABC
第5回	担当 教員	増田 敦子 体内の物流システム①
	内容	前半60分で物流の5大機能と体内における物流システムの輸送（機能①）に関わる血液について解説する。講義後、10班に分かれて問題演習を行う（グループワーク4回目）。AL:ABC
第6回	担当 教員	増田 敦子 体内の物流システム②
	内容	前半60分で体内における物流システムの輸送（機能①）に関わる循環器系について解説する。講義後、10班に分かれて問題演習を行う（グループワーク5回目）。AL:ABC
	担当 教員	増田 敦子 体内の物流システム③

第7回	員	
	内容	前半60分で体内における物流システムの保管（機能②）・包装（機能③）、荷役（④）、流通加工（⑤）および情報管理に関わる肝臓その他器官について解説する。講義後、10班に分かれて問題演習を行う（グループワーク6回目）。AL:ABC
第8回	担当教員	増田 敦子 調節系①
	内容	前半60分で神経系の概要と活動電位について解説する。講義後、10班に分かれて問題演習を行う（グループワーク7回目）。AL:ABC
第9回	担当教員	増田 敦子 調節系②
	内容	前半60分で反射弓（受容器、上行路、中枢、下行路、効果器）から神経系のネットワークを概観する。講義後、10班に分かれて問題演習を行う（グループワーク8回目）。AL:ABC
第10回	担当教員	増田 敦子 調節系③
	内容	前半60分で内分泌系の概要とホルモンの化学・作用機序について解説する。講義後、10班に分かれて問題演習を行う（グループワーク9回目）。AL:ABC
第11回	担当教員	増田 敦子 調節系④
	内容	前半60分で主要なホルモンとその作用について解説する。講義後、10班に分かれて問題演習を行う（グループワーク10回目）。AL:ABC
第12回	担当教員	増田 敦子 ホメオスタシスの維持①
	内容	前半60分で、ホメオスタシスの維持を血圧調節を例にして解説する。講義後、10班に分かれて問題演習を行う（グループワーク11回目）。AL:ABC
第13回	担当教員	増田 敦子 ホメオスタシスの維持②
	内容	前半60分でホメオスタシスの維持を血糖調節を例にして解説する。講義後、10班に分かれて問題演習を行う（グループワーク12回目）。AL:ABC
第14回	担当教員	増田 敦子 まとめ
	内容	全体のまとめと期末試験対策を行う。
第15回	担当教員	増田 敦子 まとめ・総括
	内容	まとめ・総括と解答・解説を行う。

評価方法とフィードバック方法

レポート24点（12回×2点）、発表6点（3回×2点）、期末試験70点で評価する。

- 1) レポートは12回のグループワークに参加し提出されれば2点として評価する。
 - 2) 欠席した場合のレポート評価：欠席した授業日に提示されたGW問題のうち、自分の班が担当した問題の提出用レポート、「GWレポート（○）」（○は欠席した日のGW番号）をクラスルームから印刷し、次の授業開始時に提出する。それ以降の提出は評価対象外とする。
 - ①公欠の場合は2点と評価する。
 - ②欠席の場合は1点と評価する。
 - 3) 発表の機会は各班で3回あり、代表者が1～3名前に行き、3回のうち、必ず1回は発表すること。
 - 4) 期末試験は第15回で行い、マークシート回収後に解答・解説を行う。
 - 5) 期末試験は多肢選択問題で35問×2点=70点
- *期末試験は、グループワークで取り組んだ国家試験問題を改変して出題するので、発表をよく聞き、疑問点は質問し、理解を深めておくこと。

教科書

人体の構造と機能（第4版）、エレインNマリブ著、林正健二訳、医学書院、5, 200円+税

参考書

人体のしくみとはたらき、楽しく学ぶ解剖生理、増田敦子、サイオ出版、医学書院、3, 000円+税

新訂版 解剖生理をおもしろく学ぶ、増田敦子、サイオ出版、3, 200円+税

オフィスアワー

- ・月～水は4限目、木・金は1限目に教員室。それ以外でも在室していれば対応可能。
- ・クラスルームに掲示するメールアドレスでの質問などに対応可能。

実務経験の有無

有。この科目は看護師としての実務経験を活かして、整復を施術する患者の身体的状態を評価するために必要な基礎知識に関する講義を行うものである。

その他

- 1) 教科書本文中の「Q」、「確認してみよう」および各章末の「復習問題」を解いて理解を深めること。
- 2) 期末試験は、GWで取り組んだ国家試験問題を基に作成するので、発表をよく聞き、疑問点は質問し、理解を深めておくこと。

講義コード	5103501
講義名	医療安全学
(副題)	
代表ナンバリングコード	52L02-4034SR-00
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	4
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

下小野田 一騎

田村 哲也

末吉 祐介

総合学習目標

柔道整復師が業務を行うに当たり、患者に対する医療安全の観点から、運動器疾患の施術の適応であるかを判断し、適切な対応を行う能力を取得することが目的である。症状が運動器(整形外科)疾患由来か、もしくは内科・外科・泌尿器科・産婦人科疾患由来か、現場で判断し具体的な対策を立てられるように、具体例を示しながら授業を行う。

整復医療・トレーナー学科DP1-②

個別学習目標

これまでに得た知識（整形外科・内科・外科・衛生学・関係法規）によって、柔道整復術の適否を考えることができる。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	○
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあつても国家資格を有用に活用できる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することが	

できる。

授業計画

第1回	担当教員 下小野田 一騎 田村 哲也 未吉 祐介 衛生学（健康の概念、疾病予防と健康管理）
	内容 健康の定義、疾病予防の段階について学ぶ 前半30分は講義を行う。担当下小野田 残り60分は学生を3班に分け、班内で復習を行う。1班下小野田、2班田村、3班未吉
第2回	担当教員 下小野田 一騎 田村 哲也 未吉 祐介 衛生学（感染症の予防、消毒）
	内容 感染症とはなにか？、感染症の成立条件、感染症の種類、感染症の予防対策、消毒の定義、理学的消毒法と化学的消毒法、手指の消毒方法、院内感染対策と消毒について学ぶ 前半30分は講義を行う。担当下小野田 残り60分は学生を3班に分け、班内で復習を行う。1班下小野田、2班田村、3班未吉
第3回	担当教員 下小野田 一騎 田村 哲也 未吉 祐介 衛生学（環境衛生、生活環境・食品衛生活動）
	内容 気温・湿度・気流・輻射熱の測定、騒音、公害、空気の衛生と大気汚染、上水、下水、衣服、住居、食中毒、廃棄物処理について学ぶ 前半30分は講義を行う。担当下小野田 残り60分は学生を3班に分け、班内で復習を行う。1班下小野田、2班田村、3班未吉
第4回	担当教員 下小野田 一騎 田村 哲也 未吉 祐介 衛生学（母子保健、学校保健、産業保健）
	内容 母子保健の指標、母子保健対策、学校保健の組織と運営、学校保健管理、学齢期の健康状況の統計、最近の職場の特徴、労働災害の動向、職業病とその対策について学ぶ 前半30分は講義を行う。担当下小野田 残り60分は学生を3班に分け、班内で復習を行う。1班下小野田、2班田村、3班未吉
第5回	担当教員 下小野田 一騎 田村 哲也 未吉 祐介 衛生学（成人・高齢者保健、精神保健、地域保健と国際保健）
	内容 成人・高齢者の有訴者率・受療率、成人保健、高齢者の生活と高齢者保健・福祉対策、精神の病気、精神保健活動とその原則について学ぶ

	内容	前半30分は講義を行う。担当下小野田 残り60分は学生を3班に分け、班内で復習を行う。1班下小野田、2班田村、3班末吉
第6回	担当教員	下小野田 一騎 田村 哲也 末吉 祐介 衛生学（衛生行政と保健医療の制度、医療の倫理と安全の確保、疫学）
	内容	わが国の衛生行政機構の概要、保険医療行政の財政、医療保険、公費医療、国民医療費、医療事故、医療過誤、ヒヤリハット、医療事故の防止、医療裁判、疫学とは、集団の健康状態の把握、調査方法、調査結果の解釈と評価、国際疾病分類ICD-10について学ぶ 前半30分は講義を行う。担当下小野田 残り60分は学生を3班に分け、班内で復習を行う。1班下小野田、2班田村、3班末吉
第7回	担当教員	下小野田 一騎 田村 哲也 末吉 祐介 整形外科疾患（身体部位別疾患各論）
	内容	体幹、骨盤帯、下肢について学ぶ 前半30分は講義を行う。担当下小野田 残り60分は学生を3班に分け、班内で復習を行う。1班下小野田、2班田村、3班末吉
第8回	担当教員	下小野田 一騎 田村 哲也 末吉 祐介 整形外科疾患（身体部位別疾患各論）
	内容	肩甲帯、上肢について学ぶ 前半30分は講義を行う。担当下小野田 残り60分は学生を3班に分け、班内で復習を行う。1班下小野田、2班田村、3班末吉
第9回	担当教員	下小野田 一騎 田村 哲也 末吉 祐介 整形外科疾患（感染性疾患）
	内容	急性化膿性骨髄炎、化膿性関節炎などの感染性疾患について学ぶ 前半30分は講義を行う。担当下小野田 残り60分は学生を3班に分け、班内で復習を行う。1班下小野田、2班田村、3班末吉
第10回	担当教員	下小野田 一騎 田村 哲也 末吉 祐介 整形外科疾患（骨腫瘍、軟部腫瘍）
	内容	骨腫瘍（骨肉腫、骨巨細胞腫など）、軟部腫瘍（悪性軟部腫瘍、良性軟部腫瘍）について学ぶ

	内容	前半30分は講義を行う。担当下小野田 残り60分は学生を3班に分け、班内で復習を行う。1班下小野田、2班田村、3班末吉
第11回	担当教員	下小野田 一騎 田村 哲也 末吉 祐介 整形外科疾患（非感染性軟部・骨関節疾患）
	内容	変形性関節症、関節リウマチ、痛風、骨粗鬆症などについて学ぶ 前半30分は講義を行う。担当下小野田 残り60分は学生を3班に分け、班内で復習を行う。1班下小野田、2班田村、3班末吉
第12回	担当教員	下小野田 一騎 田村 哲也 末吉 祐介 整形外科疾患（全身性の骨・軟部疾患）
	内容	先天性骨系統疾患、多発性神経線維腫症などについて学ぶ 前半30分は講義を行う。担当下小野田 残り60分は学生を3班に分け、班内で復習を行う。1班下小野田、2班田村、3班末吉
第13回	担当教員	下小野田 一騎 田村 哲也 末吉 祐介 整形外科疾患（骨端症、四肢循環障害、神経筋疾患）
	内容	ペルテス病、末梢動脈疾患、局所の神経・筋疾患、全身性の神経・筋疾患について学ぶ 前半30分は講義を行う。担当下小野田 残り60分は学生を3班に分け、班内で復習を行う。1班下小野田、2班田村、3班末吉
第14回	担当教員	下小野田 一騎 田村 哲也 末吉 祐介 柔道整復師と医療安全
	内容	柔道整復師が行う医療行為について柔道整復師法を交えた理解を深める 前半30分は講義を行う。担当下小野田 残り60分は学生を3班に分け、班内で復習を行う。1班下小野田、2班田村、3班末吉
第15回	担当教員	下小野田 一騎 田村 哲也 末吉 祐介 関係法規（法の体系、柔道整復師および柔道整復に関する法規、柔道整復師と患者の権利、医療過誤とリスクマネジメント、柔道整復師法とその関連内容、関係法規）
	内容	柔道整復師法を中心に柔道整復業務における安全に関する知識を深める 前半30分は講義を行う。担当下小野田

容

残り60分は学生を3班に分け、班内で復習を行う。1班下小野田、2班田村、3班末吉

評価方法とフィードバック方法

定期試験100%

掲示板等で正解と講評を掲載する

教科書

テキスト

参考文献

柔道整復師のための医療安全学 南江堂 2, 800円

医療の中の柔道整復 南江堂 2, 300円

参考書

テキスト

参考文献

柔道整復師のための医療安全学 南江堂 2, 800円

医療の中の柔道整復 南江堂 2, 300円

オフィスアワー

「下小野田」

月曜日・昼休み・517研究室

質問等は授業の前後で受け付ける

「田村」火曜日・3限目・501研究室

「末吉」月曜日・2限目・整復医療・トレーナー学科助教・助手室

実務経験の有無

この科目は臨床医として整形外科診療の実務経験を有する教員がその実務経験を活かし、運動器の外傷・疾患について、臨床に即した知識教授を行っている科目である。

その他

座席は指定とする

講義コード	5103601
講義名	柔道整復倫理学
(副題)	
代表ナンバリングコード	52L02-4035SR-00
講義開講時期	後期後半
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	15.00
対象学年	3
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

山本 清

総合学習目標

国民の信頼と期待に応える質の高い柔道整復師を養成するた「柔道整復職業倫理学」が新設された。これからの医療は患者、家族そして国民から求められる、選ばれる時代になる。そのためには、先ず柔道整復師の職業を正しく理解し、信頼される柔道整復師に成長するための倫理を学ぶことが必須となる。特に職業倫理では「インフォームド・コンセント」や「患者中心の医療」について理解し患者の立場、柔道整復師の立場双方からのリスクマネジメントができることを目標とする。

ディプロマポリシーDP3 ①②

個別学習目標

1. 医療従事者の職業倫理を理解することができる。
2. 柔道整復師に必要な基本的倫理観と患者への対応について理解することができる。
3. 柔道整復師の社会的責任と対応を理解することができる。
4. 柔道整復師業務における療養費についての現状と柔道整復療養費の支給申請がどのようなものかについて理解することができる。
5. 柔道整復師として医療事故や過失を起こさないためにどのような対応が望ましいか現在の水準（善管注意義務）等について理解することができる。
6. 療養費の算定や療養費請求のケーススタディについて理解することができる。
7. 施術録及びプロブレムリストについて理解することができる。

準備学修

各講義のシラバスに沿って、予め『柔道整復倫理学』の内容を一読される事。その際に理解出来ない（難解な）箇所等があれば、講義の前後に質問時間を用意し回答します。講義の15分前には教室に入りますので、遠慮なく質問事項（教科書の難解なところ）をお訊かせください。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	○
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学	○

力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	○
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	○

授業計画

第1回	担当教員	山本 清 「柔道整復師職業倫理」を学ぶ意義
	内容	職業倫理ガイダンス 1. はじめに 2. 柔道整復師とは 3. 医療従事者の職業倫理 4. 柔道整復師倫理綱領 1987年 5. 医師法と柔道整復師法 6. 柔道整復師に必要な基本的倫理観 医事法規
第2回	担当教員	山本 清 柔道整復師業務における療養費
	内容	A 療養費制度の概要 1. 療養費とは a.現金給付方式と現金給付 b.療養費の支給条件 c.療養費の額 2. 柔道整復療養費 その1 a.柔道整復療養費の歴史 b.「受領委任払い」と「償還払い」 c.柔道整復療養費の支給対象 施術管理者について 施術所について 領収書、明細書、窓口徴収等について、施術録について 支給申請書について 施術に関する書類等の保管について
第3回	担当教員	山本 清 A 療養費制度の概要
	内容	3. 柔道整復療養費の推移 4. 療養費の算定 a.柔道整復師の施術に係る療養費の料金 b.初検料 c.初検時相談支援料 d.時間外・休日・深夜加算など e.往療料 f.再検料 その他の施術料 g.施術録について h.一部負担金

第4回	担当教員	山本 清 B 療養費請求のケース・スタディー
	内容	a. 施術録への記載と支給申請書作成 事例 1 実例 1 の記載例 事例 2 実例 2 の記載例 整復・施術等の施術経過所見 領収書、明細書
第5回	担当教員	山本 清 A 医療従事者の職業倫理 B 柔道整復師に必要な基本的倫理観と患者への対応
	内容	AL:B A 医療従事者の職業倫理 1. 職業倫理とは 2. 医療における従来の倫理観から現代的倫理観への経緯～生命倫理の流れから考える B 柔道整復師に必要な基本的倫理観と患者への対応 1. 患者への説明～インフォームド・コンセントとインフォームド・アセント 2. 医療従事者における守秘義務
第6回	担当教員	山本 清 C 柔道整復師の社会的責任と対応 E 医療における情報と責任
	内容	AL:B 1. 患者への対応I 施術で必ず治せなければならないのか～医療（診療）契約の範囲 ケース・スタディー 2. 患者への対応II 施術で患者の状態が悪化してしまったら～医療事故とその対応 ケース・スタディー 3. 患者への対応III 患者から暴言・暴行等を受けた場合の対応 ケース・スタディー 4. 患者への対応IV 施術料未払いの患者が再来院した場合の対応 ケース・スタディー AL:B 事例 1 事例 2 事例 3 その他の事例 医療における情報と責任 1. 患者の個人情報保護～「個人情報の保護に関する法律」を中心に 2. SNS等での業務に関する情報発信での注意点
	担当教	山本 清 復習：第1～第7回の範囲

第7回	員	
	内容	復習： ・「柔道整復師職業倫理」を学ぶ意義、柔道整復師業務における療養費 ・柔道整復師業務における療養費 ・療養費請求のケース・スタディー ・療養費制度の概要 ・医療従事者の職業倫理 ・柔道整復師に必要な基本的倫理観と患者への対応 ・柔道整復師の社会的責任と対応 E 医療における情報と責任
第8回	担当教員	山本 清 まとめ・総括を実施（60分間） 100点満点で評価し60点以上を合格とする。
	内容	まとめ・総括に解答・解説を（30分間）実施する。

評価方法とフィードバック方法

第1回～第7回の講義内容を確認試験100点で評価し60点以上を合格とする。

第8回の確認試験後に正解・解説を実施する。

教科書

テキスト 社会保障制度と柔道整復師の職業倫理（公益）全国柔道整復学校協会監修 医歯薬出版株式会社 2,000円＋税

参考書 医療の中の柔道整復（公益）全国柔道整復学校協会監修 医歯薬出版株式会社 2,300円＋税

参考書

参考書 医療の中の柔道整復（公益）全国柔道整復学校協会監修 医歯薬出版株式会社 2,300円＋税

オフィスアワー

講義後（毎週月曜日）13時から4時30分

実務経験の有無

この科目は接骨院で実務経験のある教員が「柔道整復師」及び「施術管理者」としての資格を有し、療養費の受療委任払い取り扱いについて適正に対応できるよう実践教育を行っている科目です。

その他

授業では必要に応じて参考資料、予習、復習項目内容をあらかじめ配布する。必ずテキスト「社会保障制度と柔道整復師の職業倫理」を持参すること。

講義コード	5103701
講義名	社会保障概論
(副題)	
代表ナンバリングコード	52L02-4036SR-00
講義開講時期	後期前半
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	15.00
対象学年	3
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

石丸 圭荘

総合学習目標

医療，介護，年金，社会保護に関する制度を理解する。さらに社会保障制度を背景として少子高齢化社会を迎えた医療システムの多様化に対応できる知識を深める。また，社会保障制度に基づいた医療機関の連携機能を生かした質の高い医療を提供できる体制づくりが求められている。このような背景を踏まえて，社会保障制度をはじめ医療制度改革，医療経営，医療情報公開など幅広い知識と対応能力を習得する。 整復医療・トレーナー学科：DP4

個別学習目標

- 1 社会保障制度を理解し説明できる。
- 2 社会保障制度（医療・介護制度）について説明できる。
- 3 医療情報公開，医療経営戦略などシミュレーションができる。

準備学修

講義資料はclassroomに反映するので事前に予習すること（30分）。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	○
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	○

【**整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度**】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。

◎

授業計画

第1回	担当教員	石丸 圭荘 講義概要ガイダンス
	内容	社会保障概論講義の詳細と内容と到達目標について
第2回	担当教員	石丸 圭荘 社会保障とは
	内容	社会保障制度の仕組みについて
第3回	担当教員	石丸 圭荘 社会保障と医療制度のシステムとは
	内容	医療保険制度の仕組みについて
第4回	担当教員	石丸 圭荘 医療保険制度の現状と課題
	内容	医療保険制度における広告制限シミュレーション・モデルを理解する。
第5回	担当教員	石丸 圭荘 医療保険制度シミュレーション
	内容	医療保険制度における設備機器のシミュレーション・モデルを理解する。 日本と諸外国の医療保険制度について理解する。
第6回	担当教員	石丸 圭荘 介護保険制度について
	内容	社会保障制度における介護保険制度について理解する。
第7回	担当教員	石丸 圭荘 社会保障と医療資源
	内容	社会保障を担保するために必要な医療資源の有効活用とは 電子カルテシステムやリモート診療などの設備や管理について理解する。
第8回	担当教員	石丸 圭荘 まとめ
	内容	講義の総括

評価方法とフィードバック方法

レポート30点（30%）、定期試験70点（70%）合計100点（100%）で総合評価する。
レポート・定期試験は解説・講評する。

教科書

教科書指定なし、配布資料を中心に講義する。

参考書

参考書

『社会保障制度と柔道整復師の職業倫理』全国柔道整復学校協会監修

出版社：医歯薬出版 定価：2000円

『医療経営学』著者・今村智明・他

出版社：医学書院 定価：3,600円

オフィスアワー

12：15から12：55、5階研究室（図書館長室）まで。

実務経験の有無

この科目は病院での実務経験のある教員が、その実務経験を活かして、社会保障の基本的な知識と実際について講義する科目です。

その他

オフィスアワーを利用した質問は、5階研究室522号室まで。

また、講義は主として電子媒体power pointおよびプリント資料にて行う。受講者は学習目標の到達に向けて予習・復習が必要です。

講義コード	5104301
講義名	上肢整復実技II
(副題)	
代表ナンバリングコード	52P04-3037SR-00
講義開講時期	後期
講義区分	実習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	3
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

大澤 裕行

桐林 俊彰

総合学習目標

整復ケア骨損傷学Iで学んだ上肢骨折のうち、前腕部以遠を中心に、骨折、脱臼並びに軟部組織損傷について学習する。今期、学習する上肢損傷はモンテギア脱臼骨折から指周辺までであるが、皆、日常の発生頻度が高く、柔道整復業務の中でよく遭遇する重要な損傷である。特に臨床家となるにあたって、重要なウェイトを占めるコーレス骨折やスミス骨折、DRUJ損傷、TFCC損傷、ボクサー骨折、指部の脱臼や骨折、筋腱、靭帯の損傷等について、診察法、徒手整復手技と固定方法などを学習する。この授業では学理的に学んだ上肢外傷をさらに紐解き、実技演習を通じて実際に臨床応用できる資質を獲得する。

個別学習目標

上肢各部位の解剖学的特質、各骨折や脱臼の発生機序、転位、徒手整復法、助手役、外固定法について、一連の治療体系を学習しながら実技や演習を行い、前腕以遠の損傷に対して、深遠な考察ができるようにする。また、危険な外傷や禁忌外傷、鑑別診断等の実際的手法も演習する。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	○
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広	

い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。

◎

授業計画

第1回	担当教員	大澤 裕行 桐林 俊彰 モンテギア・ガレアジ損傷の対応と処置
	内容	治療法についての実技を行う。AL:B
第2回	担当教員	大澤 裕行 桐林 俊彰 コーレス骨折の概要と各種治療法
	内容	治療法についての実技を行う。AL:B
第3回	担当教員	大澤 裕行 桐林 俊彰 コーレス骨折の徒手整復法と助手介助
	内容	治療法についての実技を行う。AL:B
第4回	担当教員	大澤 裕行 桐林 俊彰 コーレス骨折の徒手整復法と助手介助
	内容	治療法についての実技を行う。AL:B
第5回	担当教員	大澤 裕行 桐林 俊彰 コーレス骨折の固定法と助手介助
	内容	治療法についての実技を行う。AL:B
第6回	担当教員	大澤 裕行 桐林 俊彰 スミス骨折の概要
	内容	治療法についての実技を行う。AL:B
第7回	担当教員	大澤 裕行 桐林 俊彰 スミス骨折の徒手整復法と固定法
	内容	治療法についての実技を行う。AL:B
第8回	担当教員	大澤 裕行 桐林 俊彰 DRUJ損傷とTFCC損傷の対応とその処置
	内容	治療法についての実技を行う。AL:B
第9回	担当教員	大澤 裕行 桐林 俊彰 ボクサー骨折の徒手整復法
	内容	治療法についての実技を行う。AL:B
第10回	担当教員	大澤 裕行 桐林 俊彰 ボクサー骨折の固定法
	内容	治療法についての実技を行う。AL:B
第11回	担当教員	大澤 裕行 桐林 俊彰 指関節脱臼の注意点と徒手整復固定法
	内容	治療法についての実技を行う。AL:B
	担当教員	大澤 裕行 桐林 俊彰

第12回		手指骨折の注意点と徒手整復固定法
	内容	治療法についての実技を行う。AL:B
第13回	担当教員	大澤 裕行 桐林 俊彰 マレット指損傷の対応とその処置
	内容	治療法についての実技を行う。AL:B
第14回	担当教員	大澤 裕行 桐林 俊彰 マレット指損傷の対応とその処置
	内容	治療法についての実技を行う。AL:B
第15回	担当教員	大澤 裕行 桐林 俊彰 前腕以遠の損傷の総まとめ
	内容	治療法についての実技を行う。AL:B

評価方法とフィードバック方法

原則的に、毎回のレポート30%、定期試験70%を合わせ、総合的に判定する。

レポート：その都度解説、講評する

定期試験：掲示板等で正解と講評を掲載する

教科書

テキスト：

【クリニカル・レクチャー柔道整復実践技術】メジカルビュー社 ¥5,616(税込)

「柔道整復外傷学ハンドブック(上肢の骨折・脱臼) 医道の日本社刊 ¥2,800+税

参考文献：

「柔道整復学・実技編」改訂第2版 (社) 全国柔道整復学校協会教科書委員会編 南江堂

¥7,000+税

参考書

テキスト：

【クリニカル・レクチャー柔道整復実践技術】メジカルビュー社 ¥5,616(税込)

「柔道整復外傷学ハンドブック(上肢の骨折・脱臼) 医道の日本社刊 ¥2,800+税

参考文献：

「柔道整復学・実技編」改訂第2版 (社) 全国柔道整復学校協会教科書委員会編 南江堂

¥7,000+税

オフィスアワー

適宜受け付ける

実務経験の有無

この科目は診療所で柔道整復師としての実務経験のある教員が柔道整復師として学ぶべき柔道整復実技の必要な知識と技術を身につけること目的に行っている科目です。

その他

実技演習が多く、席を指定する場合もある。

授業のメインは主担当である大澤が実施し、内容によっては桐林が実施する場合もある。

副担当者は随時席を巡回し、授業の円滑な進行を促す

授業時間中の私語、不誠実な授業態度の学生は退出させる。

講義コード	5104401
講義名	体幹下肢整復実技
(副題)	
代表ナンバリングコード	52P04-3038FR-00
講義開講時期	前期
講義区分	実技
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	3
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

山本 清

桐林 俊彰

総合学習目標

柔道整復師が扱う体幹、下肢の頻度の高い外傷を選定し教科書では伝えることの難しい技術・感覚を実技を通して学生諸君自らが習得する。柔道整復師が持つ知識・技術すなわち個々の損傷に対する十分な知識と触診による状態把握技術を駆使し患者に対し安心・安全な応急処置、施術としての柔道整復の標準的な技法を習得することを目標とする。

ディプロマポリシー-DP2 ①

個別学習目標

柔道整復師が扱う体幹、下肢の頻度の高い外傷中心に 1. 顎関節脱臼の整復固定ができる。 2. 肋骨骨折の整復固定ができる。 3. 股関節脱臼（後方脱臼）の整復固定ができる。 4. 下肢（ハムストリング）肉離れの応急処置と固定ができる。 5. 大腿骨骨幹部骨折の搬送時の固定法ができる。 6. 膝部損傷（膝ロッキングを含む）応急処置と固定ができる。 7. 膝蓋骨骨折・膝蓋骨脱臼の整復固定ができる。 8. 下肢（下腿三頭筋）肉離れの応急処置・固定ができる。 9. 下腿骨骨幹部骨折の整復・固定法ができる。PTBギプス、機能的装具療法の理解ができる。 10. 下腿遠位端部骨折の整復・固定法等の応急処置ができる。 11. アキレス腱断裂の治療法について理解ができる。 12. 踵骨骨折の整復・固定法ができる。 13. 前距腓靭帯損傷の整復・固定法ができる。 14. 中足骨骨折の整復・固定法ができる。

準備学修

前日までに予め準備学習としての内容を、クラスルームへ掲示します。

1コマごとの要点をクラスルームに掲示します。当日の実技の際に対応できるようにしましょう。

尚、履修するそれぞれの部位の機能解剖を理解しておくこと。

ディプロマポリシー

◎：強く
該当する
○：該当
する
選択な
し：該当
しない

【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあつても国家資格を有用に活用できる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	○
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	◎

授業計画

第1回	担当教員	山本 清 桐林 俊彰 顎関節前方脱臼
	内容	① 診察 ○ 臨床で重要な顎関節脱臼の分類 ○ 治療のながれ ○ 再発防止の各種装具 ② 症状（片側・両側脱臼） ③ 整復前の準備・注意事項 固定材料 ◎ 能動的開口運動 ◎ 下顎頭と関節円板の位置関係 ④ 整復法 ・口内法（ヒポクラテス・ボルカース法） ・口外法 ・その他 ⑤ 整復後の確認 ⑥ 固定法 ・投石帯 ・複頭帯、単頭帯 ・十字帯（三角巾、巻軸包帯） ⑦ 後療法 ⑧ 指導管理 担当教員と助手（佐々木）にて実施する
第2回	担当教員	山本 清 桐林 俊彰 肋骨骨折
		① 基礎事項の確認（10項目） ② 原因、症状 ③ 診察線 ④ 整復前の準備・注意事項 固定材料 ⑤ 整復法 一般的に整復を要することは少ない 自然牽引法 強制牽引法 ⑥ 固定法

	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・絆創膏固定（屋根瓦状固定） ・絆創膏+厚紙副子固定 ・その他の固定 ⑦ 固定に関する留意点 ⑧ 後療法 ⑨ 指導管理 ⑩ 全体のプログラム ● その他 <p>担当教員と助手（佐々木）にて実施する</p>
第3回	担当教員	山本 清 桐林 俊彰 股関節脱臼（外傷性）
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ①原因 ② 症状 外観像 ③ 整復前の準備・注意事項 固定材料 ④ 整復法 ⑤ 固定法・固定肢位 ⑥ 後療法 ⑦ 指導管理 ⑧ 全体のプログラム <p>担当教員と助手（佐々木）にて実施する</p>
第4回	担当教員	山本 清 桐林 俊彰 下肢（ハムストリング）の肉離れ
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ①原因 ② 好発筋（部位） ③ 症状：Ⅰ度・Ⅱ度・Ⅲ度 ④ 肉離れの現代医学水準 ⑤ 徒手検査：程度の判定 圧迫固定期間 ⑥ 治療の考え方 ⑦ 治療・後療法 ⑧ 指導管理 ⑨ 全体のプログラム <p>担当教員と助手（佐々木）にて実施する</p>
第5回	担当教員	山本 清 桐林 俊彰 大腿骨骨幹部骨折
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ① 原因、合併症 ※特徴 ② 好発年齢（小児・成人・高齢者）の特徴 ③ 症状 外観像 ③ 整復前の準備・注意事項 固定材料 ④ 整復法 ⑤ 大腿骨骨幹部骨折の現代医学水準 ⑥ 後療法 ⑦ 指導管理 ⑧ 全体のプログラム

		担当教員と助手（佐々木）にて実施する
第6回	担当教員	山本 清 桐林 俊彰 膝部損傷：側副靭帯損傷・半月板損傷・十字靭帯損傷
	内容	① 原因 ② 視診・触診・症状 ③ 評価：現代医学水準 治療の考え方 ④ 固定 ⑤ 膝ロッキング ⑥ 膝各種徒手検査 ⑦ 後療法(運動療法) ⑧ 指導管理 ⑨ 全体のプログラム
		担当教員と助手（佐々木）にて実施する
第7回	担当教員	山本 清 桐林 俊彰 膝蓋骨骨折・膝蓋骨脱臼
	内容	① 原因 ② 視診・触診 ③ 医療機関への搬送 ④ 評価：現代医学水準治療の考え方 ⑤ 骨折部位とタイプ ⑥ 徒手整復、固定 ⑦ 後療法 ⑧ 指導管理 ⑨ 全体のプログラム
		担当教員と助手（佐々木）にて実施する
第8回	担当教員	山本 清 桐林 俊彰 下腿三頭筋の肉離れ
	内容	① 好発部位 ② 損傷の程度：I度・II度・III度 ③ 治療法：整復・固定・後療法 ④ 治療の考え方（指導管理・全体のプログラム） ⑤ 注意事項 ⑥ 予防対策
		担当教員と助手（佐々木）にて実施する
第9回	担当教員	山本 清 桐林 俊彰 下腿骨骨幹部骨折・PTBギプス、機能的装具療法
	内容	① 特徴 ② 好発部位 ③ 骨片転位 ④ 症状 ⑤ 合併症 ⑥ 整復前の検査 ⑦ 整復時のポイント ⑧ 整復操作 ⑨ 固定肢位 ⑩ 固定時の注意点 ⑪ PTBギプス、機能的装具療法 ・特徴・長所（利点）と短所・目的とする骨折部位・PTBギプスの巻き

		方、留意点 担当教員と助手（佐々木）にて実施する
第10回	担当教員	山本 清 桐林 俊彰 下腿骨遠位端部骨折
	内容	① 足関節・足部の運動 ② 足関節部の靭帯 ③ 足関節の環状構造 ④ X線の撮影方法と画像の見方 ⑤ Lauge-Hansen の分類 ⑥ 診察・評価 ⑦ 整復 ⑧ 固定 固定肢位・固定期間 ⑨ 後遺症、予後 ⑩ 全体のプログラム ※現代医学水準：治療の考え方 担当教員と助手（佐々木）にて実施する
第11回	担当教員	山本 清 桐林 俊彰 アキレス腱断裂
	内容	① 原因と症状 ② 診断 ③ インフォームド・コンセント ④ 整復法 ⑤ 固定法（固定の種類・固定範囲・固定肢位・固定期間） ⑥ 治癒の判定 ⑦ 注意事項 ⑧ 指導管理 ⑨ 全体のプログラム 担当教員と助手（佐々木）にて実施する
第12回	担当教員	山本 清 桐林 俊彰 踵骨骨折
	内容	① 原因 ② 症状 ③ 特徴 ④ 画像評価 ⑤ 骨折の分類 ⑥ 鑑別外傷 ⑦ 整復法 ⑧ 固定法 固定範囲・固定肢位・固定期間 ⑨ 後遺症、予後 ⑩ 全体のプログラム 担当教員と助手（佐々木）にて実施する
	担当教員	山本 清 桐林 俊彰 足部捻挫：前距腓靭帯損傷
		① 特徴 ② 発生機序

この科目は接骨院での「柔道整復師」「施術管理者」「柔道整復師卒後臨床研修指導者」「柔道整復師認定実技審査員」としての実務経験のある教員が、骨折・脱臼の応急処置や捻挫・挫傷などの軟部組織損傷の施術（徒手検査法・鑑別・治療法）について指導を行っている科目です。

その他

整復実技実習室 1 で行う。

すべて実技形式で実施の為、白衣着用のうえテキスト、包帯固定材料セットを持参すること。

事前にグループ分けをし、予め席を指定します。※実技室のホワイトボードに貼付

講義コード	5104501
講義名	基礎物理療法学演習
(副題)	
代表ナンバリングコード	52S04-3039FR-00
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	3
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

石丸 圭荘

田村 哲也

末吉 祐介

桐林 俊彰

総合学習目標

運動機能（筋骨格系・支持組織を含む）および神経機能（中枢・末梢神経系）の障害に対する理学検査法と各種物理療法の基礎を学習する。各種物理療法には電気刺激、超音波、温冷刺激、光線療法などがあり、その理論と特徴を理解して機能障害に対する治療手段と適応範囲について理解する。整復医療・トレーナー学科：DP4

個別学習目標

1. 運動機能（筋骨格系・支持組織を含む）に対する理学検査法と物理療法の基礎（実技含む）を理解する。
2. 神経機能（中枢・末梢神経系）に対する理学検査法と物理療法の基礎（実技含む）を理解する。

準備学修

解剖学の知識が必修であり、指定したテーマについてまとめておくこと（30分）。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者とな	

ると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	○
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	◎

授業計画

第1回	担当教員	石丸 圭荘 未吉 祐介 田村 哲也 桐林 俊彰 講義概要ガイダンス
	内容	基礎物理療法学演習に関する講義概要・授業計画に関する説明を実施する。 石丸, 未吉, 田村, 桐林が担当する。
第2回	担当教員	石丸 圭荘 未吉 祐介 田村 哲也 桐林 俊彰 頭頸部の病態に対する物理療法① AL:B
	内容	頭頸部の病態に対する物理療法：運動機能について未吉・桐林（Aグループ）、田村（Bグループ）・神経機能について石丸（Cグループ）が担当する。
第3回	担当教員	石丸 圭荘 未吉 祐介 田村 哲也 桐林 俊彰 頭頸部の病態に対する物理療法② AL:B
	内容	頭頸部の病態に対する物理療法：運動機能について未吉・桐林（Bグループ）、田村（Cグループ）・神経機能について石丸（Aグループ）が担当する。
第4回	担当教員	石丸 圭荘 未吉 祐介 田村 哲也 桐林 俊彰 頭頸部の病態に対する物理療法③ AL:B
	内容	頭頸部の病態に対する物理療法：運動機能について未吉・桐林（Cグループ）、田村（Aグループ）・神経機能について石丸（Bグループ）が担当する。
第5回	担当教員	石丸 圭荘 未吉 祐介 田村 哲也 桐林 俊彰 上肢の病態に対する物理療法① AL:B
	内容	上肢の病態に対する物理療法：運動機能について未吉・桐林（Aグループ）、田村（Bグループ）・神経機能について石丸（Cグループ）が担当する。
第6回	担当教員	石丸 圭荘 未吉 祐介 田村 哲也 桐林 俊彰 上肢の病態に対する物理療法② AL:B
	内容	上肢の病態に対する物理療法：運動機能について未吉・桐林（Bグループ）、田村（Cグループ）・神経機能について石丸（Aグループ）が担当する。
第7回	担当教員	石丸 圭荘 未吉 祐介 田村 哲也 桐林 俊彰
	内容	

	員	上肢の病態に対する物理療法③ AL:B
	内容	上肢の病態に対する物理療法：運動機能について末吉・桐林（Cグループ）、田村（Aグループ）・神経機能について石丸（Bグループ）が担当する。
第8回	担当教員	石丸 圭荘 末吉 祐介 田村 哲也 桐林 俊彰 腰部の病態に対する物理療法① AL:B
	内容	腰部の病態に対する物理療法：運動機能について末吉・桐林（Aグループ）、田村（Bグループ）・神経機能について石丸（Cグループ）が担当する。
第9回	担当教員	石丸 圭荘 末吉 祐介 田村 哲也 桐林 俊彰 腰部の病態に対する物理療法② AL:B
	内容	腰部の病態に対する物理療法：運動機能について末吉・桐林（Bグループ）、田村（Cグループ）・神経機能について石丸（Aグループ）が担当する。
第10回	担当教員	石丸 圭荘 末吉 祐介 田村 哲也 桐林 俊彰 腰部の病態に対する物理療法③ AL:B
	内容	腰部の病態に対する物理療法：運動機能について末吉・桐林（Cグループ）、田村（Aグループ）・神経機能について石丸（Bグループ）が担当する。
第11回	担当教員	石丸 圭荘 末吉 祐介 田村 哲也 桐林 俊彰 下肢の病態に対する物理療法① AL:B
	内容	下肢の病態に対する物理療法：運動機能について末吉・桐林（Aグループ）、田村（Bグループ）・神経機能について石丸（Cグループ）が担当する。
第12回	担当教員	石丸 圭荘 末吉 祐介 田村 哲也 桐林 俊彰 下肢の病態に対する物理療法② AL:B
	内容	下肢の病態に対する物理療法：運動機能について末吉・桐林（Bグループ）、田村（Cグループ）・神経機能について石丸（Aグループ）が担当する。
第13回	担当教員	石丸 圭荘 末吉 祐介 田村 哲也 桐林 俊彰 下肢の病態に対する物理療法③ AL:B
	内容	下肢の病態に対する物理療法：運動機能について末吉・桐林（Cグループ）、田村（Aグループ）・神経機能について石丸（Bグループ）が担当する。
第14回	担当教員	石丸 圭荘 末吉 祐介 田村 哲也 桐林 俊彰 まとめ
	内容	末吉・桐林・田村が1班に運動機能のまとめを、石丸が2班に神経機能のまとめを行う。

第15回	担当教員	石丸 圭莊 末吉 祐介 田村 哲也 桐林 俊彰 実技演習の総評
	内容	末吉・桐林・田村が2班に運動機能の総評を、石丸が1班に神経機能の総評を行う。

評価方法とフィードバック方法

出席2/3以上で成績評価の対象とする。
実技評価40点（40%）、定期試験筆記60点（60%）を実施して合計100点（100%）で総合的に評価する。実技・定期試験は授業において解説、総評する。

教科書

教科書の指定なし、配布資料を中心に実技演習を行います。

参考書

参考書

『EBM物理療法』 Michelle H. Cameron 編著 渡部一郎訳 出版社：医歯薬出版

オフィスアワー

12：10-12：50 各担当教員5階研究室

実務経験の有無

この科目は病院での実務経験のある教員が、物理療法に関する基礎的理論を背景に具体的な治療法について指導を行う科目です。

その他

履修登録者を3グループ（A・B・Cグループ）に編成して実技演習を行う。受講者は講義資料であるpower pointおよび配布資料を活用して予習復習が必要です。

講義コード	5104601
講義名	応用物理療法学演習
(副題)	
代表ナンバリングコード	52S04-3040SE-00
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	3
必修/選択	選択
担当教員	

氏名

石丸 圭荘

田村 哲也

末吉 祐介

角田 佳貴

桐林 俊彰

総合学習目標

基礎物理療法学演習を基に応用物理療法演習では、運動器系の病態を基に支持組織および神経損傷に応用する物理療法について理学的検査所見や神経学的検査所見など病態把握に基づいた物理療法の適否や実践的方法について学習する。 整復医療・トレーナー学科：DP4

個別学習目標

1. 理学的検査所見を基にした病態把握に対する物理療法（実技含む）を理解して実践できる。
2. 神経学的検査所見を基にした病態把握に対する物理療法（実技含む）を理解して実践できる。

準備学修

機能解剖学の知識が必修であり、指定したテーマについてまとめておくこと（30分）

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	

【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	○
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	◎

授業計画

第1回	担当教員	石丸 圭荘 末吉 祐介 田村 哲也 角田 佳貴 桐林 俊彰 講義概要ガイダンス
	内容	応用物理療法学演習に関する授業計画に関する説明を実施する。 運動機能について末吉・田村・角田・桐林が解説，神経機能について石丸が解説する。
第2回	担当教員	石丸 圭荘 末吉 祐介 田村 哲也 角田 佳貴 桐林 俊彰 理学的検査所見・頸部① AL:B
	内容	応用物理療法を施行するために必要な病態把握の理学的検査所見・頸部について運動機能について末吉・桐林（Aグループ），田村・角田（Bグループ），神経機能について石丸（Cグループ）が担当する。
第3回	担当教員	石丸 圭荘 末吉 祐介 田村 哲也 角田 佳貴 桐林 俊彰 理学的検査所見・頸部② AL:B
	内容	応用物理療法を施行するために必要な病態把握の理学的検査所見・頸部について運動機能について末吉・桐林（Bグループ），田村・角田（Cグループ），神経機能について石丸（Aグループ）が担当する。
第4回	担当教員	石丸 圭荘 末吉 祐介 田村 哲也 角田 佳貴 桐林 俊彰 理学的検査所見・頸部③ AL:B
	内容	応用物理療法を施行するために必要な病態把握の理学的検査所見・頸部について運動機能について末吉・桐林（Cグループ），田村・角田（Aグループ），神経機能について石丸（Bグループ）が担当する。
第5回	担当教員	石丸 圭荘 末吉 祐介 田村 哲也 角田 佳貴 桐林 俊彰 理学的検査所見・上肢① AL:B
	内容	応用物理療法を施行するために必要な病態把握の理学的検査所見・上肢について運動機能について末吉・桐林（Aグループ），田村・角田（Bグループ），神経機能について石丸（Cグループ）が担当する。
		石丸 圭荘

第6回	担当教員	未吉 祐介 田村 哲也 角田 佳貴 桐林 俊彰 理学的検査所見・上肢② AL:B
	内容	応用物理療法を施行するために必要な病態把握の理学的検査所見・上肢について運動機能について未吉・桐林（Bグループ），田村・角田（Cグループ），神経機能について石丸（Aグループ）が担当する。
第7回	担当教員	石丸 圭荘 未吉 祐介 田村 哲也 角田 佳貴 桐林 俊彰 理学的検査所見・上肢③ AL:B
	内容	応用物理療法を施行するために必要な病態把握の理学的検査所見・上肢について運動機能について未吉・桐林（Cグループ），田村・角田（Aグループ），神経機能について石丸（Bグループ）が担当する。
第8回	担当教員	石丸 圭荘 未吉 祐介 田村 哲也 角田 佳貴 桐林 俊彰 理学的検査所見・腰部① AL:B
	内容	応用物理療法を施行するために必要な病態把握の理学的検査所見・腰部について運動機能について未吉・桐林（Aグループ），田村・角田（Bグループ），神経機能について石丸（Cグループ）が担当する。
第9回	担当教員	石丸 圭荘 未吉 祐介 田村 哲也 角田 佳貴 桐林 俊彰 理学的検査所見・腰部② AL:B
	内容	応用物理療法を施行するために必要な病態把握の理学的検査所見・腰部について運動機能について未吉・桐林（Bグループ），田村・角田（Cグループ），神経機能について石丸（Aグループ）が担当する。
第10回	担当教員	石丸 圭荘 未吉 祐介 田村 哲也 角田 佳貴 桐林 俊彰 理学的検査所見・腰部③ AL:B
	内容	応用物理療法を施行するために必要な病態把握の理学的検査所見・腰部について運動機能について未吉・桐林（Cグループ），田村・角田（Aグループ），神経機能について石丸（Bグループ）が担当する。
第11回	担当教員	石丸 圭荘 未吉 祐介 田村 哲也 角田 佳貴 桐林 俊彰 理学的検査所見・下肢① AL:B
	内容	応用物理療法を施行するために必要な病態把握の理学的検査所見・下肢について運動機能について未吉・桐林（Aグループ），田村・角田（Bグループ），神経機能について石丸（Cグループ）が担当する。
		石丸 圭荘

第12回	担当教員	末吉 祐介 田村 哲也 角田 佳貴 桐林 俊彰 理学的検査所見・下肢② AL:B
	内容	応用物理療法を施行するために必要な病態把握の理学的検査所見・下肢について運動機能について末吉・桐林（Bグループ），田村・角田（Cグループ），神経機能について石丸（Aグループ）が担当する。
第13回	担当教員	石丸 圭荘 末吉 祐介 田村 哲也 角田 佳貴 桐林 俊彰 理学的検査所見・下肢③ AL:B
	内容	応用物理療法を施行するために必要な病態把握の理学的検査所見・下肢について運動機能について末吉・桐林（Cグループ），田村・角田（Aグループ），神経機能について石丸（Bグループ）が担当する。
第14回	担当教員	石丸 圭荘 末吉 祐介 田村 哲也 角田 佳貴 桐林 俊彰 まとめ
	内容	末吉・田村・角田・桐林が運動機能のまとめを、石丸が神経機能のまとめを行う。
第15回	担当教員	石丸 圭荘 末吉 祐介 田村 哲也 角田 佳貴 桐林 俊彰 実技演習の総評
	内容	末吉・田村・角田・桐林が運動機能の総評を、石丸が神経機能の総評を行う。

評価方法とフィードバック方法

出席2/3以上で成績評価の対象とする。

実技評価40点（40%），定期試験筆記60点（60%）を実施して合計100点（100%）で総合的に評価する。実技・定期試験は授業において解説，総評する。

教科書

教科書の指定なし，配布資料を中心に演習を実施する。

参考書

参考書

『EBM物理療法』Michelle H.Cameron 編著 渡部一郎訳 出版社：医歯薬出版

オフィスアワー

12：10-12：50 各担当教員5階研究室

実務経験の有無

この科目は病院での実務経験のある教員が，物理療法に関する基礎的理論を背景に応用かつ実践的な治療法について指導を行う科目です。

その他

履修登録者が多数の場合は3グループ（A・B・Cグループ）に編成して実技演習を行う。受講者は，power pointおよびプリント配布資料を活用して予習復習が必要です。

講義コード	5104701
講義名	老年柔道整復実技
(副題)	
代表ナンバリングコード	52P04-3041SR-00
講義開講時期	後期
講義区分	実習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	3
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

田村 哲也

末吉 祐介

角田 佳貴

総合学習目標

高齢者の外傷は、加齢に伴う骨粗鬆症、神経系や筋の変性を背景とし、筋力やバランス感覚の低下による転倒などで発生することが多い。また骨折などの外傷による長期臥床は致命的になることも珍しくない。

本講義では柔道整復師への社会的要請の一つである高齢者の外傷予防について、生理学的特徴を復習し、筋力トレーニングや体操などによる予防方法、住居や生活環境の整備など社会的アプローチの方法について学習することを目的とする。

整復医療・トレーナー学科DP1-①

個別学習目標

1. 高齢者社会の背景を理解する。
2. 高齢者の外傷を理解する。
3. 機能訓練プログラムを作成できる。
4. 介護保険制度を理解する。

準備学修

講義後、授業プリントをもとに授業を振り返り、クラスルームに投稿した練習問題を行うこと(30分)

ディプロマポリシー

◎：強く該当する
○：該当する
選択なし：該当しない

【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。

◎

【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学

力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	○

授業計画

第1回	担当 教員	田村 哲也 末吉 祐介 角田 佳貴 ガイダンス 授業の方法・評価、カリキュラムの説明
	内容	授業の方法・評価、カリキュラムの説明について田村、末吉、角田がそれぞれのグループに行く。
第2回	担当 教員	田村 哲也 末吉 祐介 角田 佳貴 座学 姿勢障害とその影響
	内容	姿勢障害とその影響について田村、末吉、角田がそれぞれのグループに行く。
第3回	担当 教員	田村 哲也 末吉 祐介 角田 佳貴 座学 高齢者社会
	内容	高齢者人口、国民医療費、介護保険法について田村、末吉、角田がそれぞれのグループに行く。
第4回	担当 教員	田村 哲也 末吉 祐介 角田 佳貴 座学 高齢者の疾病
	内容	高齢者に多く発生する疾病について田村、末吉、角田がそれぞれのグループに行く。
第5回	担当 教員	田村 哲也 末吉 祐介 角田 佳貴 座学 足関節・足部 股関節の軟部組織損傷
	内容	足関節・足部・股関節の軟部組織損傷について田村、末吉、角田がそれぞれのグループに行く。
第6回	担当 教員	田村 哲也 末吉 祐介 角田 佳貴 座学 高齢者の外傷
	内容	高齢者の外傷の特徴と臨床症例について田村、末吉、角田がそれぞれのグループに行く。
第7回	担当 教員	田村 哲也 末吉 祐介 角田 佳貴 座学 肩関節の軟部組織損傷

	内容	肩関節の軟部組織損傷について田村、末吉、角田がそれぞれのグループに行く
第8回	担当 教員	田村 哲也 末吉 祐介 角田 佳貴 実技 肩関節周囲炎
	内容	肩関節周囲炎に対する施術について田村、末吉、角田がそれぞれのグループに行く。
第9回	担当 教員	田村 哲也 末吉 祐介 角田 佳貴 実技 田村・角田：変形性膝関節症 末吉：姿勢障害の評価と対策
	内容	変形性膝関節症・姿勢障害の評価と対策について田村、末吉、角田がそれぞれのグループに行く。
第10回	担当 教員	田村 哲也 末吉 祐介 角田 佳貴 実技 田村：変形性膝関節症 末吉・角田：姿勢障害の評価と対策
	内容	変形性膝関節症・姿勢障害の評価と対策について田村、末吉、角田がそれぞれのグループに行く。
第11回	担当 教員	田村 哲也 末吉 祐介 角田 佳貴 実技 田村・角田：橈骨遠位端伸展型骨折（コーレス骨折） 末吉：股関節の軟部組織損傷に対する施術
	内容	コーレス骨折・股関節の軟部組織損傷に対する施術について田村、末吉、角田がそれぞれのグループに行く。
第12回	担当 教員	田村 哲也 末吉 祐介 角田 佳貴 実技 田村：橈骨遠位端伸展型骨折（コーレス骨折） 末吉・角田：股関節の軟部組織損傷に対する施術
	内容	コーレス骨折・股関節の軟部組織損傷に対する施術について田村、末吉、角田がそれぞれのグループに行く。
第13回	担当 教員	田村 哲也 末吉 祐介 角田 佳貴 実技 田村・角田：足底腱膜炎・外反母趾 末吉：足関節・足部の軟部組織損傷の軟部組織損傷に対する施術
	内容	足底腱膜炎・外反母趾・足関節・足部の軟部組織損傷の軟部組織損傷に対する施術について田村、末吉、角田がそれぞれのグループに行く。
第14回	担当 教員	田村 哲也 末吉 祐介 角田 佳貴 実技 田村：足底腱膜炎・外反母趾 末吉・角田：足関節・足部の軟部組織損傷の軟部組織損傷に対する施術
	内容	足底腱膜炎・外反母趾・足関節・足部の軟部組織損傷の軟部組織損傷に対する施術について田村、末吉、角田がそれぞれのグループに行く。
第15回	担当 教員	田村 哲也 末吉 祐介 角田 佳貴 座学 まとめ
	内容	授業のまとめについて、田村、末吉、角田がそれぞれのグループに行く。

評価方法とフィードバック方法

定期試験70点（70%）、実技・課題30点（30%） 合計100点（100%）

Classroom等で正解や講評を掲載する

教科書

特になし 授業資料を配布する

参考書

参考文献

柔道整復師と機能訓練指導（社）全国柔道整復学校協会監修 遠藤英俊/細野昇編集 南江堂
3, 300円

オフィスアワー

12：10-12：50 各担当教員5階研究室

実務経験の有無

この科目は柔道整復師の実務経験を有する教員がその実務経験を活かし、実践的教育を行っている科目です。

その他

座学と実技の両方を行う。

評価方法などについては第1回ガイダンスにて説明を行う。

授業方法などは第1回のガイダンスで説明を行う。

講義コード	5104801
講義名	運動器学演習
(副題)	
代表ナンバリングコード	52S04-3042SR-00
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	3
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

岡村 知明

松本 揚

総合学習目標

筋・骨・関節に関する機能解剖学や運動器疾患の知識を基に、運動器疾患に対する評価法や治療法を理解する。

個別学習目標

- ・筋、骨、関節に関する機能解剖学を理解する。
- ・代表的な運動器疾患について理解する。
- ・代表的な運動器疾患検査、評価法、治療法を理解する。

準備学修

柔道整復学理論編・実技編の教科書を読み、各疾患の病態などを復習しておくこと（30分）

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	○
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することが	

できる。

授業計画

第1回	担当教員	岡村 知明 松本 揚 オリエンテーション
	内容	講義の流れや評価法等を実際の講義の内容を見せながら、本講義についてのガイダンスを行う
第2回	担当教員	岡村 知明 松本 揚 代表的な運動器疾患の基礎知識から治療法まで①
	内容	鎖骨骨折、外科頸外転型骨折の基礎知識と評価法、治療法などを学ぶ
第3回	担当教員	岡村 知明 松本 揚 代表的な運動器疾患の基礎知識から治療法まで②
	内容	上腕骨骨幹部骨折、コーレス骨折の基礎知識と評価法、治療法などを学ぶ
第4回	担当教員	岡村 知明 松本 揚 代表的な運動器疾患の基礎知識から治療法まで③
	内容	第5中手骨頸部骨折、肋骨骨折の基礎知識と評価法、治療法などを学ぶ
第5回	担当教員	岡村 知明 松本 揚 代表的な運動器疾患の基礎知識から治療法まで④
	内容	・肩鎖関節上方脱臼、肩関節烏口下脱臼の基礎知識と評価法、治療法などを学ぶ ・小テスト（1）
第6回	担当教員	岡村 知明 松本 揚 代表的な運動器疾患の基礎知識から治療法まで⑤
	内容	肘関節後方脱臼、肘内障の基礎知識と評価法、治療法などを学ぶ
第7回	担当教員	岡村 知明 松本 揚 代表的な運動器疾患の基礎知識から治療法まで⑥
	内容	示指PIP関節背側脱臼、肩腱板損傷の基礎知識と評価法、治療法などを学ぶ
第8回	担当教員	岡村 知明 松本 揚 代表的な運動器疾患の基礎知識から治療法まで⑦
	内容	上腕二頭筋長頭腱損傷、大腿部打撲・肉離れの基礎知識と評価法、治療法などを学ぶ
第9回	担当教員	岡村 知明 松本 揚 代表的な運動器疾患の基礎知識から治療法まで⑧
	内容	下腿骨骨幹部骨折の基礎知識と評価法、治療法などを学ぶ
第10回	担当教員	岡村 知明 松本 揚 代表的な運動器疾患の基礎知識から治療法まで⑨
	内容	・膝関節MCL損傷、膝関節ACL損傷、膝関節半月板損傷の基礎知識と評価法、治療法などを学ぶ ・小テスト（2）

第11回	担当教員	岡村 知明 松本 揚 代表的な運動器疾患の基礎知識から治療法まで⑩
	内容	下腿三頭筋肉離れ・アキレス腱断裂、足関節外側靭帯損傷の基礎知識と評価法、治療法などを学ぶ
第12回	担当教員	岡村 知明 松本 揚 代表的な運動器疾患の基礎知識から治療法まで⑪
	内容	包帯法の基礎知識と評価法、治療法などを学ぶ
第13回	担当教員	岡村 知明 松本 揚 代表的な運動器疾患の基礎知識から治療法まで⑫
	内容	顎関節脱臼、上腕骨遠位部骨折の基礎知識と評価法、治療法などを学ぶ
第14回	担当教員	岡村 知明 松本 揚 代表的な運動器疾患の基礎知識から治療法まで⑬
	内容	前腕遠位部骨折、大腿骨頸部骨折の基礎知識と評価法、治療法などを学ぶ
第15回	担当教員	岡村 知明 松本 揚 総復習
	内容	・本講義で学習した内容に関する臨床実地問題を実施し、総復習する ・小テスト（3）

評価方法とフィードバック方法

「評価方法」：定期試験85点（85%）と小テスト3回合計15点（15%）、合計100点（100%）で評価する
「フィードバック方法」：定期試験、小テストともにClassroomで正解を掲示する

教科書

配布資料を用いる。

参考書

柔道整復学・理論編、全国柔道整復学校協会・教科書委員会、南江堂

柔道整復学・実技編、全国柔道整復学校協会・教科書委員会、南江堂

カパンジー機能解剖学 原著第7版、医歯薬出版株式会社

オフィスアワー

岡村：金曜日、4限、548教員研究室

松本：金曜日、4限、519教員研究室

実務経験の有無

この科目は柔道整復師としての実務経験を有する教員が運動器疾患に対して行う評価や施術の経験を活かし、運動器疾患に対する評価法や施術法について講義および演習を行っている科目です。

その他

・柔道整復師国家試験に準じた内容の講義をします。

・基本的に岡村がメインで講義をする。講義内で松本が教室を巡回し学生の質問等への対応をする。

講義コード	5104901
講義名	予防とコンディショニング
(副題)	(実習を含む)
代表ナンバリングコード	52L04-1043SR-00
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

野田 哲由

上岡 尚代

岡村 知明

桑井 太陽

総合学習目標

柔道整復師、JSPO-ATの役割における「安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害の予防」の位置づけを理解した上で、科学的根拠に基づいた予防対応を組織的に計画し実践するために必要な知識、態度や技能を習得することをねらいとする。

【整復医療・トレーナー学科DP1-①、DP2、DP3-②、DP4に該当する。】

個別学習目標

- ・安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害の予防の目的や意義および柔道整復師、JSPO-ATとして果たすべき役割について説明できる。
- ・スポーツ外傷・障害の予防の概念や発生要因について理解し、科学的根拠に基づいたスポーツ外傷・障害の予防を計画し実践できる。
- ・安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防に関連する対象者の基本データを収集する目的や意義、医師を含めた医.科学スタッフとの連携、更には各種データの活用法について理解し、安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防を検討する際の根拠となる各種評価を組織的に計画し実践できる。
- ・安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害へ影響を及ぼしうる各種要因を理解し、科学的根拠に基づいた予防対応を計画し実践できる。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	○
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャ	

リストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	○
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	◎

授業計画

第1回	担当教員	野田 哲由 上岡 尚代 岡村 知明 桑井 太陽 スポーツ現場尾おける安全・健康管理及びスポーツ外傷・障害予防の概念【野田・岡村・上岡・桑井】
	内容	・スポーツ現場尾おける安全・健康管理及びスポーツ外傷・障害予防の意義・スポーツ現場における安全管理・組織と役割、ICTやIoTの活用
第2回	担当教員	野田 哲由 上岡 尚代 岡村 知明 桑井 太陽 スポーツ現場におけるスポーツ外傷・障害・事故・疾病の実態【野田・岡村・上岡・桑井】
	内容	・重篤なスポーツ外傷・障害・事故の実態・運動器のスポーツ外傷・障害の実態・スポーツに関連する内科的疾患の理解と実態
第3回	担当教員	野田 哲由 上岡 尚代 岡村 知明 桑井 太陽 科学的根拠に基づいたスポーツ外傷・障害予防プログラムの実際（前十字/足関節捻挫）【野田、岡村、上岡、桑井】
	内容	・膝前十字靭帯損傷の疫学・危険因子・受傷メカニズム・ACL損傷の予防プログラム・足関節捻挫の疫学・危険因子・受傷メカニズム・足関節捻挫の予防プログラム
第4回	担当教員	野田 哲由 上岡 尚代 岡村 知明 桑井 太陽 科学的根拠に基づいたスポーツ外傷・障害予防プログラムの実際（肉離れ/投球障害）【野田、岡村、上岡、桑井】
	内容	・肉離れの疫学・危険因子・受傷メカニズム・肉離れの予防プログラム・投球障害の疫学・危険因子・受傷メカニズム・投球障害の予防プログラム
第5回	担当教員	野田 哲由 上岡 尚代 岡村 知明 桑井 太陽 スポーツ外傷・障害に対する予防手段1【野田、岡村、上岡、桑井】
	内容	・装具・防具について・ストレッチング理論・ストレッチング実技①上肢
		野田 哲由

第6回	担当教員	上岡 尚代 岡村 知明 桑井 太陽 スポーツ外傷・障害に対する予防手段2 【野田、岡村、上岡、桑井】
	内容	・ストレッチング実技②下肢、体幹、他
第7回	担当教員	野田 哲由 上岡 尚代 岡村 知明 桑井 太陽 スポーツ外傷・障害に対する予防手段3 【野田、岡村、上岡、桑井】
	内容	・テーピング理論 ・テーピング実技 基礎技術（切る、貼る等） ・アーチ、足関節①
第8回	担当教員	野田 哲由 上岡 尚代 岡村 知明 桑井 太陽 スポーツ外傷・障害に対する予防手段4 【野田、岡村、上岡、桑井】
	内容	・テーピング実技 足関節②
第9回	担当教員	野田 哲由 上岡 尚代 岡村 知明 桑井 太陽 スポーツ外傷・障害に対する予防手段5 【野田、岡村、上岡、桑井】
	内容	・テーピング実技 足関節③
第10回	担当教員	野田 哲由 上岡 尚代 岡村 知明 桑井 太陽 スポーツ外傷・障害に対する予防手段6 【野田、岡村、上岡、桑井】
	内容	・テーピング実技 膝関節、肉離れ
第11回	担当教員	野田 哲由 上岡 尚代 岡村 知明 桑井 太陽 スポーツ外傷・障害に対する予防手段7 【野田、岡村、上岡、桑井】
	内容	・テーピング実技 肘関節、手、手指、肩
第12回	担当教員	野田 哲由 上岡 尚代 岡村 知明 桑井 太陽 安全・健康管理およびスポーツ外相・障害への影響を及ぼしうる各種要因への対応1 【野田、岡村、上岡、桑井】
	内容	・用具・防具・設備
	担当教員	野田 哲由 上岡 尚代 岡村 知明 桑井 太陽

第13回	員	安全・健康管理およびスポーツ外相・障害への影響を及ぼしうる各種要因への対応2【野田、岡村、上岡、桑井】
	内容	・競技・種目特性
第14回	担当教員	野田 哲由 上岡 尚代 岡村 知明 桑井 太陽 安全・健康管理およびスポーツ外相・障害への影響を及ぼしうる各種要因への対応3【野田、岡村、上岡、桑井】
	内容	・予防・再発予防としての動作の見方①・走動作、跳動作、方向転換動作、投球動作
第15回	担当教員	野田 哲由 上岡 尚代 岡村 知明 桑井 太陽 安全・健康管理およびスポーツ外相・障害への影響を及ぼしうる各種要因への対応4【野田、岡村、上岡、桑井】
	内容	・予防・再発予防としての動作の見方②・打撃動作、泳動作、あたり動作、滑走動作

評価方法とフィードバック方法

1. コンディショニング理論、ストレッチ理論、テーピング理論筆記試験（40%）
2. ストレッチ実技試験（20%）
3. テーピング実技試験(40%) 足関節（20%）、膝関節（20%）

教科書

JSPO-AT専門科目テキスト2 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害の予防

参考書

参考文献

- ・スポーツ外傷障害からみたテーピングの実技と理論第5版 文光堂、
- ・テーピングバイブル 高橋書店、
- ・ストレッチングマニュアル 大修館書店

実務経験の有無

修士号及びJSPO-AT免許を有して、スポーツ現場で5年以上のATの実務経験を有する教員がその実務経験を活かし、実践的教育を行っている科目です。

その他

- ・実技の際は運動のできる服装で受講すること
- ・テーピング用品に関しては自己負担となる。初回1セット¥16,000円前後。後は、1階ヤマザキショップで購入のこと
- ・初回から2班に分けて行う。A班野田、B班岡

講義コード	5105101
講義名	衛生学・公衆衛生学 [整]
(副題)	
代表ナンバリングコード	52L02-3044SR-00
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	3
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

木谷 誠一

総合学習目標

臨床現場でのケアないし施術が、患者個人の病気を対象とするものであるのに対し、公衆衛生は集団（地域社会・職域・学校等）の健康を対象にする。衛生学・公衆衛生学で学ぶことは保健医療の骨組みとなるものであり、個別の治療やケアにおいても関連する。柔道整復の領域においても、施術のみではなく、遠く歴史を振り返り、かつ広く現代社会に目を向けチーム医療・包括医療の必要性が望まれている。人類の歴史や近代社会・現代社会を見る目を持ち、その中で、将来に向けた自分たち/柔道整復師の役割についても自覚していただきたい。できれば、結婚・家族・地域社会・行政へ視点を拡大する契機になれば目標を十分に達成されたことになる。整復医療・トレーナー学科DP4に相当

個別学習目標

健康について考察することから始まり、疾病予防と健康管理において予防医学の基礎を学び、さらに感染症対策や消毒法の技法を知り、環境衛生、母子保健、学校保健、産業保健、成人・高齢者保健、精神保健福祉、地域保健、および国際保健の各領域で、それらの基本を学び、衛生行政と保健医療の制度について及び医療の倫理と安全の確保について学ぶことにより現実社会での応用の力を身につけることを目指す。

準備学修

できるだけ教科書に沿って講義を行う。教科書の記述に従い、臨床に踏み込む局面もある。各回の講義の主題（トピック）に相当する部分を教科書で事前に読み込んでおくこと。また、トピックに関する近年のニュース（話題）を、具体的に調べて、学習効率を高めてほしい。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	○
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と	

高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	◎

授業計画

第1回	担当教員	木谷 誠一 オリエンテーション
	内容	衛生学・公衆衛生の歴史と健康の概念
第2回	担当教員	木谷 誠一 疾病予防と健康管理 および疫学入門
	内容	予防医学・健康管理・疫学
第3回	担当教員	木谷 誠一 成人保健および高齢者保健
	内容	生活習慣病（がん・脳血管疾患・心疾患・高血圧、糖尿病等）
第4回	担当教員	木谷 誠一 高齢者保健
	内容	後期高齢者医療確保法 介護保険
第5回	担当教員	木谷 誠一 母子保健
	内容	母子保健の指標・母子保健法
第6回	担当教員	木谷 誠一 感染症の予防
	内容	感染症法、感染症の種類
第7回	担当教員	木谷 誠一 感染症の予防対策
	内容	感染症の予防対策、予防接種、消毒
第8回	担当教員	木谷 誠一 環境衛生（環境保健）
	内容	地球環境問題、健康に影響する環境要因 大気汚染
第9回	担当教員	木谷 誠一 生活環境衛生・食品衛生活動
	内容	水の衛生と水質汚濁、食品衛生、食中毒
第10回	担当教員	木谷 誠一 学校保健
	内容	保健教育と保健管理、学校保健安全法、学校感染症
第11回	担当教員	木谷 誠一 産業保健
	内容	産業保健の歴史と現状、労働安全衛生法、労働災害、職業病
第12回	担当教員	木谷 誠一 精神保健福祉
	内容	精神保健の歴史と現状、精神疾患各論、精神保健福祉法
第13回	担当教員	木谷 誠一 地域保健と国際保健
	内容	地域社会のとらえ方、地域保健法、保健に関する国際協力、WHOの活動

第14回	担当教員	木谷 誠一 衛生行政と保健医療の制度
	内容	医療法、医療保険、国民医療費、医療安全、医療事故
第15回	担当教員	木谷 誠一 まとめ
	内容	理解度チェックと解説、公衆衛生の展望

評価方法とフィードバック方法

本講座は、筆記試験（100点満点）を評価の基礎点とする。

教科書

衛生学・公衆衛生学改訂6版 南江堂 5, 400円(税込)

参考書

コンパクト公衆衛生学 第7版 朝倉書店 2, 900円+税

オフィスアワー

木曜日午前1時限2時限

実務経験の有無

有：医学研究者としての活動および臨床医師としての臨床経験、公衆衛生活動としての行政経験を有する教員が行っている科目です。

その他

教科書に基づいて知識を習得・整理・参照することにより、出題基準で定めているレベルの学習が可能になる

講義コード	5205601
講義名	スポーツ医学I
(副題)	
代表ナンバリングコード	52L02-3045FR-00
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	3
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

下小野田 一騎

神長 まどか

総合学習目標

スポーツ医学はスポーツにおける外傷や障害の診断および治療のみならず近年ではアスリートの競技力向上や、幅広い年齢層における健康増進、生活習慣病の予防など幅広い分野に発展している。スポーツ指導者には幅広い学問分野を統合したスポーツ医学の知識が要求される。本講義では、スポーツ医学、特にアスリートにみられる内臓器疾患を理解し、説明できることを目標とする。

(整備 DP 1-1)

個別学習目標

日本体育協会公認アスレティックトレーナーの学習目標に準拠する。スポーツと健康についての総論からアスリートの健康管理、アスリートに起こる内科的疾患、事故を予防するためのメディカルチェック、女性、高齢者、障がい者のスポーツについてなどスポーツ指導者として必要不可欠な基礎的知識を学習する。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整備医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整備医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	◎
【整備医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	○
【整備医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	
【整備医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	
【整備医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	
【整備医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することが	

できる。

授業計画

第1回	担当教員	下小野田 一騎 スポーツ医学概論
第2回	担当教員	下小野田 一騎 アスリートにみられる循環器系疾患
第3回	担当教員	下小野田 一騎 アスリートにみられる呼吸器系疾患
第4回	担当教員	下小野田 一騎 アスリートにみられる血液系疾患
第5回	担当教員	下小野田 一騎 アスリートにみられる代謝性疾患
第6回	担当教員	下小野田 一騎 アスリートにみられる皮膚疾患
第7回	担当教員	下小野田 一騎 アスリートにみられる消化器系疾患
第8回	担当教員	下小野田 一騎 アスリートにみられる腎泌尿器系疾患
第9回	担当教員	下小野田 一騎 高齢者のスポーツ
第10回	担当教員	下小野田 一騎 女性のスポーツ
第11回	担当教員	下小野田 一騎 病的現象
第12回	担当教員	下小野田 一騎 成長期のスポーツ
第13回	担当教員	下小野田 一騎 スポーツと環境
第14回	担当教員	下小野田 一騎 アンチドーピング
第15回	担当教員	下小野田 一騎 総まとめと補足

評価方法とフィードバック方法

- 1) 本試験 (100%) で評価する。
- 2) 講義時に5択問題を配布する。解答はGoogle Classroomに随時掲示する。

教科書

教科書は特に指定しない。参考書から希望者は購入を。
AT試験受験者は公認アスレティックトレーナー専門科目テキストを購入するのが望ましい。

参考書

公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト4 健康管理とスポーツ医学
著者・出版社：財団法人日本体育協会 2, 200円+税
スポーツメンタルトレーニング教本 著者・出版社：日本スポーツ心理学会（編）、大修館書店
公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト 1～9 著者・出版社：財団法人日本体育協会
日本スポーツ協会 公認スポーツ指導者用 リファレンスブック 著者・出版社：財団法人日本スポーツ協会

オフィスアワー

月曜日 火曜日・昼休み・517研究室

質問等は授業の前後で受け付ける

実務経験の有無

この科目は臨床医としてスポーツ医学診療の実務経験を有する教員がその実務経験を活かし、運動器の外傷・疾患について、臨床に即した知識教授を行っている科目である。

その他

- 1) 復習を重視する。(資料・5択問題で講義の復習をしっかりと行う。)
- 2) 講義はパワーポイント資料を用いて行う。
- 3) 講義中の私語、携帯端末使用は原則禁止する。
- 4) Google Classroomを用いて情報共有を行う。
- 5) 社会情勢に応じて講義計画、講義方法は変更する場合がある。

講義コード	5205701
講義名	スポーツ医学II
(副題)	
代表ナンバリングコード	52L02-3046SE-00
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	3
必修/選択	選択
担当教員	

氏名

下小野田 一騎

総合学習目標

スポーツ医学はスポーツにおける外傷や障害の診断および治療のみならず近年ではアスリートの競技力向上や、幅広い年齢層における健康増進、生活習慣病の予防など幅広い分野に発展している。スポーツ指導者には幅広い学問分野を統合したスポーツ医学の知識が要求される。本講義では、スポーツ医学I、運動生理学で学習した知識を基にさらに知識を深める。

(整備 DP 1-1)

個別学習目標

日本体育協会公認アスレティックトレーナー、および健康運動指導士の学習目標に準拠する。スポーツと健康についての総論からアスリートの健康管理、アスリートに起こる外傷、障害、事故を予防するためのスポーツ指導者としての基礎的知識を学習する。運動生理学的知識とスポーツ医学知識をリンクさせる。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整備医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整備医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	◎
【整備医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	○
【整備医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	
【整備医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	
【整備医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	
【整備医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	

授業計画

第1回	担当教員	下小野田 一騎 感染症とその対応策
第2回	担当教員	下小野田 一騎 アスリートにみられる病的現象
第3回	担当教員	下小野田 一騎 メディカルチェック
第4回	担当教員	下小野田 一騎 サプリメントと食育
第5回	担当教員	下小野田 一騎 スポーツによる精神的障害、メンタルトレーニング 1
第6回	担当教員	下小野田 一騎 スポーツによる精神的障害、メンタルトレーニング 2
第7回	担当教員	下小野田 一騎 ATの役割、コンディショニング
第8回	担当教員	下小野田 一騎 アスリートの健康管理
第9回	担当教員	下小野田 一騎 運動負荷試験と運動処方
第10回	担当教員	下小野田 一騎 ATに必要な検査、測定、体力評価とフィールドテスト
第11回	担当教員	下小野田 一騎 学童期運動器検診とスポーツ
第12回	担当教員	下小野田 一騎 フレイル、サルコペニア、ロコモティブシンドロームとスポーツ
第13回	担当教員	下小野田 一騎 視覚障がいとスポーツ
第14回	担当教員	下小野田 一騎 聴覚障がいとスポーツ
第15回	担当教員	下小野田 一騎 スポーツ医学IIまとめと補足

評価方法とフィードバック方法

- 1) 本試験 (100%) で評価する。
- 2) 講義時に5択問題を配布する。解答はGoogle Classroomに随時掲示する。

教科書

教科書は特に指定しない。参考書から希望者は購入を。
AT試験受験者は公認アスレティックトレーナー専門科目テキストを購入するのが望ましい。

参考書

公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト4 健康管理とスポーツ医学
著者・出版社：財団法人日本体育協会 2, 200円+税
スポーツメンタルトレーニング教本 著者・出版社：日本スポーツ心理学会（編）、大修館書店
公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト 1～9 著者・出版社：財団法人日本体育協会
日本スポーツ協会 公認スポーツ指導者用 リファレンスブック 著者・出版社：財団法人日本スポーツ協会

オフィスアワー

月曜日 火曜日・昼休み・517研究室
質問等は授業の前後で受け付ける

実務経験の有無

この科目は臨床医としてスポーツ医学診療の実務経験を有する教員がその実務経験を活かし、運動器の外傷・疾患について、臨床に即した知識教授を行っている科目である。

その他

- 1) 復習を重視する。(資料で講義の復習をしっかりと行う。)
- 2) 講義はパワーポイント資料を用いて行う。
- 3) 講義中の私語、携帯端末使用は原則禁止する。
- 4) Google Classroomを用いて講義資料、情報共有を行う。
- 5) 社会情勢に応じて講義計画、講義方法は変更する場合がある。
(ZOOMでのオンライン講義、オンラインでの定期試験 など)

講義コード	5205801
講義名	スポーツ傷害論I
(副題)	
代表ナンバリングコード	52L02-3047FE-00
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	3
必修/選択	選択
担当教員	

氏名

下小野田 一騎

神長 まどか

総合学習目標

スポーツ活動は幅広い年齢層で行われており、対象は疾患をもつ者からアスリートまで多岐に渡る。本講義では運動器のスポーツ外傷とスポーツ障害について、病態、治療法、メディカルリハビリテーションからアスレチックリハビリテーションによるスポーツ復帰、予防などを中心に講義する。

(整備 DP 1-1)

個別学習目標

スポーツ外傷、スポーツ障害についての病態生理、診断方法、予防法、治療方法を理解し、関連したリハビリテーションに関して理解を深める。

特に、スポーツ傷害論Iでは、各部位の解剖学的知識の獲得を重視したい。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整備医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整備医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	◎
【整備医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	○
【整備医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	
【整備医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	
【整備医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	
【整備医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	

授業計画

第1回	担当教員	下小野田 一騎 ガイダンス、スポーツ傷害総論
第2回	担当教員	下小野田 一騎 メディカルチェック、年齢・性とスポーツ傷害
第3回	担当教員	下小野田 一騎 頭部と顔面の損傷
第4回	担当教員	下小野田 一騎 頸部と頸椎の損傷
第5回	担当教員	下小野田 一騎 体幹、胸部の損傷
第6回	担当教員	下小野田 一騎 肩の損傷
第7回	担当教員	下小野田 一騎 上腕と肘の損傷
第8回	担当教員	下小野田 一騎 手関節と手の損傷
第9回	担当教員	下小野田 一騎 腰部の損傷
第10回	担当教員	下小野田 一騎 股関節と骨盤の損傷
第11回	担当教員	下小野田 一騎 大腿部とハムストリングの損傷
第12回	担当教員	下小野田 一騎 膝の損傷
第13回	担当教員	下小野田 一騎 下腿と足関節の損傷
第14回	担当教員	下小野田 一騎 足部と足指の損傷
第15回	担当教員	下小野田 一騎 スポーツ傷害論Iまとめと補足

評価方法とフィードバック方法

- 1) 本試験 (100%) で評価する。
- 2) 講義時に5択問題を配布する。解答はGoogle Classroomに随時掲示する。

教科書

教科書は特に指定しない。参考書から希望者は購入を。
AT試験受験者は公認アスレティックトレーナー専門科目テキストを購入するのが望ましい。

参考書

スポーツ医学研修ハンドブック 2版 (基礎、応用) 著者・出版社：文光堂
公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト 1～9 著者・出版社：財団法人日本体育協会
日本スポーツ協会 公認スポーツ指導者用 リファレンスブック 著者・出版社：財団法人日本スポーツ協会
スポーツメンタルトレーニング教本 著者・出版社：日本スポーツ心理学会 (編)、大修館書店

オフィスアワー

月曜日 火曜日・昼休み・517研究室
質問等は授業の前後で受け付ける

実務経験の有無

この科目は臨床医としてスポーツ傷害診療の実務経験を有する教員がその実務経験を活かし、運動器の外傷・疾患について、臨床に即した知識教授を行っている科目である。

その他

- 1) 復習を重視する。(資料・5択問題で講義の復習をしっかりと行う。)
講義時に5択問題を配布する。解答はGoogle Classroomに随時掲示する。
- 2) 講義はパワーポイント資料を用いて行う。
- 3) 講義中の私語、携帯端末使用は原則禁止する。
- 4) Google Classroomを用いて情報共有を行う。
- 5) 社会情勢に応じて講義計画、講義方法は変更する場合がある。
(ZOOMでのオンライン講義、オンラインでの定期試験 など)

講義コード	5205901
講義名	スポーツ傷害論II
(副題)	
代表ナンバリングコード	52L02-3048SE-00
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	3
必修/選択	選択
担当教員	

氏名

下小野田 一騎

総合学習目標

- 1) スポーツ傷害論Iをもとに、競技別傷害特性を理解し、傷害予防、傷害からの復帰プログラム（リハビリテーション）を講義する。
- 2) 傷害部分を正確に表現、該当筋肉を評価し、筋力強化方法を理解する。
（整備 DP 1-1）

個別学習目標

スポーツ傷害の原因、受傷機転を理解する。
スポーツ外傷、障害の病態を理解し、予防法、治療法を説明できるようにする。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整備医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整備医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	◎
【整備医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整備師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	○
【整備医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	
【整備医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	
【整備医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整備師業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	
【整備医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	

授業計画

第1回	担当教員	下小野田 一騎 ガイダンス
第2回	担当教員	下小野田 一騎 傷害 部位別
第3回	担当教員	下小野田 一騎 傷害 種目別①
第4回	担当教員	下小野田 一騎 傷害 種目別②
第5回	担当教員	下小野田 一騎 傷害予防対策
第6回	担当教員	下小野田 一騎 メディカルチェック
第7回	担当教員	下小野田 一騎 運動負荷試験
第8回	担当教員	下小野田 一騎 メディカル・アスレチックリハビリテーション
第9回	担当教員	下小野田 一騎 コンディショニング
第10回	担当教員	下小野田 一騎 ウォームアップとクールダウン
第11回	担当教員	下小野田 一騎 メンタルヘルスと運動
第12回	担当教員	下小野田 一騎 補装具など
第13回	担当教員	下小野田 一騎 障害者のスポーツ
第14回	担当教員	下小野田 一騎 救急処置
第15回	担当教員	下小野田 一騎 まとめ

評価方法とフィードバック方法

- 1) 本試験 (100%) で評価する。
- 2) 講義時に5択問題を配布する。解答はGoogle Classroomに随時掲示する。

教科書

教科書は特に指定しない。参考書から希望者は購入を。
AT試験受験者は公認アスレティックトレーナー専門科目テキストを購入するのが望ましい。

参考書

スポーツ医学研修ハンドブック 2版 (基礎、応用) 著者・出版社：文光堂
公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト 1～9 著者・出版社：財団法人日本体育協会
日本スポーツ協会 公認スポーツ指導者用 リファレンスブック 著者・出版社：財団法人日本スポーツ協会
スポーツメンタルトレーニング教本 著者・出版社：日本スポーツ心理学会 (編)、大修館書店

オフィスアワー

月曜日 火曜日・昼休み・517研究室
質問等は授業の前後で受け付ける

実務経験の有無

この科目は臨床医としてスポーツ傷害診療の実務経験を有する教員がその実務経験を活かし、

運動器の外傷・疾患について、臨床に即した知識教授を行っている科目である。

その他

- 1) 復習を重視する。(資料で講義の復習をしっかり行う。)
- 2) 講義はパワーポイント資料を用いて行う。
- 3) スポーツ傷害論Iの講義資料を活用することがある。
- 4) 講義中の私語、携帯端末使用は原則禁止する。
- 5) Google Classroomを用いて情報共有を行う。
- 6) 社会情勢に応じて講義計画、講義方法は変更する場合がある。
(ZOOMでのオンライン講義、オンラインでの定期試験 など)

講義コード	5206001
講義名	対象別スポーツ指導論
(副題)	
代表ナンバリングコード	52L02-3049SE-00
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	3
必修/選択	選択
担当教員	

氏名

上岡 尚代

田辺 達磨

総合学習目標

対象別スポーツ指導論では、健康づくり施策と運動指導者の社会的役割を理解し、指導対象者の特性に合わせたスポーツ指導に必要な基礎知識を学ぶ。地域社会で、中高年者、女性、障害者、青少年期など多様な指導対象の身体特性や、対象者が行う体力評価方法など具体的な対応について学ぶ。

個別学習目標

- ①加齢に伴う不可避的な身体機能の変化を理解し、その体力評価についてまなぶ
- ②中年者、女性の身体的特徴とスポーツ活動・トレーニングに関わる問題について理解する。
- ③障害についての理解を深め、障害者のスポーツの現状と課題を知る。
- ④ロコモティブシンドローム対策における体力評価をまなぶ
- ⑤青少年期の運動発達に沿った運動指導の基本事項を理解する。
- ⑥中年期の体力評価について基本事項を理解し測定方法を理解する。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあつても国家資格を有用に活用できる。	
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	○
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と	

高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	○
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	◎

授業計画

第1回	担当教員	田辺 達磨 健康づくり施策概論 (1)
	内容	健康づくり施策と健康運動指導 運動指導者の社会的役割について
第2回	担当教員	田辺 達磨 健康づくり施策概論 (2)
	内容	健康づくりのための身体活動基準 アクティブガイド2013について
第3回	担当教員	田辺 達磨 健康づくり施策概論 (3)
	内容	1. 健康日本2 1 (第二次) における社会環境の整備 2. 日本国民の身体活動と地域社会環境の変化 3. 地域社会環境と身体活動・運動との関係
第4回	担当教員	田辺 達磨 体力測定と評価 (1)
	内容	体力と運動能力の測定法 1. 体力の構成要素 2. 体力測定の活用法 3. 適正な体力測定の条件 4. 体力の加齢に伴う変化及び性差
第5回	担当教員	上岡 尚代 田辺 達磨 体力測定と評価 (2) (A班; 上岡尚代、B班; 田辺達磨)
	内容	フィールドテストの実習 (1) 中年者の測定項目および評価法 新体力テスト (20歳~64歳) の測定項目 1. 握力 2. 上体起こし 3. 長座位体前屈 4. 反復横跳び 5. 急歩あるいは20mシャトルラン 6. 立ち幅跳び
	担当教員	上岡 尚代 体力測定と評価 (3)

第6回	内容	高齢者の体力測定法（全身持久力）体力 1. 加齢に伴う体力・身体機能の変化について 2. 高齢者の持久力の特性と背景 3. 高齢者の持久力測定上の留意点 4. 高齢者の時給慮kの測定方法
第7回	担当教員	田辺 達磨 体力測定と評価（4）
	内容	身体組成の評価 1. 身体組成の測定について 2. 体脂肪測定法 3. 推定誤差が生じる原因 4. 皮下脂肪分布の男女差
第8回	担当教員	上岡 尚代 田辺 達磨 体力測定と評価（5）（A班；上岡尚代、B班；田辺達磨）
	内容	測定及び身体組成測定と評価に関する実習 1. キャリパーを使用した脂肪厚測定実技 2. インピーダンス法による体組成測定実習
第9回	担当教員	上岡 尚代 健康づくり運動の理論
	内容	加齢に伴う体力の自然減退とトレーニング 1. 身体に加齢変化の特徴 2. 転倒の予防 3. 運動指導において配慮すべき点（リスク管理） 4. 高齢者における運動指導の実際
第10回	担当教員	上岡 尚代 田辺 達磨 体力測定と評価（5）（A班；上岡尚代、B班；田辺達磨）
	内容	介護予防における体力測定とその評価 1. 介護予防の考え方 2. 介護予防事業とその対象者 3. 地域支援事業における介護予防事業 4. 一次予防事業で活用できる高齢者のための体力測定 5. 二次予防事業における体力測定の項目と方法
		上岡 尚代

第11回	担当教員	田辺 達磨 健康づくり運動のプログラム管理（実習）（A班；上岡尚代、B班；田辺達磨）
	内容	ロコモティブシンドローム対策における体力評価（ロコチェック） ロコモティブシンドローム対策におけるトレーニング（ロコトレ）
第12回	担当教員	上岡 尚代 健康づくり運動のプログラム管理（実習）
	内容	フィールドテストの実習（2） 中年者 中年者の測定項目および評価の実習 新体カテスト（20歳～64歳）実技項目 1. 握力 2. 上体起こし 3. 長座位体前屈 4. 反復横跳び 5. 急歩あるいは20mシャトルラン 6. 立ち幅跳び
第13回	担当教員	上岡 尚代 女性とスポーツ
	内容	女性の体力、運動能力の特徴 1. 月経周期と女性アスリートのパフォーマンス 2. Female Athlete Triadについて 摂食障害、無月経、骨粗しょう症 3. 女性アスリートに多く見られる貧血とその予防
第14回	担当教員	上岡 尚代 障害者とスポーツ
	内容	1. 障害の理解（障害とは） 2. adapted sportsという概念 3. パラリンピック競技について 4. クラス分けについて 5. 障害をもつ人への運動指導の注意点
第15回	担当教員	上岡 尚代 健康づくり運動の理論
	内容	青少年期の成長発育と運動 1. 発育発達期の身体的特徴 2. 発育発達期に多いケガや病気 3. 発育発達期のプログラム

評価方法とフィードバック方法

試験90%と授業レポート10%で評価する。

フィードバック方法についてはクラスルーム内にて解答を掲示する。

教科書

テキスト

当該科目は配布資料によって講義を進める。

参考文献

書名：公認スポーツ指導者養成テキストII 著者・編集者、出版社：（公財）日本スポーツ協会
定価：6,000円

書名：健康運動指導士養成講習会テキスト（上）（下） 著者・編集者：健康体力づくり事業財団

書名：JSPO Reference Book 著者・編集者、出版社：（公財）日本スポーツ協会 定価：4400円

参考書

テキスト

当該科目は配布資料によって講義を進める。

参考文献

書名：公認スポーツ指導者養成テキストII 著者・編集者、出版社：（公財）日本スポーツ協会
定価：6,000円

書名：健康運動指導士養成講習会テキスト（上）（下） 著者・編集者：健康体力づくり事業財団

書名：JSPO Reference Book 著者・編集者、出版社：（公財）日本スポーツ協会 定価：4400円

オフィスアワー

適宜受け付ける

実務経験の有無

医療機関やスポーツクラブ・運動教室などで運動指導の経験がある医療資格を保持している教員がその実務経験を活かし、実践的教育を行っている科目です。

その他

講義は配布資料を中心に行います。配布資料を授業内で確認しながら理解を深めてください。試験は配布資料の中から出題しますが、プリントがそのまま出題されるわけではありません。授業内での解説を聞いてプリントに書き込んでいくようにしましょう。

講義コード	5206101
講義名	整復ケア理論（骨折学）
(副題)	
代表ナンバリングコード	52L04-1050FR-00
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

田村 哲也

総合学習目標

整復ケア理論（骨折学）では、柔道整復師が施術対象とする骨折について学習する。

次年度で履修する整復ケア骨損傷学で学習する種々の骨折を理解するため、骨折に関する知識や骨折治療の基本的な考え方を習得する。

整復医療・トレーナー学科DP1-①

個別学習目標

- 1) 骨折の分類について説明できる。
- 2) 骨折の症状について説明できる。
- 3) 骨折の合併症について説明できる。
- 4) 小児や高齢者の骨折の特徴について説明できる。
- 5) 骨折の予後について説明できる。
- 6) 骨折の整復法、固定法、後療法について説明できる。

準備学修

講義後、資料プリントと教科書をもとに授業の内容を振り返り、クラスルームに投稿した練習問題を行うこと（30分）

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	○

【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	

授業計画

第1回	担当教員	田村 哲也 骨の形態・役割・構造
	内容	骨の形態や働き、緻密質、海綿質、骨膜、骨髄などの骨の構造を学ぶ
第2回	担当教員	田村 哲也 骨折の概説、骨折の分類 骨の性状
	内容	骨リモデリング、急性・亜急性損傷、外傷性骨折、疲労骨折を学ぶ
第3回	担当教員	田村 哲也 骨折の分類 骨の性状、骨損傷の程度
	内容	病的骨折、脆弱性骨折、完全骨折、不全骨折を学ぶ
第4回	担当教員	田村 哲也 骨折の分類 骨折線の方向、骨折部と創部との交通の有無、骨折の数、外力の働いた部位
	内容	骨折線の方向、骨折の数、閉鎖性・開放性骨折、直達性・介達性骨折を学ぶ
第5回	担当教員	田村 哲也 外力の働き方による分類
	内容	外力の働き方（裂離・剥離・屈曲・圧迫・剪断・捻転・粉碎・陥没・破裂骨折）による骨折の分類を学ぶ
第6回	担当教員	田村 哲也 骨折の局所症状（一般外傷症状）、骨折の局所症状（固有症状）
	内容	一般外傷症状である疼痛、腫脹、機能障害、骨折の固有症状である異常可動性を学ぶ
第7回	担当教員	田村 哲也 骨折の局所症状（固有症状）・全身症状

	内容	骨折の固有症状である軋轢音と転位と変形、全身性症状であるショックと発熱を学ぶ
第8回	担当教員	田村 哲也 骨折の合併症（併発症・続発症）
	内容	骨折の合併症である併発症と続発症の外傷性皮下気腫と脂肪塞栓症候群を学ぶ
第9回	担当教員	田村 哲也 骨折の合併症（続発症 仮骨の軟化及び再骨折～臥床）（後遺症 過剰仮骨形成）
	内容	骨折の合併症である続発症の仮骨の軟化及び再骨折、遷延癒合、コンパートメント症候群、クラッシュシンドローム、臥床と後遺症の過剰仮骨形成を学ぶ
第10回	担当教員	田村 哲也 骨折の合併症（後遺症 偽関節～骨壊死）
	内容	骨折の合併症である後遺症の偽関節、変形癒合、骨萎縮、ズデック骨萎縮、骨壊死を学ぶ
第11回	担当教員	田村 哲也 骨折の合併症（後遺症 関節運動障害～フォルクマン拘縮）
	内容	骨折の合併症である後遺症の関節運動障害（関節強直、関節拘縮）、骨化性筋炎、フォルクマン拘縮を学ぶ
第12回	担当教員	田村 哲也 小児骨折
	内容	小児骨折の特徴、ソルターハリスの分類を学ぶ
第13回	担当教員	田村 哲也 骨折の癒合日数・高齢者骨折の特徴、治癒経過・治癒に影響を与える因子
	内容	骨折の癒合日数（グルトの骨癒合日数）、高齢者骨折の特徴と治癒経過、治癒に影響を与える因子を学ぶ
第14回	担当教員	田村 哲也 整復法
	内容	整復法の概要、非観血的整復の要点、整復の一般原則、整復法の分類を学ぶ
第15回	担当教員	田村 哲也 固定法
	内容	固定法の目的、種類、固定範囲と肢位、期間、固定材料、指導管理を学ぶ

定期試験70点(70%)、課題(小テスト)30点(30%)、合計100点(100%)で評価する。
課題(小テスト)と定期試験はClassroom等で正解と講評を掲載する。

教科書

柔道整復学・理論編(社)全国柔道整復学校協会監修(社)全国柔道整復学校協会・教科書委員会編
南江堂 7, 300円

参考書

テキスト 指定なし。

オフィスアワー

水曜日・4限・501教員研究室

実務経験の有無

この科目は診療所での柔道整復師としての実務経験のある教員が、骨折の分類・症状・徒手整復法・固定法について指導を行っている科目である。

その他

- 1) 適宜プリント資料を配布する。
- 2) 定期試験、課題については第一回講義にて説明する。

講義コード	5207601
講義名	臨床柔道整復包帯実技
(副題)	
代表ナンバリングコード	52P04-1051SR-00
講義開講時期	後期
講義区分	実技
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

桐林 俊彰

松本 揚

末吉 祐介

田辺 達磨

岡村 知明

角田 佳貴

長谷川 龍成

総合学習目標

包帯法と固定法の基礎について学習を行う。包帯の定義から包帯法の応用について授業を進める。固定法は晒包帯及び副子の基本の作成について実技を行う。

個別学習目標

頭で覚えるのではなく体で覚え、卒後研修の場で役立つ実技の習得を目指す。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することが	

できる。

授業計画

第1回	担当教員	桐林 俊彰 ガイダンス グループワーク
	内容	固定の目的・範囲・肢位、固定材料の種類 担当教員と助手（関・山川）にて実施する
第2回	担当教員	桐林 俊彰 巻軸帯の巻き方と注意事項・巻軸帯の巻き戻し
	内容	基本包帯法 1 巻軸帯の巻き方と巻き戻しの方法、環行帯、螺旋帯、蛇行帯、折転帯、亀甲帯（扇状帯）、麦穂帯 担当教員と助手（関・山川）にて実施する
第3回	担当教員	桐林 俊彰 基本包帯法 2
	内容	環行帯、螺旋帯、蛇行帯、折転帯、亀甲帯（扇状帯）、麦穂帯（人字帯、スパイカ巻）の巻き方 担当教員と助手（関・山川）にて実施する
第4回	担当教員	桐林 俊彰 冠名包帯法 1
	内容	デゾー包帯・ヴェルポー包帯・ジュール包帯の巻き方 担当教員と助手（関・山川）にて実施する
第5回	担当教員	桐林 俊彰 冠名包帯法 2
	内容	デゾー包帯・ヴェルポー包帯・ジュール包帯の巻き方 担当教員と助手（関・山川）にて実施する
第6回	担当教員	桐林 俊彰 冠名包帯法 3
	内容	デゾー包帯・ヴェルポー包帯・ジュール包帯の巻き方 担当教員と助手（関・山川）にて実施する
第7回	担当教員	桐林 俊彰 部位別包帯法1[頭部・顔面部]
	内容	複頭帯、単頭帯、二頭帯によるヒポクラテス帽子帯、投石帯の巻き方 担当教員と助手（関・山川）にて実施する
第8回	担当教員	桐林 俊彰 部位別包帯法2[肩部・肘部・前腕部・手関節部・手指部]
	内容	（上行麦穂帯・下行麦穂帯・亀甲帯・螺旋帯・折転帯・麦穂帯・被覆包帯法） 担当教員と助手（関・山川）にて実施する
第9回	担当教員	桐林 俊彰 部位別包帯法3[肩部・肘部・前腕部・手関節部・手指部]
	内容	（上行麦穂帯・下行麦穂帯・亀甲帯・螺旋帯・折転帯・麦穂帯・被覆包帯法） 担当教員と助手（関・山川）にて実施する
第10回	担当教員	桐林 俊彰 部位別包帯法4[股関節部・大腿部・膝関節部・下腿部]
	内容	（上行麦穂帯・下行麦穂帯・亀甲帯・螺旋帯・折転帯・麦穂帯・被覆包帯法、三節帯） 担当教員と助手（関・山川）にて実施する
	担当教員	桐林 俊彰

第11回	員	部位別包帯法5[足関節部・足指部・胸部・背部]
	内容	(上行麦穂帯・下行麦穂帯・亀甲帯・螺旋帯・折転帯・麦穂帯・被覆包帯法、三節帯) 担当教員と助手(関・山川)にて実施する
第12回	担当教員	桐林 俊彰 三角巾による提肘、さらしによる固定
	内容	三角巾による提肘方法とさらしによる体幹の固定方法 担当教員と助手(関・山川)にて実施する
第13回	担当教員	桐林 俊彰 固定材料の作成と固定例
	内容	金属副子を利用した固定法 担当教員と助手(関・山川)にて実施する
第14回	担当教員	桐林 俊彰 包帯法の総まとめ
	内容	2回から11回までの包帯法を総復習する 担当教員と助手(関・山川)にて実施する
第15回	担当教員	桐林 俊彰 まとめ・総括
	内容	今まで行った包帯、固定のテストを実施し、解説を行う。 担当教員と助手(関・山川)にて実施する

評価方法とフィードバック方法

定期実技試験70点(70%)

授業毎の習熟度、理解度(30%)

フィードバック方法についてはテスト終了後にフィードバック及び、クラスルーム内にて説明を掲示する。授業毎の習熟度は包帯の課題評価を行い、その都度フィードバックを行う。

教科書

全国柔道整復学校協会監修教科書 包帯固定学 改訂第2版(公社)全国柔道整復学校協会 監修/編

定価 2,750円(本体 2,500円+税10%)

オフィスアワー

適宜受け付ける

実務経験の有無

この科目は診療所で柔道整復師としての実務経験のある教員が、将来柔道整復師として現場に出た際に必要な知識と実技能力を身につけることを目的に行っている科目です。

その他

遅刻と早退を3回すると、1回欠席した扱いとする。

必要に応じて参考資料を配布する。

授業では、必ず包帯固定学の教科書を持参すること。

臨床に相応しい服装(ピアス、指輪、アクセサリーはしない事)、容姿・言動に留意する事。
必ず白衣を着用する事。

個人の固定材料(巻軸包帯、三角巾、ハサミ等)は適時持参する事。

実技演習が多く、席を指定する場合もある。

授業のメインは主担当である桐林が実施する。副担当者は随時席を巡回し、授業の円滑な進行を促す。

講義コード	5207801
講義名	東洋医療論
(副題)	
代表ナンバリングコード	52L04-2052FE-00
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	2
必修/選択	選択
担当教員	

氏名

石丸 圭荘

総合学習目標

東洋医学を応用した物理療法（刺激療法）について科学的根拠 evidence-based medicine (EBM) に基づいた恒常性機能活性，内臓体性反射，下行性疼痛抑制理論などを実践する東洋医療論について理解する。特に刺激療法には経絡・経穴を応用した低周波療法（silver spike point：SSP療法），低反応レベルレーザー療法，干渉波療法，ストレッチやマッサージなどがあり，各刺激で誘発する内因性鎮痛物質エンドルフィン類の関与などを理解して柔道整復・スポーツトレーナー技術に応用できる知識と技術を習得する。さらに，整形外科やペインクリニックで行われる神経ブロック点に対する東洋医学を応用した刺激療法の理論と技術を理解する。整復医療・トレーナー学科：DP4

個別学習目標

1. 柔道整復・スポーツトレーナーに応用できる東洋医学の実践的理論と実際を説明できる。
2. 東洋医学診断・治療理論を理解し実践ができる。

準備学修

解剖学（神経系）の基礎知識などの指定したテーマについてまとめておくこと（30分）。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	○
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	

【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	◎
--	---

授業計画

第1回	担当 教員	石丸 圭荘 東洋医療論（総論）
	内容	東洋医療論講義の概要と到達目標について
第2回	担当 教員	石丸 圭荘 東洋医療論・診察
	内容	検査機器を使用しない東洋医療の診察法について
第3回	担当 教員	石丸 圭荘 東洋医療論・治療
	内容	東洋医療を応用した治療法について
第4回	担当 教員	石丸 圭荘 東洋医療を応用した低周波療法（silver spike point；SSP療法）の実際
	内容	東洋医療を応用した低周波療法（silver spike point；SSP療法）の実際について理解する。
第5回	担当 教員	石丸 圭荘 東洋医療を応用した疼痛抑制理論
	内容	東洋医療を応用した低周波療法などの疼痛抑制理論について学習する。
第6回	担当 教員	石丸 圭荘 東洋医療を応用した自律神経反射理論
	内容	東洋医療を応用した自律神経反射理論による血流血管反応について学習する。
第7回	担当 教員	石丸 圭荘 東洋医療を応用した低反応レベルレーザー療法の実際
	内容	東洋医療を応用した光線療法・低反応レベルレーザー療法について学習する。
第8回	担当 教員	石丸 圭荘 東洋医療の実践①神経ブロック理論を応用した痛みの治療
	内容	東洋医学を背景とする刺激療法の実際①神経ブロック理論を応用した痛みの治療法について学習する。
第9回	担当 教員	石丸 圭荘 東洋医療の実践②神経ブロック理論を応用した顔面痛の治療
	内容	東洋医学を背景とする刺激療法の実際①神経ブロック理論を応用した顔面痛の治療法について学習する。
第10回	担当 教員	石丸 圭荘 東洋医療の実践③神経ブロック理論を応用した肋間神経痛の治療
	内容	東洋医学を背景とする刺激療法の実際①神経ブロック理論を応用した肋間神経痛の治療法について学習する。
第11回	担当 教員	石丸 圭荘 東洋医療の実践④神経ブロック理論を応用した頸肩痛の治療
	内容	東洋医学を背景とする刺激療法の実際①神経ブロック理論を応用した頸肩痛の治療法について学習する。
第12回	担当 教員	石丸 圭荘 東洋医療の実践⑤神経ブロック理論を応用した腰下肢痛の治療
	内容	東洋医学を背景とする刺激療法の実際①神経ブロック理論を応用した肋間神経痛の治療法について学習する。
第13回	担当 教員	石丸 圭荘 東洋医療の実践⑥神経ブロック理論を応用した膝痛の治療

	内容	東洋医学を背景とする刺激療法の実際①神経ブロック理論を応用した膝痛の治療法について学習する。
第14回	担当 教員	石丸 圭荘 東洋医療と高齢者の健康維持管理
	内容	東洋医療を応用した高齢者の健康維持管理について学習する。
第15回	担当 教員	石丸 圭荘 まとめ
	内容	講義実習の総括

評価方法とフィードバック方法

レポート30点（30%）、定期試験70点（70%）合計100点（100%）で総合評価する。
レポート・定期試験は解説・講評する。

教科書

教科書の指定なし、配布資料を中心に学習する。

参考書

参考書『東洋医学を応用した刺激療法の実際』著者石丸圭荘・他 出版社：医歯薬出版 定価3400円

オフィスアワー

12時15分から13時、5階研究室（図書館長室）

実務経験の有無

この科目は病院での実務経験のある教員が、その実務経験を活かして、東洋医療の基本的な知識と治療法について指導を行う科目です。

その他

東洋医学を応用した物理療法（刺激療法）について学ぶ科目ですが実技をメインとした授業を行います。

オフィスアワーを利用した質問は、水曜日を除いて5階研究室3522号室まで。

また、講義は主として電子媒体power pointおよびプリント資料にて行う。受講者は学習目標の到達に向けて予習・復習が必要です。

担当教員実務経験の有無，有

講義コード	5207901
講義名	スポーツコンディショニング論 ^I
(副題)	(実習を含む)
代表ナンバリングコード	52L04-3053FE-00
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	3
必修/選択	選択

担当教員

氏名	越田 専太郎
----	--------

総合学習目標

コンディショニングとは、最高の競技パフォーマンスを実現するために、身体的な側面だけではなく心理的側面も含めた全ての要素を最適な状態にすることである。コンディショニングの基礎となる理論や、様々な目的に応じた実際的手法を学修する

個別学習目標

- ① コンディショニングの概念、意義、目的を理解できる
- ② コンディショニングを崩す要因（身体、環境、心理）およびその主観的・客観的評価手法を理解できる
- ③ コンディショニングの基本的技能を習得できる
- ④ フィールドテストのデータを基にニーズ分析を実施し、プログラミングができるようになる
- ⑤ 主観的・客観的コンディション指標の揭示データを分析・評価し問題点を抽出できる

準備学修

2年次開講のスポーツトレーニング概論・スポーツトレーニング各論の内容で、特にスポーツ科学に関わる部分について、準備学修を行うこと（60分）。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	○
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者とな	

ると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	○

授業計画

第1回	担当 教員	越田 専太郎 コースガイダンス
	内容	授業の進行、評価、プロジェクトの内容と進め方、レポート、プレゼンテーションの内容や評価に関する説明を行う
第2回	担当 教員	越田 専太郎 トレーニング負荷のモニタリング
	内容	本講義では、トレーニング時に加わる外的負荷と内的負荷の各種評価指標および具体的なモニタリング手法について学修する。
第3回	担当 教員	越田 専太郎 コンディションのモニタリング
	内容	本講義では、コンディションの主観的・客観的評価指標および具体的なモニタリング方法について学修する。
第4回	担当 教員	越田 専太郎 リカバリー
	内容	本講義では、リカバリーの基礎理論および実践方法について学修する。具体的には、睡眠、栄養摂取、温冷水浴、圧迫など各種リカバリーの理論的背景および具体的な実施方法に焦点をあてる。
第5回	担当 教員	越田 専太郎 コンディショニングと外的環境
	内容	本講義では、暑熱環境、寒冷環境および高所環境での身体運動によって生じる生理的变化およびコンディション不良を予防するための具体的な方略について学修する。
第6回	担当 教員	越田 専太郎 フィールドにおけるデータの分析
	内容	本講義では、トレーニングやコンディショニングデータの分析手法について、具体的な手法をグループワークを通して学修する。B
第7回	担当 教員	越田 専太郎 トレーニングやコンディショニングデータの評価と解釈
	内容	本講義では、トレーニングやコンディショニングデータの評価と解釈について、具体的な手法をグループワークを通して学修する。B
	担当	越田 専太郎

第8回	教員	筋力・筋パワー・筋持久力の測定
	内容	本講義では、フィールドにおける筋力・筋パワー・筋持久力の測定手法について、グループワークを通して学修する。B
第9回	担当教員	越田 専太郎 実技：機器を用いた筋力・筋パワー・筋持久力測定の実際
	内容	本講義では、簡易的な機器を用いて実施する筋力・筋パワー・筋持久力の測定を、実技を通して学修する。B
第10回	担当教員	越田 専太郎 実技：フィールドでの筋力・筋パワー・筋持久力測定の実際
	内容	本講義では、フィールドで実施する筋力・筋パワー・筋持久力データの測定を、実技を通して学修する。B
第11回	担当教員	越田 専太郎 筋力・筋パワー・筋持久力データの分析と評価
	内容	本講義では、実測した筋力・筋パワー・筋持久力データの分析・評価を、グループワークを通して学修する。B
第12回	担当教員	越田 専太郎 実技：フィールドでのアジリティー・バランス能力の測定
	内容	本講義では、フィールドにおけるアジリティー・バランス能力の測定手法について、グループワークを通して学修する。B
第13回	担当教員	越田 専太郎 実技：フィールドでのアジリティ・バランス能力の測定の実際
	内容	本講義では、フィールドで実施するアジリティ・バランス能力の測定を、実技を通して学修する。B
第14回	担当教員	越田 専太郎 アジリティー・バランスデータの分析と評価
	内容	本講義では、実測したアジリティ・バランスデータの分析・評価を、グループワークを通して学修する。B
第15回	担当教員	越田 専太郎 授業内まとめと解説
	内容	本講義では、本コース全体の学習成果を筆記テストによって評価し、理解度を確認する。さらに、講義全体の内容を整理する。

評価方法とフィードバック方法

講義内小テスト（50%）、授業内期末テスト（50%）にて評価・判定する。講義内小テストは授業内で解説する。

教科書

教科書の指定はなし

講義内およびGoogle Classroomを通して講義資料を紙媒体および電子媒体の両方で配布する。

参考書

1. 公認アスレティックトレーナー専門科目⑥ 予防とコンディショニング (公財) 日本スポーツ協会 2,900円
2. NSCA決定版 ストレングストレーニング&コンディショニング 第四版 Gregory Haff, Travis Triplett編, 篠田邦彦総監修, ブックハウスHD 12,000円+税

オフィスアワー

水曜日・3限・506研究室 Google Classroomを通したDMによる質問は随時受け付ける。

実務経験の有無

教員のアスレティックトレーナーおよびストレングストレーニングコーチの経験を活かして、学生が筋力トレーニングや外傷予防に関する最新の研究と理論を具体的なトレーニングプログラムや予防策に活かせるような教育を提供する

その他

スポーツトレーニング概論, スポーツトレーニング各論の内容について十分に理解していることが望ましい。

履修人数、天候や感染症の状況によってメディア講義を組み合わせる場合がある

クラスルーム

<https://classroom.google.com/c/NjU4MTA4NDIzNzQ1?cjc=ru6ee76>

講義コード	5208001
講義名	スポーツコンディショニング論II
(副題)	(実習を含む)
代表ナンバリングコード	52L04-3054SE-00
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	3
必修/選択	選択

担当教員

氏名

越田 専太郎

総合学習目標

コンディショニングとは、最高の競技パフォーマンスを実現するために全ての要素を最適な状態にすることである。様々な目的に応じた各種コンディショニング手法について、理論とともに指導法やプログラミングについて学修する。

個別学習目標

本講義では、以下の4項目の個別学習目標を設定する。

- ① 筋力、パワーを高めるトレーニングの方法を理解し、実践および指導できる
- ② 爆発的筋力を高めるトレーニングの方法を理解し、実践および指導できる
- ③ 敏捷性、協調性を高めるトレーニングの方法を理解し、実践および指導できる
- ④ ウォームアップや自重を用いたホームエクササイズプログラミングを実践できる

準備学修

2年次開講のスポーツトレーニング概論・スポーツトレーニング各論の内容で、特にスポーツ科学に関わる部分について、準備学修を行うこと（60分）。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	◎
DP3	

【整復医療・トレーナー学科 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。

【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。

◎

授業計画

第1回	担当 教員	越田 専太郎 コースガイダンス
	内容	授業課題、グループワークの内容や進め方、授業評価に関して理解する
第2回	担当 教員	越田 専太郎 ウォームアップの実践
	内容	本講義では、ウォームアップの生理学的背景および具体的なプログラムについて学修する。また、パフォーマンスや外傷・障害予防との関連についての研究知見についても学ぶ。B
第3回	担当 教員	越田 専太郎 自重エクササイズの実践
	内容	本講義では、自重エクササイズの様々なプログラムについて実技を通して学修する。B
第4回	担当 教員	越田 専太郎 柔軟性トレーニングの実践
	内容	本講義では、ストレッチングやモビリティエクササイズを、実技を通して学修する。グループワークで学習者間の観察・フィードバックも実施する。B
第5回	担当 教員	越田 専太郎 アジリティトレーニングの実践
	内容	本講義では、アジリティのエクササイズを、実技を通して学修する。グループワークで学習者間の観察・フィードバックも実施する。B
第6回	担当 教員	越田 専太郎 プライオメトリクストレーニングの実践
	内容	本講義では、プライオメトリクスのエクササイズを、実技を通して学修する。グループワークで学習者間の観察・フィードバックも実施する。B
第7回	担当 教員	越田 専太郎 筋力トレーニング指導の理論
	内容	本講義では、筋力トレーニング指導に必要な生理学的背景、様々なプログラムとそのトレーニング効果について学修する。また、研究知見についても整理する。
	担当	越田 専太郎

第8回	教員	筋力トレーニング指導の実践（下肢・体幹）
	内容	本講義では、下肢の筋力トレーニングエクササイズおよびその補助動作を実技を通して学修する。グループワークで、学習者間の観察・フィードバックも実施する。B
第9回	担当教員	越田 専太郎 筋力トレーニング指導の実践（上肢）
	内容	本講義では、上肢の筋力トレーニングエクササイズおよびその補助動作を実技を通して学修する。グループワークで、学習者間の観察・フィードバックも実施する。B
第10回	担当教員	越田 専太郎 クイックリフトの準備エクササイズ
	内容	本講義では、クイックリフトの準備エクササイズを、実技を通して学修する。グループワークで学習者間の観察・フィードバックも実施する。B
第11回	担当教員	越田 専太郎 クイックリフトの派生エクササイズ
	内容	本講義では、クイックリフトの派生エクササイズを、実技を通して学修する。グループワークで学習者間の観察・フィードバックも実施する。B
第12回	担当教員	越田 専太郎 クイックリフトの実践（クリーン）
	内容	本講義では、クリーン動作を実技を通して学修する。グループワークで、学習者間の観察・フィードバックも実施する。B
第13回	担当教員	越田 専太郎 クイックリフトの実践（ジャーク）
	内容	本講義では、ジャーク動作を実技を通して学修する。グループワークで、学習者間の観察・フィードバックも実施する。B
第14回	担当教員	越田 専太郎 講義内容のレビューと理論に関する知識の確認
	内容	本コースで学習した知識の理解を確認する。また、教員からのフィードバックを通して、到達度を理解する
第15回	担当教員	越田 専太郎 講義内容のレビューとエクササイズ技術の確認
	内容	本コースで学習したリフティング技術を確認する。また、教員からのフィードバックを通して、到達度を理解する

評価方法とフィードバック方法

授業内テスト（50%）、実技テスト（50%）を総合して判定する。授業内テストの内容は講義

内で解説する。また、知識の理解および技術の到達度についてはgoogle classroomにおいてフィードバックを与える

教科書

講義内およびGoogle Classroomを通して講義資料を紙媒体および電子媒体の両方で配布する。

参考書

1. 公認アスレティックトレーナー専門科目⑥ 予防とコンディショニング (公財) 日本スポーツ協会 2,900円
2. NSCA決定版 ストレングストレーニング&コンディショニング 第四版 Gregory Haff & Travis Triplett 編, 篠田邦彦総監修, ブックハウスHD 12,000円 (税別)
3. 全米ストレングス&コンディショニング協会編 岡田純一監修 NSCAレジスタンストレーニングのためのエクササイズテクニックマニュアル第3版 3,000円 (税別)

オフィスアワー

水曜日・3限・506研究室

実務経験の有無

教員のアスレティックトレーナーおよびストレングストレーニングコーチの経験を活かして、学生が筋力トレーニングや外傷予防に関する最新の研究と理論を具体的なトレーニングプログラムや予防策に活かせるような教育を提供する

その他

1. スポーツコンディショニング論IとIIを共に履修することが望ましい。
2. スポーツトレーニング概論, スポーツトレーニング各論の内容について十分に理解していることが望ましい。
3. 履修人数や感染症や台風などの天候状況によってメディア授業を組み込む場合がある。
4. 履修人数によって授業進行に変更が生じる可能性がある。

クラスルーム

<https://classroom.google.com/c/NjU4MTIxODE5ODU0?cjc=fx6fyce>

講義コード	5208101
講義名	アスレティックリハビリテーション ¹
(副題)	(実習を含む)
代表ナンバリングコード	
講義開講時期	前期
講義区分	実習
基準単位数	1
時間	45.00
対象学年	3
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

岡村 知明

上岡 尚代

角田 佳貴

桑井 太陽

総合学習目標

リハビリテーションとは「再び環境に適合させる」という意味を持つ。本科目では、アスリートにおける整形外科的問題を解決する為のアスレティックリハビリテーションの意義、目的を理解し、実践するにあたって必要となる基礎理論を学ぶ。また、復帰後の競技者の外傷予防についても学ぶ。

個別学習目標

1. アスレティックリハビリテーションの概念を理解する。
2. 各腫傷害について理解する。
3. アスレティックリハビリテーションで用いられる各種治療方法の基礎理論を理解する。
4. 機能評価に基づいた根拠あるアスレティックリハビリテーションプログラムが作成できるようになる。
5. 競技に復帰した競技者が再び外傷を負わないためのアスレティックリハビリテーションについて学ぶ。

準備学修

解剖学や運動学で学んだ運動器について事前に復習しておくこと (30分)

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学	○

力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	○
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	○
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	○

授業計画

第1回	担当 教員	岡村 知明 角田 佳貴 ・アスレティックリハビリテーションとは ・アスレティックリハビリテーションに必要な運動生理学の基礎知識①
	内容	1. アスレティックリハビリテーションについて 2. 運動生理学の基礎知識 1) 運動が生体に与える影響 2) 運動とエネルギー代謝
第2回	担当 教員	岡村 知明 角田 佳貴 アスレティックリハビリテーションに必要な運動生理学の基礎知識②
	内容	1. 運動生理学の基礎知識 3) 運動と骨・筋肉 4) 運動と呼吸・循環
第3回	担当 教員	岡村 知明 角田 佳貴 アスレティックリハビリテーションに必要な運動生理学の基礎知識③、競技者の障害予防についての概論
	内容	1. 運動生理学の基礎知識 5) 運動とホルモン 6) 競技者の運動生理学的特徴 2. 競技者の外傷予防の概要 3. 外傷の発生要因 4. 外傷の予防対策
	担当 教員	岡村 知明 角田 佳貴 競技者の外傷予防のための技能①
		1. 全身関節弛緩性テスト 2. 筋タイトネステスト

第4回	内容	<ul style="list-style-type: none"> 3. アライメント測定 4. アイシングの方法と実際 5. ストレッチングの方法と実際 6. スポーツマッサージの方法と実際 7. スポーツテーピングの方法と実際 8. 外傷予防に必要な筋力トレーニングの実際
第5回	担当 教員	角田 佳貴 岡村 知明 柔道における肩関節の外傷予防とアスレティックリハビリテーション (1)
	内容	<ul style="list-style-type: none"> 1. 柔道における肩関節脱臼の機序 2. 情報収集・評価 3. リスク管理 4. 問題点の抽出とプログラム作成 5. 肩関節の外傷に対する初期～競技復帰直前までのアスレティックリハビリテーションの知識
第6回	担当 教員	角田 佳貴 岡村 知明 柔道における肩関節の外傷予防とアスレティックリハビリテーション (2)
	内容	<ul style="list-style-type: none"> 1. 初期アスレティックリハビリテーションの実際 2. コンタクト開始前のアスレティックリハビリテーションの実際 3. コンタクト開始後のアスレティックリハビリテーションの実際 4. 復帰直前のアスレティックリハビリテーションの実際 5. その他の競技における肩関節脱臼のアスレティックリハビリテーションの実際
第7回	担当 教員	岡村 知明 角田 佳貴 水泳における体幹の傷害予防とアスレティックリハビリテーション (1)
	内容	<ul style="list-style-type: none"> 1. スポーツにおける腰部障害について 2. 情報収集・評価 3. リスク管理 4. 問題点の抽出とプログラム作成 5. 柔軟性回復、筋力向上の方法などを含んだ水泳における体幹の傷害予防とアスレティックリハビリテーションの知識
	担当 教員	岡村 知明 角田 佳貴 水泳における体幹の傷害予防とアスレティックリハビリテーション (2)
		<ul style="list-style-type: none"> 1. 柔軟性と体幹の傷害

第8回	内容	<p>2. 柔軟性回復によるアスレティックリハビリテーションの実際</p> <p>3. 筋力と体幹の傷害</p> <p>4. 筋力向上によるアスレティックリハビリテーションの実際</p> <p>5. 水中競技（競泳・飛び込み・アーティスティックスイミング・水球）</p> <p>6. その他の競技の体幹の傷害</p>
第9回	担当 教員	<p>角田 佳貴 岡村 知明 バスケットボールにおける膝関節の外傷予防とアスレティックリハビリテーション（ACL損傷、MCL損傷など）（1）</p>
	内容	<p>1. スポーツにおける膝関節の外傷について</p> <p>2. 情報収集・評価</p> <p>3. リスク管理</p> <p>4. 問題点の抽出とプログラム作成</p> <p>5. 膝関節の外傷に対する初期～競技復帰直前までのアスレティックリハビリテーションの知識</p>
第10回	担当 教員	<p>角田 佳貴 岡村 知明 バスケットボールにおける膝関節の外傷予防とアスレティックリハビリテーション（ACL損傷、MCL損傷など）（2）</p>
	内容	<p>1. 初期アスレティックリハビリテーションの実際</p> <p>2. ランニング開始前のアスレティックリハビリテーションの実際</p> <p>3. ランニング開始後のアスレティックリハビリテーションの実際</p> <p>4. 復帰直前のアスレティックリハビリテーションの実際</p> <p>5. その他の競技における膝関節外傷のアスレティックリハビリテーションの実際</p>
第11回	担当 教員	<p>角田 佳貴 岡村 知明 バスケットボールにおける膝関節の外傷予防とアスレティックリハビリテーション（ACL損傷、MCL損傷など）（3）</p>
	内容	<p>1. ランニング開始後のアスレティックリハビリテーションの実際</p> <p>2. 復帰直前のアスレティックリハビリテーションの実際（ジャンプトレーニングも含む）</p> <p>3. その他の競技における膝関節外傷のアスレティックリハビリテーションの実際</p>
12	担当 教員	<p>角田 佳貴 岡村 知明 サッカーにおける下腿・足関節の外傷予防とアスレティックリハビリテーション（1）</p>
		<p>1. スポーツにおける下腿・足関節の外傷について</p> <p>2. 情報収集・評価</p>

第 回	内容	<p>3. リスク管理</p> <p>4. 問題点の抽出とプログラム作成</p> <p>5. 足関節の外傷に対する初期～競技復帰直前までのアスレティックリハビリテーションの知識</p>
第13回	担当 教員	<p>角田 佳貴 岡村 知明 サッカーにおける下腿・足関節の外傷予防とアスレティックリハビリテーション (2)</p>
	内容	<p>1. 初期アスレティックリハビリテーションの実際</p> <p>2. ランニング開始前のアスレティックリハビリテーションの実際</p> <p>3. ランニング開始後のアスレティックリハビリテーションの実際</p> <p>4. 復帰直前のアスレティックリハビリテーションの実際</p> <p>5. その他の競技における足関節外傷のアスレティックリハビリテーションの実際</p>
第14回	担当 教員	<p>角田 佳貴 岡村 知明 サッカーにおける下腿・足関節の外傷予防とアスレティックリハビリテーション (3)</p>
	内容	<p>1. ランニング開始後のアスレティックリハビリテーションの実際</p> <p>2. 復帰直前のアスレティックリハビリテーションの実際 (アジリティトレーニングも含む)</p> <p>3. その他の競技における足関節外傷のアスレティックリハビリテーションの実際</p>
第15回	担当 教員	<p>角田 佳貴 岡村 知明 頸椎捻挫へのアスレティックリハビリテーション (1)</p>
	内容	<p>1. スポーツにおける頸椎捻挫について</p> <p>2. 情報収集・評価</p> <p>3. リスク管理</p> <p>4. 問題点の抽出とプログラム作成</p> <p>5. 頸椎捻挫に対する初期～競技復帰直前までのアスレティックリハビリテーションの知識</p>
第16回	担当 教員	<p>角田 佳貴 岡村 知明 頸椎捻挫へのアスレティックリハビリテーション (2)</p>
	内容	<p>1. 初期アスレティックリハビリテーションの実際</p> <p>2. あたり開始前のアスレティックリハビリテーションの実際</p> <p>3. あたり開始後のアスレティックリハビリテーションの実際</p>

		4. 復帰直前のアスレティックリハビリテーションの実際
第17回	担当 教員	角田 佳貴 岡村 知明 膝非外傷性疾患へのアスレティックリハビリテーション (1)
	内容	1. スポーツにおける膝非外傷性疾患について 2. 情報収集・評価 3. リスク管理 4. 問題点の抽出とプログラム作成 5. 膝非外傷性疾患に対する初期～競技復帰直前までのアスレティックリハビリテーションの知識
第18回	担当 教員	角田 佳貴 岡村 知明 膝非外傷性疾患へのアスレティックリハビリテーション (2)
	内容	1. 初期アスレティックリハビリテーションの実際 2. ランニング開始前のアスレティックリハビリテーションの実際 3. ランニング開始後のアスレティックリハビリテーションの実際 4. 復帰直前のアスレティックリハビリテーションの実際
第19回	担当 教員	岡村 知明 角田 佳貴 成長期の外傷予防 (1)
	内容	1. オズグッド・シュラッター病の外傷予防 2. オズグッド・シュラッター病の発生メカニズム
第20回	担当 教員	岡村 知明 岡村 知明 成長期の外傷予防 (2)
	内容	1. オズグッド・シュラッター病の外傷予防の立案 2. オズグッド・シュラッター病の外傷予防対策
第21回	担当 教員	岡村 知明 角田 佳貴 物理療法に関する基礎知識 (1)
	内容	1. 物理療法学概論 2. 温熱療法 3. 寒冷療法 4. 電気刺激療法 5. 超音波療法
第22回	担当 教員	岡村 知明 角田 佳貴 物理療法に関する基礎知識 (2)
		1. 徒手療法の基礎知識 2. 徒手療法の実際

	内容	3. 補助具療法の基礎知識 4. 装具療法の実際
第23回	担当 教員	岡村 知明 角田 佳貴 総まとめ
	内容	これまで学習した内容を元に、提示された課題に対するアスレティックリハビリテーションプログラムを作成する

評価方法とフィードバック方法

「評価方法」：定期試験100点（100％）で評価する
「フィードバック方法」：Classroomに正解を掲載する

教科書

配布プリントを用いる。

参考書

- 書名：公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑦アスレティックリハビリテーション
著者・編集者：公益財団法人日本スポーツ協会 出版社：同左 定価：3, 300（税込）
- 書名：競技者の外傷予防
著者：小林直行、高橋康輝 監修：公益財団法人全国柔道整復学校協会 出版社：医歯薬出版株式会社 定価：2, 600円+税

オフィスアワー

岡村：月曜日、3限、548教員研究室
角田：月曜日、3限、整復医療・トレーナー学科助教・助手室

実務経験の有無

この科目は柔道整復師とアスレティックトレーナーの実務経験を有する教員がその実務経験を活かし、実践的教育を行っている科目です。

その他

本講義は1名の教員が講義を行い、もう1名の教員が教室を巡回し学生からの質問対応や実技の指導を行う

アスレティックリハビリテーションIとIIを両方履修することが望ましい。

実技の内容も含むので運動できる服装で受講すること。

講義コード	5208201
講義名	アスレティックリハビリテーションII
(副題)	(実習を含む)
代表ナンバリングコード	
講義開講時期	後期
講義区分	実習
基準単位数	1
時間	45.00
対象学年	3
必修/選択	選択
担当教員	

氏名
岡村 知明
角田 佳貴

総合学習目標

リハビリテーションとは「再び環境に適合させる」という意味を持つ。本科目では、アスリートにおける整形外科的問題を解決する為のアスレティックリハビリテーションの意義、目的を理解し、実践するにあたって必要となる基礎理論を学ぶ。

個別学習目標

1. アスレティックリハビリテーションの概念を理解する。
2. 各腫傷害について理解する。
3. アスレティックリハビリテーションで用いられる各種治療方法の基礎理論を理解する。
4. 機能評価に基づいた根拠あるアスレティックリハビリテーションプログラムが作成できるようになる。
5. 競技に復帰した競技者が再び外傷を負わないためのアスレティックリハビリテーションについて学ぶ。

準備学修

解剖学や運動学で学んだ運動器について事前に復習しておくこと (30分)

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	○
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	◎
DP3	

【整復医療・トレーナー学科 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	○
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	○
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	○

授業計画

第1回	担当 教員	岡村 知明 角田 佳貴 競技種目特性に基づいたアスレティックリハビリテーションプログラミング (1)
	内容	陸上選手に発生する大腿部、股関節部の傷害に対するアスレティックリハビリテーションプログラミングの実際①
第2回	担当 教員	岡村 知明 角田 佳貴 競技種目特性に基づいたアスレティックリハビリテーションプログラミング (2)
	内容	陸上選手に発生する大腿部、股関節部の傷害に対するアスレティックリハビリテーションプログラミングの実際②
第3回	担当 教員	角田 佳貴 岡村 知明 競技種目特性に基づいたアスレティックリハビリテーションプログラミング (3)
	内容	野球選手に発生する肩関節の傷害に対するアスレティックリハビリテーションプログラミングの実際①
第4回	担当 教員	岡村 知明 角田 佳貴 競技種目特性に基づいたアスレティックリハビリテーションプログラミング (4)
	内容	野球選手に発生する肩関節の傷害に対するアスレティックリハビリテーションプログラミングの実際②
第5回	担当 教員	角田 佳貴 岡村 知明 競技種目特性に基づいたアスレティックリハビリテーションプログラミング (5)
	内容	アメリカンフットボールやラグビー選手に発生する腰部の傷害に対するアスレティックリハビリテーションプログラミングの実際①
第6回	担当 教員	角田 佳貴 岡村 知明 競技種目特性に基づいたアスレティックリハビリテーションプログラミング (6)
	内容	アメリカンフットボールやラグビー選手に発生する腰部の傷害に対するアスレティックリハビリテーションプログラミングの実際②
第7回	担当 教員	岡村 知明 角田 佳貴 競技種目特性に基づいたアスレティックリハビリテーションプログラミング (7)
	内容	野球選手・テニス選手に発生する肘関節の非外傷性疾患に対するアスレティックリハビリテーションプログラミングの実際①

第8回	担当 教員	岡村 知明 角田 佳貴 競技種目特性に基づいたアスレティックリハビリテーションプログラミング (8)
	内容	野球選手・テニス選手に発生する肘関節の非外傷性疾患に対するアスレティックリハビリテーションプログラミングの実際②
第9回	担当 教員	角田 佳貴 岡村 知明 競技種目特性に基づいたアスレティックリハビリテーションプログラミング (9)
	内容	スキー・スケート競技で発生する傷害に対するアスレティックリハビリテーションプログラミングの実際①
第10回	担当 教員	角田 佳貴 岡村 知明 競技種目特性に基づいたアスレティックリハビリテーションプログラミング (10)
	内容	スキー・スケート競技で発生する傷害に対するアスレティックリハビリテーションプログラミングの実際①
第11回	担当 教員	岡村 知明 角田 佳貴 アスレティックリハビリテーションプログラムデザイン作成①
	内容	頸部、腰部疾患に対するアスレティックリハビリテーションの作成方法
第12回	担当 教員	角田 佳貴 岡村 知明 アスレティックリハビリテーションプログラムデザイン作成②
	内容	肩、肘関節疾患に対するアスレティックリハビリテーションの作成方法
第13回	担当 教員	岡村 知明 角田 佳貴 アスレティックリハビリテーションプログラムデザイン作成③
	内容	大腿部、膝、足関節疾患に対するアスレティックリハビリテーションの作成方法
第14回	担当 教員	岡村 知明 角田 佳貴 傷害別ケーススタディ①
	内容	グループワーク ケース設定 (オーバーユーズシンドローム)
第15回	担当 教員	岡村 知明 角田 佳貴 傷害別ケーススタディ②
	内容	発表とケースカンファレンス (オーバーユーズシンドローム)
第16回	担当 教員	角田 佳貴 岡村 知明 傷害別ケーススタディ③
	内容	グループワーク ケース設定 (オーバーユーズシンドローム)
第17回	担当 教員	角田 佳貴 岡村 知明 傷害別ケーススタディ④
	内容	発表とケースカンファレンス (オーバーユーズシンドローム)
第18回	担当 教員	岡村 知明 角田 佳貴 傷害別ケーススタディ⑤
	内容	グループワーク ケース設定 (オーバーユーズシンドローム)

第19回	担当 教員	岡村 知明 角田 佳貴 傷害別ケーススタディ⑥
	内容	発表とケースカンファレンス（オーバーユーズシンドローム）
第20回	担当 教員	角田 佳貴 岡村 知明 傷害別ケーススタディ⑦
	内容	グループワーク ケース設定（コリジョンスポーツ）
第21回	担当 教員	角田 佳貴 岡村 知明 傷害別ケーススタディ⑧
	内容	発表とケースカンファレンス（コリジョンスポーツ）
第22回	担当 教員	岡村 知明 角田 佳貴 傷害別ケーススタディ⑨
	内容	グループワーク ケース設定（コリジョンスポーツ）
第23回	担当 教員	岡村 知明 角田 佳貴 傷害別ケーススタディ⑩
	内容	発表とケースカンファレンス（コリジョンスポーツ）

評価方法とフィードバック方法

「評価方法」

- ・定期試験80点（80%）、グループワークの発表20点（20%）、合計100点（100%）で判定する

「フィードバック方法」

- ・定期試験：Classroomに正解を掲載する
- ・グループワーク発表：各グループ発表後、その都度講評する

教科書

配布資料を用いる。

参考書

1. 書名：公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑦アスレティックリハビリテーション
著者・編集者：公益財団法人日本スポーツ協会 出版社：同左 定価：3, 300（税込）

2. 書名：競技者の外傷予防

著者：小林直行、高橋康輝 監修：公益財団法人全国柔道整復学校協会 出版社：医歯薬出版株式会社 定価：2, 600円＋税

オフィスアワー

岡村：金曜日、4限、548教員研究室

角田：火曜日、3限、整復医療・トレーナー学科助教・助手室

実務経験の有無

この科目は柔道整復師とアスレティックトレーナーの実務経験を有する教員がその実務経験を活かし、実践的教育を行っている科目です。

その他

本講義は1名の教員が講義を行い、もう1名の教員が教室を巡回し学生からの質問対応や実技の指導を行う

アスレティックリハビリテーションIとIIを両方履修することが望ましい。

実技の内容も含むので運動できる服装で受講すること。

講義コード	5300101
講義名	生化学（栄養学を含む） [整]
(副題)	
代表ナンバリングコード	52L02-1055FE-00
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	選択
担当教員	

氏名

中島 琢磨

作田 雅子

総合学習目標

本講義では、生化学と栄養学のもっとも基礎的な知識の習得を目標とし、将来直面する治療効果や疾患・故障のメカニズムへの理解の欲求に対し、適切な情報にたどり着くための素養を身につけることを目的とする。

(背景)

人体部位を構成する組織や細胞が適切な刺激を受け取ると、代謝の改善や組織の修復・再構築が誘導される。理学療法目的は機能の回復であり、適切な療法・刺激によって目的が達成される。従って、人体組織の代謝や細胞レベルでの機能調節にかかわる基本知識は、リハビリテーションや整体法の根幹に関わると言っても過言ではない。また、優れたスポーツトレーナーとして人々の運動能力の向上をサポートする場合も、この知識が必須となってくる。生化学は、基礎医学の最も基本となる生命現象の原理を解き明かす学問である。

一方、栄養学は個々の細胞内で起こる化学反応；代謝のしくみを人体の恒常性維持のシステムに統合し、そのシステムを正常に働かせ、時に異常を起こしたシステムを正常化させるための材料；栄養とそのバランスや使い方について解き明かす学問である。従って、生化学の知識無しに基礎医学は理解できないし、栄養学なしには理学療法による回復メカニズムやトレーニングの効果を具体的に理解することはできない。とは言え、生化学も栄養学も膨大な知識の集大成であり、その両方を半期の講義で修得することはおろか、正しく網羅して把握することさえ不可能である。

個別学習目標

- ① 生命現象の基本である生体構成成分とその連続した化学反応；代謝について学び、理解する。
- ② 体内の物質循環と臓器組織により異なる代謝の役割分担について知る。
- ③ 代謝の起点となる摂取栄養物質について知る。
- ④ 栄養と生体構成成分の関係について知る。
- ⑤ 恒常性とその維持の仕組みについて知る。
- ⑥ 遺伝子の発現調節と栄養、恒常性の維持の関係について知る。

準備学修

この科目は中学・高校までの化学基礎（入学前課題の生物・化学用語集と人体の構造の内容を含む）の学習内容を理解していることが必須です。高校まで化学を学んでいなかった場合、必

入学前課題を復習して講義に臨んでください。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあつても国家資格を有用に活用できる。	○
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	○
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	◎

授業計画

第1回	担当 教員	中島 琢磨 生化学総論
	内容	物質に関する基礎知識と化学反応について復習し、生体の恒常性維持に重要な生化学の基礎知識を知る
第2回	担当 教員	中島 琢磨 代謝総論
	内容	生命現象の根幹である連続化学反応：代謝の基礎と生体維持に必須な細胞間情報伝達について学び理解する
第3回	担当 教員	中島 琢磨 酵素と補酵素（ビタミン・ミネラル）
	内容	消化や代謝を含むすべての生命現象に必須なタンパク質性触媒：酵素について学び理解する。
第4回	担当 教員	中島 琢磨 糖質代謝（1）
	内容	糖質についての基礎知識と糖質代謝について学び、糖質から精製する物質について知る。
第5回	担当 教員	中島 琢磨 糖質代謝（2）
	内容	糖質についての基礎知識と糖質代謝について学び、糖質から精製する物質について知る。
第6回	担当 教員	中島 琢磨 脂質代謝（1）
	内容	脂質についての基礎知識と脂質代謝について学び、脂質から生成する物質とその役割について知る。
	担当	中島 琢磨

第7回	教員	脂質代謝（2）
	内容	脂質についての基礎知識と脂質代謝について学び、脂質から生成する物質とその役割について知る。
第8回	担当教員	中島 琢磨 タンパク質とアミノ酸の代謝（1）
	内容	タンパク質とアミノ酸についての基礎知識とアミノ酸代謝について学び、アミノ酸から生成する物質とその役割について知る。
第9回	担当教員	中島 琢磨 タンパク質とアミノ酸の代謝（2）
	内容	タンパク質とアミノ酸についての基礎知識とアミノ酸代謝について学び、アミノ酸から生成する物質とその役割について知る。
第10回	担当教員	中島 琢磨 核酸・ヌクレオチドの代謝
	内容	核酸とヌクレオチドについての基礎知識とヌクレオチド代謝について学び、ヌクレオチドから生成する物質とその役割について知る。
第11回	担当教員	作田 雅子 栄養学（1）
	内容	5大栄養素の特徴と性質について知る
第12回	担当教員	作田 雅子 栄養学（2）
	内容	栄養との消化・吸収の過程について知る
第13回	担当教員	作田 雅子 栄養学（3）
	内容	エネルギーの生成に関わる代謝について学ぶ
第14回	担当教員	中島 琢磨 遺伝情報と疾患（1）
	内容	遺伝と遺伝子、遺伝子の発現に関する基礎知識を学び、代謝異常を始めとする疾患との関係について理解する
第15回	担当教員	中島 琢磨 遺伝情報と疾患（2）
	内容	遺伝と遺伝子、遺伝子の発現に関する基礎知識を学び、代謝異常を始めとする疾患との関係について理解する

評価方法とフィードバック方法

定期試験 80%、小テスト 20% 合計 100%

教科書

臨床生化学 ナーシンググラフィカ 人体の構造と機能② 第7版、宮澤恵二著、株式会社メディカ出版、ISBN978-4-8404-8155-7、2,700円+税

参考書

リハベーシック生化学・栄養学 医歯薬出版 内山靖・藤井浩美・立石雅子 編、医歯薬出版、2020年1月刊 2,970円+税

オフィスアワー

授業内容についての質問は授業中、授業後およびオフィスアワー（教員研究室）に受け付ける。
質問はメールでの質問も受け付けるが、メールはGoogle Classroomから送信すること。
オフィスアワー；火曜日と木曜日の昼休み、月曜日午後（13:00 - 16:00）

実務経験の有無

この科目の基礎医学部領域である生化学は、細胞の恒常性維持やがん化、抗ウイルスメカニズムなどの分子生物学的研究を行ってきた研究者が担当します。

この科目の栄養学は管理栄養士・公認スポーツ栄養士の資格を持つ教員が臨床経験や社会人チームや高校・大学生アスリートに対して栄養サポートを行った経験をもとに基本的な栄養学について講義を行っている科目です。

その他

小テストを適宜実施し、復習を促す。

講義コード	5300601
講義名	病理学概論
(副題)	
代表ナンバリングコード	52L02-3056FR-00
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	3
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

小林 槇雄

総合学習目標

病理学は、病因と病態を形態学的に解明する学問で、医療従事者にとり必須の知識である。機能が障害される原因と機序に関する理解を深め、整復医療とリハビリテーションの視点から、身体機能の低下や障害の原因、機能の回復と促進を図るための基礎知識を習得する。

個別学習目標

人体における恒常性の破綻を、病因別に分類された基本型（細胞傷害、循環障害、炎症、免疫異常、腫瘍）について学び、その知識をもとに、病態形成の基本的な仕組みを理解し、説明できる。

主要な運動器疾患（感染性疾患、骨・軟部腫瘍、骨関節疾患）について、理解し、説明できる。

準備学修

事前学習として、教科書の指定されたテーマに関して、専門用語の意味を調べておくこと（30分）

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	○
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	

【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。

授業計画

第1回	担当教員	小林 槇雄 病理学とは、疾病の一般
	内容	病理学の体系 病理学の方法 病理診断 疾病の分類、症候と徴候 疾病の経過、予後、転帰
第2回	担当教員	小林 槇雄 細胞の傷害 (1)
	内容	細胞傷害 (萎縮、変性)
第3回	担当教員	小林 槇雄 細胞傷害 (2)
	内容	代謝障害と疾病、糖尿病、細胞死 (壊死とアポトーシス)
第4回	担当教員	小林 槇雄 循環障害 (1)
	内容	充血、うっ血、虚血 出血
第5回	担当教員	小林 槇雄 循環障害 (2)
	内容	血栓症、塞栓症 梗塞 浮腫ないし水腫 血圧の異常 (高血圧と低血圧)
第6回	担当教員	小林 槇雄 退行生病変、細胞・組織の適応
	内容	肥大、過形成 再生、化生 創傷治癒 移植
第7回	担当教員	小林 槇雄 炎症
	内容	炎症の原因と組織変化、5徴候 化学伝達物質、炎症の分類 (滲出性炎、増殖性炎、特異性炎)
第8回	担当教員	小林 槇雄 免疫異常、アレルギー (1)
	内容	免疫機構、免疫不全、自己免疫病
第9回	担当教員	小林 槇雄 免疫異常、アレルギー (2)
	内容	アレルギーの5型
第10回	担当教員	小林 槇雄 腫瘍 (1)
	内容	腫瘍の概念、腫瘍の形態 腫瘍マーカー、腫瘍の発育過程
第11回	担当教員	小林 槇雄 腫瘍 (2)
	内容	発癌学説、腫瘍の分類 (良性、悪性) 主要な、
第12回	担当教員	小林 槇雄 先天性異常
	内容	遺伝と疾患、奇形の原因
第13回	担当教員	小林 槇雄 病因
	内容	内因と外因 (物理的、化学的、生物学的因子)
第14回	担当教員	小林 槇雄 運動器の病理
	内容	感染性疾患 (骨髄炎) 骨・軟部腫瘍

第15回	担当教員	小林 槇雄 運動器の病理 (2)
	内容	骨関節疾患、骨端症、神経麻痺 全身性神経・筋疾患

評価方法とフィードバック方法

定期試験により評価する。

教科書

テキスト
病理学概論 改訂第3版
関根一原著
医歯薬出版 2020年

参考文献

適宜プリントを配布する。

参考書

参考文献

適宜プリントを配布する。

オフィスアワー

質問は授業の前後で受け付ける。

講義コード	5301201
講義名	柔道のこころと技
(副題)	
代表ナンバリングコード	52P02-4057YR-00
講義開講時期	通年
講義区分	実技
基準単位数	2
時間	60.00
対象学年	4
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

山田 利彦

金丸 雄介

長谷川 龍成

総合学習目標

柔道整復師として必須とされる柔道の素養を十分に身につけ、その技術的側面のみならず柔道に内在する教育的側面の理解、会得を目標とする。併せて柔道の創始者である嘉納治五郎師範が提唱された「精力善用」、「自他共栄」の精神を理解した上で、その実践に鋭意努力することを強く奨励する。また「投の形」を習得させ、柔道の一般的技術の向上と同時に希望者に初段習得を目指す。

実技においては3つのグループに分けて、3名の教員が1グループずつ交互に担当し、安全且つ効率よく学生により良い指導を行えるよう進める(受講人数によってグループ数は調整する)。

ディプロマポリシー：整復DP1-①②・DP2-①・DP3-①②・DP4①

個別学習目標

①柔道に内在する「精力善用」、「自他共栄」の精神を理解し、心身の力の最有効活用、及び自己の尊厳、他者(相手)への感謝の気持ちの重要性を学び、日常生活で活用できる

②柔道のルール(国際柔道連盟試合審判規定)の知識を得る

③一般的な柔道の技術(乱取の技術)を理解し、実践できる

④「投の形」を理解し、実践できる

⑤受身の更なる習熟により、実生活でも活用できるレベルに達する

⑥初段の取得(希望者のみ)

ディプロマポリシー

◎：強く該当する
○：該当する
選択なし：該当しない

【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあつても国家資格を有効に活用できる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	○
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	◎

授業計画

第1回	担当教員	山田 利彦 金丸 雄介 長谷川 龍成 授業ガイダンスと柔道指導のDVD鑑賞【山田：Aグループ(以下A)、金丸：Bグループ(以下B)、長谷川：Cグループ(以下C)】
	内容	授業の進行方法、試験方法、評価基準、授業における注意点について説明する。DVD「Judo in School Education ~The Spread of Judo in Japan~」を鑑賞し、柔道実技を実施するにあたっての基礎的知識を再学習する。
第2回	担当教員	山田 利彦 金丸 雄介 長谷川 龍成 受身、基本動作復習【山田：B 金丸：C 長谷川：A】AL:D
	内容	1年次に行った技術の復習。柔道衣の着方、姿勢、崩し、移動方法、体さばき、組み方、受身、習得済みの投技と固技を再確認していく。
第3回	担当教員	山田 利彦 金丸 雄介 長谷川 龍成 乱取の技(投技・固技)の復習と投の形(礼法)【山田：C 金丸：A 長谷川：B】AL:D
	内容	柔道整復研修試験財団における認定実技審査要領の柔道実技審査で、評価項目となっている「投の形」の実技練習開始。「投の形」における礼法の練習を行う。
第4回	担当教員	山田 利彦 金丸 雄介 長谷川 龍成 乱取の技(投技・固技)の復習と投の形(手技：浮落指導)【山田：A 金丸：B 長谷川：C】AL:D
	内容	乱取の技(投技・固技)の復習を行う。「投の形」手技1本目「浮落」の理論を学び練習を行う。
第5回	担当教員	山田 利彦 金丸 雄介 長谷川 龍成 投の形(手技：浮落復習)&乱取の技(投技・固技)の反復練習【山田：B 金丸：C 長谷川：A】AL:D
	内容	乱取の技(投技・固技)の練習を行う。「投の形」手技1本目「浮落」の練習を行い、よりスムーズに行えるようにする。
	担	山田 利彦 金丸 雄介

第6回	当 教 員	長谷川 龍成 投の形(手技：背負投指導) & 乱取の技(投技・固技)の反復練習【山田：C 金丸：A 長谷川：B】 AL:D
	内 容	乱取の技(投技・固技)の練習を行う。「投の形」手技2本目「背負投」の理論を学び練習を行う。
第7回	担 当 教 員	山田 利彦 金丸 雄介 長谷川 龍成 投の形(手技：背負投復習) & 乱取の技(投技・固技)の反復練習【山田：A 金丸：B 長谷川：C】 AL:D
	内 容	乱取の技(投技・固技)の練習を行う。「投の形」手技2本目「背負投」の練習を行い、よりスムーズに行えるようにする。
第8回	担 当 教 員	山田 利彦 金丸 雄介 長谷川 龍成 投の形(手技：肩車指導) & 乱取の技(投技・固技)の反復練習【山田：B 金丸：C 長谷川：A】 AL:D
	内 容	乱取の技(投技・固技)の練習を行う。「投の形」手技3本目「肩車」の理論を学び練習を行う。
第9回	担 当 教 員	山田 利彦 金丸 雄介 長谷川 龍成 投の形(手技：肩車復習) & 乱取の技(投技・固技)の反復練習【山田：C 金丸：A 長谷川：B】 AL:D
	内 容	乱取の技(投技・固技)の練習を行う。「投の形」手技3本目「肩車」の練習を行い、よりスムーズに行えるようにする。
第10回	担 当 教 員	山田 利彦 金丸 雄介 長谷川 龍成 投の形(腰技：浮腰指導) & 投技(連絡技)【山田：A 金丸：B 長谷川：C】 AL:D
	内 容	乱取の技(投技・固技)の練習を行う。連絡技を学び習得を目指す。「投の形」腰技1本目「浮腰」の理論を学び練習を行う。
第11回	担 当 教 員	山田 利彦 金丸 雄介 長谷川 龍成 投の形(腰技：浮腰復習) & 投技(連絡技)【山田：B 金丸：C 長谷川：A】 AL:D
	内 容	乱取の技(投技・固技)の練習を行う。連絡技を学び習得を目指す。「投の形」腰技1本目「浮腰」の練習を行い、よりスムーズに行えるようにする。
第12回	担 当 教 員	山田 利彦 金丸 雄介 長谷川 龍成 投の形(腰技：払腰指導) & 投技(変化技)【山田：C 金丸：A 長谷川：B】 AL:D
	内 容	乱取の技(投技・固技)の練習を行う。変化技を学び習得を目指す。「投の形」腰技2本目「払腰」の理論を学び練習を行う。
第13回	担 当 教 員	山田 利彦 金丸 雄介 長谷川 龍成 投の形(腰技：払腰復習) & 投技(変化技)【山田：A 金丸：B 長谷川：C】 AL:D
	内 容	乱取の技(投技・固技)の練習を行う。変化技を学び習得を目指す。「投の形」腰技2本目「払腰」の練習を行い、よりスムーズに行えるようにする。
	担 当	山田 利彦 金丸 雄介

第14回	教員	長谷川 龍成 投の形(腰技：釣込腰指導)&投技(変化技)【山田：B 金丸：C 長谷川：A】AL:D
	内容	乱取の技(投技・固技)の練習を行う。変化技を学び習得を目指す。「投の形」腰技3本目「釣込腰」の理論を学び練習を行う。
第15回	担当教員	山田 利彦 金丸 雄介 長谷川 龍成 投の形(腰技：釣込腰復習)&投技(連絡技・変化技)【山田：C 金丸：A 長谷川：B】AL:D
	内容	乱取の技(投技・固技)の練習を行う。約束練習で連絡技、変化技をより上達させる。「投の形」腰技3本目「釣込腰」の練習を行い、よりスムーズに行えるようにする。
第16回	担当教員	山田 利彦 金丸 雄介 長谷川 龍成 投の形(前期の復習①)【山田：A 金丸：B 長谷川：C】AL:D
	内容	乱取の技(投技・固技)の復習を行う。「投の形」手技3本の復習を行う。
第17回	担当教員	山田 利彦 金丸 雄介 長谷川 龍成 投の形(前期の復習②)と投技、固技の復習【山田：B 金丸：C 長谷川：A】AL:D
	内容	乱取の技(投技・固技)の練習を行う。約束練習で連絡技、変化技を復習する。「投の形」手技3本の練習を行う。
第18回	担当教員	山田 利彦 金丸 雄介 長谷川 龍成 投の形(足技：送足払指導)&投技約束練習【山田：C 金丸：A 長谷川：B】AL:D
	内容	乱取の技(投技・固技)の練習を行う。約束練習で自由に技を出せるように練習する。「投の形」足技1本目「送足払」の理論を学び練習を行う。
第19回	担当教員	山田 利彦 金丸 雄介 長谷川 龍成 投の形(足技：送足払復習)&投技約束練習【山田：A 金丸：B 長谷川：C】AL:D
	内容	乱取の技(投技・固技)の練習を行う。約束練習で自由に技を出せるように練習する。「投の形」足技1本目「送足払」の練習を行い、よりスムーズに行えるようにする。
第20回	担当教員	山田 利彦 金丸 雄介 長谷川 龍成 投の形(足技：支釣込足指導)&投技約束練習【山田：B 金丸：C 長谷川：A】AL:D
	内容	乱取の技(投技・固技)の練習を行う。約束練習で自由に技を出せるように練習する。「投の形」足技2本目「支釣込足」の理論を学び練習を行う。
第21回	担当教員	山田 利彦 金丸 雄介 長谷川 龍成 投の形(足技：支釣込足復習)&投技約束練習【山田：C 金丸：A 長谷川：B】AL:D
	内容	乱取の技(投技・固技)の練習を行う。約束練習で自由に技を出せるように練習する。「投の形」足技2本目「支釣込足」の練習を行い、よりスムーズに行えるようにする。
		山田 利彦

第22回	担当教員	金丸 雄介 長谷川 龍成 投の形(足技：内股指導)&固技(投技からの移行)【山田：A 金丸：B 長谷川：C】AL:D
	内容	乱取の技(投技・固技)の練習を行う。投技から固技への移行を学び練習する。「投の形」足技3本目「内股」の理論を学び練習を行う。
第23回	担当教員	山田 利彦 金丸 雄介 長谷川 龍成 投の形(足技：内股復習)&固技(投技からの移行)【山田：B 金丸：C 長谷川：A】AL:D
	内容	乱取の技(投技・固技)の練習を行う。投技から固技への移行を学び練習する。「投の形」足技3本目「内股」の練習を行い、よりスムーズに行えるようにする。
第24回	担当教員	山田 利彦 金丸 雄介 長谷川 龍成 投の形(全体練習)&固技(投技からの移行)【山田：C 金丸：A 長谷川：B】AL:D
	内容	乱取の技(投技・固技)の練習を行う。投技から固技への移行を学び練習する。「投の形」全9本の練習を行い、よりスムーズに行えるようにする。
第25回	担当教員	山田 利彦 金丸 雄介 長谷川 龍成 投の形(全体練習)&投技(返し方指導)【山田：A 金丸：B 長谷川：C】AL:D
	内容	乱取の技(投技・固技)の練習を行う。固技の攻防を学び練習する。「投の形」全9本の練習を行い、よりスムーズに行えるようにする。
第26回	担当教員	山田 利彦 金丸 雄介 長谷川 龍成 投の形(全体練習)&固技(返し方指導)、柔道試合審判規定【山田：B 金丸：C 長谷川：A】AL:D
	内容	乱取の技(投技・固技)の練習を行う。固技の攻防を学び練習する。柔道の試合審判規定を復習し自由練習を行える準備をする。「投の形」全9本の練習を行い、よりスムーズに行えるようにする。
第27回	担当教員	山田 利彦 金丸 雄介 長谷川 龍成 投の形(全体練習)&固技(返し方指導)、立技自由練習【山田：C 金丸：A 長谷川：B】AL:D
	内容	乱取の技(投技・固技)の練習を行う。固技の攻防を学び練習する。軽度の自由練習を行う。「投の形」全9本の練習を行い、よりスムーズに行えるようにする。
第28回	担当教員	山田 利彦 金丸 雄介 長谷川 龍成 固技・立技自由練習及び形復習①、柔道のルール解説(スコアについて)①【山田：A 金丸：B 長谷川：C】AL:D
	内容	乱取の技(投技・固技)の練習を行う。柔道のスコアについて学び、固技の自由練習を行う。軽度の立技自由練習を行う。「投の形」全9本の練習を行い、よりスムーズに行えるようにする。
第29回	担当教員	山田 利彦 金丸 雄介 長谷川 龍成 固技・立技自由練習及び形復習②、柔道のルール解説(罰則について)②【山田：B 金丸：C 長谷川：A】AL:D

	内容	乱取の技(投技・固技)の練習を行う。柔道の罰則について学び、固技の自由練習を行う。軽度の立技自由練習を行う。「投の形」全9本の練習を行い、よりスムーズに行えるようにする。
第30回	担当教員	山田 利彦 金丸 雄介 長谷川 龍成 固技・立技自由練習及び形復習③、柔道のルール解説(医療行為等について) ③ 【山田：C 金丸：A 長谷川：B】 AL:D
	内容	乱取の技(投技・固技)の練習を行う。柔道の試合における医療行為等について学び、固技の自由練習を行う。軽度の立技自由練習を行う。「投の形」全9本の練習を行い、よりスムーズに行えるようにする。

評価方法とフィードバック方法

授業毎の習熟度と理解度(40%)及び実技試験(60%)の結果をもとに総合的に評価する。

実技試験の内容及び正答については事前に授業中に伝達済みのため、特にフィードバックは行わない。

ただし、希望者に対しては、個別に説明を行う。

教科書

なし

参考書

『これで完ぺき！柔道』 著者・編集者：金丸雄介 出版社：ベストスポーツマガジン社 定価：1,620円

『投の形』 著者・編集者：講道館 出版社：亀井印刷 定価：540円

オフィスアワー

月曜日・3限・山田研究室or体育師範室(金丸)

水曜日・1限・体育師範室(金丸)

木曜日・2限・山田研究室

その他随時

実務経験の有無

この科目は講道館柔道有段者(七段、六段、四段)、並びに日本柔道ナショナルチーム、実業団・大学柔道部での指導を含めた実務経験を有する教員がその実務経験を活かし、実践的教育を行っている科目です。

その他

注意：スポーツ理論と実習I、II履修済みの学生を対象とする

クラスはABCの3グループに分けて、3名の教員が各グループを持ち回り、少人数、個別対応を増やすことで安全管理の徹底、また理解度の向上を目指す。

学生は2人組みとなり、各グループは授業内で振り分けることとする。

実技授業時の新型コロナウイルス感染拡大予防対策に関しては、全日本柔道連盟の指針、千葉県柔道連盟の通達、大学の方針に従い徹底して行いく。

講義コード	5301501
講義名	関係法規
(副題)	
代表ナンバリングコード	52L02-4058SR-00
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	4
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

田村 哲也

総合学習目標

柔道整復師法をはじめとする医事法規（医師法、医療法等）を理解すること。

医学的知識だけでなく、医療制度全般に係る法令を熟知し、医療環境の変革に対応できる知識の習得を目標とする。

整復医療・トレーナー学科DP1-②

個別学習目標

医事法規（柔道整復師法、医師法、医療法、社会福祉・保険など）や法律全般（憲法など）を理解することを目標とする。

準備学修

講義後、資料プリントと教科書をもとに授業の内容を振り返り、クラスルームに投稿した練習問題を行うこと（30分）

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	

【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。

授業計画

第1回	担当 教員	田村 哲也 法の体系
	内容	成文法、不文法、公法、私法の分類、インフォームド・コンセント、インフォームド・アセントについて学ぶ
第2回	担当 教員	田村 哲也 患者の権利、医療事故とリスクマネジメント、柔道整復師法 目的、定義、免許
	内容	患者の権利、医療事故・過誤と柔道整復師法の目的、定義、免許について学ぶ
第3回	担当 教員	田村 哲也 柔道整復師法 免許を受けるための要件、合格証書、免許の申請、名簿登録
	内容	柔道整復師法の免許要件、免許申請、名簿登録について学ぶ
第4回	担当 教員	田村 哲也 柔道整復師法 名簿訂正・消除、免許取消、免許証の交付、国家試験
	内容	名簿訂正・消除、免許取消、免許証の書換え交付・再交付、柔道整復師の国家試験について学ぶ
第5回	担当 教員	田村 哲也 柔道整復師法 業務
	内容	柔道整復師の業務範囲、医師の同意、守秘義務について学ぶ
第6回	担当 教員	田村 哲也 柔道整復師法 施術所
	内容	施術所の開設、構造設備、監督について学ぶ
第7回	担当 教員	田村 哲也 柔道整復師法 広告、名称制限
	内容	施術所の広告、名称制限について学ぶ
第8回	担当 教員	田村 哲也 罰則、指定登録機関・指定試験機関、医師法
	内容	各罰則と指定登録機関・指定試験機関、医師法について学ぶ
第9回	担当 教員	田村 哲也 歯科医師法、保健師助産師看護師法、他医事法規
	内容	歯科医師法、保健師助産師看護師法、診療放射線技師法、臨床検査技師法について学ぶ
第10回	担当 教員	田村 哲也 医事法規
	内容	理学療法士及び作業療法士法、その他の国家資格の医事法規を学ぶ
第11回	担当 教員	田村 哲也 医療法 総則等
	内容	医療法の目的、医療提供の理念、診療所・病院の定義、開設について学ぶ
第12回	担当 教員	田村 哲也 医療法 医療に関する情報の提供、診療所・病院の広告、診療科目等
	内容	医療に関する情報の提供、診療所・病院の広告、診療科目、医療事故調査制度などについて学ぶ
第13回	担当 教員	田村 哲也 社会福祉関係法規
	内容	社会福祉法、生活保護法、児童福祉法などの社会福祉関係法規を学ぶ

第14回	担当 教員	田村 哲也 社会保険関係法規
	内容	健康保険法、国民健康保険法、介護保険法などの社会保険関係法規を学ぶ
第15回	担当 教員	田村 哲也 個人情報保護法、憲法
	内容	個人情報保護法の定義、義務、日本国憲法について学ぶ

評価方法とフィードバック方法

定期試験100点（100%）
Classroom等で正解と講評を掲載する。

教科書

関係法規 監修：(社) 全国柔道整復学校協会 編著：前田和彦 医歯薬出版（株） 2, 400円

社会保障制度と柔道整復師の職業倫理 監修：(社) 全国柔道整復学校協会 著：川淵孝一・長尾淳彦・前田和彦 医歯薬出版（株） 2, 000円

参考書

テキスト 指定なし。

オフィスアワー

金曜日・3限・501教員研究室

実務経験の有無

この科目は柔道整復師の実務経験を有する教員がその実務経験を活かし、医学的知識だけでなく、医療制度全般に係る法令について指導を行なっている科目である。

その他

- 1) 適宜プリント資料を配布する。
- 2) 定期試験、課題については第一回講義にて説明する。

講義コード	5301701
講義名	運動学
(副題)	
代表ナンバリングコード	52L02-2059SR-00
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	2
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

野田 哲由

盆子原 秀三

総合学習目標

運動学の基礎知識を習得し、人体の構造と運動について理解を深めることを総合学習目標とする。

個別学習目標

①身体の機能解剖について理解する

②ヒトの動作について理解する

③人の姿勢と運動と動作を力学的、生理学的、運動学的に理解して口頭にて説明することができる。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【理学療法学科DP1 知識・理解】①理学療法に必要な保健・医療・福祉の基本的な知識を身につけて、国家試験に合格できる水準に達する。	◎
【理学療法学科DP1 知識・理解】②基本的な知識及び技能を発揮する能力を備え、安全に理学療法を実践することができる。	◎
【理学療法学科DP2 思考・判断】①科学的探究心・向学心・批判的思考と研究的態度を身につけ、生涯学習を継続することができる。	○
【理学療法学科DP2 思考・判断】②獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、問題を解決することができる。	○
【理学療法学科DP3 技能・表現】①コミュニケーション能力を身に付け、チームの中で協働することができる。	
【理学療法学科DP3 技能・表現】②感性豊かな人間性と倫理観を備え、人間の尊厳を重視することができる。	
【理学療法学科DP4 関心・意欲・態度】①社会の多様性への理解を深め、国際的な視野を持つことができる。	

【理学療法学科DP4 関心・意欲・態度】②変化していく社会において理学療法士の役割を認識し、自ら研鑽を積むことで地域社会の発展に貢献することができる。	
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	

授業計画

第1回	担当 教員	野田 哲由 盆子原 秀三 授業概要説明（オリエンテーション）、運動学総論1（運動学の目的、運動の表し方）
	内容	・今後の講義の進め方及びC-learning、G suite for Educationの導入について ・運動学の目的、運動の表し方を学ぶ。特に、「面と軸」を理解する
第2回	担当 教員	野田 哲由 盆子原 秀三 運動学総論2（身体構造と力学的運動要因、運動器の構造と機能、神経の構造と機能）
	内容	・前回の復習と共に、身体構造と力学的運動要因、運動器の構造と機能、神経の構造と機能について学ぶ
第3回	担当 教員	野田 哲由 盆子原 秀三 運動感覚（感覚と知覚、運動感覚と運動の制御機構）
	内容	・前回の復習と共に、感覚と知覚、運動の制御システムについて学ぶ
第4回	担当 教員	野田 哲由 盆子原 秀三 上肢の運動学1（肩、肘）
	内容	・前回の復習と共に、肩、肘の運動器の構造、動作について学ぶ
第5回	担当 教員	野田 哲由 盆子原 秀三 上肢の運動学2（前腕、手、手指）
	内容	・前回の復習と共に、前腕、手、手指の運動器の構造、動作について学ぶ
第6回	担当 教員	野田 哲由 盆子原 秀三 頭頸部（肩甲帯を含む）の運動学
	内容	・前回の復習と共に、頭頸部(肩甲帯を含む)の運動器の構造、動作について学ぶ
第7回	担当 教員	野田 哲由 盆子原 秀三 体幹の運動学1（体幹と脊柱、頸椎、胸椎と胸郭）

	内容	・前回の復習と共に、体幹と脊柱、頸椎、胸椎と胸郭の運動器の構造、動作について学ぶ
第8回	担当教員	野田 哲由 盆子原 秀三 体幹の運動学 2 (腰椎、仙椎および骨盤、顔面および頭部)
	内容	・前回の復習と共に、腰椎、仙椎および骨盤、顔面および頭部の運動器の構造、動作について学ぶ
第9回	担当教員	野田 哲由 盆子原 秀三 下肢の運動学 1 (股)
	内容	・前回の復習と共に、股関節の運動器の構造、動作について学ぶ
第10回	担当教員	野田 哲由 盆子原 秀三 下肢の運動学 2 (膝、下腿、足関節、足趾)
	内容	・前回の復習と共に、膝、下腿、足関節、足趾の運動器の構造、動作について学ぶ
第11回	担当教員	野田 哲由 盆子原 秀三 姿勢 (姿勢の分類、重心)
	内容	・前回の復習と共に、姿勢について学ぶ
第12回	担当教員	野田 哲由 盆子原 秀三 反射と随意運動
	内容	・前回の復習と共に、反射と随意運動について学ぶ
第13回	担当教員	野田 哲由 盆子原 秀三 歩行 1 (歩行周期、歩行の運動学的分析・運動力学的分析)
	内容	・前回の復習と共に、歩行周期、歩行の運動学的分析・運動力学的分析について学ぶ
第14回	担当教員	野田 哲由 盆子原 秀三 歩行 2 (異常歩行)
	内容	・前回の復習と共に、異常歩行について学ぶ
第15回	担当教員	野田 哲由 盆子原 秀三 運動発達、運動学習
	内容	・前回の復習と共に、運動発達、運動学習について学ぶ

評価方法とフィードバック方法

レポート課題 (40%) を課し、定期試験(60%)にて評価する。

教科書

運動学 改訂第3版/社団法人全国柔道整復学校協会監修/斉藤宏著 医歯薬出版/4200円 + 税

参考書

基礎運動学/中村隆一 他/医歯薬出版/6800円

オフィスアワー

別途、掲載。質問等あれば研究室まで

実務経験の有無

この科目は、運動学 (解剖学、生理学、バイオメカニクス等) の知識を有し、理学療法士、柔道整復師として病院、整骨院で実務経験のある教員がその実務経験を活かし、実践的教育を行っている科目です。

その他

4年次の柔道整復師国家試験の教科でもあるので必ず復習を行うこと。特に解剖学の筋の起
始、停止、作用についてしっかりと暗記できるように繰り返し行う事。

講義コード	5301801
講義名	スポーツ栄養学[整]
(副題)	(2021年度入学生用)
代表ナンバリングコード	52L02-3060FE-00
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	4
必修/選択	選択
担当教員	

氏名

作田 雅子

総合学習目標

現代の様々な健康課題の解決は、スポーツの奨励と栄養改善が考えられている。健康づくりのためのスポーツを実施する人から競技力向上を目的としたアスリート、そして子どもから高齢者までとスポーツ栄養の対象者は幅広い。栄養学の基礎をスポーツ活動時の栄養へ、そして対象別へと応用できることを目標とする。現代の食生活上の問題点も考慮し、的確に対応できる知識を身につける。

整復DP2

個別学習目標

- 1.現代の食に関する国の施策から、食生活の問題点や課題を知る。
- 2.健康維持増進から競技力向上までを含めた栄養と食事、運動との関連について理解する。
- 3.エネルギー源栄養素の種類と機能、代謝について理解する。
- 4.ビタミンおよびミネラルの種類と働き、代謝を理解し、欠乏症と過剰症について知る。
- 5.水分の働きと代謝について理解する。
- 6.エネルギー源栄養素の代謝と相互変換について理解する。
- 7.ウエイトコントロールおよびコンディショニングのための栄養と運動について理解する。
- 8.運動強度や運動時間の違いによる、各エネルギー基質への依存度の変化について理解する。
- 9.競技者のための目的別、そして期分けに適した食事および栄養について理解する。
- 10.健康増進目的および競技力を向上させる物質やサプリメント、特定保健食品、栄養補助食品について知り、それらの効果、リスク、適切な代替物およびドーピング問題について考える。
- 11.Relative Energy Deficiency in Sports (REDs) などスポーツ活動に伴う栄養障害について理解する。

準備学修

講義後は配布資料を用いて復習（30分）をすること。

ディプロマポリシー

◎：強く

	該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	○
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有効に活用できる。	○
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	○
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	○

授業計画

第1回	担当 教員	作田 雅子 現代日本人の食生活の現状とスポーツ栄養学概要
	内容	現代の食生活の課題とスポーツ栄養学の概要
第2回	担当 教員	作田 雅子 スポーツ栄養学の基本
	内容	「エネルギーとは何か」「消化器と身体活動」「五大栄養素の役割」について学ぶ
第3回	担当 教員	作田 雅子 五大栄養素の役割（炭水化物）
	内容	「炭水化物の役割」「炭水化物の必要量と補給のポイント」について学ぶ 「試合当日の食事」について学ぶ
第4回	担当 教員	作田 雅子 五大栄養素の役割（たんぱく質）
	内容	「たんぱく質の役割」「たんぱく質の必要量と補給のポイント」について学ぶ 「増量」について学ぶ
第5回	担当 教員	作田 雅子 五大栄養素の役割（脂質）
	内容	「脂質の役割」「脂質の補給」について学ぶ 「減量」について学ぶ
第6回	担当 教員	作田 雅子 五大栄養素の役割（ビタミン）
	内容	「ビタミンの役割」「コンディションとビタミン」について学ぶ
第7回	担当 教員	作田 雅子 五大栄養素の役割（ミネラル）
	内容	「ミネラルの役割」「アスリートと貧血」について学ぶ
	担当	作田 雅子

第8回	教員	チームスポーツにおける栄養サポート
	内容	「栄養サポートの流れ」「チームスポーツにおける栄養教育・栄養指導」について学ぶ
第9回	担当教員	作田 雅子 ジュニアアスリート
	内容	「発育・発達の特徴」「ジュニア期における重要な栄養素等・補給のポイント」「ジュニアアスリートへの栄養教育」について学ぶ
第10回	担当教員	作田 雅子 スポーツ現場の食事提供と安全管理
	内容	「アスリート集団に対する食事提供」「食リスクへの対応策」について学ぶ
第11回	担当教員	作田 雅子 スポーツ科学とスポーツ栄養学とのかかわり
	内容	「スポーツ栄養学と関連深いスポーツ科学」「身体組成」について学ぶ
第12回	担当教員	作田 雅子 スポーツ医学と栄養
	内容	「利用可能エネルギー」「骨づくり」「高齢者の身体づくり」について学ぶ
第13回	担当教員	作田 雅子 暑熱対策
	内容	「暑熱環境のもたらす影響と対応」「水分補給」について学ぶ
第14回	担当教員	作田 雅子 腸内環境とコンディション
	内容	「腸内環境が身体に及ぼす影響」「腸内環境の整え方」を学ぶ
第15回	担当教員	作田 雅子 サプリメント
	内容	「サプリメントと分類」「適切にサプリメントを利用するポイント」について学ぶ

評価方法とフィードバック方法

定期試験80%、小テスト20%合計100%で評価します

定期試験は追再試が終わった後にClassroomに正解を掲載する

小テストは実施後Classroomに正解を掲載する

教科書

指定なし

参考書

『ケースで学ぶ スポーツ栄養学』 編集：清野隼、虎石真弥、山口太一.株式会社みらい 2,500円+税

『スポーツ栄養学～栄養サポートの理論と実践力をバランスよく身につけるために～』 田中紀子・平野直美編. (株) 化学同人 2,700円+税

『リファレンスブック』 日本スポーツ協会 4,000円+税

オフィスアワー

質問は授業前後で受付ます

実務経験の有無

有

この科目の栄養学は管理栄養士・公認スポーツ栄養士の資格を持つ教員が臨床経験や社会人チームや高校・大学生アスリートに対して栄養サポートを行った経験をもとにスポーツ栄養学について講義を行っている科目です。

その他

本科目の受講にあたってはスポーツ科学全般の知識が要求され、栄養学および生化学や生理学、さらにスポーツ科学の中でもスポーツ医学や体力指標の測定法についても十分に復習しておくこと。

講義コード	5301802
講義名	スポーツ栄養学[整]
(副題)	(2022年度入学生用)
代表ナンバリングコード	52L02-3060SE-01
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	3
必修/選択	選択
担当教員	

氏名

作田 雅子

総合学習目標

現代の様々な健康課題の解決は、スポーツの奨励と栄養改善が考えられている。健康づくりのためのスポーツを実施する人から競技力向上を目的としたアスリート、そして子どもから高齢者までとスポーツ栄養の対象者は幅広い。栄養学の基礎をスポーツ活動時の栄養へ、そして対象別へと応用できることを目標とする。現代の食生活上の問題点も考慮し、的確に対応できる知識を身につける。

整復DP2

個別学習目標

- 1.現代の食に関する国の施策から、食生活の問題点や課題を知る。
- 2.健康維持増進から競技力向上までを含めた栄養と食事、運動との関連について理解する。
- 3.エネルギー源栄養素の種類と機能、代謝について理解する。
- 4.ビタミンおよびミネラルの種類と働き、代謝を理解し、欠乏症と過剰症について知る。
- 5.水分の働きと代謝について理解する。
- 6.エネルギー源栄養素の代謝と相互変換について理解する。
- 7.ウエイトコントロールおよびコンディショニングのための栄養と運動について理解する。
- 8.運動強度や運動時間の違いによる、各エネルギー基質への依存度の変化について理解する。
- 9.競技者のための目的別、そして期分けに適した食事および栄養について理解する。
- 10.健康増進目的および競技力を向上させる物質やサプリメント、特定保健食品、栄養補助食品について知り、それらの効果、リスク、適切な代替物およびドーピング問題について考える。
- 11.Relative Energy Deficiency in Sports (REDs) などスポーツ活動に伴う栄養障害について理解する。

準備学修

講義後は配布資料を用いて復習（30分）をすること。

ディプロマポリシー

◎：強く

	該当する ○：該当 する 選択な し：該当 しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	○
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有効に活用できる。	○
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	○
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	○

授業計画

第1回	担当 教員	作田 雅子 現代日本人の食生活の現状とスポーツ栄養学概要
	内容	現代の食生活の課題とスポーツ栄養学の概要
第2回	担当 教員	作田 雅子 スポーツ栄養学の基本
	内容	「エネルギーとは何か」「消化器と身体活動」「五大栄養素の役割」について学ぶ
第3回	担当 教員	作田 雅子 五大栄養素の役割（炭水化物）
	内容	「炭水化物の役割」「炭水化物の必要量と補給のポイント」について学ぶ 「試合当日の食事」について学ぶ
第4回	担当 教員	作田 雅子 五大栄養素の役割（たんぱく質）
	内容	「たんぱく質の役割」「たんぱく質の必要量と補給のポイント」について学ぶ 「増量」について学ぶ
第5回	担当 教員	作田 雅子 五大栄養素の役割（脂質）
	内容	「脂質の役割」「脂質の補給」について学ぶ 「減量について学ぶ」
第6回	担当 教員	作田 雅子 五大栄養素の役割（ビタミン）
	内容	「ビタミンの役割」「コンディションとビタミン」について学ぶ
第7回	担当 教員	作田 雅子 五大栄養素の役割（ミネラル）
	内容	「ミネラルの役割」「アスリートと貧血」について学ぶ
第8回	担当 教員	作田 雅子 チームスポーツにおける栄養サポート
	内容	「栄養サポートの流れ」「チームスポーツにおける栄養教育・栄養指導」につ

		いて学ぶ
第9回	担当 教員	作田 雅子 ジュニアアスリート
	内容	「発育発達の特徴」「ジュニア期における重要な栄養素等・補給のポイント」 「ジュニアアスリートへの栄養教育」について学ぶ
第10回	担当 教員	作田 雅子 スポーツ現場の食事提供と安全管理
	内容	「アスリート集団に対する食事提供」「食リスクへの対応策」について学ぶ
第11回	担当 教員	作田 雅子 スポーツ科学とスポーツ栄養学とのかかあり
	内容	「スポーツ栄養学と関連深いスポーツ科学」「身体組成」について学ぶ
第12回	担当 教員	作田 雅子 スポーツ医学と栄養
	内容	「利用可能エネルギー」「骨づくり」「高齢者の身体づくり」について学ぶ
第13回	担当 教員	作田 雅子 暑熱対策
	内容	「暑熱環境のもたらす影響と対応」「水分補給」について学ぶ
第14回	担当 教員	作田 雅子 腸内環境とコンディション
	内容	「腸内環境が身体に及ぼす影響」「腸内環境の整え方」について学ぶ
第15回	担当 教員	作田 雅子 サプリメント
	内容	「サプリメントと分類」「適切にサプリメントを利用するポイント」について 学ぶ

評価方法とフィードバック方法

定期試験80%、小テスト20%合計100%で評価します

定期試験は追再試が終わった後にClassroomに正解を掲載する
小テストは実施後Classroomに正解を掲載する

教科書

指定なし

参考書

『ケースで学ぶ スポーツ栄養学』編集：清野隼、虎石真弥、山口太一.株式会社みらい 2,5000円
+税
『スポーツ栄養学～栄養サポートの理論と実践力をバランスよく身につけるために～』田中紀
子・平野直美編。(株)化学同人 2,700円+税
『リファレンスブック』日本スポーツ協会 4,000円+税

オフィスアワー

質問は授業前後で受付ます

実務経験の有無

有

この科目の栄養学は管理栄養士・公認スポーツ栄養士の資格を持つ教員が臨床経験や社会人チ
ームや高校・大学生アスリートに対して栄養サポートを行った経験をもとにスポーツ栄養学に
ついて講義を行っている科目です。

その他

本科目の受講にあたってはスポーツ科学全般の知識が要求され、栄養学および生化学や生理
学、さらにスポーツ科学の中でもスポーツ医学や体力指標の測定法についても十分に復習して
おくこと。

講義コード	5301901
講義名	スポーツ運動学
(副題)	
代表ナンバリングコード	52L02-4061IE-00
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	4
必修/選択	選択
担当教員	

氏名

金谷 麻理子

総合学習目標

スポーツにおける人間の運動について多面的に学ぶことを通して、運動指導を行うために不可欠な知識を獲得するとともに、運動指導者としての基本的な能力を習得する。整復医療・トレーナー学科 DP2-①に該当する。

個別学習目標

本授業では、体育・スポーツにおける指導者の役割や、運動指導において学習目標として掲げられる「動き」に関する諸問題、運動の観察および習熟プロセスに内在する諸問題、運動指導の方法論などについて学習する。また、これらの学習内容について、知識として学ぶだけでなく実習を通して自分自身の運動経験として理解できるようになることを目標とする。

準備学修

各回のテーマについて事前に調べておく。(30分) 講義後は、授業内容を振り返り、自身のスポーツ経験における具体例を800字程度にまとめておく。(30分)

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあつても国家資格を有用に活用できる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することが	

できる。

授業計画

第1回	担当 教員	金谷 麻理子 運動学習と体育の意義
	内容	体育においてスポーツ運動を教えることの必要性と体育の存在意義について理解する。
第2回	担当 教員	金谷 麻理子 運動学とは
	内容	スポーツ運動学の研究対象と理論的・思想的背景について理解する。
第3回	担当 教員	金谷 麻理子 人間の運動
	内容	スポーツ運動学的立場における人間の運動の特徴について理解する。
第4回	担当 教員	金谷 麻理子 グループワーク①長縄とび
	内容	長縄とびの実践を通して、自らの運動の特徴について認識を深める。(B, D)
第5回	担当 教員	金谷 麻理子 運動の発生
	内容	スポーツトレーニングおけるできるようになることの意味とその特徴および問題点について理解する。
第6回	担当 教員	金谷 麻理子 創発身体知
	内容	創発身体知(覚えるための身体知)の構造とその特徴について理解する。
第7回	担当 教員	金谷 麻理子 形成位相論①(原志向位相)
	内容	スポーツ運動学における形成位相とその初期段階である原志向位相の特徴について理解する。
第8回	担当 教員	金谷 麻理子 グループワーク②ダブルダッチ(基礎)
	内容	ダブルダッチにおける基礎技術の習得を目指すなかで、自身の創発身体知について認識を深める。(B, D)
第9回	担当 教員	金谷 麻理子 形成位相論②(探索位相と偶発位相)
	内容	スポーツ運動学における探索位相および偶発位相の特徴とこの位相の学習者に対する指導上の留意点について理解する。
第10回	担当 教員	金谷 麻理子 形成位相論③(図式化位相)
	内容	スポーツ運動学における図式化位相の特徴と、運動指導における言語を用いた指導の留意点について理解する。
第11回	担当 教員	金谷 麻理子 形成位相論④(自在化位相)
	内容	スポーツ運動学における自在化位相の特徴と運動指導者になる上で必要な資質について理解する。
第12回	担当 教員	金谷 麻理子 グループワーク③ダブルダッチ(応用)
	内容	ダブルダッチにおける応用技術の習得を目指すなかで、自己観察を通して形成位相の分析を行う。(B, D)
第13回	担当 教員	金谷 麻理子 運動観察
	内容	

	内容	スポーツ運動学における運動観察の意味と自己観察能力および他者観察能力の関係性について理解する。
第14回	担当 教員	金谷 麻理子 よりよい現場を目指して
	内容	スポーツトレーニングの現場におけるチームのあり方と指導者および選手としての役割を理解する。
第15回	担当 教員	金谷 麻理子 グループワーク④ダブルダッチ（発展）
	内容	ダブルダッチにおける発展技術の習得を目指すなかで、他者観察を通してチームプレーを形成することについての認識を深める。（B, D）

評価方法とフィードバック方法

グループワークの活動状況5点×4回（20%）ならびに各回レポート5点×11回（55%）および最終レポート25点（25%）により評価する。合計100点（100%）

教科書

テキスト：特になし

参考文献：「わざの伝承」 金子明友著 明和出版 4, 400円+税

参考書

テキスト：特になし

参考文献：「わざの伝承」 金子明友著 明和出版 4, 400円+税

オフィスアワー

随時。（電子メールにて対応する。）

その他

質問などは電子メールにて担当教員（kanaya.mariko.fp@u.tsukuba.ac.jp）まで連絡すること。

グループワークでは実際に運動を行うので、運動のできる服装と体育館シューズを持参すること。

担当教員実務経験の有無，有

講義コード	5302001
講義名	スポーツ心理学I
(副題)	
代表ナンバリングコード	52L02-1062SE-00
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	選択
担当教員	

氏名

武野 顕吾

総合学習目標

「スポーツ心理学」をベースとしたスポーツ選手に対する心理学的支援法、特にコーチングについて学ぶ。スポーツトレーナーや教員等、対人援助を目的とした業務において少しでも役に立つ心理学の知識を習得することを目標とする。また「健康運動指導士」資格のための講義も3コマ分を行う。

授業は単なる座学ではなく、学生相互間でのディスカッションを繰り返す。これにより、自分の心を実際に動かしてみる感覚をつかむ事も目的となる。

個別学習目標

- ・ 「プロスポーツでの心理学の現状」と「心理学とスポーツトレーナーとの協働可能性」について理解する。
- ・ 「スポーツ選手の心理状態」を理解することに関する基礎的な知識を習得する。
- ・ 「コーチング」に関する諸理論を理解、習得する。
- ・ 「運動行動変容の理論と実際」に関して、基礎的な知識を習得する。
- ・ 自分の意見を持ち、それを臆することなく発言して人と活発にディスカッション出来るようになる。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	◎

【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	◎

授業計画

第1回	担当教員	武野 顕吾 スポーツにおける心理を理解するための基礎知識1
	内容	総合学習目標／授業計画 プロスポーツにおける心理学の現状と可能性について 心理学とスポーツトレーナーとの協働可能性について
第2回	担当教員	武野 顕吾 スポーツにおける心理を理解するための基礎知識2
	内容	座るポジションと話しやすさの関連
第3回	担当教員	武野 顕吾 スポーツにおける心理を理解するための基礎知識3
	内容	ディスカッションする人数と話しやすさの関連
第4回	担当教員	武野 顕吾 コーチングの基本 対他者力を磨こう（その1）
	内容	コーチングとは コミュニケーションスキル
第5回	担当教員	武野 顕吾 対他者力を磨こう（その2）
	内容	リーダーシップスキル
第6回	担当教員	武野 顕吾 スポーツ心理理解のための基礎理論1
	内容	無意識とは
第7回	担当教員	武野 顕吾 スポーツ心理理解のための基礎理論2
	内容	自我とは（心の構造）
第8回	担当教員	武野 顕吾 対他者力を磨こう（その3）
	内容	プレゼンテーションスキル
第9回	担当教員	武野 顕吾 対他者力を磨こう（その4）
	内容	その他の他者スキル ①メンタリング／②チームビルディング／③コンフリクトマネジメント
第10回	担当教員	武野 顕吾 対自己力を磨こう（その1）
	内容	コーチの学び
第11回	担当教員	武野 顕吾 対自己力を磨こう（その2）

	内容	コーチのセルフマネジメント
第12回	担当教員	武野 顕吾 對自己力を磨こう (その3)
	内容	さまざまな思考法や伝達法
第13回	担当教員	武野 顕吾 健康運動指導士1
	内容	運動行動変容の理論と実際 その1 理論編
第14回	担当教員	武野 顕吾 健康運動指導士2
	内容	運動行動変容の理論と実際 その2 実践編
第15回	担当教員	武野 顕吾 健康運動指導士3
	内容	運動行動変容の理論と実際 その3 プレゼンテーション

評価方法とフィードバック方法

評価方法：

定期試験70点（70%）、授業内プレゼンテーションへの参加20点（20%）、ショートレポート10点（10%）、合計100点（100%）で評価する。

フィードバック方法：

定期試験；Classroomに正解を掲載する

プレゼンテーション/ショートレポート：授業内でその都度解説、講評する

参考書

武野顕吾：（2023）自分を「壊す」勇気 ユーキャン自由国民社

実務経験の有無

この科目は臨床心理士の実務経験を有する教員がその実務経験を活かし、心理面接（カウンセリング）に関する理論の講義と実習を行う科目です。

その他

第1回目の授業では、主にプロスポーツにおける心理学の現状に関して講義を行うため、現在のスポーツ界においてメンタル面の重要性がどのように認識されているか、各種報道（テレビ、ラジオ、新聞、雑誌）や書籍などの情報に留意しておくこと。

担当教員実務経験の有無，有

講義コード	5302101
講義名	スポーツ心理学II
(副題)	
代表ナンバリングコード	52L02-2063FE-00
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	2
必修/選択	選択
担当教員	

氏名

武野 顕吾

総合学習目標

「臨床心理学」をベースにしたスポーツ選手に対する心理学的な支援法について、スポーツ心理学Iよりさらに発展的な内容を学ぶ。

「スポーツに関する心理を理解するための基礎理論」を学び、また「コーチング」についても臨床心理学の視点を持って学ぶ。学期の最後には「より良いパフォーマンスを生み出すため」の心理学的支援法についても学ぶ。

個別学習目標

- ・ 臨床心理学の諸理論のうち、スポーツに関連する基礎理論を学ぶ。
- ・ コーチングに関連し、臨床心理学のフィードバック理論など、基礎的・発展的知識を習得する。
- ・ 心理学的対話法をロールプレイとして体験する。
- ・ 心理学的対話法のうち、DESCの運用を最低限修得する。
- ・ 創造性を伸ばす心理的支援法についての基礎を習得する。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を	◎

持つ。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	◎

授業計画

第1回	担当教員	武野 顕吾 心のトレーニング その1
	内容	行動としてのスポーツ/スポーツにおける動機付け メンタルマネージメント/イメージトレーニング
第2回	担当教員	武野 顕吾 心のトレーニング その2
	内容	あがり、プレッシャー、スランプ/心理的コンディショニング
第3回	担当教員	武野 顕吾 スポーツにおける心理を理解するための基礎理論3
	内容	性格/自己概念
第4回	担当教員	武野 顕吾 スポーツにおける心理を理解するための基礎理論4
	内容	スポーツと感情の関連
第5回	担当教員	武野 顕吾 スポーツにおける心理を理解するための基礎理論5
	内容	覇気について/自我自律性、自己愛
第6回	担当教員	武野 顕吾 スポーツにおける心理を理解するための基礎理論6
	内容	防衛、自己駆進能力/葛藤外の自我領域
第7回	担当教員	武野 顕吾 スポーツにおける心理を理解するための基礎理論7
	内容	順応と適応
第8回	担当教員	武野 顕吾 コーチングの心理1
	内容	内的・外的フィードバックサイクル/ポジティブ・ネガティブフィードバックサイクル
第9回	担当教員	武野 顕吾 コーチングの心理2
	内容	他者観察 個人差を考慮したコーチング 運動感覚 (筋感覚・内部知覚) 運動感覚
第10回	担当教員	武野 顕吾 コーチングの心理3
	内容	コーチングの心理/トレーニングと心理/練習方法と心理/日常生活での相談
第11回	担当教員	武野 顕吾 コーチングの心理4
	内容	心理的サポート・集中力 相談のための面接を構成する3要素/DESC
	担当教員	武野 顕吾

第12回	員	より良いパフォーマンスのために1
	内容	here and now (前後際断)
第13回	担当教員	武野 顕吾 より良いパフォーマンスのために2
	内容	モザイクメトリックス
第14回	担当教員	武野 顕吾 より良いパフォーマンスのために3
	内容	モザイクメトリックスの応用 (創造性)
第15回	担当教員	武野 顕吾 より良いパフォーマンスのために4
	内容	怒りの取り扱い方

評価方法とフィードバック方法

評価方法：

定期試験70点 (70%)、授業内プレゼンテーションへの参加20点 (20%)、ショートレポート10点 (10%)、合計100点 (100%) で評価する。

フィードバック方法：

定期試験；Classroomに正解を掲載する

プレゼンテーション/ショートレポート：授業内でその都度解説、講評する

参考書

小谷英文編著：(1993) ガイダンスとカウンセリング-指導から自己実現への共同作業へ- 北樹出版

日本スポーツ心理学会編：(2002) スポーツメンタルトレーニング教本 大修館書店

武野顕吾：(2023) 自分を「壊す」勇気 ユーキャン自由国民社

実務経験の有無

この科目は臨床心理士の実務経験を有する教員がその実務経験を活かし、心理面接（カウンセリング）に関する理論の講義と実習を行う科目です。

その他

スポーツ心理学Iから継続する受講者は、スポーツ心理学Iで学んだ内容を復習しておく。その他の場合は、日頃からスポーツ界における心理学（メンタル）の現状について、各種報道（テレビ、ラジオ、新聞、雑誌）や書籍などの情報に留意しておくこと。

担当教員実務経験の有無，有

講義コード	5302201
講義名	体育原理
(副題)	
代表ナンバリングコード	52L02-2064FE-00
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	選択
担当教員	

氏名

菅沼 徳夫

総合学習目標

学校体育における諸現象を取り上げて、「体育とは何か」を問い、その背景にある本質を理解していきます。保健体育の諸学問を木に例えると、この学びこそが木の根であり、幹であるといえます。しっかりとした土台を作り上げ、枝葉にあたる諸学問をさらに深め生い茂らせることができるようになろう。

個別学習目標

「先生、なぜ保健体育を学ばなければならないのですか」という質問に答えられるようになろう。

準備学修

課題について発表できるようにまとめてくる。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有効に活用できる。	
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	○
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	○

授業計画

第1回	担当教員	菅沼 徳夫 「体育原理」概要
	内容	「体育」のイメージといったら... なぜ「体育とは何か」を問うことが必要であるのか～「体育原理」を学ぶ意味～
第2回	担当教員	菅沼 徳夫 体育の指導者の資質とは何か
	内容	「保健体育教師」のイメージ よい保健体育教師とは
第3回	担当教員	菅沼 徳夫 体育の意義の変遷
	内容	学校体育を方向づけている理念はどう変わってきたか
第4回	担当教員	菅沼 徳夫 スポーツとは何か
	内容	スポーツの本質
第5回	担当教員	菅沼 徳夫 体育とスポーツの違い
	内容	体育とスポーツの違い
第6回	担当教員	菅沼 徳夫 体育とは何か
	内容	体育の目的は何か 学校の教科の中に、なぜ保健体育は必要なのか
第7回	担当教員	菅沼 徳夫 体育と人間形成①
	内容	体育の教育的意義
第8回	担当教員	菅沼 徳夫 体育と人間形成②
	内容	体育は人間を育てるのか
第9回	担当教員	菅沼 徳夫 体育と人間形成③
	内容	体育による人間形成の批判的検討 保健体育教師の功罪
第10回	担当教員	菅沼 徳夫 体育とフェアプレイ
	内容	体育における規範のメリットとデメリット
第11回	担当教員	菅沼 徳夫 体育授業とは
	内容	体育を、遊び、スポーツとの関係性から考える
第12回	担当教員	菅沼 徳夫 体育で何を教えるか
	内容	体育で何をどこまで教え、それが将来どのように役に立つのか考える
第13回	担当教員	菅沼 徳夫 体育と指導者
	内容	体育教師とスポーツコーチの違いについて考える
第14回	担当教員	菅沼 徳夫 部活動
	内容	体育と部活動の違いについて考える

		部活動の学校における位置づけ、価値、問題
第15回	担当教員	菅沼 徳夫 保健と体育はなぜ、一緒なのか、まとめ・総括
	内容	体育はスポーツ教育？健康教育？ まとめ・総括

評価方法とフィードバック方法

試験（70%）と授業中に提出してもらおう小レポート（30%：3点×10回）で評価します。
授業の復習や課題に対するフィードバックは、次回講義またはclass roomなどを利用して評屋や解説を行う。

教科書

テキスト指定しない。配布資料を用いる。

参考書

久保正秋『体育・スポーツの哲学的見方』東海大学出版 2, 100円
友添秀則・岡出義則編『教養としての体育原理』大修館書店 1, 800円
坂本拓弥『体育がきらい』筑摩書房 968円

その他

意欲を持ち「体育の本質」を深く学習してほしい

体育に関する意見を積極的に発言し、他者の意見も理解しましょう

資料等は適宜配布する。

担当教員実務経験の有無，有

講義コード	5302501
講義名	ストレスフリー療法論
(副題)	
代表ナンバリングコード	
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	3
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

石丸 圭荘

松本 揚

田辺 達磨

桐林 俊彰

総合学習目標

ストレスフリー療法は、遠赤外線をピンポイントで体表点に照射する温熱療法である。その効果はストレス反応により作動するマーカーを抑制してHomeostasis（恒常性機能）を向上させる作用などがある。さらに、科学的な検証によるエビデンスとして、ストレスにより分泌が亢進するコルチゾールやアミラーゼの分泌抑制、頭部・末梢血流の上昇、血圧、血糖値の正常化、さらに炎症サイトカインの産生を制御するインターロイキン10（IL-10）の発現による効果が実証されている。この効果の作用機序を理解するとともに実践臨床を想定したストレスフリー療法の検証（研究）についてグループ学習を実施して理解を深める。整復医療・トレーナー学科：DP4

個別学習目標

- 1 ストレスフリー療法（遠赤外線）の機器の仕様や作用機序を理解して実践できる。
- 2 実践臨床を想定したストレスフリー療法（遠赤外線）の治療技術を習得した研究できる。
- 3 ストレスフリー療法（遠赤外線）機器の特性や安全な使用ができる。

準備学修

ストレスフリー療法機器（遠赤外線療法）の仕様や特徴についてまとめる（60分）

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャ	○

リストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	○
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	◎

授業計画

第1回	担当 教員	石丸 圭荘 松本 揚 田辺 達磨 桐林 俊彰 ガイダンス総論
	内容	ストレスフリー療法論の講義内容と到達目標（ガイダンス）
第2回	担当 教員	石丸 圭荘 松本 揚 田辺 達磨 桐林 俊彰 ストレスフリー療法とは
	内容	ストレスフリー療法の特徴・作用機序について学習する。B
第3回	担当 教員	石丸 圭荘 松本 揚 田辺 達磨 桐林 俊彰 ストレスフリー療法機器の仕様
	内容	ストレスフリー療法に用いる機器の特徴と仕様について学習する。B
第4回	担当 教員	石丸 圭荘 松本 揚 田辺 達磨 桐林 俊彰 ストレスフリー療法の実践・研究
	内容	ストレスフリー療法の臨床を想定した実践・研究法について B
第5回	担当 教員	石丸 圭荘 松本 揚 田辺 達磨 桐林 俊彰 ストレスフリー療法の研究テーマ
	内容	研究計画の発表 B
第6回	担当 教員	石丸 圭荘 松本 揚 田辺 達磨 桐林 俊彰 ストレスフリー療法の実践・研究(1)
	内容	石丸（Aグループ）松本（Bグループ）田辺（Cグループ）桐林（Dグループ） 編成でストレスフリー療法の実践・研究 B
第7回	担当 教員	石丸 圭荘 松本 揚 田辺 達磨 桐林 俊彰

		ストレスフリー療法の実践・研究(2)
	内容	石丸 (Aグループ) 松本 (Bグループ) 田辺 (Cグループ) 桐林 (Dグループ) 編成でストレスフリー療法の実践・研究・関節可動域 B
第8回	担当 教員	石丸 圭荘 松本 揚 田辺 達磨 桐林 俊彰 ストレスフリー療法の実践・研究(3)
	内容	石丸 (Aグループ) 松本 (Bグループ) 田辺 (Cグループ) 桐林 (Dグループ) 編成でストレスフリー療法の実践・研究・身体機能 B
第9回	担当 教員	石丸 圭荘 松本 揚 田辺 達磨 桐林 俊彰 ストレスフリー療法の実践・研究(4)
	内容	石丸 (Aグループ) 松本 (Bグループ) 田辺 (Cグループ) 桐林 (Dグループ) 編成でストレスフリー療法の実践・研究・体温, 血流動態の変化 B
第10回	担当 教員	石丸 圭荘 松本 揚 田辺 達磨 桐林 俊彰 ストレスフリー療法の実践・研究(5)
	内容	石丸 (Aグループ) 松本 (Bグループ) 田辺 (Cグループ) 桐林 (Dグループ) 編成でストレスフリー療法の実践・研究・理学検査 (上肢) B
第11回	担当 教員	石丸 圭荘 松本 揚 田辺 達磨 桐林 俊彰 ストレスフリー療法の実践・研究(6)
	内容	石丸 (Aグループ) 松本 (Bグループ) 田辺 (Cグループ) 桐林 (Dグループ) 編成でストレスフリー療法の実践・研究・理学検査 (腰下肢) B
第12回	担当 教員	石丸 圭荘 松本 揚 田辺 達磨 桐林 俊彰 研究データの解析とまとめ
	内容	研究データの解析と検証を行い研究発表資料の作成を行う。 B
第13回	担当 教員	石丸 圭荘 松本 揚 田辺 達磨 桐林 俊彰 研究成果発表(1)
	内容	グループで検証した研究成果を発表する。 B
第14回	担当 教員	石丸 圭荘 松本 揚 田辺 達磨 桐林 俊彰 研究成果発表(2)
	内容	グループで検証した研究成果を発表する。 B
第15回	担当 教員	石丸 圭荘 松本 揚 田辺 達磨 桐林 俊彰

	研究成果発表(3)総括
内容	グループで検証した研究成果を発表する。B
評価方法とフィードバック方法	
研究成果発表100点（100%）で評価を行い，講評する。	
教科書	
教科書の指定なし	
参考書	
参考書の指定なし	
オフィスアワー	
12：15から12：50 5階，各教員の研究室	
実務経験の有無	
この科目は病院での実務経験のある教員が，ストレフリー療法（遠赤外線療法）に関する臨床研究を背景に研究・治療法について指導を行っている科目です。	
その他	
講義は主として電子媒体power pointおよびプリント資料にて行う。実技は履修登録者をA・B・C・Dグループに編成して実施する。	

講義コード	5302601
講義名	スポーツ経営管理学
(副題)	
代表ナンバリングコード	52L02-2065FE-00
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	2
必修/選択	選択
担当教員	

氏名

馬場 宏輝

総合学習目標

本授業では、総合型地域スポーツクラブの育成・運営を中心に、スポーツ経営管理学の基本的な考え方や構造・事業について概説する。スポーツ経営管理学に関する理解を深めることによって、総合型地域スポーツクラブを育成・運営する起業家精神を持てるようになることを目標とする。整復医療・トレーナー学科DP1-①に該当する。

個別学習目標

- ・スポーツ経営管理学の基本的な考え方や構造・事業について説明できる。
- ・総合型地域スポーツクラブが育成される社会的・政策的な背景について説明できる。
- ・スポーツ経営管理学に関する理解を深めることによって、総合型クラブを育成・運営する起業家精神を持てるようになる。

準備学修

授業で解説した資料を読み直し、復習すること (30分)

次回の授業教材に目を通し、テーマに関連する情報を集めておくこと (30分)

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	○
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者とな	

ると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	○

授業計画

第1回	担当教員	馬場 宏輝 オリエンテーション
	内容	担当教員の紹介。シラバス内容の確認。
第2回	担当教員	馬場 宏輝 スポーツ経営管理学とは
	内容	体育・スポーツ経営学の定義と構造について概説する。
第3回	担当教員	馬場 宏輝 運動者と運動者行動について
	内容	運動者と運動者行動について概説する。
第4回	担当教員	馬場 宏輝 基本的体育・スポーツサービス（事業）とは
	内容	基本的体育・スポーツサービス（事業）について概説する。
第5回	担当教員	馬場 宏輝 エリアサービスとは
	内容	エリアサービスについて概説する。
第6回	担当教員	馬場 宏輝 プログラムサービスとは
	内容	プログラムサービスについて概説する。
第7回	担当教員	馬場 宏輝 クラブサービスとは
	内容	クラブサービスについて概説する。
第8回	担当教員	馬場 宏輝 関連的体育・スポーツサービス（事業）とは
	内容	関連的体育・スポーツサービス（事業）について概説する。
第9回	担当教員	馬場 宏輝 地域スポーツクラブの現状について
	内容	地域スポーツクラブの現状について概説する。
第10回	担当教員	馬場 宏輝 わが国のスポーツ政策について
	内容	わが国のスポーツ政策について概説する。
第11回	担当教員	馬場 宏輝 総合型地域スポーツクラブとは
	内容	総合型地域スポーツクラブについて概説する。
第12回	担当教員	馬場 宏輝 総合型クラブの育成・運営①
	内容	総合型クラブの育成・運営について概説する。
第13回	担当教員	馬場 宏輝 総合型クラブの育成・運営②
	内容	総合型クラブの育成・運営について概説する。
第14回	担当教員	馬場 宏輝 総合型クラブの育成・運営③
	内容	総合型クラブの育成・運営について概説する。

第15回	担当教員	馬場 宏輝 まとめと総括・学修到達度の確認
	内容	まとめと総括を行う。学習到達度の確認を行う。

評価方法とフィードバック方法

授業毎の提出課題50点（50%）、定期試験に代わる授業外レポート50点（50%）、合計100点（100%）で総合的に評価する。

教科書

テキストは指定しない。適宜、授業テーマに沿ったプリントを配布する。

参考書

参考文献「基本スポーツマネジメント」畑攻・小野里真弓 編著 大修館書店

オフィスアワー

質問等はメールで受け付ける(h.baba@thu.ac.jp)

実務経験の有無

この科目は、日本体育協会（現、JSPO）での実務・事業運営経験のある教員が、その実務経験を活かして、総合型地域スポーツクラブの基本的な知識と経営手法、日本におけるスポーツ振興方策等について講義する。

その他

適宜プリント資料を配布する。

・授業前には授業テーマに沿ったニュース等に触れておく（30分）。授業後には授業内容をふり返って重要なポイントをまとめておく（60分）。

②担当教員実務経験の有無について

・有

③オフィスアワーについて

・非常勤教員の為、質問等はメールで受け付ける(h.baba@thu.ac.jp)

④授業に関する特記事項など

・授業計画は、授業の進み方により、多少前後することがある。

講義コード	5302701
講義名	スポーツ社会学
(副題)	
代表ナンバリングコード	52L02-3066SE-00
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	3
必修/選択	選択

担当教員

氏名
菅沼 徳夫
長谷川 龍成

総合学習目標

現代社会において、スポーツが果たす役割は大きなものとなっている。しかしスポーツが果たす役割や価値は、人によって、あるいは時代によって、その見方、考え方、とらえ方が違ってくる。スポーツの様々な側面を広く取り上げながら、スポーツと社会や文化との関係性について考察しながらスポーツの意義や価値、あるいは問題点を知り、スポーツの指導者としての資質を広げ高める。

個別学習目標

保健体育教師を目指す人たちのためには、高等学校の体育理論「スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴」および中学校の体育理論「文化としてのスポーツの意義」の内容を生徒に教えることができる基本的内容も得られるようにしました。

A T等スポーツ関係職を目指す人たちのためには、現代のスポーツ指導に求められている基本的な社会学的理解が得られるように構成しました。

急速な社会の変化、体育・スポーツの意義と価値の変容の中で、体育・スポーツの発展を支えていくために様々な人の考え方を理解することができ、さらに自分の考えを表現することができるよう、興味をもって主体的に学習に取り組んでいきましょう。

準備学修

スポーツニュースや新聞の体育・スポーツに関係ある記事を配布し、みんなで考えてみましょう。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
--	----------------------------------

【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	
--	--

【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	
--	--

【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	◎
--	---

【整復医療・トレーナー学科 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	○
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	○

授業計画

第1回	担当教員	菅沼 徳夫 ガイダンス
	内容	「スポーツ社会学」でどんなことを学習するのか、その概観を理解する 教師が学ぶ必要性、トレーナーやコーチが学ぶ必要性、それぞれの意義を知る
第2回	担当教員	菅沼 徳夫 人はなぜスポーツをするのか
	内容	スポーツの誕生から繁栄、そしてスポーツの面白さ、楽しさの本質を考える
第3回	担当教員	菅沼 徳夫 スポーツの意義と価値①
	内容	学校とスポーツ（体育や部活動に影響されてきた日本のスポーツ）
第4回	担当教員	菅沼 徳夫 スポーツの意義と価値②
	内容	社会生活とスポーツ（地域スポーツ、高齢者スポーツなど） スポーツの効用
第5回	担当教員	菅沼 徳夫 スポーツの意義と価値③
	内容	スポーツの歪み（勝利至上主義、不健康、ドーピング、金儲け主義など）
第6回	担当教員	菅沼 徳夫 オリンピック①
	内容	オリンピックの意義と価値 オリンピックの歴史、その光と影
第7回	担当教員	菅沼 徳夫 オリンピックとスポーツ②
	内容	これからのオリンピックの考え方
第8回	担当教員	菅沼 徳夫 部活動について考える
	内容	日本型部活動とは これからの部活動、地域移行について
第9回	担当教員	菅沼 徳夫 スポーツと暴力
	内容	スポーツと暴力はなぜ親和性が強いのか 各大学、スポーツ指導者養成の場での暴力根絶の取り組み
第10回	担当教員	菅沼 徳夫 スポーツと差別①
	内容	スポーツの差別性（性別、人種等による）を考える 映画「42」の視聴
	担当教員	菅沼 徳夫 スポーツと差別②

第11回	内容	映画「42」の視聴 オリンピック、FIFAワールドカップでの選手の抗議 スポーツとジェンダー
第12回	担当教員	菅沼 徳夫 文化としてのスポーツ
	内容	大相撲やプロレスという興行などの伝統について考える
第13回	担当教員	菅沼 徳夫 スポーツの自治
	内容	社会的貢献とスポーツ、スポーツウォッシング
第14回	担当教員	菅沼 徳夫 障がい者とスポーツ
	内容	障がい者のスポーツ環境
第15回	担当教員	菅沼 徳夫 まとめ
	内容	社会学的視点から見たスポーツの可能性

評価方法とフィードバック方法

試験（80%）と授業中に提出してもらったレポート、自分から進んで提出する「準備学修」に書いてあるニュースや新聞記事のミニレポート等(20%)で評価する。

次回の授業、class room等でフィードバックする。

教科書

テキスト指定しない。配布資料を用いる。

参考書

西山哲郎『近代スポーツとは何か』世界思想社 1, 900円

森川貞夫・佐伯聡夫『スポーツ社会学講義』大修館書店 1, 900円

杉本厚夫『映画に学ぶスポーツ社会学』世界思想社 1, 900円

その他

よきスポーツ指導者になるために、幅広い知識を習得するように、主体的に学習して欲しい

資料等は適宜配布する

担当教員実務経験の有無, 有

講義コード	5302803
講義名	学校保健
(副題)	
代表ナンバリングコード	52L02-3067FE-00
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	3
必修/選択	選択
担当教員	

氏名

佐久間 浩美

総合学習目標

学校保健は、発育発達期にある児童・生徒の健康の保持増進を図ることが目的であることを理解し、保健体育科教員として積極的に学校保健を推進する資質や能力を高める。

個別学習目標

学校保健は、保健教育、保健管理、組織活動から構成されていることを理解し説明することができる。また、児童・生徒の健康課題を解決できる実践的な能力を養う。

準備学修

準備として「学校保健 子どもの『生きる力』を育む」を読んで専門用語をまとめておく(30分)、講義後には、学んだ内容をレポートにまとめることや講義中に示された事例への対応についてまとめておく(60分)

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	◎

授業計画

第1回	担当教員	佐久間 浩美 オリエンテーション 学校保健の意義と特質1 (学校保健の概要、学校保健の行政と関係法規)
	内容	学校保健の概要、学校保健の行政と関係法規について理解を深める。
第2回	担当教員	佐久間 浩美 学校保健の意義と特質2(学校保健の構造、児童・生徒の健康状態)
	内容	学校保健の領域構成と内容について知り、健康についての捉え方、ヘルスプロモーションについて理解する。AL:B
第3回	担当教員	佐久間 浩美 学校保健の意義と特質3 (児童・生徒の発育発達)
	内容	児童・生徒の心身の発育・発達について理解する。AL:B
第4回	担当教員	佐久間 浩美 学校保健の意義と特質 4 (児童・生徒の健康状態)
	内容	児童・生徒の健康状態と今日的な健康課題について理解する。AL:B
第5回	担当教員	佐久間 浩美 学校における健康教育 (保健教育の推進)
	内容	保健教育の教育課程における位置と特性について理解する。AL:B
第6回	担当教員	佐久間 浩美 学校における保健管理I (主体管理と生活管理 1) 健康観察と感染症予防
	内容	学校における健康観察と感染症予防について理解する。AL:B
第7回	担当教員	佐久間 浩美 学校における保健管理 1 (主体管理と生活管理 2)健康診断と疾病管理
	内容	学校における健康診断と疾病管理を理解する。AL:B
第8回	担当教員	佐久間 浩美 学校における保健管理1 (主体管理と生活管理 3)健康相談、学校における対応
	内容	学校における健康相談と対応について理解する。AL:B
第9回	担当教員	佐久間 浩美 学校における保健管理1 (主体管理と生活管理 4) 特別な支援が必要な児童生徒への対応

	員	
	内容	特別な支援が必要な児童・生徒への対応について理解する。AL:B
第10回	担当教員	佐久間 浩美 学校における保健管理II（環境管理1）学校環境衛生検査
	内容	学校環境衛生検査の意義と目的を理解する。AL:B
第11回	担当教員	佐久間 浩美 学校における保健管理II（環境管理2）学校安全管理
	内容	学校管理下の安全管理について理解を深める。AL:B
第12回	担当教員	佐久間 浩美 学校における保健管理II（環境管理3）食物アレルギーへの対応
	内容	食物アレルギーを持つ児童・生徒への対応を理解する。AL:B
第13回	担当教員	佐久間 浩美 児童生徒の現代的健康課題の解決①いじめ、不登校、虐待など
	内容	児童生徒の現代的な健康課題を解決するために教員としてどのように働きかければ良いのか考え発表する。いじめ、不登校、虐待、体罰、インターネットゲーム依存、スマホ依存、AL:C
第14回	担当教員	佐久間 浩美 児童生徒の現代的な健康課題の解決②アレルギー疾患、突然死、運動習慣の二極化など
	内容	児童生徒の現代的な健康課題を解決するために教員としてどのように働きかければ良いのか考え発表する。アレルギー疾患、突然死、運動習慣の二極化、スポーツ障害、飲酒、喫煙、AL:C
第15回	担当教員	佐久間 浩美 児童生徒の現代的健康課題の解決③薬物依存、性感染症、貧困など
	内容	児童生徒の現代的な健康課題を解決するために教員としてどのように働きかければ良いのか考え発表する。薬物乱用、性感染症、貧困、精神疾患、学校安全、特別な支援に関する問題、性的マイノリティ、AL:C

評価方法とフィードバック方法

定期試験70点 授業ごとのプリント 10点 児童生徒の現代的な健康課題の解決についての発表
20点

教科書

テキスト 学校保健 子どもの「生きる力」を育む 門田新一郎、大津一義編著 大学教育出版 本体2400円+税

参考文献 学校保健の動向 日本学校保健会編

参考書

テキスト 学校保健 子どもの「生きる力」を育む 門田新一郎、大津一義編著 大学教育出版 本体2500円+税

参考文献 学校保健の動向 日本学校保健会編 小学校、中学校、高等学校、学習指導要領、学習指導要領解説

オフィスアワー

木曜日、2～4時限、504研究室

実務経験の有無

学校現場における教員経験がある者が、その経験を活かして学校保健に関する課題解決を図る資質や能力を育成する科目である

その他

保健体育科教員を目指す上で、児童生徒の健康を第一に考える姿勢は大切である。そのため、健康に関する書物や新聞などを積極的に読んでほしい。

講義コード	5400401
講義名	整復ケア理論（脱臼学）
(副題)	
代表ナンバリングコード	52L04-1068FR-00
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

末吉 祐介

総合学習目標

整復医療ケア理論（脱臼学）では、関節損傷、特に捻挫・脱臼について学習する。関節の構造と機能を理解し柔道整復師が脱臼を治療する際の基礎的な知識を習得する。

整復医療・トレーナー学科 DP1-①

個別学習目標

- 1)関節の構造と機能について説明できる。
- 2)脱臼の分類について説明できる。
- 3)脱臼の症状について説明できる。
- 4)脱臼の合併症について説明できる。
- 5)脱臼の予後について説明できる。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	○
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	

【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。

授業計画

第1回	担当教員	末吉 祐介 ガイダンス
	内容	シラバス, 授業評価など授業計画について説明を行う
第2回	担当教員	末吉 祐介 関節の構造と機能, 関節構成組織
	内容	関節の構造と構成組織を学び, 関節に関する知識を深める
第3回	担当教員	末吉 祐介 関節損傷の概説: 捻挫, 脱臼
	内容	関節損傷に加わる力, 関節損傷の分類, 用語の定義について学ぶ
第4回	担当教員	末吉 祐介 関節損傷の概説: 関節損傷に加わる力
	内容	関節の性状による分類を説明できる
第5回	担当教員	末吉 祐介 関節損傷の分類: 関節の性状・損傷部と創部との交通の有無
	内容	開放性脱臼と皮下脱臼の違いを学ぶ
第6回	担当教員	末吉 祐介 関節損傷の分類: 外力の働いた部位・働き方・経過
	内容	外力による分類を学ぶ
第7回	担当教員	末吉 祐介 損傷される組織: 鑑別診断を要する類症 関節構成組織損傷
	内容	脱臼と類似した疾患の鑑別を学ぶ
第8回	担当教員	末吉 祐介 関節構成組織損傷: 靭帯・関節包・その他の関節構成組織
	内容	関節構成組織の損傷について学ぶ
第9回	担当教員	末吉 祐介 関節構成組織損傷: 関節軟骨・その他構成組織損傷
	内容	関節軟骨の損傷及び修復過程を学ぶ
第10回	担当教員	末吉 祐介 脱臼の概説: 定義と概説, 発生頻度, 分類
	内容	脱臼の定義, 発生頻度を学び, 脱臼の分類を説明できる力をつける
第11回	担当教員	末吉 祐介 脱臼の分類: 性状・程度・関節相互の位置・脱臼数による分類
	内容	脱臼数による分類を説明できるようにする
第12回	担当教員	末吉 祐介 脱臼の症状
	内容	脱臼の固有症状と炎症の一般症状の違いがわかる
第13回	担当教員	末吉 祐介 脱臼の合併症
	内容	脱臼による合併症を説明できる
第14回	担当教員	末吉 祐介 脱臼の整復障害, 経過と予後
	内容	脱臼の整復障害因子を説明できる
	担当教員	末吉 祐介

第15回		まとめ
	内容	これまでに学習した内容を復習する。

評価方法とフィードバック方法

授業ごとに小テストを実施し、各小テストの合計得点率で成績判定を行う。
小テストごとに解答解説を行う。
※小テストを正答な理由なく未受験の場合は0点として取り扱う。

教科書

テキスト
授業内配布プリント

参考文献

柔道整復理論第6版 社団法人柔道整復学校協会教科書委員会 南江堂 7, 300円+税

参考書

テキスト
授業内配布プリント

参考文献

柔道整復理論第6版 社団法人柔道整復学校協会教科書委員会 南江堂 7, 300円+税

オフィスアワー

末吉 12:10-12:50

実務経験の有無

整形外科クリニックで柔道整復師として10年間の臨床経験とトレーナーとして8年間の現場経験を有する。臨床で経験した脱臼や関節損傷に関する知識と技術を伝え、柔道整復師として基礎知識を修得することを目的としている。

その他

座席は指定とする

前回学習した内容の復習を行っておく

授業で小テストを行う

COVID-19の感染状況によっては遠隔授業での実施も検討する。

担当教員実務経験の有無, 有

講義コード	5400501
講義名	整復ケア理論（軟損）
(副題)	
代表ナンバリングコード	52L04-1069SR-00
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

田村 哲也

総合学習目標

各軟部組織の構造と機能を理解した上で、それらの軟部組織損傷の症状や程度の分類、治癒機序の基本的事項を理解する。

この講義は総論として位置づけられ、次年度以降で履修する軟部組織損傷（各論）の基礎として、授業を通して基本事項の深い理解と応用力を身につけることが最大の目標である。

整復医療・トレーナー学科DP1-①

個別学習目標

- 1) 各軟部組織の構造と機能を説明できる。
- 2) 各軟部組織損傷の特徴（性差、年齢、症状など）を説明できる。
- 3) 各軟部組織損傷の分類（部位、程度など）を説明できる。
- 4) 各軟部組織損傷の徒手検査法（テスト法）が説明できる。

準備学修

講義後、資料プリントと教科書をもとに授業の内容を振り返り、クラスルームに投稿した練習問題を行うこと（30分）

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	○
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャ	

リストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	

授業計画

第1回	担当教員	田村 哲也 軟部組織損傷の定義、関節の構造、関節構成組織
	内容	関節の連結、関節軟骨について学ぶ
第2回	担当教員	田村 哲也 関節構成組織、関節損傷の概説、分類
	内容	関節包、滑液、関節円板・半月、滑液包、関節唇など、捻挫の定義について学ぶ
第3回	担当教員	田村 哲也 関節損傷の概説、分類、靭帯の損傷
	内容	アイシング、関節損傷、鑑別靭帯の特徴、分類、症状について学ぶ
第4回	担当教員	田村 哲也 靭帯の損傷、関節軟骨損傷
	内容	靭帯損傷の徒手検査法、関節軟骨損傷の頻度、分類について学ぶ
第5回	担当教員	田村 哲也 筋の構造と機能、筋損傷の概説
	内容	骨格筋の機能、構成、筋の起始停止、肉離れ・筋打撲について学ぶ
第6回	担当教員	田村 哲也 筋の種類、筋損傷の概説、分類
	内容	赤筋、白筋、筋の性状、損傷程度による分類について学ぶ
第7回	担当教員	田村 哲也 筋損傷の症状、処置、治癒機序、予後、検査
	内容	陳旧例、筋損傷の特徴、初期処置、治癒経過、徒手検査法について学ぶ
第8回	担当教員	田村 哲也 腱の構造と機能、腱損傷の概説、腱の性状
	内容	腱の構造、断裂、炎症、腱の性状による損傷について学ぶ
第9回	担当教員	田村 哲也 腱損傷の分類、処置、治癒機序
	内容	腱損傷の程度・部位による分類、初期処置、治癒過程について学ぶ
第10回	担当教員	田村 哲也 腱損傷の徒手検査法
	内容	腱損傷で実際に使用する徒手検査法について学ぶ
第11回	担当教員	田村 哲也 神経の構造と機能、末梢神経損傷の概説
	内容	末梢神経の種類・構造、腕神経叢損傷について学ぶ
第12回	担当教員	田村 哲也 末梢神経損傷の分類
	内容	神経の性状、損傷の程度による分類について学ぶ
	担当教	田村 哲也

第13回	員	末梢神経損傷の症状、処置、治癒機序
	内容	末梢神経損傷の運動神経・感覚神経・自律神経障害、初期処置、治癒過程について学ぶ
第14回	担当教員	田村 哲也 末梢神経の徒手検査法
	内容	頸椎部、腰部、手関節部の徒手検査法について学ぶ
第15回	担当教員	田村 哲也 血管系、リンパ系の損傷、皮膚の損傷
	内容	血管・リンパ管の構造と機能、阻血症状、皮膚の非機械的損傷について学ぶ

評価方法とフィードバック方法

定期試験70点(70%)、課題(小テスト)30点(30%)、合計100点(100%)で評価する。
課題(小テスト)と定期試験はClassroom等で正解と講評を掲載する。

教科書

テキスト 指定なし。

参考書

柔道整復学・理論編(社)全国柔道整復学校協会監修(社)全国柔道整復学校協会・教科書委員会編
南江堂 7, 300円

オフィスアワー

月曜日・2限・501教員研究室

実務経験の有無

この科目は診療所での柔道整復師としての実務経験のある教員が、軟部組織損傷の構造・徒手検査法・治療法について指導を行っている科目である。

その他

- 1) 適宜プリント資料を配布する。
- 2) 定期試験、課題については第一回講義にて説明する。

講義コード	5400701
講義名	スポーツトレーニング概論
(副題)	
代表ナンバリングコード	52L04-2070FE-00
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	2
必修/選択	選択
担当教員	

氏名

越田 専太郎

総合学習目標

本講義では、以下の4項目を総合学習目標とする

- ① スポーツトレーニングの基本的な考え方を学修する
- ② 体カトレーニングの基礎理論、トレーニング計画立案（プログラムデザイン）に必要な身体構造や機能を学修する
- ③ トレーニングによる身体の適応、それらの評価変数および測定方法を学修する。
- ④ トレーニングのプログラミングデザインの基礎について学修する。

個別学習目標

本講義では、以下の5項目を個別学習目標とする

- ① トレーニングプログラミングに必要なスポーツ科学について理解できる
- ② スポーツパフォーマンスに関わる身体構造や機能について理解できる
- ③ 身体運動（有酸素エクササイズ、レジスタンスエクササイズ）への短期応答、適応について理解できる
- ④ 身体機能やトレーニング効果を評価する上で、重要な変数の測定方法や評価基準について理解できる
- ⑤ 体力（筋力、筋パワー、全身持久力）トレーニングのプログラミングの基礎を理解できる

準備学修

1年次の基礎・臨床医学科目（解剖学、生理学、生化学など）についてスポーツ科学（エネルギー供給系、筋生理学、バイオメカニクス）に関わる部分について、準備学修を行うこと（60分）。

ディプロマポリシー

◎：強く該当する
○：該当する
選択なし：該当しない

【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。

◎

【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	○
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	

授業計画

第1回	担当 教員	越田 専太郎 コースガイダンス
	内容	授業の進行、評価、授業内課題、学習の進め方、期末試験の概要について確認する。
第2回	担当 教員	越田 専太郎 体力の分類とトレーニングの基本原則
	内容	行動体力と防衛体力、エネルギー体力とサイバネティクス系体力の内容について学修する。また、トレーニングをプログラミングする上で基礎となる基本原則について学修する。
第3回	担当 教員	越田 専太郎 エネルギー供給系
	内容	トレーニングをプログラミングする上で基礎となるエネルギー供給系について学修する。具体的には、ATP-CP系、乳酸系、有酸素性代謝の内容について焦点をあてる。
第4回	担当 教員	越田 専太郎 有酸素エクササイズに対する短期応答
	内容	有酸素エクササイズに対する循環器系、代謝系、呼吸器系、内分泌系の応答について学修する。
第5回	担当 教員	越田 専太郎 有酸素性持久力の評価
	内容	有酸素性持久力能力やトレーニング効果を評価する変数およびそれらの測定方法について学修する。具体的には、最大酸素摂取量、乳酸性作業閾値、換気性作業閾値、ランニングエコノミーについて焦点をあてる。
第6回	担当 教員	越田 専太郎 持久性トレーニングによる適応
	内	持久性トレーニングによって生じる循環器系、筋骨格系、呼吸系などの適応につ

	容	いて学修する。
第7回	担当 教員	越田 専太郎 持久性トレーニングのプログラムデザイン
	内容	持久性トレーニングのプログラミングにおけるニーズ分析、プログラム変数（運動様式、運動強度、運動頻度）の調整について学修する。
第8回	担当 教員	越田 専太郎 持久性トレーニングReview
	内容	エネルギー供給系、有酸素性エクササイズに対する短期応答、有酸素性持久力の評価、持久性トレーニングによる適応および持久性トレーニングのプログラムデザインの内容を総括する。B
第9回	担当 教員	越田 専太郎 筋生理学
	内容	トレーニングプログラミングの基礎となる筋生理学の内容について学修する。具体的には、骨格筋機能、筋発揮に関わる構造、興奮-収縮連関、筋収縮の仕組み、筋力の決定要因などに焦点をあてる。
第10回	担当 教員	越田 専太郎 トレーニング指導に関わるバイオメカニクス
	内容	トレーニング指導の際に理解が必要なバイオメカニクスの内容について学習する。具体的には、ニュートンの法則、ベクトル、運動量、パワー、仕事、トルクなどに焦点をあてる。
第11回	担当 教員	越田 専太郎 ストレングストレーニング・エクササイズに対する短期応答
	内容	ストレングストレーニング・エクササイズに対する神経系、代謝系、内分泌系の応答について学修する。
第12回	担当 教員	越田 専太郎 筋力・筋肥大・筋パワー・筋持久力の評価
	内容	筋機能やストレングストレーニング効果を評価する変数およびそれらの測定方法について学修する。具体的には、最大筋力、筋サイズ、筋組成、最大筋パワー、局所筋持久力の測定評価について焦点をあてる。
第13回	担当 教員	越田 専太郎 ストレングストレーニングによる適応
	内容	ストレングストレーニングによる神経系、筋骨格系、代謝系、循環器系、内分泌系の適応について学修する。
第14回	担当 教員	越田 専太郎 ストレングストレーニングのプログラムデザイン
	内	レジスタントトレーニングのプログラミングにおけるニーズ分析、エクササイズ の選択、トレーニング頻度、エクササイズの順番、トレーニング強度、トレーニ

	容	ング量について学修する。
第15回	担当 教員	越田 専太郎 ストレングストレーニングreview
	内容	レジスタンスエクササイズに対する短期応答、筋力・筋肥大・筋パワー・筋持久力の評価、レジスタンストレーニングによる適応、レジスタンストレーニングのプログラムデザインの内容を総括する。B

評価方法とフィードバック方法

授業内課題 (50%) と定期試験(50%)の結果を総合して評価する (100%)。授業内課題については講義内で解説する

教科書

教科書の指定はなし

講義内およびGoogle Classroom通して講義資料を、紙媒体および電子媒体の両方で配布する

参考書

1. (公財) 日本スポーツ協会リファレンスブック 4,400円 (税込) <https://www.japan-sports.or.jp/publish/tabid677.html>

2. NSCA決定版ストレングストレーニング&コンディショニング第4版 Gregory Haff & Travis Triplett編 篠田邦彦総監修 ブックハウスHD 12,000円 (税除く)

オフィスアワー

水曜日・3限・506研究室

実務経験の有無

この科目では、教員のストレングスコーチの実務経験を活かし、各種トレーニングに関する理論的背景を理解を促す教育を行う

その他

その他 スポーツトレーニング概論の内容を十分に理解していることが望ましい

JSPO-AT資格取得希望者は参考書1, CSCS資格取得希望者は参考書2の購入が望ましい

授業内でKahoot(<https://kahoot.com/schools-u/>) を使用します。アプリのダウンロードを推奨します

クラスルーム

<https://classroom.google.com/c/NTEyNzM5NTEExNDAw?cjc=g5wwku5>

講義コード	5400801
講義名	スポーツトレーニング各論
(副題)	
代表ナンバリングコード	52L04-2071SE-00
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	2
必修/選択	選択
担当教員	

氏名

越田 専太郎

総合学習目標

本講義ではスポーツトレーニング概論の学習内容をさらに深く掘り下げる

以下の4項目を総合学習目標とする

- ① トレーニングによってもたらされる人体の生理学的適応について学修する
- ② 各体力要素を最適化するエクササイズの基本理論について学修する
- ③ 外傷・障害の予防、パフォーマンス向上を目的としたトレーニングのプログラムデザインについて学修する
- ④ 様々な対象に対するトレーニングのプログラムデザインについて学修する

個別学習目標

本講義では、以下の4項目を個別学習目標とする

- ① スプリントトレーニング・アジリティトレーニング・プライオメトリクス・モーターコントロール（神経筋協調）トレーニングのプログラミングに必要な生理学的背景について理解できる
- ② 最大筋力、筋パワー、ジャンプ能力、スピード、アジリティ、バランス、柔軟性、スキルの向上を目的とした各種エクササイズの目的や構造およびプログラムデザインの基礎理論を理解できる
- ③ 成長期プレイヤー、女性プレイヤー、中高齢者プレイヤーの特徴に応じたトレーニングプログラミングを理解できる
- ④ 各種トレーニングがスポーツ選手の外傷予防や外傷後の競技復帰に果たす役割を理解できる

準備学修

2年次前期開講のスポーツトレーニング概論の内容で、特にスポーツ科学（エネルギー供給系、筋生理学、バイオメカニクス）に関わる部分について、準備学修を行うこと（60分）。

ディプロマポリシー

	◎：強くなる 該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】 ①整復医療・保健体育・スポーツ医	◎

科学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有効に活用できる。	
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	○
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	◎

授業計画

第1回	担当 教員	越田 専太郎 コースガイダンス
	内容	授業の進行、評価、授業内課題、期末試験の概要について確認する。また、準備学修の確認も行う。
第2回	担当 教員	越田 専太郎 スプリントトレーニングの理論と実際
	内容	スプリントスピードを最大化するためのトレーニングプログラムとその生理学的背景について学修する。代表的なエクササイズにおける典型的な不良動作と傷害発症の関係やプログラミングにおける各種測定結果の活用についても学修する。
第3回	担当 教員	越田 専太郎 アジリティトレーニングの理論と実際
	内容	アジリティを最大化するためのトレーニングプログラムとその生理学的背景について学修する。代表的なエクササイズにおける典型的な不良動作と傷害発症の関係やプログラミングにおける各種測定結果の活用についても学修する。
第4回	担当 教員	越田 専太郎 プライオメトリクストレーニングの理論と実際
	内容	プライオメトリクスの生理学的背景、代表的なエクササイズおよびトレーニングプログラムおよび実施の際の注意点等について学修する。
第5回	担当 教員	越田 専太郎 代替的様式や非伝統的用具を用いたトレーニングの理論と実際
	内容	自体重トレーニングやストロングエクササイズ、不安定環境、チェーンやエラスティックバンドなどの器具を用いて実施する代表的なエクササイズおよびトレーニングプログラムについて学修する。
	担	

第6回	当 教 員	越田 専太郎 バランス・モーターコントロール（神経筋協調）トレーニングの理論と実際
	内 容	バランス・モーターコントロール（神経筋協調）トレーニングの生理学的背景、代表的なエクササイズおよびトレーニングプログラムについて学修する
第7回	担 当 教 員	越田 専太郎 スキルトレーニングの理論と実際
	内 容	スキルトレーニングのプログラミングに必要な運動学習の内容について学修する
第8回	担 当 教 員	越田 専太郎 柔軟性トレーニング（ストレッチング）の理論と実際
	内 容	柔軟性を最大化するためのストレッチングやモビリティエクササイズプログラムとその生理学的背景について学修する。柔軟性と競技パフォーマンスおよび傷害発生の関係やプログラミングにおける各種エクササイズの活用についても学修する。
第9回	担 当 教 員	越田 専太郎 ピリオダイゼーション① 伝統的モデル
	内 容	ピリオダイゼーションの生理学的背景について学修するとともに、具体的な伝統的プログラムについて理解する。
第10回	担 当 教 員	越田 専太郎 ピリオダイゼーション② ブロックピリオダイゼーション・ピーキング・コンカレントトレーニング
	内 容	ブロックピリオダイゼーションに関する生理学的背景について学修するとともに、具体的なプログラミングについて理解する。またコンカレントトレーニングの内容についても学修する。
第11回	担 当 教 員	越田 専太郎 成長期アスリートのトレーニング理論と実際
	内 容	Long Term Athletic Development、日本版FTEMの内容も含め、成長期アスリートの健全な成長や競技力向上に求められるトレーニングやそのプログラムデザインについて学修する。
第12回	担 当 教 員	越田 専太郎 女性アスリートのトレーニング理論と実際
	内 容	女性アスリートに最適化したトレーニングやそのプログラムデザインについて、最新の知見に触れながら学修する。また、女性アスリートに頻発するコンディション不良の内容についても学修する。
第13回	担 当 教 員	越田 専太郎 中高年者アスリートのトレーニング理論と実際
	内 容	中高年者アスリートに最適化したトレーニングやそのプログラムデザインについて、ACSM（米国スポーツ医学会）のガイドラインなどに基づき学修する。
	担	

第14回	当 教 員	越田 専太郎 トレーニングと外傷予防・リハビリテーション
	内 容	トレーニング指導者に必要な外傷予防、リハビリテーションの内容を学修する。 また、最近の知見についても整理する。
第15回	担 当 教 員	越田 専太郎 コースReview
	内 容	コースの内容の概要を再度整理すると共に、ディスカッションなどを通して学習 目標に対する到達度を確認する。

評価方法とフィードバック方法

講義内課題 (50%) および期末テスト (50%) で総合的に判定する (100%) 。

教科書

教科書の指定はない

講義内およびGoogle Classroomを通して講義資料を紙媒体および電子媒体の両方で配布する

参考書

1. (公財) 日本スポーツ協会リファレンスブック 4,400円 (税込) <https://www.japan-sports.or.jp/publish/tabid677.html>

2. NSCA決定版ストレングストレーニング&コンディショニング第4版 Gregory Haff& Travis Triplett編 篠田邦彦総監修 ブックハウスHD 12,000円 (税除く)

オフィスアワー

金曜日・2限・506研究室

実務経験の有無

この科目では、教員のストレングスコーチの実務経験を活かし、各種トレーニングに関する理論的背景を理解を促す教育を行う

その他

スポーツトレーニング概論の内容を十分に理解していることが望ましい

JSPO-AT資格取得希望者は参考書1, CSCS資格取得希望者は参考書2の購入が望ましい

授業内でKahoot(<https://kahoot.com/schools-u/>) を使用します。アプリのダウンロードを推奨します

クラスルーム

<https://classroom.google.com/c/NjU0NjgwMzAxNjI4?cjc=ryrv7ll>

講義コード	5401001
講義名	整復ケア骨損傷学I
(副題)	
代表ナンバリングコード	52L04-2072FR-00
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	2
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

大澤 裕行

総合学習目標

整復ケア骨損傷学Iでは、上肢の骨折について学習する。上肢骨折は日常の発生頻度が高く、柔道整復業務の中でよく遭遇する重要な損傷である。特に人間として大切且つ精緻な機能を有する手の外傷を含め、上肢全体を細かな部位に分け、それぞれの骨折の特徴と最善な治療方法を学習する。また、柔道整復師の得意とする非観血的療法、徒手整復法を学び、確かな治療技術として身に付けられるよう徒手整復法の理論的裏付けについて科学的に学習する。

個別学習目標

上肢各部位の解剖学的特質、各骨折の発生機序、骨片転位、整復技法、固定法等について一連の治療体系を理解する。柔道整復施術を先ず理論的に理解することで、種々の上肢骨折の概要を知り、柔道整復師としての初期対応の仕方を学習する。同時に、危険な外傷や禁忌の外傷、鑑別診断ができるよう、きちんとその外傷を評価・判断し、医療の中で他医療職と同目線で連携ができる素養を養うことを目的とする。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有効に活用できる。	
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	◎

授業計画

第1回	担当教員	大澤 裕行 鎖骨骨折について
	内容	疾患に対する施術理論を学習する。AL:A
第2回	担当教員	大澤 裕行 肩甲骨骨折について
	内容	疾患に対する施術理論を学習する。AL:A
第3回	担当教員	大澤 裕行 上腕骨近位部骨折について
	内容	疾患に対する施術理論を学習する。AL:A
第4回	担当教員	大澤 裕行 上腕骨外科頸骨折について
	内容	疾患に対する施術理論を学習する。AL:A
第5回	担当教員	大澤 裕行 上腕骨骨幹部骨折について
	内容	疾患に対する施術理論を学習する。AL:A
第6回	担当教員	大澤 裕行 上腕骨遠位部骨折について
	内容	疾患に対する施術理論を学習する。AL:A
第7回	担当教員	大澤 裕行 上腕骨顆上骨折について
	内容	疾患に対する施術理論を学習する。AL:A
第8回	担当教員	大澤 裕行 上腕骨外顆骨折について
	内容	疾患に対する施術理論を学習する。AL:A
第9回	担当教員	大澤 裕行 前腕骨近位部・骨幹部骨折について
	内容	疾患に対する施術理論を学習する。AL:A
第10回	担当教員	大澤 裕行 前腕骨遠位部コーレス骨折について
	内容	疾患に対する施術理論を学習する。AL:A
第11回	担当教員	大澤 裕行 前腕骨遠位部スミス、 Barton骨折について
	内容	疾患に対する施術理論を学習する。AL:A
第12回	担当教員	大澤 裕行 手根骨骨折について
	内容	疾患に対する施術理論を学習する。AL:A
第13回	担当教員	大澤 裕行 中手骨骨折について
	内容	疾患に対する施術理論を学習する。AL:A
第14回	担当教員	大澤 裕行 指骨骨折について
	内容	疾患に対する施術理論を学習する。AL:A
第15回	担当教員	大澤 裕行 上肢骨折のまとめ
	内容	まとめAL:B

評価方法とフィードバック方法

原則的に、毎回のレポート30%、定期試験70%を合わせ、総合的に判定する。

レポート：その都度解説、講評する

定期試験：掲示板等で正解と講評を掲載する

教科書

テキスト：「柔道整復外傷学ハンドブック（上肢の骨折・脱臼）」平澤泰介・北条達也監修

医道の日本社刊 2, 800円

参考文献：「柔道整復学・理論編」改訂第5版（社）全国柔道整復学校協会教科書委員会編

南江堂 7, 300円

参考書

テキスト：「柔道整復外傷学ハンドブック（上肢の骨折・脱臼）」平澤泰介・北条達也監修

医道の日本社刊 2, 800円

参考文献：「柔道整復学・理論編」改訂第5版（社）全国柔道整復学校協会教科書委員会編

南江堂 7, 300円

オフィスアワー

適宜受け付ける

実務経験の有無

この科目は診療所で柔道整復師としての実務経験のある教員が柔道整復師として学ぶべき柔道整復実技の必要な知識を身につけること目的に行っている科目です。

講義コード	5401101
講義名	整復ケア骨損傷学II
(副題)	
代表ナンバリングコード	52L04-2073SR-00
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	2
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

松本 揚

総合学習目標

本講義は、解剖学（骨と筋）、柔道整復学の総論・整復ケア理論（骨折学）、整復ケア骨損傷学Iで学んだ事項を踏まえて講義を行う。

下肢の骨折について、柔道整復師として必要な知識を得ることが必要となる。

個別学習目標

対象とする部位の構造と機能を説明できる

特定の運動と損傷との関係を説明できる

損傷発生のメカニズムを説明できる

損傷のテスト法・評価方法を説明できる

損傷の基本的な治療方針を説明できる

準備学修

シラバスに記載されている主題に関与する解剖学（骨格筋系）について事前に調べておくこと（30分）。講義後は講義内で解答した練習問題を復習すること（30分）。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	○
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	

【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	

授業計画

第1回	担当教員	松本 揚 骨盤骨骨折
	内容	発生機序、症状、検査法、治療法について学び、グループワークを行う。
第2回	担当教員	松本 揚 大腿骨近位端部骨折（大腿骨頸部骨折）
	内容	発生機序、症状、検査法、治療法について学び、グループワークを行う。
第3回	担当教員	松本 揚 大腿骨近位端部骨折（大腿骨骨頭部骨折，転子部骨折，大転子単独骨折、小転子単独骨折）
	内容	発生機序、症状、検査法、治療法について学び、グループワークを行う。
第4回	担当教員	松本 揚 大腿骨骨幹部骨折
	内容	発生機序、症状、検査法、治療法について学び、グループワークを行う。
第5回	担当教員	松本 揚 大腿骨遠位端部骨折
	内容	発生機序、症状、検査法、治療法について学び、グループワークを行う。
第6回	担当教員	松本 揚 下腿骨近位端部骨折
	内容	発生機序、症状、検査法、治療法について学び、グループワークを行う。
第7回	担当教員	松本 揚 膝蓋骨骨折、膝蓋骨脱臼
	内容	発生機序、症状、検査法、治療法について学び、グループワークを行う。
第8回	担当教員	松本 揚 下腿骨骨幹部骨折（脛骨単独骨折および脛腓両骨骨折）
	内容	発生機序、症状、検査法、治療法について学び、グループワークを行う。
第9回	担当教員	松本 揚 下腿骨骨幹部骨折（腓骨骨幹部単独骨折、下腿骨果上骨折、下腿骨疲労骨折）
	内容	発生機序、症状、検査法、治療法について学び、グループワークを行う。
第10回	担当教員	松本 揚 下腿骨遠位端部骨折および足関節の脱臼骨折
	内容	発生機序、症状、検査法、治療法について学び、グループワークを行う。
第11回	担当教員	松本 揚 足根骨骨折（踵骨骨折）
	内容	発生機序、症状、検査法、治療法について学び、グループワークを行う。
第12回	担当教員	松本 揚 足根骨骨折（距骨骨折）
	内容	発生機序、症状、検査法、治療法について学び、グループワークを行う。
第13回	担当教員	松本 揚 足根骨骨折（舟状骨骨折、立方骨骨折、楔状骨骨折）、足指骨骨折
	内容	発生機序、症状、検査法、治療法について学び、グループワークを行う。
	担当教員	松本 揚

第14回	員	中足骨骨折
	内容	発生機序、症状、検査法、治療法について学び、グループワークを行う。
第15回	担当教員	松本 揚 まとめ
	内容	

評価方法とフィードバック方法

定期試験100%、授業進行の補助など貢献度によって加点する
定期試験：掲示板、classroomに正答を掲載する

教科書

柔道整復学・理論編改訂第7版、全国柔道整復学校協会・教科書委員会、南江堂

柔道整復学・実技編改訂第2版、全国柔道整復学校協会・教科書委員会、南江堂

参考書

解剖学改訂第2版、全国柔道整復学校協会・教科書委員会、医歯薬出版

オフィスアワー

木曜日3限、金曜日3限
519教員研究室

実務経験の有無

この科目は柔道整復師の実務経験を有する教員がその実務経験を活かし、実践的教育を行っている科目である。

その他

遅刻もしくは早退を合計3回すると、1回欠席した扱いとする

積極的に参加しない学生は欠席した扱いとする。

講義コード	5401201
講義名	整復ケア関節損傷学I
(副題)	
代表ナンバリングコード	52L04-2074FR-00
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	2
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

山本 清

総合学習目標

上肢(顎関節を含む)の各脱臼の特徴及び関節部損傷を理解し分類、発生機序、症状、合併症、整復法、固定法、後療法、鑑別診断の知識習得を目標とする。

ディプロマポリシーDP1②

個別学習目標

各関節部位の機能解剖を理解し、それぞれの関節部位[顎関節・顎関節症・胸鎖関節・肩鎖関節・肩関節・肘関節・遠位橈尺関節・橈骨手根関節・手根骨間関節・手根中手(CM)関節・第1指中手指節(MP)関節・第1指以外の中手指節(MP)関節・近位指節間(PIP)関節・遠位指節間(PIP)関節]の脱臼についての臨床所見や治療法の説明ができることを目標とする。

準備学修

各講義講義のシラバスに沿って、予め『柔道整復学・理論編』の内容を一読される事。その際に理解出来ない(難解な)箇所等があれば、講義の前後に質問時間を用意し回答します。講義の15分前には教室に入りますので、遠慮なく質問事項(教科書の難解なところ・勉強の仕方)をお訊かせください。また、履修する各部位の機能解剖を復習されると、理解しやすくなります。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	○
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	○

【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	◎

授業計画

第1回	担当 教員	山本 清 顎関節脱臼
	内容	顎関節脱臼の特徴・分類・発生機序・症状・合併症・整復法・固定法・後療法・鑑別診断
第2回	担当 教員	山本 清 顎関節症・外傷性顎関節損傷（顎関節捻挫）
	内容	顎関節症 定義・分類・症状・治療法 外傷性顎関節損傷（顎関節捻挫） 発生機序・症状・治療法・注意点・予後
第3回	担当 教員	山本 清 胸鎖関節脱臼
	内容	胸鎖関節脱臼の特徴・分類・発生機序・症状・合併症・整復法・固定法・後療法・鑑別診断
第4回	担当 教員	山本 清 肩鎖関節脱臼
	内容	肩鎖関節脱臼の特徴・分類・発生機序・症状・合併症・整復法・固定法・後療法・鑑別診断
第5回	担当 教員	山本 清 肩関節脱臼
	内容	肩関節脱臼の特徴・分類・発生機序・症状・合併症・整復法・固定法・後療法・鑑別診断
第6回	担当 教員	山本 清 肩関節部の軟部組織損傷
	内容	肩関節部周辺の筋、腱の損傷 ①肩腱板断裂 ②上腕二頭筋長頭腱損傷 ③スポーツ損傷 ・ベネット損傷 ・SLAP損傷 ・インピンジメント症候群 ・リトルリーガー肩、、、その他
第7回	担当 教員	山本 清 復習（第1回～第7回の講義内容）：顎関節脱臼・顎関節症・外傷性顎関節損傷（顎関節捻挫）・胸鎖関節脱臼・肩鎖関節脱臼・肩関節脱臼・肩関節部の軟部組

	員	織損傷
	内容	復習：顎関節脱臼・顎関節症・外傷性顎関節損傷（顎関節捻挫）・胸鎖関節脱臼・肩鎖関節脱臼・肩関節脱臼・肩関節部の軟部組織損傷
第8回	担当教員	山本 清 【前半試験】と解説
	内容	第1回～第7回の講義範囲を60分間・50点満点で評価する。 試験後に30分間の解説を実施する。
第9回	担当教員	山本 清 肘関節脱臼・肘内障
	内容	肘関節脱臼 特徴・分類・発生機序・鑑別診断・症状・合併症・整復法・固定法・後療法 肘内障 ・発生機序・肘内障の鑑別診断・肘内障の整復法
第10回	担当教員	山本 清 肘関節部の軟部組織損傷
	内容	肘関節部の軟部組織損傷 ①側副靭帯損傷 ②野球肘 ③テニス肘、、、その他肘部の障害
第11回	担当教員	山本 清 遠位橈尺関節脱臼・月状骨脱臼および月状骨周囲脱臼
	内容	遠位橈尺関節脱臼 特徴・分類・発生機序・症状・整復法・固定法 月状骨脱臼および月状骨周囲脱臼 特徴・分類・発生機序・症状・整復法・固定法
第12回	担当教員	山本 清 橈骨手根関節脱臼、手根中手（CM）関節脱臼、第1指中手指節（MP）関節脱臼、第1指以外の中手指節（MP）関節脱臼
	内容	橈骨手根関節脱臼の特徴・分類・発生機序・症状・整復法・固定法 手根中手（CM）関節脱臼の特徴・分類・発生機序・症状・整復法・固定法 第1指中手指節（MP）関節脱臼の特徴・分類・発生機序・症状・整復法・固定法 第1指以外の中手指節（MP）関節脱臼の特徴・分類・発生機序・症状・整復法・固定法
第13回	担当教員	山本 清 手部、指部の軟部組織損傷 近位指節間（PIP）関節脱臼、遠位指節間（PIP）関節脱臼、マレットフィンガー、その他指関節部の変形、、、等
	内容	第1MP関節側副靭帯損傷 ①スキーヤーズサム ②ステナー損傷 ③第1MP関節ロッキングフィンガー ④第2～5MP関節ロッキングフィンガー ⑤ばね指 近位指節間（PIP）関節脱臼、遠位指節間（PIP）関節脱臼、マレットフィンガー、その他指関節部の変形 近位指節間（PIP）関節脱臼の特徴・分類・発生機序・症状・整復法・固定法・後療法 遠位指節間（PIP）関節脱臼の特徴・分類・発生機序・症状・整復法・固定法

		法・後療法 マレットフィンガーの特徴・分類・発生機序・症状・整復法・固定法・後療法 その他指関節部の変形
第14回	担当 教員	山本 清 復習：第9回～第13回迄の講義内容
	内容	肘関節脱臼・肘内障・肘関節部の軟部組織損傷・遠位橈尺関節脱臼・月状骨脱臼 および月状骨周囲脱臼・橈骨手根関節脱臼、手根中手（C M）関節脱臼、第1指 中手指節（M P）関節脱臼、第1指以外の中手指節（M P）関節脱臼・手部、指 部の軟部組織損傷・近位指節間（P I P）関節脱臼、遠位指節間（P I P）関節 脱臼、マレットフィンガー、その他指関節部の変形
第15回	担当 教員	山本 清 【後半試験】と解説
	内容	第8回～第14回の講義範囲を60分間・50点満点で評価実施する。 試験後に30分間の解説を行う。
第16回	担当 教員	復習：
	内容	

評価方法とフィードバック方法

【試験】

第8回に前半試験（第1回～第7回の講義範囲：50点満点）を60分間で実施し、試験終了後30分間の解説を実施する。

第15回に後半試験（第9回～第14回の講義範囲：50点満点）を60分間で実施し、試験終了後30分間の解説を実施する。

【評価】

前半試験〔50点満点〕と後半試験〔50点満点〕の合計100点とし、60点以上を単位取得とし評価する。

尚、60点未満の場合には再試験扱い（前半・後半の範囲）とする。

教科書

テキスト1. 柔道整復学・理論編 全国柔道整復学校協会 南江堂 7, 300円＋税

テキスト2. 関節学 共著〔飯島治之 益子原 秀三 山本 清〕医歯薬出版株式会社 2, 300円＋税

参考書

参考文献 標準整形外科学 内田淳正（監修）、中村利孝（編集）医学書院9, 400円＋税

オフィスアワー

講義後（毎週月曜日）14時30分～15時30

実務経験の有無

この科目は接骨院での「柔道整復師」「施術管理者」「柔道整復師卒後臨床研修指導者」「柔道整復師認定実技審査員」としての実務経験のある教員が、骨折・脱臼の応急処置や捻挫・挫傷などの軟部組織損傷の施術（徒手検査法・鑑別・治療法）について安心・安全に対応できるよう実践教育を行っている科目です。

その他

各講義では必要に応じて参考資料、予習、復習項目内容をあらかじめ配布する。必ずテキスト

「柔道整復学・理論編」、「関節学ハンドブック」を持参すること。

講義コード	5401301
講義名	整復ケア関節損傷学II
(副題)	
代表ナンバリングコード	52L04-2075FR-00
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	2
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

山本 清

総合学習目標

下肢の各脱臼の特徴を理解し、分類、発生機序、症状、合併症、整復法、固定法、後療法、鑑別診断の知識習得を目標とする。

ディプロマポリシーDP1②

個別学習目標

それぞれの各関節部位（股関節・膝蓋骨・膝関節・距腿関節・ショパール関節・リスフラン関節・足指の脱臼及び軟部組織損傷）の特徴、病態、発生機序、症状、合併症、整復法、固定法、後療法、鑑別診断の説明ができる事を目標とする。

準備学修

各講義講義のシラバスに沿って、予め『柔道整復学・理論編』の内容を一読される事。その際に理解出来ない（難解な）箇所等があれば、講義の前後に質問時間を用意し回答します。講義の15分前には教室に入りますので、遠慮なく質問事項（教科書の難解なところ・勉強の仕方）をお話下さい。また、履修する各部位の機能解剖を復習されると、理解しやすくなります。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	○
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を	○

持つ。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	◎

授業計画

第1回	担当 教員	山本 清 外傷性股関節脱臼
	内容	股関節脱臼の特徴、分類、発生機序、症状、予後、整復障害、整復法、合併症
第2回	担当 教員	山本 清 股関節の軟部組織損傷 1
	内容	①鼠径部痛症候群 ②関節唇損傷 ③弾発股（ばね股） ④大腿骨頭すべり症 ⑤大腿骨頭壊死 それぞれの特徴・症状・治療法
第3回	担当 教員	山本 清 股関節の軟部組織損傷 2
	内容	その他の股関節の軟部組織損傷 ①ペルテス病 ②股関節炎 ③股関節拘縮、、、等 それぞれの特徴・症状・治療法
第4回	担当 教員	山本 清 復習：外傷性股関節脱臼・股関節部の軟部組織損傷
	内容	復習 股関節脱臼の特徴、分類、発生機序、症状、予後、整復障害、整復法、合併症 股関節の軟部組織損傷 1・2 1. ①鼠径部痛症候群 ②関節唇損傷 ③弾発股（ばね股） ④大腿骨頭すべり症 ⑤大腿骨頭壊死 2. ①ペルテス病 ②股関節炎 ③股関節拘縮、、、等
第5回	担当 教員	山本 清 外傷性膝蓋骨脱臼
	内容	外傷性膝蓋骨脱臼の特徴、分類、発生機序、症状、合併症、整復法、固定法、後療法
第6回	担当 教員	山本 清 膝関節脱臼 膝関節部の軟部組織損傷 1
	内容	膝関節脱臼の特徴、分類、発生機序、症状、合併症、整復法、固定法、後療法 膝関節部の軟部組織損傷 1 ①半月損傷 ②側副靭帯損傷 ③十字靭帯損傷 それぞれの発生機序、症状、徒手検査法、治療法
第7回	担当 教員	山本 清 膝関節部の軟部組織損傷 2
	内容	①オスグット・シュラッター病 ②ジャンパー膝 ③（有痛性）分裂膝蓋骨 ④腸脛靭帯炎 ⑤鷲足炎 ⑥膝蓋軟骨軟化症 ⑦タナ障害 ⑧膝蓋大腿関節症 それぞれの発生機序、症状、徒手検査法、治療法
第8回	担当 教員	山本 清 復習（第1回～第8回講義内容）：外傷性股関節脱臼・股関節の軟部組織損傷・ 外傷性膝蓋骨脱臼・膝関節脱臼 膝関節部の軟部組織損傷
	内容	外傷性股関節脱臼・股関節の軟部組織損傷・外傷性膝蓋骨脱臼・膝関節脱臼 膝 関節部の軟部組織損傷 それぞれの特徴、分類、発生機序、症状、治療法について
	担当	山本 清

第9回	教員	【前半振り返り】と解説
	内容	第1回～第8回の講義範囲を60分間・50点満点で評価する。 振り返り後に30分間の解説を実施する。
第10回	担当教員	山本 清 距腿関節脱臼
	内容	距腿関節脱臼の特徴、分類、発生機序、症状、合併症、整復法、固定法、後療法についての関連問題を実施。
第11回	担当教員	山本 清 足関節部の軟部組織損傷 1
	内容	①足関節捻挫 ②三角靭帯損傷 ③脛腓靭帯損傷 ④二分靭帯損傷 ⑤リスフラン靭帯損傷 それぞれの特徴、発生機序、症状、合併症、整復法、固定法、後療法
第12回	担当教員	山本 清 足関節部の軟部組織損傷 2
	内容	①距骨滑車の骨軟骨損傷 ②足根洞症候群 ③腓骨筋腱脱臼 ④足根間症候群、、、その他 それぞれの特徴、発生機序、症状、合併症、整復法、固定法、後療法
第13回	担当教員	山本 清 距骨下関節・ショパール関節・リスフラン関節脱臼・足趾の脱臼
	内容	それぞれの脱臼の特徴、分類、発生機序、症状、合併症、整復法、固定法、後療法
第14回	担当教員	山本 清 復習：（第10回～第14回の範囲）距腿関節脱臼・足関節部の軟部組織損傷・距骨下関節・ショパール関節・リスフラン関節脱臼・足趾の脱臼
	内容	距腿関節脱臼・足関節部の軟部組織損傷・距骨下関節・ショパール関節・リスフラン関節脱臼・足趾の脱臼 それぞれの特徴、発生機序、症状、合併症、治療法（整復法・固定法・後療法）について
第15回	担当教員	山本 清 【後半振り返り】と解説
	内容	第10回～第14回の講義範囲を60分間・50点満点で実施する。 振り返り後に30分間の解説を行う。

評価方法とフィードバック方法

【試験】

第9回に50点満点の前半振り返りを60分間で実施（第1回～第8回迄の講義範囲）終了後30分間の解説。

第15回に50点満点の後半振り返りを60分間で実施（第9回～第14回迄の講義範囲）終了後30分間の解説。

【評価】

中間試験〔50点満点〕と後半試験〔50点満点〕の合計100点とし、60点以上を合格とし単位を取得。

尚、60点未満の者は再試験扱い（前半・後半の範囲）を実施する。

教科書

1. 柔道整復学・理論編 全国柔道整復学校協会 南江堂 7, 300円+税
2. 関節ハンドブック 飯島治之 益小原秀三 山本 清 医歯薬出版株式会社 2, 300円+税

参考文献：標準整形外科学 内田淳正（監修） 中村利孝（編集） 医学書院9, 400円＋税

参考書

1. 標準整形外科学 内田淳正（監修） 中村利孝（編集） 医学書院9, 400円＋税

オフィスアワー

講義後（毎週火曜日）14時30分～15時30分

実務経験の有無

この科目は接骨院での「柔道整復師」「施術管理者」「柔道整復師卒後臨床研修指導者」「柔道整復師認定実技審査員」としての実務経験のある教員が、骨折・脱臼の応急処置や捻挫・挫傷などの軟部組織損傷の施術（徒手検査法・鑑別・治療法）について安心・安全に対応できるよう実践教育を行っている科目です。

その他

授業では必要に応じて予め参考資料、予習・復習内容を配布するが、必ずテキスト「柔道整復学・理論編」、「関節学ハンドブック」を持参すること。

下肢の基礎解剖・基礎運動学を各自予習し受講することを薦める。

講義コード	5401401
講義名	整復ケア軟部組織損傷学I
(副題)	
代表ナンバリングコード	52L04-2076FR-00
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	2
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

松本 揚

総合学習目標

外傷性軟部組織損傷について、整復ケア理論（軟損）で学んだ事項を踏まえて講義を行う。本講義は骨と筋の解剖学的な知識を有し、上肢の軟部組織損傷について、柔道整復師として必要な知識を得ることが必要となる。

個別学習目標

対象とする部位の構造と機能を説明できる

特定の運動と損傷との関係を説明できる

損傷発生のメカニズムを説明できる

損傷のテスト法・評価方法を説明できる

損傷の基本的な治療方針を説明できる

準備学修

シラバスに記載されている主題に関与する解剖学（骨格筋系）について事前に調べておくこと（30分）。講義後は講義内で解答した練習問題を復習すること（30分）。

ディプロマポリシー

◎：強く該当する
○：該当する
選択なし：該当しない

【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。

【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。

【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。

【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を

○

持つ。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	

授業計画

第1回	担当教員	松本 揚 ガイダンス、胸郭出口症候群
	内容	ガイダンス。教科書を使用する。 胸郭出口症候群の発生機序、症状、検査法、治療法について学び、その後グループワークを行う。
第2回	担当教員	松本 揚 腱板断裂
	内容	腱板断裂の発生機序、症状、検査法、治療法について学び、その後グループワークを行う。
第3回	担当教員	松本 揚 上腕二頭筋長頭腱損傷
	内容	上腕二頭筋長頭腱損傷の発生機序、症状、検査法、治療法について学び、その後グループワークを行う。
第4回	担当教員	松本 揚 ベネット損傷、SLAP損傷、肩峰下インピンジメント、リトルリーガ肩
	内容	ベネット損傷、SLAP損傷、肩峰下インピンジメント、リトルリーガ肩の発生機序、症状、検査法、治療法について学び、その後グループワークを行う。
第5回	担当教員	松本 揚 動揺性肩関節、肩甲上神経絞扼障害、腋窩神経絞扼障害、五十肩
	内容	動揺性肩関節、肩甲上神経絞扼障害、腋窩神経絞扼障害、五十肩の発生機序、症状、検査法、治療法について学び、その後グループワークを行う。
第6回	担当教員	松本 揚 側副靭帯損傷、肘関節後外側回旋不安定症、野球肘
	内容	側副靭帯損傷、肘関節後外側回旋不安定症、野球肘の発生機序、症状、検査法、治療法について学び、その後グループワークを行う。
第7回	担当教員	松本 揚 テニス肘：上腕骨外側上顆炎
	内容	テニス肘：上腕骨外側上顆炎の発生機序、症状、検査法について学ぶ。、動揺性肩関節について学び、その後グループワークを行う。
	担	

第8回	当 教 員	松本 揚 橈骨神経損傷、尺骨神経損傷、パンナー病、変形性肘関節症
	内 容	橈骨神経損傷、尺骨神経損傷、パンナー病、変形性肘関節症の発生機序、症状、検査法、治療法について学び、その後グループワークを行う。
第9回	担 当 教 員	松本 揚 前腕コンパートメント症候群、フォルクマン拘縮、腱交叉症候群
	内 容	前腕コンパートメント症候群、フォルクマン拘縮、腱交叉症候群の発生機序、症状、検査法、治療法について学び、その後グループワークを行う。
第10回	担 当 教 員	松本 揚 正中神経障害、橈骨神経麻痺、尺骨神経障害
	内 容	正中神経障害、橈骨神経麻痺、尺骨神経障害の発生機序、症状、検査法、治療法について学び、その後グループワークを行う。
第11回	担 当 教 員	松本 揚 キーンベック病、マーデルング変形、三角線維軟骨複合体損傷、ド・ケルバン病
	内 容	キーンベック病、マーデルング変形、三角線維軟骨複合体損傷、ド・ケルバン病の発生機序、症状、検査法、治療法について学び、その後グループワークを行う。
第12回	担 当 教 員	松本 揚 手根管症候群、ギヨン管症候群
	内 容	手根管症候群、ギヨン管症候群の発生機序、症状、検査法、治療法について学び、その後グループワークを行う。
第13回	担 当 教 員	松本 揚 指側副靭帯損傷、ロッキングフィンガー、ばね指
	内 容	指側副靭帯損傷、ロッキングフィンガー、ばね指の発生機序、症状、検査法、治療法について学び、その後グループワークを行う。
第14回	担 当 教 員	松本 揚 デュピトラン拘縮、ヘバーデン結節、ボタン穴変形、スワンネック変形、深指屈筋腱損傷
	内 容	デュピトラン拘縮、ヘバーデン結節、ボタン穴変形、スワンネック変形、深指屈筋腱損傷の発生機序、症状、検査法、治療法について学び、その後グループワークを行う。
第15回	担 当 教 員	松本 揚 マレットフィンガー、まとめ
	内 容	マレットフィンガーの発生機序、症状、検査法、治療法について学び、その後グループワークを行う。

評価方法とフィードバック方法

定期試験100%、授業進行の補助などの貢献度によっては加点します。

定期試験：掲示板、classroomに正答を掲載する

教科書

柔道整復学・理論編第7版、全国柔道整復学校協会・教科書委員会、南江堂

柔道整復学・実技編第2版、全国柔道整復学校協会・教科書委員会、南江堂

参考書

解剖学改訂第2版、全国柔道整復学校協会・教科書委員会、医歯薬出版

オフィスアワー

水曜日3限、木曜日3限、金曜日3限

519教員研究室

実務経験の有無

この科目は柔道整復師の実務経験を有する教員がその実務経験を活かし、実践的教育を行っている科目である。

その他

遅刻もしくは早退を合計3回すると、1回欠席した扱いとする

積極的に参加しない学生は欠席した扱いとします。

講義コード	5401501
講義名	整復ケア軟部組織損傷学II
(副題)	
代表ナンバリングコード	52L04-2077SR-00
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	2
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

松本 揚

総合学習目標

本講義は、解剖学（骨と筋）、整復ケア理論（軟損）と整復ケア軟部組織損傷学Iで学んだ事項を踏まえて講義を行う。下肢の骨折について、柔道整復師として必要な知識を得ることが必要となる。

個別学習目標

対象とする部位の構造と機能を説明できる

特定の運動と損傷との関係を説明できる

損傷発生のメカニズムを説明できる

損傷のテスト法・評価方法を説明できる

損傷の基本的な治療方針を説明できる

準備学修

シラバスに記載されている主題に関与する解剖学（骨格筋系）について事前に調べておくこと（30分）。講義後は講義内で解答した練習問題を復習すること（30分）。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	○
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	

【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	

授業計画

第1回	担当教員	松本 揚 股関節の軟部組織損傷（鼠径部痛症候群、股関節唇損傷、弾発股、梨状筋症候群、股関節の拘縮）
	内容	股関節軟部組織損傷（鼠径部痛症候群、股関節唇損傷、弾発股、梨状筋症候群、股関節の拘縮）の発生機序、症状、検査法、治療法について学び、その後グループワークを行う。
第2回	担当教員	松本 揚 大腿部の軟部組織損傷
	内容	大腿部の軟部組織損傷の発生機序、症状、検査法、治療法について学び、その後グループワークを行う。
第3回	担当教員	松本 揚 膝関節部の軟部組織損傷（半月板損傷、側副靭帯損傷）
	内容	膝関節部の軟部組織損傷（半月板損傷、側副靭帯損傷）の発生機序、症状、検査法、治療法について学び、その後グループワークを行う。
第4回	担当教員	松本 揚 膝関節部の軟部組織損傷（前十字靭帯損傷、後十字靭帯損）
	内容	膝関節部の軟部組織損傷（前十字靭帯損傷、後十字靭帯損）の発生機序、症状、検査法、治療法について学び、その後グループワークを行う。
第5回	担当教員	松本 揚 発育期の膝関節障害
	内容	発育期の膝関節障害の発生機序、症状、検査法、治療法について学び、その後グループワークを行う。
第6回	担当教員	松本 揚 膝関節部の軟部組織損傷（腸脛靭帯炎、鷲足炎、膝蓋大腿関節障害、膝周囲の関節包、滑液包の異常、神経障害、青少年期にみられる疾患）
	内容	膝関節部の軟部組織損傷（腸脛靭帯炎、鷲足炎、膝蓋大腿関節障害、膝周囲の関節包、滑液包の異常、神経障害、青少年期にみられる疾患）の発生機序、症状、検査法、治療法について学び、その後グループワークを行う。

第7回	担当教員	松本 揚 下腿部の軟部組織損傷（アキレス腱炎、アキレス腱周囲炎、アキレス腱断裂）
	内容	下腿部の軟部組織損傷（アキレス腱炎、アキレス腱周囲炎、アキレス腱断裂）の発生機序、症状、検査法、治療法について学び、その後グループワークを行う。
第8回	担当教員	松本 揚 下腿三頭筋の肉離れ、過労性脛部痛
	内容	下腿三頭筋の肉離れ、過労性脛部痛の発生機序、症状、検査法、治療法について学び、その後グループワークを行う。
第9回	担当教員	松本 揚 下腿部の軟部組織損傷（コンパートメント症候群）
	内容	下腿部の軟部組織損傷（コンパートメント症候群）の発生機序、症状、検査法、治療法について学び、その後グループワークを行う。
第10回	担当教員	松本 揚 足関節捻挫（外側靭帯損傷）
	内容	足関節捻挫（外側靭帯損傷）の発生機序、症状、検査法、治療法について学び、その後グループワークを行う。
第11回	担当教員	松本 揚 足関節捻挫(内側靭帯損傷、脛腓靭帯損傷、二分靭帯損傷)、足関節捻挫の類症鑑別
	内容	足関節捻挫(内側靭帯損傷、脛腓靭帯損傷、二分靭帯損傷)、足関節捻挫の類症鑑別の発生機序、症状、検査法、治療法について学び、その後グループワークを行う。
第12回	担当教員	松本 揚 足趾部の軟部組織損傷
	内容	足趾部の軟部組織損傷の発生機序、症状、治療法について学び、その後グループワークを行う。
第13回	担当教員	松本 揚 乳幼児期・思春期にみられる疾患、後脛骨筋腱炎
	内容	乳幼児期・思春期にみられる疾患、後脛骨筋腱炎の発生機序、症状、治療法について学び、その後グループワークを行う。
第14回	担当教員	松本 揚 顎関節症、顎関節脱臼にみられる疾患

	内容	顎関節症、顎関節脱臼、にみられる疾患の発生機序、症状、治療法について学び、その後グループワークを行う。
第15回	担当教員	松本 揚 まとめ
	内容	全講義のまとめ

評価方法とフィードバック方法

定期試験100%、授業進行の補助など貢献度によって加点する
定期試験：掲示板、classroomに正答を掲載する

教科書

柔道整復学・理論編改訂第7版、全国柔道整復学校協会・教科書委員会、南江堂

柔道整復学・実技編改訂第2版、全国柔道整復学校協会・教科書委員会、南江堂

参考書

解剖学改訂第2版、全国柔道整復学校協会・教科書委員会、医歯薬出版

オフィスアワー

木曜日3限、金曜日3限
519教員研究室

実務経験の有無

この科目は柔道整復師の実務経験を有する教員がその実務経験を活かし、実践的教育を行っている科目である。

その他

遅刻もしくは早退を合計3回すると、1回欠席した扱いとする

積極的に参加しない学生は欠席した扱いとする。

講義コード	5401603
講義名	卒業研究（石丸クラス）
(副題)	
代表ナンバリングコード	
講義開講時期	通年
講義区分	演習
基準単位数	4
時間	120.00
対象学年	4
必修/選択	選択
担当教員	

氏名

石丸 圭荘

総合学習目標

卒業研究は、これまでに受講した科目の講義や実習を基盤として興味関心のある研究テーマを指導教員とともに設定して、学生自身が実験や調査、研究を実施して研究論文にまとめる。
DP4-①

個別学習目標

- 1 基礎・臨床研究の意義や方法論を理解・実践できる。
- 2 科学的根拠に基づいた調査・研究を実施できる。
- 3 研究計画の作成，文献検索，統計分析処理が実施できる。
- 4 研究成果を論文にまとめて発信できる。

準備学修

研究テーマに関する事前の調査（60分），得られたデータに対する分析と考察を行うこと（60分）。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	○
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	○
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広	

い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。

◎

授業計画

第1回	担当 教員	石丸 圭荘 コースガイダンス
	内容	卒業研究のコーステーマを概説する。研究の方向性や興味関心に基づき、研究グループを構成。グループごとに研究実施に向けての大まかなタイムラインを確認する。
第2回	担当 教員	石丸 圭荘 研究課題の設定
	内容	研究課題を設定する。研究実施の障壁となる事項（対象の数、専門的知識、コスト、倫理的問題）について整理し、研究の実施可能性についてグループ毎に議論する。
第3回	担当 教員	石丸 圭荘 先行研究の整理
	内容	担当教員の指導のもと、各種論文データベースを実際に使用し、先行研究を渉猟できるようになる。当該研究領域に関する知見や、未解決の問題を明らかにした上で、設定した研究課題のオリジナリティについてグループ毎に議論する。
第4回	担当 教員	石丸 圭荘 研究仮説の設定
	内容	研究仮説の意義について学修する。グループ各々が研究疑問を明確にして、検証可能な研究仮説を設定する。さらに設定した仮説を検証する社会的意義や必要性についてグループ毎に議論する。
第5回	担当 教員	石丸 圭荘 研究方法① 各種研究手法
	内容	各種の研究手法を学習し、自身の仮説を検証する上で適切な研究方法を設定する。
第6回	担当 教員	石丸 圭荘 研究方法② 研究対象および測定変数の設定
	内容	研究対象やサンプリング方法について具体的に設定し、その内容について議論する。さらに仮説を検証するために、何をどのように測定するのか（測定変数）について議論する。
第7回	担当 教員	石丸 圭荘 研究方法③ 分析方法の設定
	内容	要因の分析方法や、他の関連要因の統制方法について学習した後、実際の分析方法について議論する。

第8回	担当 教員	石丸 圭荘 研究方法④ 研究の限界
	内容	研究環境による限界，仮定に基づく限界について学習する。
第9回	担当 教員	石丸 圭荘 研究方法⑤ 研究期間，実験場所，費用
	内容	具体的な研究期間，実験場所を設定し，費用を算出する。
第10回	担当 教員	石丸 圭荘 予備研究① 予備研究の計画
	内容	以下の内容を確認するための予備研究を計画する。 1.実験測定手順 2.研究の実施可能性 3.研究計画の妥当性
第11回	担当 教員	石丸 圭荘 予備研究② 予備研究の実施
	内容	調査票作成や測定・実験の準備を学生同士で実施，データを収集する。
第12回	担当 教員	石丸 圭荘 予備研究③ 結果の分析
	内容	予備研究全体を分析し，調査・測定手順のマニュアル，研究の実施可能性，研究計画の妥当性，選択した指標の妥当性について検討し，その内容をグループ間で議論する。
第13回	担当 教員	石丸 圭荘 研究計画① 研究計画書の作成
	内容	研究計画書の意義や作成方法について学習する。また必要に応じて，倫理審査についても準備を行う。
第14回	担当 教員	石丸 圭荘 研究計画② 研究計画の発表
	内容	研究計画を発表し，その内容について議論する。
第15回	担当 教員	石丸 圭荘 研究計画③ 研究計画の再検討
	内容	調査・測定手順，研究の実施可能性，研究計画の妥当性，選択した指標に関して修正し再構成する。
	担当	石丸 圭荘

第16回	教員	調査・測定の実施① データの収集
	内容	研究計画に従い、グループ毎にデータを収集する。その際には倫理的配慮を十分に行う。
第17回	担当教員	石丸 圭荘 研究の実施② 研究結果の分析
	内容	グループ毎に収集されたデータを整理し、研究計画に従い分析をする。
第18回	担当教員	石丸 圭荘 研究の実施③ 研究結果の解釈
	内容	分析結果について、グループ間で議論し理解を深める。
第19回	担当教員	石丸 圭荘 研究論文を作成する① 緒言
	内容	緒言において研究を実施するに至った学問的背景、研究の具体的な目的について簡潔かつ論理的に記述する。
第20回	担当教員	石丸 圭荘 研究論文を作成する② 方法
	内容	方法において他研究者が再現可能となるように詳細に実施した研究方法について記載する。
第21回	担当教員	石丸 圭荘 研究論文を作成する③ 結果
	内容	結果において実施した調査・測定の結果を明確に示す。必要に応じて図表を用いる。
第22回	担当教員	石丸 圭荘 研究論文を作成する④ 考察
	内容	議論を通して得られた結果およびこれまでの知見などの情報を統合し、論理的な解釈を導き出し記載する。
第23回	担当教員	石丸 圭荘 研究論文を作成する⑤ 結論
	内容	結論において、本研究を通して得られた知見を端的にまとめる。
第24回	担当教員	石丸 圭荘 研究論文を作成する⑥ 参考文献
	内容	論文作成では、本研究で使用した参考文献をまとめる。

第25回	担当 教員	石丸 圭荘 研究論文を作成する⑦ 研究論文の査読
	内容	グループ間でお互いに研究論文を査読（peer review）を行う。
第26回	担当 教員	研究論文を作成する⑧ 研究論文の修正
	内容	査読結果をもとにして，研究論文の修正を行う。また、査読者（他グループ）の質問に対して適切に回答する。
第27回	担当 教員	石丸 圭荘 研究論文を作成する⑨ 研究論文の校正
	内容	卒業研究で示されているフォーマットを確認し，必要があれば修正する。また，誤字脱文などの確認を行い適宜修正する。
第28回	担当 教員	石丸 圭荘 研究結果を発表する
	内容	研究結果をグループ毎に発表する。また，グループ間でディスカッションを行う。
第29回	担当 教員	石丸 圭荘 研究抄録を作成する
	内容	研究の内容をまとめて抄録を作成する。
第30回	担当 教員	石丸 圭荘 総評
	内容	卒業研究論文について総評する。

評価方法とフィードバック方法

研究計画書及び発表会の評価：50点（50%），研究論文および抄録の評価：50点（50%）を総合的に評価する100点（100%）。研究発表会・研究論文の内容は講評する。

教科書

教科書・テキスト指定なし

参考書

教科書・テキスト指定なし

オフィスアワー

12：15から12：55，5階研究室（図書館長室）まで。

実務経験の有無

この科目は病院での臨床・基礎研究の実務経験のある教員が，その実務経験を活かして，基礎研究・臨床研究の意義を含め卒業研究に関する指導を行う科目です。

その他

研究計画の立案、予備実験・調査、本実験・調査、データ分析、論文作成の順に進めるが、進行度合いにより時間配分を変更する可能性がある。また原則、数人の研究グループで活動する。

講義コード	5401604
講義名	卒業研究（越田クラス）
(副題)	
代表ナンバリングコード	
講義開講時期	通年
講義区分	演習
基準単位数	4
時間	120.00
対象学年	4
必修/選択	選択
担当教員	

氏名

越田 専太郎

総合学習目標

卒業研究は、これまでに受講した講義や実習を基盤として、様々な卒業研究テーマに対して、学生自身が興味を持つ研究テーマを選択し実施する。

- ① 学術研究の意義や方法論を学修する
- ② 研究計画の立案および実施における具体的な進め方について学修する
- ③ 学術論文の執筆および研究内容の発表の手法を学修する

個別学習目標

本講義では、以下の3項目を個別学習目標とする

- ① 科学的根拠に基づいた調査・研究を実施できる
- ② 研究計画の作成、文献検索、統計分析処理が実施できる
- ③ 研究成果を論文にまとめて発信できる

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	○
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	○
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	○
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	○
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することが	◎

できる。

授業計画

第1回	担当 教員	越田 専太郎 コースガイダンス
	内容	授業の進行方向について説明する。研究の方向性や興味関心に基づき、研究体制をつくる。研究実施に向けての大まかなタイムラインを確認する
第2回	担当 教員	越田 専太郎 研究課題の設定
	内容	日常生活や、自分の競技経験などから研究課題を設定する。研究実施の障壁となる事項（対象の数、専門的知識、コスト、倫理的問題）について整理し、研究の実施可能性についてグループ毎に議論する
第3回	担当 教員	越田 専太郎 先行研究の整理
	内容	担当教員の指導のもと、各種論文データベースを実際に使用し、先行研究を渉猟できるようになる。当該研究領域に関する知見や、未解決の問題を明らかにした上で、設定した研究課題のオリジナリティについてグループ毎に議論する
第4回	担当 教員	越田 専太郎 研究仮説の設定
	内容	研究仮説の意義について学修する。グループ各々が研究疑問を明確にして、検証可能な研究仮説を設定する。さらに、設定した仮説を検証する社会的意義や必要性についてグループ毎に議論する
第5回	担当 教員	越田 専太郎 研究方法① 各種研究手法
	内容	各種の研究手法を学習し、自身の仮説を検証する上で適切な研究方法を議論した上で、グループ毎に選択する
第6回	担当 教員	越田 専太郎 研究方法② 研究対象および測定変数の設定
	内容	研究対象やサンプリング方法について具体的に設定し、その内容について議論する。さらに仮説を検証するために、何をどのように測定するのか（測定変数）についてグループ毎に議論する
第7回	担当 教員	越田 専太郎 研究方法③ 分析方法の設定
	内容	要因の分析方法や、他の関連要因の統制方法について学習した後、実際の分析方法についてグループ毎に議論する
第8回	担当 教員	越田 専太郎 研究方法④ 研究の限界

	員	
	内容	研究環境による限界、仮定に基づく限界について学習する
第9回	担当教員	越田 専太郎 研究方法⑤ 研究期間、実験場所、費用
	内容	具体的な研究期間、実験場所を設定し、費用を算出する
第10回	担当教員	越田 専太郎 予備研究① 予備研究の計画
	内容	以下の内容を確認するための予備研究を計画する 1.実験測定手順 2.研究の実施可能性 3.研究計画の妥当性
第11回	担当教員	越田 専太郎 予備研究② 予備研究の実施
	内容	調査票作成や測定・実験の準備を学生同士で実施、データを収集する
第12回	担当教員	越田 専太郎 予備研究③ 結果の分析
	内容	予備研究全体を分析し、調査・測定手順のマニュアル化、研究の実施可能性、研究計画の妥当性、選択した指標の妥当性について検討し、その内容をグループ間で議論する。
第13回	担当教員	越田 専太郎 研究計画① 研究計画書の作成
	内容	研究計画書の意義や作成方法について学習した後、グループ毎に実際に作成する。また必要に応じて、倫理審査についても準備を行う
第14回	担当教員	越田 専太郎 研究計画② 研究計画の発表
	内容	グループ毎に研究計画を発表し、その内容について議論する。
第15回	担当教員	越田 専太郎 研究計画③ 研究計画の再検討
	内容	調査・測定手順、研究の実施可能性、研究計画の妥当性、選択した指標に関して、グループ毎に再検討し、適宜修正を行う。
第16回	担当教員	越田 専太郎 調査・測定の実施① データの収集
	内	研究計画に従い、グループ毎にデータを収集する。その際には倫理的配慮を十分

	容	に行う。
第17回	担当 教員	越田 専太郎 研究の実施② 研究結果の分析
	内容	グループ毎に収集されたデータを整理し、研究計画に従い分析をする。
第18回	担当 教員	越田 専太郎 研究の実施③ 研究結果の解釈
	内容	分析結果について、グループ間で議論し理解を深める
第19回	担当 教員	越田 専太郎 研究論文を作成する① 緒言
	内容	学習者は緒言において、研究を実施するに至った学問的背景、研究の具体的な目的について簡潔かつ論理的に記述する
第20回	担当 教員	越田 専太郎 研究論文を作成する② 方法
	内容	学習者は方法において、他研究者が再現可能となるように詳細に実施した研究方法について記載する
第21回	担当 教員	越田 専太郎 研究論文を作成する③ 結果
	内容	学習者は結果において、実施した調査・測定の結果を明確に示す。必要に応じて図表を用いる
第22回	担当 教員	越田 専太郎 研究論文を作成する④ 考察
	内容	学習者は議論を通して、得られた結果およびこれまでの知見などの情報を統合し、論理的な解釈を導き出し、記載する
第23回	担当 教員	越田 専太郎 研究論文を作成する⑤ 結論
	内容	学習者は結論において、本研究を通して得られた知見を端的にまとめる
第24回	担当 教員	越田 専太郎 研究論文を作成する⑥ 参考文献
	内容	学習者は、本研究で使用した参考文献をまとめる
第25回	担当 教員	越田 専太郎 研究論文を作成する⑦ 研究論文の査読

	内容	グループ間でお互いに研究論文を査読 (peer review) を行う
第26回	担当教員	越田 専太郎 研究論文を作成する⑧ 研究論文の修正
	内容	査読結果をもとにして、研究論文の修正を行う。また、査読者 (他グループ) の質問に対して適切に回答する
第27回	担当教員	越田 専太郎 研究論文を作成する⑨ 研究論文の校正
	内容	卒業研究で示されているフォーマットを確認し、必要があれば修正する。また、誤字脱文などの確認を行い、適宜修正する
第28回	担当教員	越田 専太郎 研究結果を発表する
	内容	研究結果をグループ毎に発表する。また、グループ間でディスカッションを行う
第29回	担当教員	越田 専太郎 研究抄録を作成する
	内容	研究の内容をまとめて抄録を作成する
第30回	担当教員	越田 専太郎 研究抄録を校正する
	内容	抄録のフォーマットの誤り、誤字、脱文などの確認を行い、適宜修正する

評価方法とフィードバック方法

卒業論文 (50%) および研究発表 (50%) を総合的に評価する (100%)。卒業研究発表は2024年12月中に実施する。

教科書

教科書は指定しない

参考書

出村慎一著 健康・スポーツ科学のための研究方法 研究計画の立て方とデータ処理の方法 杏林書院 3,300円 (税別)

オフィスアワー

水曜日3限 (前期)、金曜日2限 (後期) ・506研究室またはby appointment

実務経験の有無

スポーツ科学研究者としての実務経験を活かして、研究計画の作成から研究論文の作成まで学習する科目である。本教員は数多くの国際誌への掲載、国内外学会発表、論文査読、研究助成金採択の経験を有している。

その他

研究計画の立案、予備実験・調査、本実験・調査、データ分析、論文作成の順に進めるが、進行度合いにより時間配分を変更する可能性がある。
特に大学院進学を考えている学生に受講を薦める。

学期末に研究発表会を実施する。

クラスルーム

<https://classroom.google.com/c/NjQ3MjUxMTM5NDA1?cjc=jy6fblw>

講義コード	5401701
講義名	検査・測定と評価
(副題)	
代表ナンバリングコード	52L04-3078FR-00
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	3
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

角田 佳貴

上岡 尚代

野田 哲由

総合学習目標

評価とは、外傷・傷害に対する検査・測定などの情報収集から始まり、それらから得られた多様な情報を論理的に統合、解釈して問題点を抽出し、機能レベルなどの目標設定や治療プログラムの作成まで含めた一連の過程である。特に統合と解釈とは論理的思考そのものであり、これにより論理的な治療がはじめて可能となる。本科目では、検査・測定と評価の講義で学んだ基本的な検査・測定の基本手技を実技中心として習得する。また、それらから得られた情報を統合と解釈する論理的思考法を学習する。

個別学習目標

- ・各種検査・測定方法の意義と目的、方法を説明し実施できるようになる。
- ・検査・測定から得られた情報を論理的に解釈する能力を養う。
- ・論理的な解釈から、目標を設定し、治療プログラムを作成する能力を養う。
- ・検査・測定と評価演習に対応できる基礎的な能力を養う。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する ○：選択なし ○：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	○
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を	◎

持つ。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	○
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	○

授業計画

第1回	担当 教員	野田 哲由 上岡 尚代 角田 佳貴 評価概論【A班：野田、B班：上岡、C班：角田】
	内容	I. 評価総論 1. 広義での評価 2. 評価の目的 3. 傷害の把握 4. 傷害と動作の関係 5. 評価の信頼性、妥当性 II. 評価の課程 1. トップダウンの評価 2. ボトムアップの評価 III. 情報収集 1. 基本情報 2. 医学情報 3. 環境的情報
第2回	担当 教員	野田 哲由 上岡 尚代 角田 佳貴 問診、バイタルサイン、形態測定【A班：野田、B班：上岡、C班：角田】
	内容	I. 問診 1. 問診の心得 2. 問診の仕方 3. 問診の課程 II. バイタルサイン III. 形態測定
第3回	担当 教員	野田 哲由 上岡 尚代 角田 佳貴 関節可動域1【A班：野田、B班：上岡、C班：角田】
	内容	I. 関節可動域の基礎 1. 種類 2. 最終域感 3. 関節可動域に影響する要因 4. 関節可動域検査の目的 5. 関節可動域測定肢位 6. 関節可動域検査の具体的方法 7. 拘縮があるときの関節可動域測定
第4回	担当 教員	野田 哲由 上岡 尚代 角田 佳貴 関節可動域測定2【A班：野田、B班：上岡、C班：角田】
	内容	I下肢の関節可動域測定 1. 股関節の屈曲、伸展、外転、内転、外旋、内旋 2. 膝関節の屈曲、伸展 3. 足関節の背屈、底屈 4. 足部のうちがえし、そとがえし
第5回	担当 教員	野田 哲由 上岡 尚代 角田 佳貴 関節可動域測定3【A班：野田、B班：上岡、C班：角田】
	内容	I. 肩甲帯、肩関節の関節可動域測定 1. 肩甲帯の屈曲、伸展、拳上、下制 2. 肩関節の屈曲、伸展、外転、内転、

		外旋、内旋、外転位での外旋、内旋、水平屈曲、水平伸展
第6回	担当教員	野田 哲由 上岡 尚代 角田 佳貴 関節可動域測定 4 【A班：野田、B班：上岡、C班：角田】
	内容	I. 肘関節、前腕、手関節、頸部、胸腰椎の関節可動域測定 1. 肘関節の屈曲、伸展 2. 前腕の回内、回外 3. 手関節の背屈、掌屈、橈屈、尺屈 4. 頸部の屈曲、伸展、側屈、回旋 5. 胸腰椎の屈曲、伸展、側屈、回旋
第7回	担当教員	野田 哲由 上岡 尚代 角田 佳貴 徒手筋力検査法 1 【A班：野田、B班：上岡、C班：角田】
	内容	I. 筋力検査総論 1. 筋力検査 2. 徒手筋力検査とは 3. 徒手筋力検査の目的 4. 留意点 5. 固定の重要性 6. 抵抗について 7. 徒手筋力検査の手順 8. 徒手筋力検査に必要な知識と能力 9. プラスとマイナスの段階
第8回	担当教員	野田 哲由 上岡 尚代 角田 佳貴 徒手筋力検査法 2 【A班：野田、B班：上岡、C班：角田】
	内容	I. 下肢の徒手筋力検査 1. 股関節屈曲 2. 股関節屈曲位での外転および膝関節屈曲位での外旋 3. 股関節伸展 4. 股関節外転 5. 股関節屈曲位からの外転 6. 股関節内転
第9回	担当教員	野田 哲由 上岡 尚代 角田 佳貴 徒手筋力検査法 3 【A班：野田、B班：上岡、C班：角田】
	内容	I. 下肢の徒手筋力検査 1. 股関節外旋 2. 股関節内旋 3. 膝関節屈曲 4. 膝関節伸展 5. 足関節底屈 6. ヒラメ筋単独検査
第10回	担当教員	野田 哲由 上岡 尚代 角田 佳貴 徒手筋力検査法 4 【A班：野田、B班：上岡、C班：角田】
	内容	I. 下肢の徒手筋力検査 1. 足関節背屈ならびに内がえし 2. 足のうちがえし 3. 足の底屈を伴う外がえし II. 上肢・肩甲帯の徒手筋力検査 1. 肩甲骨外転と上方回旋 2. 肩甲骨挙上 3. 肩甲骨内転 4. 肩甲骨下制と内転 5. 肩甲骨内転と下方回旋 6. 肩関節屈曲 7. 肩関節伸展
第11回	担当教員	野田 哲由 上岡 尚代 角田 佳貴 徒手筋力検査法 5 【A班：野田、B班：上岡、C班：角田】
	内容	I. 上肢・肩甲帯の徒手筋力検査 1. 肩関節肩甲骨面挙上 2. 肩関節外転 3. 肩関節水平外転 4. 肩関節水平内転 5. 肩関節外旋 6. 肩関節内旋
第12回	担当教員	野田 哲由 上岡 尚代 角田 佳貴 徒手筋力検査法 6 【A班：野田、B班：上岡、C班：角田】
	内容	I. 上肢の徒手筋力検査

	容	1. 肘関節屈曲 2. 肘関節伸展 3. 前腕回外 4. 前腕回内 5. 手関節掌屈 6. 手関節背屈
第13回	担当教員	野田 哲由 上岡 尚代 角田 佳貴 徒手筋力検査法 7 【A班：野田、B班：上岡、C班：角田】
	内容	I. 頭部・頸部の徒手筋力検査 1. 頭部伸展 2. 頸部伸展 3. 頭頸部複合伸展 4. 頭部屈曲 5. 頸部屈曲 6. 頭頸部複合屈曲 7. 一側の胸鎖乳突筋だけを分離するための複合屈曲 8. 頸部回旋
第14回	担当教員	野田 哲由 上岡 尚代 角田 佳貴 徒手筋力検査法 8 【A班：野田、B班：上岡、C班：角田】
	内容	1. 体幹伸展 2. 骨盤挙上 3. 体幹屈曲 4. 体幹回旋
第15回	担当教員	野田 哲由 上岡 尚代 角田 佳貴 筋力検査 【A班：野田、B班：上岡、C班：角田】
	内容	その他の筋力検査法

評価方法とフィードバック方法

授業内の小テスト（10%）及び実技試験（90%）により判定する。

教科書

なし。必要におうじてコピーを配布する

参考書

『柔道整復学理論編』著者・編集者：全国柔道整復学校協会教科書委員会 出版社：南江堂 定価7,300円

実務経験の有無

柔道整復師、JSP0-AT、理学療法士の面鏡を持ち、クリニック勤務、スポーツクラブ勤務、クラブチーム勤務と臨床経験を有する教員が実務経験を活かし、実践的教育を行っている科目です。

その他

1. メジャー、角度計、打腱器の3点を各自に購入してもらう（購入の手配は大学にて行う）。

2. 実技中心の授業である為、肌を露出可能な服装（ジャージ、Tシャツ、短パンなど）を準備する事。

3. 検査測定授業である為、実技への参加は必須です。

4. 遅刻、早退をした（する）学生は、メモ用紙などに学籍番号、氏名、入室または退室時間を記入して

その都度本人が提出すること。トイレなどの途中退室も、教員に申し出て行うこと。

講義コード	5401801
講義名	検査・測定と評価演習
(副題)	
代表ナンバリングコード	52S04-3079SE-00
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	3
必修/選択	選択
担当教員	

氏名

上岡 尚代

野田 哲由

角田 佳貴

総合学習目標

評価とは、外傷・傷害に対する検査・測定などの情報収集から始まり、それらから得られた多様な情報を論理的に統合、解釈して問題点を抽出し、機能レベルなどの目標設定や治療プログラムの作成まで含めた一連の過程である。特に統合と解釈とは論理的思考そのものであり、これにより論理的な治療がはじめて可能となる。本科目では、検査・測定と評価の講義で学んだ基本的な検査・測定の基本手技を実技中心として習得する。また、それらから得られた情報を統合と解釈する論理的思考法を学習する。

個別学習目標

- ・各種検査・測定方法の意義と目的、方法を説明し実施できるようになる。
- ・検査・測定から得られた情報を論理的に解釈する能力を養う。
- ・論理的な解釈から、目標を設定し、治療プログラムを作成する能力を養う。
- ・検査・測定と評価演習に対応できる基礎的な能力を養う。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	○
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	○
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を	○

持つ。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	○

授業計画

第1回	担当 教員	野田 哲由 上岡 尚代 角田 佳貴 姿勢 (A班 ; 野田、B班 ; 上岡、C班 ; 角田)
	内容	姿勢評価の基礎知識, 姿勢評価方法
第2回	担当 教員	野田 哲由 上岡 尚代 角田 佳貴 スタティックアライメント (A班 ; 野田、B班 ; 上岡、C班 ; 角田)
	内容	Q angl, L-H angl, 他
第3回	担当 教員	野田 哲由 上岡 尚代 角田 佳貴 柔軟性, 関節弛緩性 (A班 ; 野田、B班 ; 上岡、C班 ; 角田)
	内容	柔軟性の評価 (ハムストリングス, 大腿四頭筋, 体幹回旋, 肩), 関節弛緩性 (General Joint Laxity Test)
第4回	担当 教員	野田 哲由 上岡 尚代 角田 佳貴 痛み, 感覚検査、神経学的検査 (A班 ; 野田、B班 ; 上岡、C班 ; 角田)
	内容	痛みの評価, 感覚の検査 (カルテ記入方法) 意識、言語、脳神経、筋緊張、感覚、反射の評価の理論と実技
第5回	担当 教員	野田 哲由 上岡 尚代 角田 佳貴 整形外科的検査 1 (A班 ; 野田、B班 ; 上岡、C班 ; 角田)
	内容	肩甲帯、上肢の整形外科的検査
第6回	担当 教員	野田 哲由 上岡 尚代 角田 佳貴 整形外科的検査 2 (A班 ; 野田、B班 ; 上岡、C班 ; 角田)
	内容	体幹の整形外科的検査
第7回	担当 教員	野田 哲由 上岡 尚代 角田 佳貴 整形外科的検査 3 (A班 ; 野田、B班 ; 上岡、C班 ; 角田)
	内容	下肢の整形外科的検査
第8回	担当 教員	野田 哲由 上岡 尚代 角田 佳貴 整形外科的検査 (A班 ; 野田、B班 ; 上岡、C班 ; 角田)
	内容	スポーツ傷害の整形外科的検査 (メディカルチェック)
		野田 哲由

第9回	担当 教員	上岡 尚代 角田 佳貴 模擬患者の評価（脊柱疾患）（A班；野田、B班；上岡、C班；角田）
	内容	脊柱疾患の検査測定と評価を行い問題点を抽出する
第10回	担当 教員	野田 哲由 上岡 尚代 角田 佳貴 模擬患者の評価（肩関節疾患）（A班；野田、B班；上岡、C班；角田）
	内容	肩関節疾患の検査測定と評価を行い問題点を抽出する
第11回	担当 教員	野田 哲由 上岡 尚代 角田 佳貴 模擬患者の評価（膝関節疾患）（A班；野田、B班；上岡、C班；角田）
	内容	膝関節疾患の検査測定と評価を行い問題点を抽出する
第12回	担当 教員	野田 哲由 上岡 尚代 角田 佳貴 模擬患者の評価（足関節疾患）（A班；野田、B班；上岡、C班；角田）
	内容	足関節疾患の検査測定と評価を行い問題点を抽出する
第13回	担当 教員	野田 哲由 上岡 尚代 角田 佳貴 模擬患者の評価（スポーツ傷害；急性外傷）（A班；野田、B班；上岡、C班；角田）
	内容	フィールドでの評価；HOPSから応急処置までの流れ
第14回	担当 教員	野田 哲由 上岡 尚代 角田 佳貴 模擬患者の評価（スポーツ傷害；慢性傷害1）（A班；野田、B班；上岡、C班；角田）
	内容	Historyから考えられる要因を想起し評価項目を選択。結果を統合解釈する。
第15回	担当 教員	野田 哲由 上岡 尚代 角田 佳貴 模擬患者の評価（スポーツ傷害；慢性傷害2）（A班；野田、B班；上岡、C班；角田）
	内容	Historyから考えられる要因をトップダウンで評価しアセスメントし問題点を抽出する（Problem Listの作成から治療方針の決定のながれ）

評価方法とフィードバック方法

授業で実施する発表（10%）、実技試験（90%）にて判定する。

教科書

なし

参考書

『理学療法基礎評価学』 臼田 滋 編 価格 4, 500円＋税

『柔道整復学理論編』 著者・編集者：全国柔道整復学校協会教科書委員会 出版社：南江堂 定価7, 300円

実務経験の有無

柔道整復師、JSPO-AT、理学療法士の面鏡を持ち、クリニック勤務、スポーツクラブ勤務、クラブチーム勤務と臨床経験を有する教員が実務経験を活かし、実践的教育を行っている科目で

す。

その他

1. メジャー、角度計、打腱器の3点を各自に購入してもらう（購入の手配は大学にて行う）。

2. 実技中心の授業である為、肌を露出可能な服装（ジャージ、Tシャツ、短パンなど）を準備する事。

3. 検査測定 of 授業である為、実技への参加は必須です。

4. 遅刻、早退をした（する）学生は、メモ用紙などに学籍番号、氏名、入室または退室時間を記入して

その都度本人が提出すること。トイレなどの途中退室も、教員に申し出て行うこと。

講義コード	5403702
講義名	臨床実習I
(副題)	[2024年度入学生対象]
代表ナンバリングコード	52P04-1080IR-00
講義開講時期	後期
講義区分	実習
基準単位数	1
時間	45.00
対象学年	1
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

松本 揚

大澤 裕行

山本 清

田村 哲也

末吉 祐介

田辺 達磨

岡村 知明

角田 佳貴

長谷川 龍成

桐林 俊彰

総合学習目標

柔道整復師業種業務の継承者となることを目標に、付属クリニック及び関連クリニックでの診察見学型の臨床実習を通して、柔道整復師の業務や、地域医療に求められる役割を理解できるようになる。

個別学習目標

- ・ 柔道整復師の業務を説明できる。
- ・ 地域医療の役割を説明できる。
- ・ 臨床実習指導者、実習施設勤務者、患者様などとコミュニケーションをとることができる。
- ・ 社会に参加することで社会常識を身につける。

準備学修

オリエンテーションで配布する臨床実習日誌を熟読し、臨床実習の準備をする（4時間）。臨床実習実習終了後に振り返り、得た知識、反省点、今後に生かせることなどをまとめること（4時間）

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない し：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	

【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	○
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	○
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	◎

授業計画

第1回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 末吉 祐介 岡村 知明 田辺 達磨 角田 佳貴 長谷川 龍成 ガイダンス
	内容	担当者：大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝
第2回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 末吉 祐介 田辺 達磨 岡村 知明 角田 佳貴 長谷川 龍成 事前学習①
	内容	臨床実習施設のある医療機器について学び、グループワークを行う。 担当者：田村哲也、松本揚、岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝
第3回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 末吉 祐介 田辺 達磨 岡村 知明 角田 佳貴 長谷川 龍成 事前学習②
	内容	臨床実習施設のある医療機器について学び、グループワークを行う。 担当者：田村哲也、松本揚、岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝
	担当	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 末吉 祐介

第4回	教員	田辺 達磨 岡村 知明 角田 佳貴 長谷川 龍成 臨床実習施設での実習1
	内容	診療参加型実習 実習施設の医師と柔道整復師、専任教員と助手（大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝）による助言の元、臨床実習施設で実習を行う。
第5回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 末吉 祐介 田辺 達磨 岡村 知明 角田 佳貴 長谷川 龍成 臨床実習施設での実習2
	内容	診療参加型実習： 実習施設の医師と柔道整復師、専任教員と助手（大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝）による助言の元、臨床実習施設で実習を行う。
第6回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 末吉 祐介 田辺 達磨 岡村 知明 角田 佳貴 長谷川 龍成 臨床実習施設での実習3
	内容	診療参加型実習 実習施設の医師と柔道整復師、専任教員と助手（大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝）による助言の元、臨床実習施設で実習を行う。
第7回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 末吉 祐介 田辺 達磨 岡村 知明 角田 佳貴 長谷川 龍成 臨床実習施設での実習4
	内容	診療参加型実習 実習施設の医師と柔道整復師、専任教員と助手（大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝）による助言の元、臨床実習施設で実習を行う。
第8回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 末吉 祐介 田辺 達磨 岡村 知明 角田 佳貴

		長谷川 龍成 臨床実習施設での実習5
	内容	診療参加型実習 実習施設の医師と柔道整復師、専任教員と助手（大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝）による助言の元、臨床実習施設で実習を行う。
第9回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 末吉 祐介 田辺 達磨 岡村 知明 角田 佳貴 長谷川 龍成 臨床実習施設での実習6
	内容	診療参加型実習 実習施設の医師と柔道整復師、専任教員と助手（大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝）による助言の元、臨床実習施設で実習を行う。
第10回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 岡村 知明 田辺 達磨 角田 佳貴 長谷川 龍成 臨床実習施設での実習7
	内容	診療参加型実習 実習施設の医師と柔道整復師、専任教員と助手（大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝）による助言の元、臨床実習施設で実習を行う。
第11回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 末吉 祐介 田辺 達磨 岡村 知明 角田 佳貴 長谷川 龍成 臨床実習施設での実習8
	内容	診療参加型実習 実習施設の医師と柔道整復師、専任教員と助手（大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝）による助言の元、臨床実習施設で実習を行う。
第12回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 田辺 達磨 岡村 知明 角田 佳貴 長谷川 龍成 臨床実習施設での実習9
	内容	診療参加型実習 実習施設の医師と柔道整復師、専任教員と助手（大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、

		佐々木凜音、山川紗輝) による助言の元、臨床実習施設で実習を行う。
第13回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 田辺 達磨 末吉 祐介 岡村 知明 角田 佳貴 長谷川 龍成 臨床実習施設での実習10
	内容	診療参加型実習 実習施設の医師と柔道整復師、専任教員と助手（大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝）による助言の元、臨床実習施設で実習を行う。
第14回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 末吉 祐介 田辺 達磨 岡村 知明 角田 佳貴 長谷川 龍成 臨床実習施設での実習11
	内容	診療参加型実習 実習施設の医師と柔道整復師、専任教員と助手（大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝）による助言の元、臨床実習施設で実習を行う。
第15回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 末吉 祐介 田辺 達磨 岡村 知明 角田 佳貴 長谷川 龍成 臨床実習施設での実習12
	内容	診療参加型実習 実習施設の医師と柔道整復師、専任教員と助手（大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝）による助言の元、臨床実習施設で実習を行う。
第16回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 末吉 祐介 田辺 達磨 岡村 知明 角田 佳貴 長谷川 龍成 臨床実習施設での実習13
	内容	診療参加型実習 実習施設の医師と柔道整復師、専任教員と助手（大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝）による助言の元、臨床実習施設で実習を行う。
		松本 揚 大澤 裕行

第17回	担当教員	田村 哲也 末吉 祐介 田辺 達磨 岡村 知明 角田 佳貴 長谷川 龍成 臨床実習施設での実習14
	内容	診療参加型実習 実習施設の医師と柔道整復師、専任教員と助手（大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝）による助言の元、臨床実習施設で実習を行う。
第18回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 末吉 祐介 田辺 達磨 岡村 知明 角田 佳貴 長谷川 龍成 臨床実習施設での実習15
	内容	診療参加型実習 実習施設の医師と柔道整復師、専任教員と助手（大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝）による助言の元、臨床実習施設で実習を行う。
第19回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 末吉 祐介 田辺 達磨 岡村 知明 角田 佳貴 長谷川 龍成 臨床実習施設での実習16
	内容	診療参加型実習 実習施設の医師と柔道整復師、専任教員と助手（大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝）による助言の元、臨床実習施設で実習を行う。
第20回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 末吉 祐介 田辺 達磨 岡村 知明 角田 佳貴 長谷川 龍成 臨床実習施設での実習17
	内容	診療参加型実習 実習施設の医師と柔道整復師、専任教員と助手（大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝）による助言の元、臨床実習施設で実習を行う。
	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 末吉 祐介 田辺 達磨

第21回	員	岡村 知明 角田 佳貴 長谷川 龍成 臨床実習施設での実習18
	内容	診療参加型実習 実習施設の医師と柔道整復師、専任教員と助手（大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝）による助言の元、臨床実習施設で実習を行う。
第22回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 末吉 祐介 田辺 達磨 岡村 知明 角田 佳貴 長谷川 龍成 臨床実習の振り返り①
	内容	専任教員（大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成）と実習後の面接を行う。
第23回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 末吉 祐介 田辺 達磨 岡村 知明 角田 佳貴 長谷川 龍成 臨床実習の振り返り②
	内容	専任教員（大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成）と実習後の面接を行う。

評価方法とフィードバック方法

臨床実習担当者評価（実習への積極的参加、デイリーノートなど）50%、
専任教員との面接評価50%
臨床実習担当者からの評価を専任教員がフィードバックする。

教科書

使用しない

参考書

「医療コミュニケーション 医療従事者と患者の信頼関係構築」荒木正見 日本医療企画
3, 400円

オフィスアワー

主担当松本揚
水曜日3限、木曜日3限、金曜日3限

実務経験の有無

この科目は柔道整復師の実務経験を有する教員がその実務経験を活かし、実践的教育を行っている科目です。

その他

実習に積極的に参加していない場合、実習中止となることがある。
体調を万全にして実習に参加すること。臨床実習施設に迷惑をかけることのないようにすること。



講義コード	5403801
講義名	臨床実習II
(副題)	〔2023年度入学生対象〕
代表ナンバリングコード	52P04-2081IR-00
講義開講時期	前期
講義区分	実習
基準単位数	1
時間	45.00
対象学年	2
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

松本 揚

大澤 裕行

山本 清

田村 哲也

末吉 祐介

田辺 達磨

岡村 知明

角田 佳貴

長谷川 龍成

桐林 俊彰

総合学習目標

付属クリニック及び関連クリニックでの診察参加型の臨床実習である。臨床実習Iでは柔道整復師の業務について知識を得た。臨床実習IIでは、柔道整復師として業務に就くための課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができるようになる。

個別学習目標

- ・柔道整復師になるために取得が必要な知識を認識し説明することができる。
- ・臨床実習指導者、臨床実習施設勤務者、患者様とのコミュニケーションから、医療人としての課題を発見し、解決することができる。
- ・臨床実習で学んだ内容に対して説明できる。

準備学修

臨床実習Iで学んだ事を復習し実習の準備をする(4時間)。臨床実習施設での実習参加後に振り返り、得た知識、反省点、今後に生かせることなどをまとめること(4時間)

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学	

力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	○
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	○
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	◎

授業計画

第1回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 末吉 祐介 岡村 知明 桐林 俊彰 田辺 達磨 角田 佳貴 長谷川 龍成 ガイダンス
	内容	担当者：大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝
第2回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 末吉 祐介 岡村 知明 桐林 俊彰 田辺 達磨 角田 佳貴 長谷川 龍成 臨床実習施設での実習1
	内容	診療参加型実習 実習施設の医師と柔道整復師、専任教員と助手（大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝）による助言の元、臨床実習施設で実習を行う。
第3回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 末吉 祐介 岡村 知明 桐林 俊彰 田辺 達磨 角田 佳貴 長谷川 龍成 臨床実習施設での実習2
	内容	診療参加型実習 実習施設の医師と柔道整復師、専任教員と助手（大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝）による助言の元、臨床実習施設で実習を行う。

第4回	担当教員 松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 未吉 祐介 岡村 知明 桐林 俊彰 田辺 達磨 角田 佳貴 長谷川 龍成 臨床実習施設での実習3
	内容 診療参加型実習 実習施設の医師と柔道整復師、専任教員と助手（大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、未吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝）による助言の元、臨床実習施設で実習を行う。
第5回	担当教員 松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 未吉 祐介 岡村 知明 桐林 俊彰 田辺 達磨 角田 佳貴 長谷川 龍成 臨床実習施設での実習4
	内容 診療参加型実習 実習施設の医師と柔道整復師、専任教員と助手（大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、未吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝）による助言の元、臨床実習施設で実習を行う。
第6回	担当教員 松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 未吉 祐介 岡村 知明 桐林 俊彰 田辺 達磨 角田 佳貴 長谷川 龍成 臨床実習施設での実習5
	内容 診療参加型実習 実習施設の医師と柔道整復師、専任教員と助手（大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、未吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝）による助言の元、臨床実習施設で実習を行う。
第7回	担当教員 松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 未吉 祐介 岡村 知明 桐林 俊彰 田辺 達磨 角田 佳貴 長谷川 龍成 臨床実習施設での実習6
	内容 診療参加型実習 実習施設の医師と柔道整復師、専任教員と助手（大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、未吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、

		佐々木凜音、山川紗輝) による助言の元、臨床実習施設で実習を行う。
第8回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 未吉 祐介 岡村 知明 桐林 俊彰 田辺 達磨 角田 佳貴 長谷川 龍成 臨床実習施設での実習7
	内容	診療参加型実習 実習施設の医師と柔道整復師、専任教員と助手（大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、未吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝）による助言の元、臨床実習施設で実習を行う。
第9回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 未吉 祐介 岡村 知明 桐林 俊彰 田辺 達磨 角田 佳貴 長谷川 龍成 臨床実習施設での実習8
	内容	診療参加型実習 実習施設の医師と柔道整復師、専任教員と助手（大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、未吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝）による助言の元、臨床実習施設で実習を行う。
第10回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 未吉 祐介 岡村 知明 桐林 俊彰 田辺 達磨 角田 佳貴 長谷川 龍成 臨床実習施設での実習9
	内容	診療参加型実習 実習施設の医師と柔道整復師、専任教員と助手（大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、未吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝）による助言の元、臨床実習施設で実習を行う。
第11回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 未吉 祐介 岡村 知明 桐林 俊彰 田辺 達磨 角田 佳貴 長谷川 龍成 臨床実習施設での実習10
	内容	診療参加型実習 実習施設の医師と柔道整復師、専任教員と助手（大澤裕行、田村哲也、松本揚、

	容	岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝)による助言の元、臨床実習施設で実習を行う。
第12回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 末吉 祐介 岡村 知明 桐林 俊彰 田辺 達磨 角田 佳貴 長谷川 龍成 臨床実習施設での実習11
	内容	診療参加型実習 実習施設の医師と柔道整復師、専任教員と助手（大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝)による助言の元、臨床実習施設で実習を行う。
第13回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 末吉 祐介 岡村 知明 桐林 俊彰 田辺 達磨 角田 佳貴 長谷川 龍成 臨床実習施設での実習12
	内容	診療参加型実習 実習施設の医師と柔道整復師、専任教員と助手（大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝)による助言の元、臨床実習施設で実習を行う。
第14回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 末吉 祐介 岡村 知明 桐林 俊彰 田辺 達磨 角田 佳貴 長谷川 龍成 臨床実習施設での実習13
	内容	診療参加型実習 実習施設の医師と柔道整復師、専任教員と助手（大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝)による助言の元、臨床実習施設で実習を行う。
第15回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 末吉 祐介 岡村 知明 桐林 俊彰 田辺 達磨 角田 佳貴 長谷川 龍成 臨床実習施設での実習14
		診療参加型実習

	内容	実習施設の医師と柔道整復師、専任教員と助手（大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝）による助言の元、臨床実習施設で実習を行う。
第16回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 末吉 祐介 岡村 知明 桐林 俊彰 田辺 達磨 角田 佳貴 長谷川 龍成 臨床実習施設での実習15
	内容	診療参加型実習 実習施設の医師と柔道整復師、専任教員と助手（大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝）による助言の元、臨床実習施設で実習を行う。
第17回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 末吉 祐介 岡村 知明 桐林 俊彰 田辺 達磨 角田 佳貴 長谷川 龍成 臨床実習施設での実習16
	内容	診療参加型実習 実習施設の医師と柔道整復師、専任教員と助手（大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝）による助言の元、臨床実習施設で実習を行う。
第18回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 末吉 祐介 岡村 知明 桐林 俊彰 田辺 達磨 角田 佳貴 長谷川 龍成 臨床実習施設での実習17
	内容	診療参加型実習 実習施設の医師と柔道整復師、専任教員と助手（大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝）による助言の元、臨床実習施設で実習を行う。
第19回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 末吉 祐介 岡村 知明 桐林 俊彰 田辺 達磨 角田 佳貴 長谷川 龍成 臨床実習施設での実習18
	内容	診療参加型実習 実習施設の医師と柔道整復師、専任教員と助手（大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝）による助言の元、臨床実習施設で実習を行う。

	内容	診療参加型実習 実習施設の医師と柔道整復師、専任教員と助手（大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝）による助言の元、臨床実習施設で実習を行う。
第20回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 末吉 祐介 岡村 知明 桐林 俊彰 田辺 達磨 角田 佳貴 長谷川 龍成 臨床実習施設での実習19
	内容	診療参加型実習 実習施設の医師と柔道整復師、専任教員と助手（大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝）による助言の元、臨床実習施設で実習を行う。
第21回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 末吉 祐介 岡村 知明 桐林 俊彰 田辺 達磨 角田 佳貴 長谷川 龍成 臨床実習施設での実習20
	内容	診療参加型実習 実習施設の医師と柔道整復師、専任教員と助手（大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝）による助言の元、臨床実習施設で実習を行う。
第22回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 末吉 祐介 岡村 知明 桐林 俊彰 田辺 達磨 角田 佳貴 長谷川 龍成 臨床実習後の振り返り1
	内容	実習を面接担当者と振り返る 担当者：大澤裕行、石丸圭荘、山本清、田村哲也、松本揚、岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成
第23回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 末吉 祐介 岡村 知明 桐林 俊彰 田辺 達磨 角田 佳貴 長谷川 龍成 臨床実習後の振り返り2

内容

実習を面接担当者と振り返る
担当者：大澤裕行、石丸圭荘、山本清、田村哲也、松本揚、岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成

評価方法とフィードバック方法

臨床実習担当者評価（実習への積極的参加、デイリーノートなど）50%、
専任教員との面接評価50%
臨床実習担当者からの評価を専任教員がフィードバックする。

参考書

「医療コミュニケーション 医療従事者と患者の信頼関係構築」 荒木正見 日本医療企画
3,400円

オフィスアワー

主担当松本揚
水曜日3限、木曜日3限、金曜日3限

実務経験の有無

この科目は柔道整復師の実務経験を有する教員がその実務経験を活かし、実践的教育を行っている科目である

その他

実習に積極的に参加していない場合、実習中止となることがある。

講義コード	5404001
講義名	健康運動指導実習I
(副題)	
代表ナンバリングコード	52P06-2082FO-00
講義開講時期	前期
講義区分	実習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	2
必修/選択	自由
担当教員	

氏名

田辺 達磨

上岡 尚代

野田 哲由

檀 和夫

総合学習目標

医学的基礎知識、運動生理学の知識、健康づくりのための運動指導の知識・技能等を背景に、健康づくりを目的として作成された運動プログラムの指導を対象別に行うことができるようになる。

個別学習目標

健康づくり施策、運動基準や運動指針について理解する。運動指針策定の根拠となる疫学的研究について知る。健康運動指導に必要な生活習慣病に対する適切な運動療法の実際について演習する。

生活習慣病予備軍に対する対象別運動指導の具体的な知識・方法・安全配慮について、演習を通して習得する。運動負荷試験の実際を知識・方法・安全配慮について、演習を通して習得する。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	○
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	

【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	○
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	○

授業計画

第1回	担当 教員	田辺 達磨 健康の概念と制度
	内容	健康の概念と制度について 世界保健機関憲章に記された「健康」の概念
第2回	担当 教員	田辺 達磨 生活習慣病（NCD）概論と特定健診・保健指導
	内容	身体活動・運動と生活習慣病予防
第3回	担当 教員	上岡 尚代 介護予防概論
	内容	介護予防と運動について
第4回	担当 教員	田辺 達磨 運動プログラム作成の基本（1）
	内容	運動プログラムの基本原則 運動プログラムの特異性 運動プログラムの全体の構成
第5回	担当 教員	田辺 達磨 運動プログラム作成の基本（2）
	内容	運動様式、強度、持続時間、頻度 ゲーム運動などレクリエーション的なプログラム 目標設定方法
第6回	担当 教員	野田 哲由 健診結果・安静時心電図の読み方（1）
	内容	血液検査の項目について 特定健康診査の検査項目について
第7回	担当 教員	野田 哲由 健診結果・安静時心電図の読み方（2）
	内容	心電図の波形 電極の取り付け方 心拍数の算出、不整脈の有無の判断、STなどの異常波形の判断について
第8回	担当 教員	田辺 達磨 服薬者の運動プログラム作成上の注意
	内容	内服薬によって調整させる運動プログラムの内容について（薬の種類を含む） 運動時の注意点 ドーピング防止の考え方と禁止薬物について
第9回	担当 教員	田辺 達磨 生活習慣病に対する適切な運動療法プログラム作成実習（1）包括的プログラム作成
	内容	運動プログラムの基本原則 運動プログラムの特異性 運動プログラムの全体の構成

		運動様式、強度、持続時間、頻度 目標設定方法
第10回	担当 教員	田辺 達磨 生活習慣病に対する適切な運動療法プログラム作成実習 (2) 過体重 (肥満) ・肥満症と高血糖・糖尿病
	内容	過体重 (肥満) ・肥満症と高血糖・糖尿病の対象者について 運動プログラムの基本原則 運動プログラムの特異性 運動プログラムの全体の構成 運動様式、強度、持続時間、頻度 目標設定方法 食習慣改善方法や減量について
第11回	担当 教員	田辺 達磨 生活習慣病に対する適切な運動療法プログラム作成実習 (3) 高血圧と脂質異常症
	内容	高血圧と脂質異常症のある対象者について 運動プログラムの基本原則 運動プログラムの特異性 運動プログラムの全体の構成 運動様式、強度、持続時間、頻度 目標設定方法
第12回	担当 教員	田辺 達磨 生活習慣病に対する適切な運動療法プログラム作成実習 (4) ロコモティブシンドロームと運動器退行性疾患
	内容	筋力低下や膝痛、腰痛のある対象者について 運動プログラムの基本原則 運動プログラムの特異性 運動プログラムの全体の構成 運動様式、強度、持続時間、頻度 目標設定方法
第13回	担当 教員	檀 和夫 田辺 達磨 野田 哲由 上岡 尚代 運動負荷試験の実際 【主担当：檀 A班；上岡、B班；野田、C班；田辺】
	内容	運動負荷試験の基礎理論 運動負荷試験の目的 運動負荷試験の禁忌 運動負荷試験の方法
第14回	担当 教員	檀 和夫 田辺 達磨 野田 哲由 上岡 尚代 運動負荷試験実習 (1) トレッドミル編 【主担当：檀 A班；上岡、B班；野田、C班；田辺】
	内容	トレッドミルについて 運動負荷試験の基礎理論 運動負荷試験の目的 運動負荷試験の禁忌 運動負荷試験の方法
	担当 教員	檀 和夫 田辺 達磨 野田 哲由 上岡 尚代

第15回	運動負荷試験実習（2）自転車エルゴメータ編【主担当：檀 A班；上岡、B班；野田、C班；田辺】
内容	自転車エルゴメータについて 運動負荷試験の基礎理論 運動負荷試験の目的 運動負荷試験の禁忌 運動負荷試験の方法

評価方法とフィードバック方法

筆記試験80%及び授業内課題問題20%にて評価する。
フィードバック方法についてはクラスルーム内にて解答を掲示する。

参考書

健康運動指導士講習会テキスト 上巻・下巻 著者・編集者・出版社（公財）健康体カづくり事業財団 16500円

運動処方指針 原著 8版 南江堂 3780円

実務経験の有無

健康運動指導士の免許を有し、医療機関やスポーツクラブで運動指導の経験がある教員がその実務経験を活かし、実践的教育を行っている科目です。

講義コード	5404101
講義名	健康運動指導実習II
(副題)	
代表ナンバリングコード	52P06-2083SO-00
講義開講時期	後期
講義区分	実習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	2
必修/選択	自由
担当教員	

氏名

長谷川 龍成

野田 哲由

田辺 達磨

総合学習目標

医学的基礎知識、運動生理学の知識、健康づくりのための運動指導の知識・技能等を背景に、健康づくりを目的として作成された運動プログラムの指導を行うことができるようになる。

整復医療・トレーナー学科DP4-①に該当する。

個別学習目標

健康運動指導に必要な水泳・水中運動、介護予防の運動指導について演習する。

更に授業内で、健康産業施設等現場実習に参加し、現場での指導補助を体験する。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	◎

授業計画

第1回	担当教員	長谷川 龍成 野田 哲由 田辺 達磨 水泳・水中運動 (1) (理論) 【A班；長谷川、B班；野田、C班；田辺】
	内容	水泳・水中運動の特徴：浮力、揚力、水圧、水温 水中運動プログラム：ウォームアップ、水中ウォーキング、アクアビクス、有酸素運動、レジスタンス運動、クールダウン 水泳：浮き身、、だるま浮きから付し浮きへの移行、ストリームライン、クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、 運動直後の心拍数測定、指導上の留意点
第2回	担当教員	長谷川 龍成 野田 哲由 田辺 達磨 水泳・水中運動(2) (実習) 【A班；長谷川、B班；野田、C班；田辺】
	内容	水中ウォーキング 背浮き、伏し浮き、背泳ぎ 【Aグループ①ウォーキング45分間：長谷川、②背浮き、付し浮き、背泳ぎ45分間：野田、田辺 Bグループ①背浮き、付し浮き、背泳ぎ45分間：野田、田辺 ②ウォーキング45分間：長谷川】
第3回	担当教員	長谷川 龍成 野田 哲由 田辺 達磨 水泳・水中運動(3) (実習) 【A班；長谷川、B班；野田、C班；田辺】
	内容	アクアエクササイズ(アクアダンス) アクアゲーム(水中スポーツ) 【Aグループ①アクアエクササイズ45分間：長谷川、②アクアゲーム45分間：野田、田辺 Bグループ①アクアゲーム45分間：野田、田辺 ②アクアエクササイズ45分間：長谷川】
第4回	担当教員	長谷川 龍成 野田 哲由 田辺 達磨 介護予防と運動(1) (実習) 【A班；長谷川、B班；野田、C班；田辺】
	内容	高齢者に対する運動指導を体験する(介護予防教室) 【Aグループ①ストレッチング45分間：長谷川、②筋力トレーニング45分間：野田、田辺 Bグループ①筋力トレーニング45分間：野田、田辺 ②ストレッチング45分間：長谷川】
第5回	担当教員	長谷川 龍成 野田 哲由 田辺 達磨 介護予防と運動(2) (実習) 【A班；長谷川、B班；野田、C班；田辺】
	内容	高齢者に対する運動指導を体験する(ウォーキング教室) 【Aグループ①歩行測定及び分析45分間：長谷川、②歩行実技45分間：野田、田辺 Bグループ①歩行実技45分間：野田、田辺 ②歩行測定及び分析45分間：長谷川】
	担	長谷川 龍成

第6回	当 教 員	野田 哲由 田辺 達磨 健康産業施設等現場実習（1）【A班；長谷川、B班；野田、C班；田辺】
	内 容	オリエンテーション／フロント業務／清掃とメンテナンス
第7回	担 当 教 員	長谷川 龍成 野田 哲由 田辺 達磨 健康産業施設等現場実習（2）【A班；長谷川、B班；野田、C班；田辺】
	内 容	ウェルネス業務／マシンの利用法とメンテナンス
第8回	担 当 教 員	長谷川 龍成 野田 哲由 田辺 達磨 健康産業施設等現場実習（3）【A班；長谷川、B班；野田、C班；田辺】
	内 容	ウェルネス業務／ジム内の業務と顧客対応
第9回	担 当 教 員	長谷川 龍成 野田 哲由 田辺 達磨 健康産業施設等現場実習（4）【A班；長谷川、B班；野田、C班；田辺】
	内 容	ウェルネス業務／目的別プログラム 指導見学及び補助
第10回	担 当 教 員	長谷川 龍成 野田 哲由 田辺 達磨 健康産業施設等現場実習（5）【A班；長谷川、B班；野田、C班；田辺】
	内 容	ウェルネス業務／スタジオレッスン②指導見学及び補助
第11回	担 当 教 員	長谷川 龍成 野田 哲由 田辺 達磨 健康産業施設等現場実習（6）【A班；長谷川、B班；野田、C班；田辺】
	内 容	プール業務／水質管理および監視業務
第12回	担 当 教 員	長谷川 龍成 野田 哲由 田辺 達磨 健康産業施設等現場実習（7）【A班；長谷川、B班；野田、C班；田辺】
	内 容	プール業務／スイミングスクール 指導見学及び補助
第13回	担 当 教 員	長谷川 龍成 野田 哲由 田辺 達磨 健康産業施設等現場実習（8）【A班；長谷川、B班；野田、C班；田辺】
	内 容	プール業務／アクアフィットネス 指導見学及び補助
第14回	担 当 教 員	長谷川 龍成 野田 哲由 田辺 達磨 健康産業施設等現場実習（9）【A班；長谷川、B班；野田、C班；田辺】
	内 容	ウェルネス業務全般／個別指導

第15回	担当教員	長谷川 龍成 野田 哲由 田辺 達磨 健康産業施設等現場実習（10）【A班；長谷川、B班；野田、C班；田辺】
	内容	総括 これまでの経験を通して学んだ実習ノートのまとめをおこなう

評価方法とフィードバック方法

成績評価には、健康産業施設等現場実習参加及び水泳実習参加を必須事項とする。

評価は、実習先の評価及び実習ノートにより行う。（100%）

参考書

健康運動指導士試験要点整理と実践問題第3版 文光堂 3080円

運動処方指針 原著8版 南江堂 3780円

健康産業施設における実習は配布の実習ノートを使用する

オフィスアワー

月曜日5限目、火曜日5限目

実務経験の有無

健康運動指導士の免許を有し、医療機関やスポーツクラブで運動指導の経験がある教員がその実務経験を活かし、実践的教育を行っている科目です。

その他

本事業は、第1、2回目はプールにて実習形式で行う。第3、4、5、15回目は学内で対面形式で行う。第6～14回は提携施設における現場実習形式で行う。

この授業は、大学外で実習形式にて行われる内容を含む為、遅刻をすると、実習先に迷惑をかけるだけでなく、運動実技の場合は準備運動の実施や注意事項の告知を踏まえず参加する事になり、参加者自身が大きなリスクを抱える為、遅刻は認められません。万が一、やむをえない事情で遅刻や欠席をする場合は、必ず大学に開始前までに連絡をし、教員の指示を仰いでください。

第1回～第5回はA,B,Cの3グループに分けて行う。第6回からは健康産業施設等現場研修において各実習先への巡回指導を行う。（A班；長谷川、B班；野田、C班；田辺）

講義コード	5404301
講義名	整復医療学概論
(副題)	
代表ナンバリングコード	52L04-1084FR-00
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

大澤 裕行

総合学習目標

整復医療概論では、先ず柔道整復業務を理解するため、世界の医療史、日本の医療史並びに接骨医療史など歴史的経緯とその沿革を学び、柔道整復業務における先人、先達の偉業を知ること、現在の柔道整復師が進むべき道程を提示しその在り方を考える。大正期の柔道整復術より徐々に発展してきた歴史を深く考察し、国民の必要とする柔道整復業務とは一体何かを洞察し、実務に即した倫理とプロフェッショナリズムの涵養を目的とする。

個別学習目標

1. 医療全般の歴史と仕組みを知り、それぞれの専門業務の特徴を知る。
2. 医療人に相応しい資質を獲得し、自らが柔道整復師となって医療貢献する覚悟を醸成する。
3. 利他的に生きることの重要性を知り、柔道整復師として社会貢献できるかを模索する。
4. 医療人の一員として、柔道整復師職として誇りが持てるよう、業務の素晴らしさを理解する。
5. 医療倫理観の醸成とプロフェッショナリズムの涵養。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を	◎

持つ。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	○

授業計画

第1回	担当教員	大澤 裕行 医療の起源と発展・医療の基本概念
	内容	ディスカッション形式で歴史を紐解くAL:A
第2回	担当教員	大澤 裕行 世界の医療史1・原始から中世
	内容	ディスカッション形式で歴史を紐解くAL:A
第3回	担当教員	大澤 裕行 世界の医療史2・近世から近代
	内容	ディスカッション形式で歴史を紐解くAL:A
第4回	担当教員	大澤 裕行 日本の医療史・江戸、明治期の接骨術
	内容	ディスカッション形式で歴史を紐解くAL:A
第5回	担当教員	大澤 裕行 柔道整復術の公認
	内容	ディスカッション形式で歴史を紐解くAL:A
第6回	担当教員	大澤 裕行 柔道整復師法の成立
	内容	ディスカッション形式で歴史を紐解くAL:A
第7回	担当教員	大澤 裕行 柔道整復師と柔道
	内容	ディスカッション形式で歴史を紐解くAL:A
第8回	担当教員	大澤 裕行 柔道整復術の現代的存在意義
	内容	ディスカッション形式で歴史を紐解くAL:A
第9回	担当教員	大澤 裕行 業務範囲と心得
	内容	ディスカッション形式で歴史を紐解くAL:A
第10回	担当教員	大澤 裕行 業務禁止と施術制限
	内容	ディスカッション形式で歴史を紐解くAL:A
第11回	担当教員	大澤 裕行 施術の限界と的確な判断
	内容	ディスカッション形式で歴史を紐解くAL:A
第12回	担当教員	大澤 裕行 柔道整復師とX線撮影
	内容	ディスカッション形式で歴史を紐解くAL:A
第13回	担当教員	大澤 裕行 医療倫理、柔道整復師倫理綱領
	内容	ディスカッション形式で歴史を紐解くAL:A
	担当教員	大澤 裕行

第14回		柔道整復医療の実際
	内容	ディスカッション形式で歴史を紐解くAL:A
第15回	担当教員	大澤 裕行 プロフェッショナルリズム
	内容	ディスカッション形式で歴史を紐解くAL:A

評価方法とフィードバック方法

原則的に、毎回のレポート30%、定期試験70%を合わせ、総合的に判定する。

レポート：その都度解説、講評する

定期試験：掲示板等で正解と講評を掲載する

教科書

テキスト

参考文献「江戸のほねつぎ」名倉弓雄著 毎日新聞社 850円

「江戸のほねつぎ昭和編」名倉公雄著 中央公論事業出版 1, 230円

「適塾の謎」芝哲夫著 大阪大学出版会 1, 500円

「医聖 野口英世を育てた人々」小松山六郎著 歴史春秋社 1, 500円

参考書

テキスト

参考文献「江戸のほねつぎ」名倉弓雄著 毎日新聞社 850円

「江戸のほねつぎ昭和編」名倉公雄著 中央公論事業出版 1, 230円

「適塾の謎」芝哲夫著 大阪大学出版会 1, 500円

「医聖 野口英世を育てた人々」小松山六郎著 歴史春秋社 1, 500円

オフィスアワー

適宜対応する

実務経験の有無

この科目は診療所で柔道整復師としての実務経験を有する教員が実務経験を活かし、柔道整復師として学ぶべき柔道整復学の必要な知識を身につけることを目的に行っている科目です。

その他

講義中の私語、携帯メール等の授業妨害は直ちに退出させる。

講義コード	5504001
講義名	臨床実習IV
(副題)	〔2022年度入学生対象〕
代表ナンバリングコード	52P04-3085IR-00
講義開講時期	前期
講義区分	実習
基準単位数	1
時間	45.00
対象学年	3
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

松本 揚

大澤 裕行

山本 清

田村 哲也

末吉 祐介

田辺 達磨

岡村 知明

角田 佳貴

長谷川 龍成

総合学習目標

近隣で発生する外傷、障害を予防することで地域に貢献することを目標とした実習である。これまでに学習した基礎医学、基礎柔道整復学及び臨床柔道整復学の知識を統合・整理して、外傷、障害の発生予防だけでなく治療するためのプログラムを作成し実装できるようになることを目指す。地域住民が主体的に取り組むための支援ができるようになる能力を養う。

個別学習目標

- ・ 柔道整復師として必要な外傷、障害の特徴を理解し、説明できる。
- ・ 外傷、障害の発生を予防するためのプログラムの作成と実践ができる。
- ・ 受傷後の運動療法プログラムの作成と実践ができる。

準備学修

臨床実習I・II・IIIや、これまでに学習した基礎医学、基礎柔道整復学及び臨床柔道整復学で学んだ事を復習し実習の準備をする(5時間)。各実習後に、教員、他の学生、地域住民の意見をまとめて今後にかけるようにすること(各1時間)

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	

【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	○
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	

授業計画

第1回	担当 教員	松本 揚 大澤 裕行 山本 清 田村 哲也 未吉 祐介 田辺 達磨 岡村 知明 角田 佳貴 長谷川 龍成 ガイダンス
	内容	担当教員と助手（関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝）による助言の元、フィールド調査を行う。
第2回	担当 教員	松本 揚 大澤 裕行 山本 清 田村 哲也 未吉 祐介 田辺 達磨 岡村 知明 角田 佳貴 長谷川 龍成 オリエンテーション1
	内容	近隣環境によって生じている地域の問題について学ぶ
第3回	担当 教員	松本 揚 大澤 裕行 山本 清 田村 哲也 未吉 祐介 田辺 達磨 岡村 知明 角田 佳貴 長谷川 龍成 オリエンテーション2
	内容	近隣環境によって生じている地域の問題について学ぶ
	担当	松本 揚 大澤 裕行 山本 清 田村 哲也 未吉 祐介

第4回	教員	田辺 達磨 岡村 知明 角田 佳貴 長谷川 龍成 フィールド調査1
	内容	担当教員と助手（関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝）による助言の元、フィールド調査を行う。
第5回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 山本 清 田村 哲也 未吉 祐介 田辺 達磨 岡村 知明 角田 佳貴 長谷川 龍成 フィールド調査2
	内容	担当教員と助手（関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝）による助言の元、フィールド調査を行う。
第6回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 山本 清 田村 哲也 未吉 祐介 田辺 達磨 岡村 知明 角田 佳貴 長谷川 龍成 フィールド調査3
	内容	担当教員と助手（関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝）による助言の元、フィールド調査を行う。
第7回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 山本 清 田村 哲也 未吉 祐介 田辺 達磨 岡村 知明 角田 佳貴 長谷川 龍成 フィールド調査4
	内容	担当教員と助手（関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝）による助言の元、フィールド調査を行う。
第8回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 山本 清 田村 哲也 未吉 祐介 田辺 達磨 岡村 知明 角田 佳貴 長谷川 龍成 フィールド調査5
	内容	担当教員と助手（関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝）による助言の元、フィールド調査を行う。

第9回	担当 教員	松本 揚 大澤 裕行 山本 清 田村 哲也 未吉 祐介 田辺 達磨 岡村 知明 角田 佳貴 長谷川 龍成 フィールド調査6
	内容	担当教員と助手（関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝）による助言の元、フィールド調査を行う。
第10回	担当 教員	松本 揚 大澤 裕行 山本 清 田村 哲也 未吉 祐介 田辺 達磨 岡村 知明 角田 佳貴 長谷川 龍成 フィールド調査結果のまとめ
	内容	担当教員と助手（関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝）による助言の元、フィールド調査で分かったことをまとめる。
第11回	担当 教員	松本 揚 大澤 裕行 山本 清 田村 哲也 未吉 祐介 田辺 達磨 岡村 知明 角田 佳貴 長谷川 龍成 外傷・障害予防プログラムの発表
	内容	外傷・障害予防プログラムの発表
第12回	担当 教員	松本 揚 大澤 裕行 山本 清 田村 哲也 未吉 祐介 田辺 達磨 岡村 知明 角田 佳貴 長谷川 龍成 外傷・障害予防プログラムの発表
	内容	外傷・障害予防プログラムの発表
第13回	担当 教員	松本 揚 大澤 裕行 山本 清 田村 哲也 未吉 祐介 田辺 達磨 岡村 知明 角田 佳貴 長谷川 龍成

		外傷・障害予防プログラムの発表
	内容	外傷・障害予防プログラムの発表
第14回	担当 教員	松本 揚 大澤 裕行 山本 清 田村 哲也 未吉 祐介 田辺 達磨 岡村 知明 角田 佳貴 長谷川 龍成 外傷・障害予防プログラムの発表
	内容	外傷・障害予防プログラムの発表
第15回	担当 教員	松本 揚 大澤 裕行 山本 清 田村 哲也 未吉 祐介 田辺 達磨 岡村 知明 角田 佳貴 長谷川 龍成 外傷・障害予防プログラムの発表
	内容	外傷・障害予防プログラムの発表
第16回	担当 教員	松本 揚 大澤 裕行 山本 清 田村 哲也 未吉 祐介 田辺 達磨 岡村 知明 角田 佳貴 長谷川 龍成 外傷・障害予防プログラムの発表
	内容	外傷・障害予防プログラムの発表
第17回	担当 教員	松本 揚 大澤 裕行 山本 清 田村 哲也 未吉 祐介 田辺 達磨 岡村 知明 角田 佳貴 長谷川 龍成 地域住民への実装1
	内容	各自が作成した外傷、障害予防プログラムを、外傷障害予防教室で地域住民に行う
第18回	担当 教員	松本 揚 大澤 裕行 山本 清 田村 哲也 未吉 祐介 田辺 達磨 岡村 知明 角田 佳貴

		長谷川 龍成 地域住民への実装2
	内容	各自が作成した外傷、障害予防プログラムを、外傷障害予防教室で地域住民に行う
第19回	担当 教員	松本 揚 大澤 裕行 山本 清 田村 哲也 末吉 祐介 田辺 達磨 岡村 知明 角田 佳貴 長谷川 龍成 地域住民への実装3
	内容	各自が作成した外傷、障害予防プログラムを、外傷障害予防教室で地域住民に行う
第20回	担当 教員	松本 揚 大澤 裕行 山本 清 田村 哲也 末吉 祐介 田辺 達磨 岡村 知明 角田 佳貴 長谷川 龍成 地域住民への実装4
	内容	各自が作成した外傷、障害予防プログラムを、外傷障害予防教室で地域住民に行う
第21回	担当 教員	松本 揚 大澤 裕行 山本 清 田村 哲也 末吉 祐介 田辺 達磨 岡村 知明 角田 佳貴 長谷川 龍成 地域住民への実装5
	内容	各自が作成した外傷、障害予防プログラムを、外傷障害予防教室で地域住民に行う
第22回	担当 教員	松本 揚 大澤 裕行 山本 清 田村 哲也 末吉 祐介 田辺 達磨 岡村 知明 角田 佳貴 長谷川 龍成 地域住民への実装6
	内容	各自が作成した外傷、障害予防プログラムを、外傷障害予防教室で地域住民に行う
		松本 揚 大澤 裕行 山本 清

第23回	担当 教員	田村 哲也 未吉 祐介 田辺 達磨 岡村 知明 角田 佳貴 長谷川 龍成 面接、フィードバック
	内容	担当教員と面接をし、臨床実習について振り返る。フィードバックも実施する

評価方法とフィードバック方法

10%：提出物評価（提出期限、資料内容）
70%：教員評価（研究計画、積極的な取り組み、発表内容）
30%：班内評価（他の班員からの評価）

教科書

使用しない

参考書

使用しない

オフィスアワー

主担当松本揚
水曜日3限、木曜日3限、金曜日3限

実務経験の有無

この科目は柔道整復師の実務経験を有する教員がその実務経験を活かし、実践的教育を行っている科目です。

その他

積極的に参加していない場合、実習中止となることがある。

講義コード	5504101
講義名	運動器画像診断学
(副題)	
代表ナンバリングコード	52L04-3086SR-00
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	3
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

山本 清

大澤 裕行

松本 揚

総合学習目標

柔道整復師の業務は運動器の皮下損傷に対する施術である。受傷部への施術の手順としては、まず全身を観察し次に局所への診察を実施する。適切な施術とは骨折、脱臼、捻挫、筋腱等の軟部組織損傷の有無を的確に評価し応急処置または施術できる能力である。臨床現場では体表を含め各組織の解剖知識と骨折・脱臼においては徒手整復を実施するとともに、医療機関で医師との連携が必要不可欠となる。現代医学水準では損傷を見極める手段の一つとしてエックス線撮影があり、X線診断評価に医療機関との共有が求められる。当講座では幅広い医学知識が要求される画像診断（エックス線・CT・MRI・超音波・骨シンチグラム検査等）の基礎を学習するとともに、柔道整復師に必要な臨床評価の際の、運動器外傷の画像における知識を習得することが学習目標である。整復医療トレーナー学科のDP-4④に該当する

個別学習目標

- 1) エックス線・CT・MRI・超音波・骨シンチグラム検査等の基礎を理解する。
- 2) 柔道整復師の業務対象となる主に運動器外傷、国家試験の出題領域を含め重点的に行う。
- 3) 各画像の正常像を理解し読影法をマスターすることで医療機関と連携可能な能力を養う。
- 4) 運動器外傷以外の骨関節疾患についても簡潔に取り上げ知識の幅を広げる。
- 5) 近年、超音波観察装置（エコー）は施術所で取り扱う為に実技を通し、骨軟部組織の評価が出来るようにする。

準備学修

各コマシラバスを確認し、その内容についてテキストを参照することを推奨する。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】 ①整復医療・保健体育・スポーツ医	◎

科学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあつても国家資格を有用に活用できる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	○
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	◎

授業計画

第1回	担当教員	山本 清 医用画像の理解 と医事法規
	内容	1. X線写真 (X-ray Photograph) 2. X線CT (Computed Tomography : コンピュータ断層撮影) 3. MRI (Magnetic Resonance Imaging) 4. 超音波 : echo = 反射
第2回	担当教員	山本 清 肩関節X線写真の撮り方とみかた
	内容	1. 単純X線撮影法 骨折、脱臼の臨床画像 2. 超音波 肩腱板損傷の臨床画像 3. CT (3D : コンピュータにより三次元画像処理) 関節内骨折の臨床画像 4. MRI 関節唇損傷の臨床画像
第3回	担当教員	山本 清 肘関節X線写真の撮り方と見かた
	内容	1. 肘関節単純X線写真の撮り方 1) 前後方向撮影 (正面像) 2) 側面方向撮影 (側面像) 3) 斜位方向撮影 その他特殊撮影 ① 肘関節動態撮影 ② tangential view: 肘関節45°屈曲位正面像 ③ 外反ストレス撮影 2. 肘の骨端核発生の出現順 3. 症例 上腕骨顆上骨折、上腕骨外顆骨折、肘関節脱臼、橈骨頭骨折など
第4回	担当教員	山本 清 橈骨遠位端・手指部X線写真の撮り方と見かた
	内容	1. 橈骨遠位端部単純X線写真の撮り方 1) 前後方向撮影 (正面像) 2) 側面方向撮影 (側面像) 3) 斜位方向撮影 «コーレス骨折に対するX線指標» その他特殊撮影 ① 舟状骨

		② 遠位橈尺関節 ③ 手指ストレス撮影 2. 手・指部単純X線写真の撮り方 ・手指の外傷画像のみかた
第5回	担当教員	山本 清 5 正常画像と臨床評価に必要なエックス線画像診断（下肢）②
	内容	画像を供覧しながらグループでディスカッションを行う。AL:AB
第6回	担当教員	山本 清 6 正常画像と臨床評価に必要なエックス線画像診断（体幹）①
	内容	画像を供覧しながらグループでディスカッションを行う。AL:AB
第7回	担当教員	大澤 裕行 7 MRI、CT、骨シンチグラムの理論と画像読影
	内容	画像を供覧しながらグループでディスカッションを行う。AL:AB
第8回	担当教員	大澤 裕行 8 超音波の理論と画像読影
	内容	画像を供覧しながらグループでディスカッションを行う。AL:AB
第9回	担当教員	大澤 裕行 9 超音波画像診断装置を用いた評価方法（上肢）①（実技）
	内容	画像を供覧しながらグループでディスカッションを行う。AL:AB
第10回	担当教員	大澤 裕行 10 超音波画像診断装置を用いた評価方法（上肢）②（実技）
	内容	画像を供覧しながらグループでディスカッションを行う。AL:AB
第11回	担当教員	大澤 裕行 11 超音波画像診断装置を用いた評価方法（下肢）①（実技）
	内容	画像を供覧しながらグループでディスカッションを行う。AL:AB
第12回	担当教員	大澤 裕行 12 超音波画像診断装置を用いた評価方法（下肢）②（実技）
	内容	画像を供覧しながらグループでディスカッションを行う。AL:AB
第13回	担当教員	松本 揚 13 上肢の画像読影と治療方法の策定
	内容	画像を供覧しながらグループでディスカッションを行う。AL:AB
第14回	担当教員	松本 揚 14 下肢の画像読影と治療方法の策定
	内容	画像を供覧しながらグループでディスカッションを行う。AL:AB
第15回	担当教員	松本 揚 15 体幹の画像読影と治療方法の策定
	内容	画像を供覧しながらグループでディスカッションを行う。AL:AB

評価方法とフィードバック方法

定期試験100点満点で実施評価し60点以上を合格とする。

山本（50点）

大澤（30点）

松本（20点）

の配分点とする。

試験後はクラスルームまたは直接に正解・解説を配布または掲示する。

教科書

テキスト：「PT・OTのための画像診断マニュアル」 著者：百島祐貴 医学教育出版社2, 700円+税

「施術の適応と医用画像の理解」南江堂．全国柔道整復学校協会監修．2600円+税

参考文献

参考書

テキスト：「PT・OTのための画像診断マニュアル」 著者：百島祐貴 医学教育出版社2, 700円+税

「施術の適応と医用画像の理解」南江堂．全国柔道整復学校協会監修．2600円+税

参考文献

オフィスアワー

適時対応

実務経験の有無

この科目は接骨院・診療所等で臨床経験のある教員が、骨折・脱臼の応急処置や捻挫・挫傷などの軟部組織損傷の施術の際に医療機関と連携が取れるよう指導を行っている科目です。

その他

必要に応じて資料を配布する。

講義コード	5504201
講義名	整復ケア運動器学
(副題)	
代表ナンバリングコード	52L04-3087FR-00
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	3
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

岡村 知明

末吉 祐介

総合学習目標

解剖学にて学習した筋・骨関節系に関わる人体構造に関わる基礎知識や、運動学にて学習した人体の運動器の機能に関する知識の復習をする。また、身体各部位に発生しやすい運動器疾患に関しても学習していく。そして将来臨床現場にて運動器疾患に対して適切な施術を行うために、運動器の機能解剖の知識と運動器疾患の知識がつながるようになることを本講義の目標とする。

個別学習目標

- ・筋、骨、関節についての構造を理解できる。
- ・人体の筋骨格系組織の機能について理解できる。
- ・各部位に発生しやすい運動器疾患について理解できる。
- ・運動器の知識を基に、発生しやすい運動器疾患の発生原因を理解できる。

準備学修

解剖学や運動学の教科書を読み、運動器の復習をしておくこと（30分）

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	○
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	

【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	

授業計画

第1回	担当教員	岡村 知明 末吉 祐介 オリエンテーションと基礎復習
	内容	・講義に関するオリエンテーション ・身体各部位の骨、筋の基礎復習
第2回	担当教員	岡村 知明 末吉 祐介 肩関節の機能解剖と運動器疾患
	内容	・肩関節、肩甲帯の機能解剖 ・肩関節、肩甲帯に発生する代表的な運動器疾患
第3回	担当教員	岡村 知明 末吉 祐介 肘関節の機能解剖と運動器疾患
	内容	・肘関節の機能解剖 ・肘関節に発生する代表的な運動器疾患
第4回	担当教員	岡村 知明 末吉 祐介 前腕の機能解剖と運動器疾患
	内容	・前腕の機能解剖 ・前腕に発生する代表的な運動器疾患
第5回	担当教員	岡村 知明 末吉 祐介 手関節の機能解剖と運動器疾患
	内容	・手関節の機能解剖 ・手関節に発生する代表的な運動器疾患
第6回	担当教員	岡村 知明 末吉 祐介 手指の機能解剖と運動器疾患
	内容	・手指の機能解剖 ・手指に発生する代表的な運動器疾患
第7回	担当教員	岡村 知明 末吉 祐介 骨盤帯の機能解剖と運動器疾患
	内容	・骨盤帯の機能解剖 ・骨盤帯に発生する代表的な運動器疾患
	担当教員	末吉 祐介 岡村 知明 股関節の機能解剖と運動器疾患

第8回	内容	・股関節の機能解剖 ・股関節に発生する代表的な運動器疾患
	担当教員	末吉 祐介 岡村 知明 膝関節の機能解剖と運動器疾患
第9回	内容	・膝関節の機能解剖 ・膝関節に発生する代表的な運動器疾患
	担当教員	末吉 祐介 岡村 知明 足関節の機能解剖と運動器疾患
第10回	内容	・足関節の機能解剖 ・足関節に発生する代表的な運動器疾患
	担当教員	末吉 祐介 岡村 知明 足部の機能解剖と運動器疾患
第11回	内容	・足部の機能解剖 ・足部に発生する代表的な運動器疾患
	担当教員	末吉 祐介 岡村 知明 腰椎の機能解剖と運動器疾患
第12回	内容	・腰椎の機能解剖 ・腰椎に発生する代表的な運動器疾患
	担当教員	末吉 祐介 岡村 知明 胸椎の機能解剖と運動器疾患
第13回	内容	・胸椎の機能解剖 ・胸椎に発生する代表的な運動器疾患
	担当教員	末吉 祐介 岡村 知明 頸椎の機能解剖と運動器疾患
第14回	内容	・頸椎の機能解剖 ・頸椎に発生する代表的な運動器疾患
	担当教員	岡村 知明 末吉 祐介 まとめ
第15回	内容	・これまでの講義のまとめ

評価方法とフィードバック方法

「評価方法」

- ・定期試験87点（87%）、小テスト13点（13%）、合計100点（100%）で評価する

「フィードバック方法」

- ・定期試験：Classroomに正解を掲載する
- ・小テスト：Classroomに正解を掲載する

教科書

配布資料を用いる。

参考書

解剖学 第2版、社団法人全国柔道整復学校協会、医歯薬出版株式会社

カパンジー機能解剖学 原著第7版、医歯薬出版株式会社

プロメテウス解剖学アトラス 解剖学総論/運動器系 第3版

オフィスアワー

岡村：金曜日、3限、548教員研究室

末吉：火曜日、2限、514教員研究室

実務経験の有無

この科目は臨床現場で柔道整復師としての実務経験のある教員が、運動器疾患に対して施術を行ううえで必要な運動器に関する知識について指導を行っている科目です。

その他

・第1～7回、15回は岡村が、第8～14回は末吉がメインで講義する。全ての講義でもう1人の教員が教室を巡回し学生の質問等への対応をする。

・第3回から第15回まで合計で13回の小テストを実施する。小テストの内容は前回の講義の内容とする。

・1, 2年生で受講した解剖学と運動学の復習をすることを推奨する。

講義コード	5504301
講義名	総合整復演習I (運動器解剖学)
(副題)	
代表ナンバリングコード	
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	4
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

田辺 達磨

桐林 俊彰

総合学習目標

柔道整復師として学ぶべき解剖学を学習し、それに必要な知識と見識を身につけることを目標とする。

また、人体の形態・構造の基礎知識を中心に学習し、国家試験合格の足掛かりとする。

個別学習目標

国家試験頻出事項を中心に、重要事項についての理解を深め、一般問題に正答できる水準の学力を身に付ける。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	

授業計画

第1回	担当教員	田辺 達磨 人体解剖学概説（細胞）
	内容	・形態と内部構造について学ぶ ・細胞周期と細胞分裂について学ぶ
第2回	担当教員	田辺 達磨 人体解剖学概説（組織）
	内容	・組織の分類と特性について学ぶ
第3回	担当教員	田辺 達磨 運動器系（骨格系 基礎、脊柱）
	内容	・骨格系総論について学ぶ ・各論（脊柱、胸郭）について学ぶ
第4回	担当教員	田辺 達磨 運動器系（骨格系；上肢）
	内容	・上肢骨について学ぶ
第5回	担当教員	田辺 達磨 運動器系（骨格系；下肢）
	内容	・下肢骨について学ぶ
第6回	担当教員	田辺 達磨 運動器系（骨格系；頭蓋）
	内容	・頭蓋について学ぶ
第7回	担当教員	田辺 達磨 運動器系（主な関節）
	内容	・上肢の関節について学ぶ ・下肢の関節について学ぶ ・その他の関節
第8回	担当教員	桐林 俊彰 運動器系（筋系：頭頸・体幹編）
	内容	・頭部、頸部、胸部、腹部、背部の筋について学ぶ
第9回	担当教員	桐林 俊彰 運動器系（筋系：上肢）
	内容	・上肢の筋について学ぶ
第10回	担当教員	桐林 俊彰 運動器系（筋系：下肢）
	内容	・下肢の筋について学ぶ
第11回	担当教員	桐林 俊彰 脈管系（基礎、心臓）
	内容	・総論について学ぶ ・心臓の構造や脈管などについて学ぶ
第12回	担当教員	桐林 俊彰 脈管系（動脈；体幹）
	内容	・大動脈、頭部・頸部の動脈、胸大動脈、腹大動脈について学ぶ
第13回	担当教員	桐林 俊彰 脈管系（動脈；四肢）
	内容	・上肢の動脈について学ぶ

	内容	・下肢の動脈について学ぶ
第14回	担当教員	桐林 俊彰 脈管系（静脈系；体幹・四肢）
	内容	・上大静脈、下大静脈について学ぶ ・奇静脈系 門脈系について学ぶ ・上肢の静脈について学ぶ ・下肢の静脈について学ぶ
第15回	担当教員	桐林 俊彰 脈管系（胎児循環・リンパ系）
	内容	・胎児循環について学ぶ ・リンパ系について学ぶ

評価方法とフィードバック方法

定期試験100点（100%）で評価する
フィードバック方法についてはクラスルーム内にて解答を掲示する。

教科書

全国柔道整復学校協会監修教科書 解剖学 第2版 (公社)全国柔道整復学校協会 監修／岸清・石塚 寛編

定価 8, 580円（本体 7, 800円＋税10%）

参考書

- ・プロメテウス解剖学アトラス 解剖学総論/運動器系 第3版 医学書院 13,200円(税込)
- ・プロメテウス解剖学アトラス 頭頸部/神経解剖 第3版 医学書院 13,200円(税込)
- ・プロメテウス解剖学アトラス 胸部/腹部・骨盤部 第3版 医学書院 13,200円(税込)

オフィスアワー

適宜受け付ける

実務経験の有無

この科目は診療所で柔道整復師としての実務経験のある教員が柔道整復師として学ぶべき解剖学の必要な知識と見識を身につけること目的に行っている科目です。

その他

遅刻と早退を3回すると、1回欠席した扱いとする。

講義コード	5504401
講義名	総合整復演習II（神経解剖学）
(副題)	
代表ナンバリングコード	
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	4
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

田辺 達磨

桐林 俊彰

総合学習目標

柔道整復師として学ぶべき解剖学を学習し、それに必要な知識と見識を身につけることを目標とする。

また、人体の形態・構造の基礎知識を中心に学習し、国家試験合格の足掛かりとする。

個別学習目標

国家試験頻出事項を中心に、重要事項についての理解を深め、必修問題に解答できる水準の学力を身に付ける。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	

授業計画

第1回	担当教員	桐林 俊彰 内臓系（消化器；消化管）
	内容	・消化器の種類と構造について学ぶ
第2回	担当教員	桐林 俊彰 内臓系（消化器；消化腺）
	内容	・消化腺について学ぶ
第3回	担当教員	桐林 俊彰 内臓系（泌尿器；腎臓）
	内容	・腎臓の機能と構造について学ぶ
第4回	担当教員	桐林 俊彰 内臓系（泌尿器；腎臓）
	内容	・腎臓の機能と構造について学ぶ
第5回	担当教員	桐林 俊彰 内臓系（泌尿器；尿路）、生殖器（男性生殖器）
	内容	・尿管、膀胱、尿道について学ぶ ・男性生殖器の構造について学ぶ
第6回	担当教員	桐林 俊彰 内臓系（女性生殖器）
	内容	・女性生殖器の構造について学ぶ
第7回	担当教員	桐林 俊彰 内臓系（内分泌器）
	内容	・内分泌器の種類と構造や働きについて学ぶ
第8回	担当教員	田辺 達磨 神経系（基礎、脳）
	内容	・神経系の基礎を学ぶ ・脳の形態と機能について学ぶ
第9回	担当教員	田辺 達磨 神経系（脊髄、伝導路）
	内容	・脊髄の構造を学ぶ ・伝導路について学ぶ
第10回	担当教員	田辺 達磨 神経系（脳神経）
	内容	・脳神経の種類と役割について学ぶ
第11回	担当教員	田辺 達磨 神経系（脊髄神経、自律神経）
	内容	・脊髄神経の種類と役割について学ぶ ・自律神経の種類と役割について学ぶ
第12回	担当教員	田辺 達磨 感覚器系（外皮、視覚）
	内容	・皮膚、眼の構造と機能を学ぶ
第13回	担当教員	田辺 達磨 感覚器系（聴覚、平衡器、味覚、嗅覚）
	内容	・聴覚・平衡器、味覚、嗅覚についてを学ぶ
第14回	担当教員	田辺 達磨 体表解剖（骨、筋、脈管）
	内容	・骨、筋、脈管の体表解剖について学ぶ
第15回	担当教員	田辺 達磨 体表解剖（神経、外皮、生体計測等）

	<p>内容 ・神経、外皮、生体計測等について学ぶ</p>
<p>評価方法とフィードバック方法</p>	
<p>定期試験100点（100％）で評価する。 フィードバック方法についてはクラスルーム内にて解答を掲示する。</p>	
<p>教科書</p>	
<p>テキスト 全国柔道整復学校協会監修教科書 解剖学 第2版 (公社)全国柔道整復学校協会 監修／岸清・石塚寛編 定価 8, 580円（本体 7, 800円+税10%）</p>	
<p>参考書</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・プロメテウス解剖学アトラス 解剖学総論/運動器系 第3版 医学書院 13,200円(税込) ・プロメテウス解剖学アトラス 頭頸部/神経解剖 第3版 医学書院 13,200円(税込) ・プロメテウス解剖学アトラス 胸部/腹部・骨盤部 第3版 医学書院 13,200円(税込) 	
<p>オフィスアワー</p>	
<p>適宜受け付ける</p>	
<p>実務経験の有無</p>	
<p>この科目は診療所で柔道整復師としての実務経験のある教員が柔道整復師として学ぶべき解剖学の必要な知識と見識を身につけること目的に行っている科目です。</p>	
<p>その他</p>	
<p>遅刻と早退を3回すると、1回欠席した扱いとする。</p>	

講義コード	5504501
講義名	総合整復演習III（基礎生理学）
(副題)	
代表ナンバリングコード	
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	4
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

角田 佳貴

田辺 達磨

総合学習目標

柔道整復師として学ばなければならない生理学を学修し、卒業後に柔道整復師として活躍するために必要な知識を身につけることを目標とする。

そのために、1, 2年次に学習した知識の再確認をし、国家試験出題事項を中心に、重要事項についての理解を深め、問題に解答できる水準の学力を身につける。さらに、柔道整復師国家試験に向け、これまでに学んだ知識の再構築と応用力の向上を目指す。

個別学習目標

1. 人体を構成する各器官系の構造・機能と相互関係を説明できる。
2. ホメオスタシスとその調節に関与する自律神経系の機能について説明できるようになる。
3. 体性神経系、運動系について理解して説明ができるようになる。
4. 血液の成分とその機能について理解し、説明できるようになる。
5. 循環系の機能について理解し、説明できるようになる。
6. 呼吸器系の機能について理解し、説明できるようになる。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャ	

リストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	

授業計画

第1回	担当 教員	角田 佳貴 田辺 達磨 生理学の基礎
	内容	生理学の基礎（糖質・脂質・蛋白質の構成と主な役割、細胞膜の構成と機能、物質輸送）について講義を行う。講義後、問題演習を行う。
第2回	担当 教員	角田 佳貴 田辺 達磨 神経の基本的機能①
	内容	神経細胞の構造、静止膜電位・活動電位、興奮伝導、興奮伝達について講義を行う。講義後、問題演習を行う。
第3回	担当 教員	角田 佳貴 田辺 達磨 神経の基本的機能②，神経系の機能①
	内容	神経線維の分類、神経系の分類（解剖学的分類・機能的分類）、中枢神経系の機能について講義を行う。講義後、問題演習を行う。
第4回	担当 教員	角田 佳貴 田辺 達磨 神経系の機能②
	内容	自律神経系の機能、反射について講義を行う。講義後、問題演習を行う。
第5回	担当 教員	角田 佳貴 田辺 達磨 筋肉の機能①
	内容	筋肉の分類、構造、骨格筋の収縮について講義を行う。講義後、問題演習を行う。
第6回	担当 教員	角田 佳貴 田辺 達磨 筋肉の機能②
	内容	反射による姿勢の調節、筋電図について講義を行う。講義後、問題演習を行う。
第7回	担当 教員	角田 佳貴 田辺 達磨 感覚の生理学①
	内容	感覚の分類、感覚の一般的性質、皮膚感覚、内臓感覚について講義を行う。講義後、問題演習を行う。
第8回	担当 教員	角田 佳貴 田辺 達磨 感覚の生理学②
	内容	特殊感覚、感覚の伝導路について講義を行う。講義後、問題演習を行う。

第9回	担当 教員	角田 佳貴 田辺 達磨 体液の生理学
	内容	体液の区分、体液量の調節、体液の酸塩基平衡について講義を行う。講義後、問題演習を行う。
第10回	担当 教員	角田 佳貴 田辺 達磨 血液の生理学①
	内容	血漿成分の役割、赤血球の機能、血液凝固について講義を行う。講義後、問題演習を行う。
第11回	担当 教員	角田 佳貴 田辺 達磨 血液の生理学②
	内容	白血球の分類、免疫機能、血液型について講義を行う。講義後、問題演習を行う。
第12回	担当 教員	角田 佳貴 田辺 達磨 循環の生理学①
	内容	体循環・肺循環、心筋の性質、心周期について講義を行う。講義後、問題演習を行う。
第13回	担当 教員	角田 佳貴 田辺 達磨 循環の生理学②
	内容	血管系、血圧、循環の調節、局所循環について講義を行う。講義後、問題演習を行う。
第14回	担当 教員	角田 佳貴 田辺 達磨 呼吸の生理学①
	内容	呼吸器系の概要、換気、肺容積の区分、ガス交換について講義を行う。講義後、問題演習を行う。
第15回	担当 教員	角田 佳貴 田辺 達磨 呼吸の生理学②
	内容	ガス運搬、酸素解離曲線、呼吸の調節、異常呼吸について講義を行う。講義後、問題演習を行う。

評価方法とフィードバック方法

定期試験100点（100%）で評価する。

フィードバック方法についてはクラスルーム内にて解答を掲示する。

教科書

参考文献

1. 生理学【改訂第4版】；全国柔道整復学校協会監修、南江堂、¥6,600+税
2. 人体の構造と機能(第4版)；エレインNマリブ著、林正健二訳、医学書院、¥5,200+税

参考書

参考文献

1. 生理学【改訂第4版】；全国柔道整復学校協会監修、南江堂、¥6,600+税
2. 人体の構造と機能(第4版)；エレインNマリブ著、林正健二訳、医学書院、¥5,200+税

オフィスアワー

適宜受け付ける

実務経験の有無

この科目は診療所で柔道整復師としての実務経験のある教員が柔道整復師として学ぶべき生理学の必要な知識と見識を身につけること目的に行っている科目です。

その他

- ・第1～第15回の講義に関しては角田がメインで講義を行うが、内容によっては田辺がメインで講義を行うこともある。また、全ての講義でメインでない教員が教室を巡回し、学生の質問等の対応をする。
- ・積極的に参加すること
- ・遅刻と早退を3回すると、1回欠席した扱いとする。

講義コード	5504601
講義名	総合整復演習IV (器官生理学)
(副題)	
代表ナンバリングコード	
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	4
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

角田 佳貴

田辺 達磨

総合学習目標

柔道整復師として学ばなければならない生理学を学修し、卒業後に柔道整復師として活躍するために必要な知識を身につけることを目標とする。

そのために、1, 2年次に学習した知識の再確認をし、国家試験出題事項を中心に、重要事項についての理解を深め、問題に解答できる水準の学力を身につける。さらに、柔道整復師国家試験に向け、これまでに学んだ知識の再構築と応用力の向上を目指す。

個別学習目標

1. 人体を構成する各器官系の構造・機能と相互関係を説明できる。
2. ホメオスタシスと内分泌機能の関係を理解し、説明できるようになる。
3. 代謝と体温の調節について説明できる。
4. 消化と吸収についての機序を説明できる。
5. 排尿、生殖について理解して説明ができるようになる。
6. 高齢者の生理学的特徴と変化について理解して説明ができるようになる。
7. 競技者の生理学的特徴と変化について理解して説明ができるようになる。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあつても国家資格を有用に活用できる。	◎

【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	

授業計画

第1回	担当 教員	角田 佳貴 田辺 達磨 内分泌①
	内容	ホルモンの一般的性質、視床下部のホルモン、下垂体のホルモンについて講義を行う。講義後、問題演習を行う。
第2回	担当 教員	角田 佳貴 田辺 達磨 内分泌②
	内容	甲状腺のホルモン、副腎のホルモン、膵臓のホルモンについて講義を行う。講義後、問題演習を行う。
第3回	担当 教員	角田 佳貴 田辺 達磨 生殖
	内容	性分化、精巣・卵巣の機能、月経周期・卵巣周期、妊娠と分娩について講義を行う。講義後、問題演習を行う。
第4回	担当 教員	角田 佳貴 田辺 達磨 尿の生成と排泄①
	内容	大腎臓の構造、腎臓でのろ過・再吸収・分泌について講義を行う。講義後、問題演習を行う。
第5回	担当 教員	角田 佳貴 田辺 達磨 尿の生成と排泄②
	内容	クリアランス、尿の異常、腎臓に作用するホルモン、排尿反射について講義を行う。講義後、問題演習を行う。
第6回	担当 教員	角田 佳貴 田辺 達磨 消化と吸収①
	内容	消化と吸収の総論、口腔内での消化、胃での消化、小腸での消化と吸収について講義を行う。講義後、問題演習を行う。
第7回	担当 教員	角田 佳貴 田辺 達磨 消化と吸収②
	内容	大腸での消化と吸収、排便反射、肝臓の役割、消化管ホルモンについて講義を行う。講義後、問題演習を行う。
第8回	担当 教員	角田 佳貴 田辺 達磨 栄養と代謝
		各種栄養素、ATPの生成、中間代謝、基礎代謝、呼吸商、アトウォーターの係

	内容	数について講義を行う。講義後、問題演習を行う。
第9回	担当 教員	角田 佳貴 田辺 達磨 体温とその調節
	内容	体温の生理的変動、熱産生、熱放散、体温の調節、発熱について講義を行う。 講義後、問題演習を行う。
第10回	担当 教員	角田 佳貴 田辺 達磨 骨の生理学
	内容	骨の機能、骨形成と骨吸収、カルシウム調節ホルモンと血中カルシウム濃度調節、骨の病気について講義を行う。講義後、問題演習を行う。
第11回	担当 教員	角田 佳貴 田辺 達磨 高齢者の生理学的特徴・変化，競技者の生理学的特徴・変化
	内容	高齢者の生理学的特徴・変化，競技者の生理学的特徴・変化について講義を行う。 講義後、問題演習を行う。
第12回	担当 教員	角田 佳貴 田辺 達磨 総合練習問題①
	内容	生理学の基礎，神経，筋肉について総合練習問題を行う。
第13回	担当 教員	角田 佳貴 田辺 達磨 総合練習問題②
	内容	感覚，体液・血液，消化と吸収について総合練習問題を行う。
第14回	担当 教員	角田 佳貴 田辺 達磨 総合練習問題③
	内容	循環，呼吸，栄養と代謝・体温について総合練習問題を行う。
第15回	担当 教員	角田 佳貴 田辺 達磨 総合練習問題④
	内容	内分泌・生殖・骨の生理学について総合練習問題を行う。

評価方法とフィードバック方法

定期試験100点（100％）で評価する。

フィードバック方法についてはクラスルーム内にて解答を掲示する。

教科書

参考文献

1. 生理学【改訂第4版】；全国柔道整復学校協会監修、南江堂、¥6,600+税
2. 人体の構造と機能(第4版)；エレインNマリーブ著、林正健二訳、医学書院、¥5,200+税

参考書

参考文献

1. 生理学【改訂第4版】；全国柔道整復学校協会監修、南江堂、¥6,600+税
2. 人体の構造と機能(第4版)；エレインNマリーブ著、林正健二訳、医学書院、¥5,200+税

オフィスアワー

適宜受け付ける

実務経験の有無

この科目は診療所で柔道整復師としての実務経験のある教員が柔道整復師として学ぶべき生理学の必要な知識と見識を身につけること目的に行っている科目です。

その他

- ・第1回～第15回の講義に関しては角田がメインで講義を行うが、内容によっては田辺がメインで講義を行うこともある。また、全ての講義でメインではない教員が教室を巡回し、学生の質問などの対応をする。
- ・積極的に講義に参加すること。
- ・遅刻と早退を3回すると、1回欠席した扱いとする。

講義コード	5504701
講義名	総合整復演習V（柔道整復理論総論）
(副題)	
代表ナンバリングコード	
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	4
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

松本 揚

総合学習目標

柔道整復師国家資格を取得できる知識を身につけることを最低限として、柔道整復学士として自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。

個別学習目標

柔道整復師が取り扱う外傷・障害だけでなく整形外科的疾患の症状、治療法について説明できる。

準備学修

シラバスに記載されている外傷・障害、総論であれば記載された教科書の部位を講義前に調べておくこと（30分）。講義後は講義内で解答した練習問題を復習すること（30分）。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	○
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	

授業計画

第1回	担当教員	松本 揚 柔道整復理論：総論①
	内容	柔道整復学・理論編P20-31について学び、その後講義内容に関するグループワークを行う。
第2回	担当教員	松本 揚 柔道整復理論：総論②
	内容	柔道整復学・理論編P31-39について学び、その後講義内容に関するグループワークを行う。
第3回	担当教員	松本 揚 柔道整復理論：総論③
	内容	柔道整復学・理論編P39-50について学び、その後講義内容に関するグループワークを行う。
第4回	担当教員	松本 揚 柔道整復理論：総論④
	内容	柔道整復学・理論編P50-65について学び、その後講義内容に関するグループワークを行う。
第5回	担当教員	松本 揚 柔道整復理論：総論⑤
	内容	柔道整復学・理論編P65-97について学び、その後講義内容に関するグループワークを行う。
第6回	担当教員	松本 揚 柔道整復理論：総論⑥
	内容	柔道整復学・理論編P97-123について学び、その後講義内容に関するグループワークを行う。
第7回	担当教員	松本 揚 鎖骨骨折
	内容	鎖骨骨折の発生機序、症状、検査法、治療法について学ぶ。その後講義内容に関するグループワークを行う。
第8回	担当教員	松本 揚 上腕骨外科頸骨折
	内容	上腕骨外科頸骨折の発生機序、症状、検査法、治療法について学ぶ。その後講義内容に関するグループワークを行う。
第9回	担当教員	松本 揚 上腕骨骨幹部骨折
	内容	

	内容	上腕骨骨幹部骨折の発生機序、症状、検査法、治療法について学ぶ。その後講義内容に関するグループワークを行う。
第10回	担当教員	松本 揚 コーレス骨折
	内容	コーレス骨折の発生機序、症状、検査法、治療法について学ぶ。その後講義内容に関するグループワークを行う。
第11回	担当教員	松本 揚 中手骨頸部骨折、ベネット骨折、その他の中手骨骨折
	内容	中手骨頸部骨折、ベネット骨折、その他の中手骨骨折の発生機序、症状、検査法、治療法について学ぶ。その後講義内容に関するグループワークを行う。
第12回	担当教員	松本 揚 肋骨骨折、骨盤骨骨折
	内容	肋骨骨折、骨盤骨骨折の発生機序、症状、検査法、治療法について学ぶ。その後講義内容に関するグループワークを行う。
第13回	担当教員	松本 揚 肩鎖関節脱臼、胸鎖関節脱臼
	内容	肩鎖関節脱臼、胸鎖関節脱臼の発生機序、症状、検査法、治療法について学ぶ。その後講義内容に関するグループワークを行う。
第14回	担当教員	松本 揚 肩関節脱臼
	内容	肩関節脱臼の発生機序、症状、検査法、治療法について学ぶ。その後講義内容に関するグループワークを行う。
第15回	担当教員	松本 揚 肘関節脱臼
	内容	肘関節脱臼の発生機序、症状、検査法、治療法について学ぶ。その後講義内容に関するグループワークを行う。

評価方法とフィードバック方法

定期試験100%

定期試験：掲示板、classroomに正答を掲載する

教科書

柔道整復学・理論編改訂第6版、全国柔道整復学校協会・教科書委員会、南江堂

柔道整復学・実技編改訂第2版、全国柔道整復学校協会・教科書委員会、南江堂

包帯固定学、全国柔道整復学校協会・教科書委員会、南江堂

オフィスアワー

水曜日3限、木曜日3限、金曜日3限

519教員研究室

実務経験の有無

この科目は柔道整復師の実務経験を有する教員がその実務経験を活かし、実践的教育を行っている科目である

その他

遅刻もしくは早退を合計3回すると、1回欠席した扱いとする

積極的に参加しない学生は欠席した扱いとする。

講義コード	5504801
講義名	総合整復演習VI（柔道整復理論各論）
(副題)	
代表ナンバリングコード	
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	4
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

松本 揚

大澤 裕行

総合学習目標

柔道整復学を総括する授業で、柔道整復師になるに相応しい知識を身につけることは必然である。
また、柔道整復学士として自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。

個別学習目標

柔道整復学の基礎【総論】の知識から、柔道整復師が取り扱う外傷・障害【各論】についてを説明できる。
包帯などの固定具を使用することができる。

準備学修

柔道整復学理論編の内容を網羅しておくこと（1時間）。
授業後クラスルームに、総合学習目標に到達するために必要な課題を課す（30分）。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	○
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	○
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広	

い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。

授業計画

第1回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 肘内障、舟状骨骨折
	内容	肘内障、舟状骨骨折の発生機序、症状、検査法、治療法、これに関する総論的知識について学ぶ。講義を松本が担当し、大澤、松本の2人が担当して講義内容に関するグループワークを行う。
第2回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 PIP関節脱臼、指側副靭帯損傷、ボタン穴変形、スワンネック変形
	内容	PIP関節脱臼、指側副靭帯損傷、ボタン穴変形、スワンネック変形の発生機序、症状、検査法、治療法、これに関する総論的知識について学ぶ。講義を松本が担当し、大澤、松本の2人が担当して講義内容に関するグループワークを行う。
第3回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 腱板損傷、肩峰下インピンジメント症候群、肩甲骨骨折、胸骨骨折
	内容	腱板損傷、肩峰下インピンジメント症候群、肩甲骨骨折、胸骨骨折の発生機序、症状、検査法、治療法、これに関する総論的知識について学ぶ。講義を松本が担当し、大澤、松本の2人が担当して講義内容に関するグループワークを行う。
第4回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 上腕二頭筋長頭腱損傷、ベネット損傷、SLAP損傷、リトルリーガ肩、動揺性肩関節、五十肩
	内容	上腕二頭筋長頭腱損傷、ベネット損傷、SLAP損傷、リトルリーガ肩、動揺性肩関節、五十肩の発生機序、症状、検査法、治療法、これに関する総論的知識について学ぶ。講義を松本が担当し、大澤、松本の2人が担当して講義内容に関するグループワークを行う。
第5回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 大腿部の軟部組織損傷、股関節脱臼
	内容	大腿部の軟部組織損傷、股関節脱臼の発生機序、症状、検査法、治療法、これに関する総論的知識について学ぶ。講義を松本が担当し、大澤、松本の2人が担当して講義内容に関するグループワークを行う。
第6回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 膝関節十字靭帯損傷、大腿骨遠位端部骨折、下腿骨近位端部骨折
	内容	膝関節十字靭帯損傷、大腿骨遠位端部骨折、下腿骨近位端部骨折の発生機序、症状、検査法、治療法、これに関する総論的知識について学ぶ。講義を松本が担当し、大澤、松本の2人が担当して講義内容に関するグループワークを行う。
第7回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 膝関節側副靭帯損傷、上腕骨顆上骨折
	内容	膝関節側副靭帯損傷、上腕骨顆上骨折の発生機序、症状、検査法、治療法、これ

	容	に関する総論的知識について学ぶ。講義を松本が担当し、大澤、松本の 人が担当して講義内容に関するグループワークを行う。
第8回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 膝関節半月板損傷、上腕骨外顆骨折、上腕骨内側上顆骨折、上腕骨内顆骨折
	内容	膝関節半月板損傷、上腕骨外顆骨折、上腕骨内側上顆骨折、上腕骨内顆骨折の発生機序、症状、検査法、治療法、これに関する総論的知識について学ぶ。講義を松本が担当し、大澤、松本の2人が担当して講義内容に関するグループワークを行う。
第9回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 下腿三頭筋肉離れ、下腿骨遠位端部骨折
	内容	下腿三頭筋肉離れ、下腿骨遠位端部骨折の発生機序、症状、検査法、治療法、これに関する総論的知識について学ぶ。講義を松本が担当し、大澤、松本の2人が担当して講義内容に関するグループワークを行う。
第10回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 アキレス腱断裂、アキレス腱炎、ガレアジ骨折、モンテギア骨折
	内容	アキレス腱断裂、アキレス腱炎、ガレアジ骨折、モンテギア骨折の発生機序、症状、検査法、治療法、これに関する総論的知識について学ぶ。講義を松本が担当し、大澤、松本の2人が担当して講義内容に関するグループワークを行う。
第11回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 下腿骨骨折、大腿骨頸部骨折
	内容	下腿骨骨折、大腿骨頸部骨折の発生機序、症状、検査法、治療法、これに関する総論的知識について学ぶ。講義を松本が担当し、大澤、松本の2人が担当して講義内容に関するグループワークを行う。
第12回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 足関節部の軟部組織損傷（足関節捻挫、足関節捻挫の類症疾患）、足・足趾部の軟部組織損傷
	内容	足関節部の軟部組織損傷（足関節捻挫、足関節捻挫の類症疾患）、足・足趾部の軟部組織損傷の発生機序、症状、検査法、治療法、これに関する総論的知識について学ぶ。講義を松本が担当し、大澤、松本の2人が担当して講義内容に関するグループワークを行う。
第13回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 柔道整復師に関する知識の総括を行う
	内容	講義を松本が担当し、大澤、松本の2人が担当して講義内容に関するグループワークを行う。
第14回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 柔道整復師に関する知識の総括を行う
	内容	講義を松本が担当し、大澤、松本の2人が担当して講義内容に関するグループワークを行う。
	担当	松本 揚 大澤 裕行

第15回	教員	包帯法
	内容	包帯法を学ぶ。包帯、三角巾を使用する。

評価方法とフィードバック方法

定期試験100%

定期試験：掲示板、classroomに正答を掲載する

教科書

柔道整復学・理論編改訂第6版、全国柔道整復学校協会・教科書委員会、南江堂

柔道整復学・実技編改訂第2版、全国柔道整復学校協会・教科書委員会、南江堂

包帯固定学改訂第2版、全国柔道整復学校協会・教科書委員会、南江堂

参考書

なし

オフィスアワー

木曜日3限、金曜日3限

519教員研究室

実務経験の有無

この科目は柔道整復師の実務経験を有する教員がその実務経験を活かし、実践的教育を行っている科目である

その他

遅刻もしくは早退を合計3回すると、1回欠席した扱いとする

積極的に参加しない学生は欠席した扱いとする。

講義コード	5504901
講義名	総合整復演習VII（総合内科学）
(副題)	
代表ナンバリングコード	
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	4
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

田辺 達磨

長谷川 龍成

総合学習目標

柔道整復師として学ぶべき、一般臨床医学、病理学を学習し、それに必要な知識と見識を身につけることを目標とする。

また、国家試験において必修問題に相当する柔道の歴史等の知識を学習し、国家試験合格の足掛かりとする。

個別学習目標

国家試験頻出事項を中心に、重要事項についての理解を深め、問題に解答できる水準の学力を身に付ける。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	

授業計画

第1回	担当教員	田辺 達磨 一般臨床医学①
	内容	循環器疾患について学ぶ
第2回	担当教員	田辺 達磨 一般臨床医学②
	内容	呼吸器疾患について学ぶ
第3回	担当教員	田辺 達磨 一般臨床医学③
	内容	内分泌疾患について学ぶ
第4回	担当教員	田辺 達磨 一般臨床医学④
	内容	代謝・栄養疾患について学ぶ
第5回	担当教員	田辺 達磨 一般臨床医学⑤
	内容	消化器疾患・肝・胆・膵臓疾患について学ぶ
第6回	担当教員	田辺 達磨 一般臨床医学⑥
	内容	血液・造血器疾患について学ぶ
第7回	担当教員	田辺 達磨 一般臨床医学⑦
	内容	腎・尿路疾患について学ぶ
第8回	担当教員	田辺 達磨 一般臨床医学⑧
	内容	神経・リウマチ疾患について学ぶ
第9回	担当教員	田辺 達磨 一般臨床医学⑨
	内容	診察概論(問診、視診)について学ぶ
第10回	担当教員	田辺 達磨 一般臨床医学⑩
	内容	診察概論(触診、打診、聴診、検査法)について学ぶ
第11回	担当教員	田辺 達磨 病理学①
	内容	病理学とは、疾病の一般、細胞障害(退行性病変、代謝障害)について学ぶ
第12回	担当教員	田辺 達磨 病理学②
	内容	病因、循環障害、炎症について学ぶ
第13回	担当教員	田辺 達磨 病理学③
	内容	進行性病変と細胞・組織の適応、免疫アレルギー、先天性異常、腫瘍について学ぶ
第14回	担当教員	長谷川 龍成 必修問題対策①
	内容	柔道の歴史、柔道の理念について学ぶ。
第15回	担当教員	長谷川 龍成 必修問題対策②
	内容	服装、態度、礼法、受け身について学ぶ

評価方法とフィードバック方法

定期試験100点（100%）で評価する。
フィードバック方法についてはクラスルーム内にて解答を掲示する。

教科書

購入済みテキスト(参考書)

一般臨床医学、全国柔道整復学校協会・教科書委員会、医歯薬出版株式会社、5,800円+税（予価）

参考書

購入済みテキスト(参考書)

一般臨床医学、全国柔道整復学校協会・教科書委員会、医歯薬出版株式会社、5,800円+税（予価）

オフィスアワー

適宜受け付ける

実務経験の有無

この科目は診療所での柔道整復師としての実務経験のある教員が柔道整復師として学ぶべき一般臨床医学や病理学概論、柔道の歴史や理論の必要な知識と見識を身につけることを目的に行っている科目です。

その他

遅刻と早退を3回すると、1回欠席した扱いとする。

講義コード	5505001
講義名	総合整復演習VIII（総合外科学）
(副題)	
代表ナンバリングコード	
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	4
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

岡村 知明

角田 佳貴

桐林 俊彰

総合学習目標

柔道整復師として働くうえで必要な外科学、運動学、リハビリテーション医学についての知識と見識を身につけることを目標とする。

また、柔道整復師国家試験にて出題される知識を中心に学習し、柔道整復師国家試験合格の足掛かりとする。

整復・医療トレーナー学科DP2-①。

個別学習目標

国家試験頻出事項を中心に、重要事項についての理解を深める。

準備学修

3年生まで受講した外科学、運動学、リハビリテーション医学の講義の内容を復習すること（30分）

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	◎
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	○
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広	

い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。

授業計画

第1回	担当教員	桐林 俊彰 リハビリテーション医学① 概念と歴史 リハビリテーション医学 基礎医学
	内容	概念と歴史 リハビリテーション医学 基礎医学について学ぶ
第2回	担当教員	桐林 俊彰 リハビリテーション医学② リハビリテーション医学の評価と診断
	内容	リハビリテーション医学の評価と診断について学ぶ
第3回	担当教員	桐林 俊彰 リハビリテーション医学③ リハビリテーションの治療
	内容	リハビリテーションの治療について学ぶ
第4回	担当教員	桐林 俊彰 リハビリテーション医学④ リハビリテーションの実際④
	内容	リハビリテーションの実際について学ぶ
第5回	担当教員	桐林 俊彰 リハビリテーション医学⑤ 問題演習
	内容	今まで学習した内容に関する問題演習を行う
第6回	担当教員	岡村 知明 運動学① 身体運動と力学、運動器の構造と機能
	内容	・身体運動と力学について学ぶ ・運動器の構造と機能について学ぶ
第7回	担当教員	岡村 知明 運動学② 四肢と体幹の運動
	内容	四肢と体幹の運動について学ぶ
第8回	担当教員	岡村 知明 運動学③ 姿勢、運動発達
	内容	姿勢、運動発達について学ぶ
第9回	担当教員	岡村 知明 運動学④ 反射と随意運動、運動感覚
	内容	反射と随意運動、運動感覚について学ぶ
第10回	担当教員	岡村 知明 運動学⑤ 歩行
	内容	歩行について学ぶ
第11回	担当教員	角田 佳貴 外科学① 損傷、炎症と外科感染症、腫瘍
	内容	損傷、炎症と外科感染症、腫瘍について学ぶ
第12回	担当教員	角田 佳貴 外科学② ショック、輸血・輸液 疾病の一般 消毒と滅菌、手術
	内容	ショック 輸血・輸液 疾病の一般について学ぶ
第13回	担当教員	角田 佳貴 外科学③ 出血と止血 心肺蘇生
	内容	出血と止血 心肺蘇生について学ぶ
第14回	担当教員	角田 佳貴 外科学④ 脳神経外科疾患
	内容	脳神経外科疾患について学ぶ

第15回	担当教員	角田 佳貴 外科学⑤ 腹部外科疾患、心臓・脈管
	内容	・腹部外科疾患について学ぶ ・心臓・脈管について学ぶ

評価方法とフィードバック方法

「評価方法」：定期試験100点（100%）

「フィードバック方法」：試験後に正解を配布する

教科書

外科学概論、全国柔道整復学校協会・教科書委員会、南江堂、5,700円+税（予価）

運動学、全国柔道整復学校協会・教科書委員会、医歯薬出版株式会社、4,200円+税（予価）

リハビリテーション医学、全国柔道整復学校協会・教科書委員会、南江堂、5,000円+税（予価）

オフィスアワー

岡村：月曜日昼休み

角田：月曜日昼休み

桐林：月曜日昼休み

実務経験の有無

この科目は柔道整復師の実務経験を有する教員がその実務経験を活かし、柔道整復師として働くうえで必要な外科学、運動学、リハビリテーション医学に関する知識について講義を行う科目です。

その他

遅刻と早退を3回すると、講義1回分欠席扱いとする。

授業参加意欲の無い者は欠席扱いとする。

講義コード	7303012
講義名	上肢整復実技I
(副題)	
代表ナンバリングコード	52P04-2088FR-00
講義開講時期	前期
講義区分	実技
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	2
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

大澤 裕行

桐林 俊彰

総合学習目標

整復ケア骨損傷学Iで学んだ上肢の骨折を中心に、上肢の脱臼並びに軟部組織損傷について学習する。今期、学習する上肢損傷は肩関節周辺から肘関節周辺までであるが、日常の発生頻度が高く、柔道整復業務の中でよく遭遇する重要な損傷である。特に柔道整復師となるにあたって、重要なウェイトを占める鎖骨や肩甲骨、上腕骨頸部骨折、同骨幹部骨折、肩関節脱臼や肘関節脱臼、更には腱板損傷や筋腱、靭帯の損傷について、深い知識をベースにして、徒手整復手技と固定方法などを学習する。この授業では学理的に学んだ上肢外傷をさらに紐解き、実技演習を通じて実際に臨床応用できる資質を獲得する。

個別学習目標

上肢各部位【肩周辺～肘関節周辺まで）の解剖学的特質、各骨折の発生機序、転位、徒手整復法、外固定法等について一連の治療体系を復習しながら、実技や演習を行い、上肢損傷に対する深遠な考察ができるようにする。また危険な外傷や禁忌外傷、鑑別診断等の実際的手法も演習する。

ディプロマポリシー

	◎：強く該当する ○：該当する 選択なし：該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	○
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広	

い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。

◎

授業計画

第1回	担当教員	大澤 裕行 桐林 俊彰 鎖骨骨折の総括的事項・徒手整復法の実際
	内容	治療法について実技を行う。AL:B
第2回	担当教員	大澤 裕行 桐林 俊彰 鎖骨骨折の外固定法の実際
	内容	治療法について実技を行う。AL:B
第3回	担当教員	大澤 裕行 桐林 俊彰 肩甲骨骨折の総括的事項・外固定法の実際
	内容	治療法について実技を行う。AL:B
第4回	担当教員	大澤 裕行 桐林 俊彰 肩関節前方脱臼の総括的事項・徒手整復法の実際
	内容	治療法について実技を行う。AL:B
第5回	担当教員	大澤 裕行 桐林 俊彰 肩関節前方脱臼の徒手整復法・外固定法の実際
	内容	治療法について実技を行う。AL:B
第6回	担当教員	大澤 裕行 桐林 俊彰 肩腱板損傷の総括的事項・診察処置の実際
	内容	治療法について実技を行う。AL:B
第7回	担当教員	大澤 裕行 桐林 俊彰 上腕二頭筋損傷の総括的事項・診察処置の実際
	内容	治療法について実技を行う。AL:B
第8回	担当教員	大澤 裕行 桐林 俊彰 上腕骨外科頸骨折の総括的事項・徒手整復法の実際
	内容	治療法について実技を行う。AL:B
第9回	担当教員	大澤 裕行 桐林 俊彰 上腕骨外科頸骨折の固定法と最新治療法
	内容	治療法について実技を行う。AL:B
第10回	担当教員	大澤 裕行 桐林 俊彰 上腕骨骨幹部骨折の総括的事項・外固定法の実際
	内容	治療法について実技を行う。AL:B
第11回	担当教員	大澤 裕行 桐林 俊彰 上腕骨顆上骨折の総括的事項・徒手整復法の実際
	内容	治療法について実技を行う。AL:B
	担当教員	大澤 裕行 桐林 俊彰

第12回		上腕骨顆上骨折の外固定法の実際
	内容	治療法について実技を行う。AL:B
第13回	担当教員	大澤 裕行 桐林 俊彰 上腕骨外顆骨折の総括的事項・外固定法の実際
	内容	治療法について実技を行う。AL:B
第14回	担当教員	大澤 裕行 桐林 俊彰 肘関節脱臼の総括的事項・徒手整復法の実際
	内容	治療法について実技を行う。AL:B
第15回	担当教員	大澤 裕行 桐林 俊彰 肘関節捻挫損傷の総括的事項・診察処置の実際
	内容	治療法について実技を行う。AL:B

評価方法とフィードバック方法

原則的に、毎回のレポート30%、定期試験70%を合わせ、総合的に判定する。

レポート：その都度解説、講評する

定期試験：掲示板等で正解と講評を掲載する

教科書

テキスト：

「クリニカル・レクチャー 柔道整復実践技術」メジカルビュー社 ¥5,616（税込）

「柔道整復外傷学ハンドブック（上肢の骨折・脱臼）医道の日本社刊 ¥2,800+税

参考文献：

「柔道整復学・実技編」改訂第2版（社）全国柔道整復学校協会教科書委員会編 南江堂
¥7,000+税

参考書

テキスト：

「クリニカル・レクチャー 柔道整復実践技術」メジカルビュー社 ¥5,616（税込）

「柔道整復外傷学ハンドブック（上肢の骨折・脱臼）医道の日本社刊 ¥2,800+税

参考文献：

「柔道整復学・実技編」改訂第2版（社）全国柔道整復学校協会教科書委員会編 南江堂
¥7,000+税

オフィスアワー

適宜受け付ける

実務経験の有無

この科目は診療所で柔道整復師としての実務経験を有する教員が実務経験を活かし、柔道整復師として学ぶべき柔道整復実技の必要な知識と技術を身につけること目的に行っている科目です。

その他

実技演習が多く、席を指定する場合もある。

授業のメインは主担当である大澤が実施し、内容によっては桐林が実施する場合もある。

副担当者は随時席を巡回し、授業の円滑な進行を促す

授業時間中の私語、不誠実な授業態度の学生は退出させる。

講義コード	7303013
講義名	伝承医学概論
(副題)	(外傷保存療法を含む)
代表ナンバリングコード	52L04-2089SR-00
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	2
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

石丸 圭荘

総合学習目標

伝承的に発展してきた医学の体系は進化を遂げて、近年では西洋医学を補う補完・代替医療 (complementary and alternative medicine : CAM) として注目されている。この補完・代替医療には伝承医学、柔道整復、鍼灸、按摩マッサージをはじめ漢方薬などがあり、人間の恒常性に作用する免疫力の活性化など科学的根拠 (EBM) が明らかにされ、現代医療の現場において病気や外傷の治療や予防に実践されている。また、外傷の予防やスポーツ選手のコンディショニングにおいては身 (からだ) だけを診るのではなく心身一如 (こころとからだ) の両面を診ることのできる医療が求められている。これらの歴史的背景や理論を理解して、伝承医学と西洋医学を融合させた補完・代替医療 (CAM) の現状を理解するとともに、柔道整復・スポーツトレーナーに応用できる伝承医学概論の基礎理論と物理刺激療法 (外傷保存療法を含む) を中心に学習する。整復医療・トレーナー学科 : DP4

個別学習目標

1. 伝承医学を背景とした補完代替医療 (CAM) の特徴について説明できる。
2. 伝承医学を背景とする物理刺激療法の外傷保存療法について理解し説明できる。

準備学修

講義資料はclassroomに反映するので事前に確認すること (30分) , 講義後は授業内容を振り返りまとめること (30分) .

ディプロマポリシー

	◎ : 強く該当する ○ : 該当する 選択なし : 該当しない
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】①整復医療・保健体育・スポーツ医学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有用に活用できる。	
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を	○

持つ。	
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業種業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	◎

授業計画

第1回	担当教員	石丸 圭荘 講義概要ガイダンス
	内容	伝承医学概論講義の詳細な内容と到達目標の説明
第2回	担当教員	石丸 圭荘 伝承医学概論（西洋医学と伝承医学の相違）
	内容	医学の伝承と発展について
第3回	担当教員	石丸 圭荘 伝承医学と補完・代替医療(CAM) とは
	内容	補完・代替医療（Complementary and Alternative Medicine ; CAM）について
第4回	担当教員	石丸 圭荘 伝承医学と生薬（漢方薬）
	内容	ハーブなど生薬（漢方薬）の作用について理解する。
第5回	担当教員	石丸 圭荘 伝承医学と物理療法（保存療法）
	内容	電気刺激療法などの物理療法の保存療法としての役割と鎮痛理論について学習する。
第6回	担当教員	石丸 圭荘 伝承医学と物理療法の実際
	内容	電気刺激療法などの物理療法の実際について学習する。
第7回	担当教員	石丸 圭荘 伝承医学を応用した刺激療法の実際とは
	内容	マッサージなどを応用した手技による刺激療法について学習する。
第8回	担当教員	石丸 圭荘 物理療法の刺激鎮痛理論とは
	内容	電気刺激療法や手技刺激療法などの理論を学習する。
第9回	担当教員	石丸 圭荘 刺激鎮痛理論・内因性鎮痛と低周波療法
	内容	鎮痛薬を使用しない内因性鎮痛理論について学習する。
第10回	担当教員	石丸 圭荘 刺激鎮痛理論・ゲートコントロールと低周波療法
	内容	鎮痛薬を使用しないで鎮痛を発現するゲートコントロール理論について学習する。
第11回	担当教員	石丸 圭荘 刺激鎮痛理論・光線療法
	内容	物理療法の光線療法（LASER療法）について学習する。
第12回	担当教員	石丸 圭荘 刺激療法の実際
	内容	伝承医学の実際と刺激療法の実際（頭部顔面疾患）について学習する。
第13回	担当教員	石丸 圭荘 刺激療法の実際（頸頸腕・胸部）
	内容	伝承医学の実際と刺激療法の実際（頸頸腕・胸部疾患）について学習する。

第14回	担当教員	石丸 圭荘 生薬・漢方薬
	内容	伝承医学である生薬・漢方薬について学習する。
第15回	担当教員	石丸 圭荘 まとめ
	内容	講義内容の総括

評価方法とフィードバック方法

レポート30点（30%）、定期試験70点（70%）合計100点（100%）で総合評価する。
レポート・定期試験は解説・講評する。

教科書

教科書指定なし、配布資料を中心に学習する。

参考書

参考書『東洋医学を応用した刺激療法の実際』著者：石丸圭荘・他 出版社：医歯薬出版 定価：3,400円

オフィスアワー

12時15分から13時、5階研究室（図書館長室）

実務経験の有無

この科目は病院での実務経験のある教員が、その実務経験を活かして、伝承医学の基本的な知識と治療法について指導を行う科目です。

その他

オフィスアワーを利用した質問は、5階研究室（図書館長室）まで。

また、講義は主として電子媒体power pointおよびテキストにて行い、講義資料はClassroomに掲載しますので活用してください。

担当教員実務経験の有無，有

講義コード	7303025
講義名	臨床実習III
(副題)	[2023年度入学生対象]
代表ナンバリングコード	52P04-2090IR-00
講義開講時期	後期
講義区分	実習
基準単位数	1
時間	45.00
対象学年	2
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

松本 揚

大澤 裕行

山本 清

田村 哲也

末吉 祐介

田辺 達磨

岡村 知明

角田 佳貴

長谷川 龍成

桐林 俊彰

総合学習目標

大学付属クリニック及び関連クリニックでの診察参加型の臨床実習である。科学的な根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。

個別学習目標

- ・各症例について、診察法、治療法、患者指導及び管理方法を理解する。
- ・臨床実習指導者、臨床実習施設勤務者から、健康の保持・増進に必要な技術を学び実践できる。
- ・臨床実習で学んだ内容に対して説明できる。

準備学修

臨床実習I・IIで学んだ事を復習し実習の準備をする(4時間)。臨床実習施設での実習参加後に振り返り、得た知識、反省点、今後に生かせることなどをまとめること(4時間)

ディプロマポリシー

◎：強く該当する
○：該当する
△：選択なし
し：該当しない

【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】 ①整復医療・保健体育・スポーツ医

科学に必要な身体と運動の仕組み、および医学的知識を理解している。	
【整復医療・トレーナー学科DP1 知識・理解】②柔道整復師国家試験に合格する学力と資質を備え、医療、スポーツ、教職にあっても国家資格を有効に活用できる。	
【整復医療・トレーナー学科DP2 思考・判断】①医療、スポーツ、教育のスペシャリストとして自ら課題を発見し、その課題を総合的能力で解決することができる。	○
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】①高度なコミュニケーション能力と高い倫理観そして豊かな人間性を有し、幅広い分野で活躍することができる能力を持つ。	○
【整復医療・トレーナー学科DP3 技能・表現】②柔道整復師業務の継承者となると共に、資格を活かし国内のみならず国際的に活躍できる人材となる。	
【整復医療・トレーナー学科DP4 関心・意欲・態度】①科学的根拠に基づいた幅広い情報分析能力を持ち、健康の保持・増進に必要な実践的な技術を応用することができる。	◎

授業計画

第1回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 末吉 祐介 岡村 知明 桐林 俊彰 田辺 達磨 角田 佳貴 長谷川 龍成 ガイダンス
	内容	担当者：大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝
第2回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 末吉 祐介 岡村 知明 桐林 俊彰 田辺 達磨 角田 佳貴 長谷川 龍成 臨床実習施設での実習1
	内容	診療参加型実習 実習施設の医師と柔道整復師、専任教員と助手（大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝）による助言の元、臨床実習施設で実習を行う。
第3回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 末吉 祐介 岡村 知明 桐林 俊彰 田辺 達磨 角田 佳貴 長谷川 龍成 臨床実習施設での実習2
	内容	診療参加型実習 実習施設の医師と柔道整復師、専任教員と助手（大澤裕行、田村哲也、松本揚、

	容	岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝)による助言の元、臨床実習施設で実習を行う。
第4回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 末吉 祐介 岡村 知明 桐林 俊彰 田辺 達磨 角田 佳貴 長谷川 龍成 臨床実習施設での実習3
	内容	診療参加型実習 実習施設の医師と柔道整復師、専任教員と助手（大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝)による助言の元、臨床実習施設で実習を行う。
第5回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 末吉 祐介 岡村 知明 桐林 俊彰 田辺 達磨 角田 佳貴 長谷川 龍成 臨床実習施設での実習4
	内容	診療参加型実習 実習施設の医師と柔道整復師、専任教員と助手（大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝)による助言の元、臨床実習施設で実習を行う。
第6回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 末吉 祐介 岡村 知明 桐林 俊彰 田辺 達磨 角田 佳貴 長谷川 龍成 臨床実習施設での実習5
	内容	診療参加型実習 実習施設の医師と柔道整復師、専任教員と助手（大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝)による助言の元、臨床実習施設で実習を行う。
第7回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 末吉 祐介 岡村 知明 桐林 俊彰 田辺 達磨 角田 佳貴 長谷川 龍成 臨床実習施設での実習6
		診療参加型実習

	内容	実習施設の医師と柔道整復師、専任教員と助手（大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝）による助言の元、臨床実習施設で実習を行う。
第8回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 末吉 祐介 岡村 知明 桐林 俊彰 田辺 達磨 角田 佳貴 長谷川 龍成 臨床実習施設での実習7
	内容	診療参加型実習 実習施設の医師と柔道整復師、専任教員と助手（大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝）による助言の元、臨床実習施設で実習を行う。
第9回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 末吉 祐介 岡村 知明 桐林 俊彰 田辺 達磨 角田 佳貴 長谷川 龍成 臨床実習施設での実習8
	内容	診療参加型実習 実習施設の医師と柔道整復師、専任教員と助手（大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝）による助言の元、臨床実習施設で実習を行う。
第10回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 末吉 祐介 岡村 知明 桐林 俊彰 田辺 達磨 角田 佳貴 長谷川 龍成 臨床実習施設での実習9
	内容	診療参加型実習 実習施設の医師と柔道整復師、専任教員と助手（大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝）による助言の元、臨床実習施設で実習を行う。
第11回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 末吉 祐介 岡村 知明 桐林 俊彰 田辺 達磨 角田 佳貴 長谷川 龍成 臨床実習施設での実習10
	内容	診療参加型実習 実習施設の医師と柔道整復師、専任教員と助手（大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝）による助言の元、臨床実習施設で実習を行う。

	内容	診療参加型実習 実習施設の医師と柔道整復師、専任教員と助手（大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝）による助言の元、臨床実習施設で実習を行う。
第12回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 末吉 祐介 岡村 知明 桐林 俊彰 田辺 達磨 角田 佳貴 長谷川 龍成 臨床実習施設での実習11
	内容	診療参加型実習 実習施設の医師と柔道整復師、専任教員と助手（大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝）による助言の元、臨床実習施設で実習を行う。
第13回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 末吉 祐介 岡村 知明 桐林 俊彰 田辺 達磨 角田 佳貴 長谷川 龍成 臨床実習施設での実習12
	内容	診療参加型実習 実習施設の医師と柔道整復師、専任教員と助手（大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝）による助言の元、臨床実習施設で実習を行う。
第14回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 末吉 祐介 岡村 知明 桐林 俊彰 田辺 達磨 角田 佳貴 長谷川 龍成 臨床実習施設での実習13
	内容	診療参加型実習 実習施設の医師と柔道整復師、専任教員と助手（大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝）による助言の元、臨床実習施設で実習を行う。
第15回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 末吉 祐介 岡村 知明 桐林 俊彰 田辺 達磨 角田 佳貴 長谷川 龍成

		臨床実習施設での実習14
	内容	診療参加型実習 実習施設の医師と柔道整復師、専任教員と助手（大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝）による助言の元、臨床実習施設で実習を行う。
第16回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 末吉 祐介 岡村 知明 桐林 俊彰 田辺 達磨 角田 佳貴 長谷川 龍成 臨床実習施設での実習15
	内容	診療参加型実習 実習施設の医師と柔道整復師、専任教員と助手（大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝）による助言の元、臨床実習施設で実習を行う。
第17回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 末吉 祐介 岡村 知明 桐林 俊彰 田辺 達磨 角田 佳貴 長谷川 龍成 臨床実習施設での実習16
	内容	診療参加型実習 実習施設の医師と柔道整復師、専任教員と助手（大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝）による助言の元、臨床実習施設で実習を行う。
第18回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 末吉 祐介 岡村 知明 桐林 俊彰 田辺 達磨 角田 佳貴 長谷川 龍成 臨床実習施設での実習17
	内容	診療参加型実習 実習施設の医師と柔道整復師、専任教員と助手（大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝）による助言の元、臨床実習施設で実習を行う。
第19回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 末吉 祐介 岡村 知明 桐林 俊彰 田辺 達磨 角田 佳貴

		長谷川 龍成 臨床実習施設での実習18
	内容	診療参加型実習 実習施設の医師と柔道整復師、専任教員と助手（大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝）による助言の元、臨床実習施設で実習を行う。
第20回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 末吉 祐介 岡村 知明 桐林 俊彰 田辺 達磨 角田 佳貴 長谷川 龍成 臨床実習施設での実習19
	内容	診療参加型実習 実習施設の医師と柔道整復師、専任教員と助手（大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝）による助言の元、臨床実習施設で実習を行う。
第21回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 末吉 祐介 岡村 知明 桐林 俊彰 田辺 達磨 角田 佳貴 長谷川 龍成 臨床実習施設での実習20
	内容	診療参加型実習 実習施設の医師と柔道整復師、専任教員と助手（大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成、関駿斗、佐々木凜音、山川紗輝）による助言の元、臨床実習施設で実習を行う。
第22回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 末吉 祐介 岡村 知明 桐林 俊彰 田辺 達磨 角田 佳貴 長谷川 龍成 臨床実習の振り返り1
	内容	面接担当者の臨床実習の振り返りを行う 担当者：大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成
第23回	担当教員	松本 揚 大澤 裕行 田村 哲也 末吉 祐介 岡村 知明 桐林 俊彰 田辺 達磨 角田 佳貴

	長谷川 龍成 臨床実習での振り返り2
内容	面接担当者の臨床実習の振り返りを行う 担当者：大澤裕行、田村哲也、松本揚、岡村知明、末吉祐介、桐林俊彰、田辺達磨、角田佳貴、長谷川龍成

評価方法とフィードバック方法

臨床実習担当者評価（実習への積極的参加、デイリーノートなど）50%、
専任教員との面接評価50%
臨床実習担当者からの評価を専任教員がフィードバックする。

教科書

使用しない

オフィスアワー

主担当松本揚
水曜日3限、木曜日3限、金曜日3限

実務経験の有無

この科目は柔道整復師の実務経験を有する教員がその実務経験を活かし、実践的教育を行っている科目である

その他

実習に積極的に参加していない場合、実習中止となることがある。